WILLCOM

WX321J

取扱説明書

JRC 日本無線株式會社

はじめに

このたびは、「WX321J」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しく効果的にお使いくださいますようお願いいたします。

ご使用にあたって

●本電話機のご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、巻末の「お問い合わせ窓口」に記載されているウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

●できるだけ電波の強いところでご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本あるいは５本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。

●公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。

●繁華街など人通りの多いところでは、通行の妨げにならないところでご使用ください。

●オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。

●一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。

●電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。

●お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本電話機はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
本電話機の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

●本電話機はJava Virtual Machine技術として、株式会社ACCESSのJV-Lite2を搭載しています。
Copyright© 2000-2007 ACCESS CO., LTD.

●本電話機はTCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。
Copyright© 1986-2007 ACCESS CO., LTD.

●本電話機は、Red Bend Software社のソフトウェアを搭載しています。
Copyright© Red Bend Software, Inc. 1999-2006

●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。
ご利用にあたり株式会社ウィルコム、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：Verisign, Inc. RSA Data Security, Inc. Entrust.net

不要となりました電話機本体、電池パック、および卓上充電器は、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

お使いになる前に、充電や日時の設定などの準備が必要です。
☞1章 最初にお読みください

使う前の準備

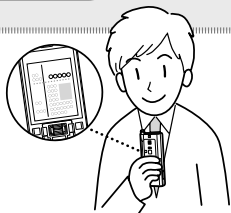
指紋センサーなどの使いかたを覚えておきましょう。
☞ボタンの使いかた（1-15）

基本的な使いかたを覚えよう

電話帳や留守録音など便利な機能がたくさんあります。
☞7章 基本機能

電話で話そう

内蔵カメラで手軽に画像が撮影できます。
☞12章 カメラ

カメラで写そう

パソコン用のホームページも見ることができます。
☞9章 インターネット

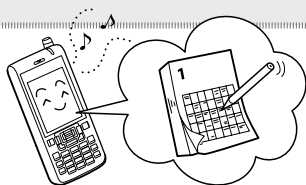
ホームページを見よう

パソコンや他社の携帯電話にもメールが送れます。
☞8章 メール

メールを使おう

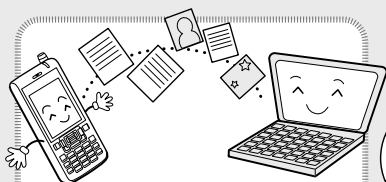
パソコンをインターネットに接続したり、パソコンとデータをやり取りしたりできます。
☞10章 パソコンとの連携

パソコンとつなごう

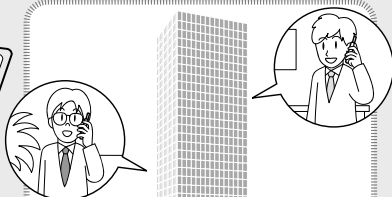
番号非通知の電話の拒否や指紋認証によるロックなど、安全のための機能も充実しています。
☞11章 セキュリティ（安全）

安全に使えます

予定を登録しておけば、音とメッセージで予定が近づいたことを知らせてくれます。
☞スケジュール機能を利用する（13-19）

スケジュールを管理しよう

ボタンを押すだけですぐに録音が開始できます。
☞ICレコーダを利用する（13-34）

ICレコーダで手軽に録音

メールやパソコンから受け取った画像や文書など各種データを表示することができます。
☞データフォルダを活用する（13-53）

パソコン文書を見よう

事業所コードレスシステムの子機として利用できます
☞オフィスモードで使う（14-4）

オフィスシステムに対応

目次

基本編

1　最初にお読みください

2　電話をかける／受ける

3　電話帳を使う

4　文字の入力について

5　メールを利用する

6　インターネットを利用する

機能解説編

7 基本機能

8 メール

9 インターネット

10　パソコンとの連携

11　セキュリティ（安全）

12　カメラ

13 便利な使いかた

14 モードの活用

15　困ったときは

付　録

本書の見かた

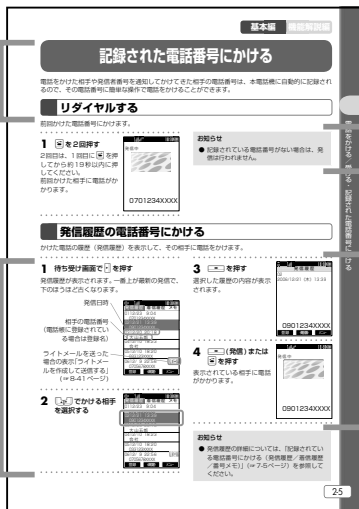
本書は、基本編と機能解説編の２編構成で説明しています。

▶ 基本編

PHSを初めてご使用になる方や、本電話機の基本的な使いかたを手軽にお知りになりたい方を対象に、基本的な機能だけをまとめて説明しています。

▶ 機能解説編

本電話機の基本的な使いかたを理解している方を対象に、すべての機能の使いかたを網羅しています。目次や索引を活用して、お知りになりたい情報を素早く検索していただけます。
本書の索引では、機能名をキーにした検索だけでなく、「入力する」、「削除する」のように、操作をキーにして記事を検索できるようになっています。

本書では、以下のように操作方法について説明しています。

安全上のご注意―必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	接触禁止	触れてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

注意	注意を示します。

[免責事項について]
●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
●接続機器（パソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

電話機本体、電池パック、卓上充電器の取扱いについて（共通）

危険

本電話機に使用する電池パックおよび卓上充電器は、指定のものをご使用ください。

下記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

・リチウムイオン電池パック　NBB-9620　　・卓上充電器　NBA-9620

警告

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上充電器を入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や、本電話機、卓上充電器の発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

電話機本体の取扱いについて

警告

ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。

難聴になる可能性があります。

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。

そのままご使用になると、火災の原因になります。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

アンテナ、ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。

電子機器に影響をおよぼす場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

＊ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

屋外で使用中に雷が発生した場合は、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

振動や着信音が身体に影響を与える原因となります。

医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。

電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因になります。

電話機本体の取扱いについて〈つづき〉

分解、改造をしないでください。

火災、けがなどの事故または故障の原因になります。

病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが人に当たり、けがの原因となります。

フラッシュを人の目に近づけて光らせないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりして事故の原因となります。

注意

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

破損や故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう原因となります。

本電話機を胸ポケットに入れたまま屈まないでください。

本電話機が落下して、故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。

本電話機を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本電話機の内部に入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのAV・OA機器および自動車、オートバイなどがあります。

電池パックの取扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックを本電話機に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。

爆発の危険があります。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起す原因となります。

電池パックの内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合があります。万一、目に入った場合は、失明の恐れがありますので、きれいな水で洗い落として、直ちに医師の治療を受けてください。

電池パックの取扱いについて〈つづき〉

水やペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パックの端子を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取り外し、使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

発火や故障の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

電池パックの充電温度範囲は10℃～40℃です。

この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

卓上充電器の取扱いについて

警告

卓上充電器には必ずAC100Vを使用してください。

誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因になります。

卓上充電器の電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

万一、卓上充電器を落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

充電中は卓上充電器を安定した場所に置いてください。また、卓上充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

故障、けが、感電、火災の原因となります。

コードなどを持って卓上充電器を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

コードが傷んだら使用しないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

コードを、無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。

故障や感電、火災の原因となります。

卓上充電器のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。

発熱、火災の原因になります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。

感電、発熱、火災の原因になります。

卓上充電器から煙が出たり、異臭がするときは、すぐに卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。

そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。

火災、感電、故障の原因となります。

充電終了後は卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

卓上充電器や卓上充電器の電源プラグを濡らさないでください。

電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

濡れた手で卓上充電器、卓上充電器の電源プラグやコンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

注意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

卓上充電器に乗らないでください。＜特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください＞

ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

卓上充電器のコードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。

感電や火災の原因となります。

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

水につけたりしないでください。

おふろの中や水の中につけたりしないでください。また、できるだけ雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついたときにはすぐに拭いてください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた布で拭いてください。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐蝕し故障の原因となります。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

お客様ご自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万一登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■指紋センサー取り扱いについてのお願い

指紋センサー部表面はキズがつきやすいため、以下の点についてご注意をお願いします。

- **ほこりやゴミがついた状態で指紋センサーを操作しないでください。**

  指先や指紋センサー表面に、ほこり、ゴミ、砂などが付着した状態で、指紋センサーを操作すると、キズがつき故障の原因となります。

・**指紋センサーの表面を拭く場合は、柔らかい布でやさしく拭いてください。**

指紋センサー表面をゴミのついた布で拭いたり、ごしごしこすったりすると、キズがつき故障の原因となります。

・**硬いもので指紋センサー表面をこすらないでください。**

指紋センサー表面を金属など硬いものでこすると、キズがつき故障の原因となります。

・**鍵やコインなどと一緒にカバンやポケットに入れないでください。**

輸送中に鍵やコインなどと指紋センサー表面が接触し、キズがつく恐れがあります。

キズがつくのを防ぐため、カバンやポケットなどに入れる際は、袋に入れることをお勧めします。

・**ストラップ（アクセサリ）でキズをつけないようにしてください。**

金属など硬いストラップ（アクセサリ）を電話機につける場合は、指紋センサー表面にあたらないようにしてください。

指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。

指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証率が低下したり、画面項目の選択や決定といった操作ができなくなることがあります。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、使いきった状態で、本電話機から外して保管してください。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上充電器についてのお願い

次のような場所では充電しないでください。

周囲の温度が10℃以下または40℃以上になるところ

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上充電器が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ microSD カード（別売り）についてのお願い

microSDカードにデータを保存しているときなどにmicroSDカードを取り外したり、本電話機の電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。

microSDカードのデータが破損されることがあります。

microSDカードが取り付けられているときに本電話機に落下などの強い衝撃を与えるとmicroSDカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。

万一保存されたデータが消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードの取り扱いについては、ご購入したmicroSDカードに添付の取扱説明書をご覧ください。

基本編

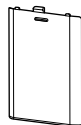
1

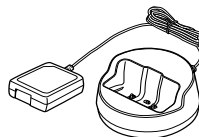
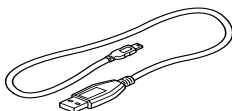
最初にお読みください

セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、取扱説明書の乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

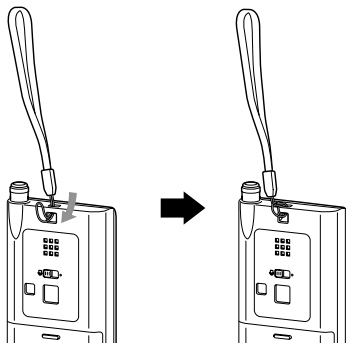
●本体　WX321J（1 台）

●電池カバー（1 個）
・本体に装着されています。

●リチウムイオン電池パック NBB-9620（1 個）

●卓上充電器 NBA-9620（1 台）

●USBケーブル（A to Mini-B）（1 本）

●取扱説明書（1 部）（本書）
・裏表紙に保証書が付いています。

●CD-ROM（1 枚）

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。

お知らせ

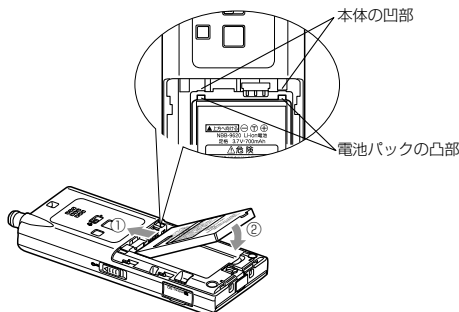
- ハンドストラップは同梱しておりません。
- ハンドストラップを取り付ける場合、カメラのレンズにキズをつけないようご注意ください。

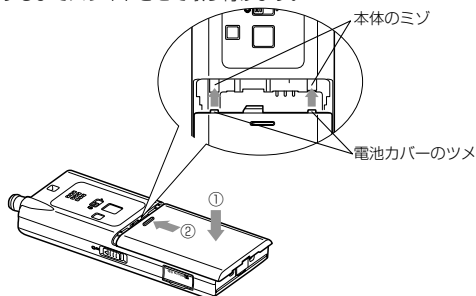
充電する

電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凸部を本体の凹部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。

2 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。

3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

ご注意

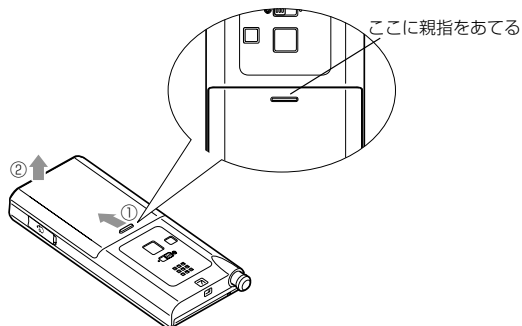
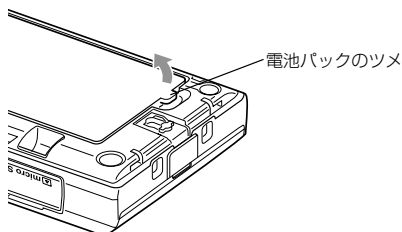
- 電池カバーはゆるみのないようにしっかりと閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出す恐れがあります。

電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約１年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9620）は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになれます。
電池パックは次の手順で交換してください。

1 **電源が入っているときは、[電源キー]を約２秒以上押して電源を切る**

2 **電池カバーを取り外す**

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。

3 **電池パックのツメを指で矢印方向に持ち上げ、電池パックを取り外す**

4 **新しい電池パックを入れる**

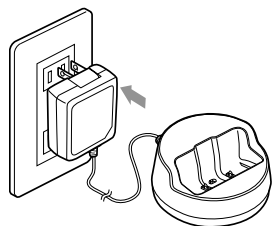
5 **充電する「卓上充電器で充電する」**（☞ 1-5ページ）

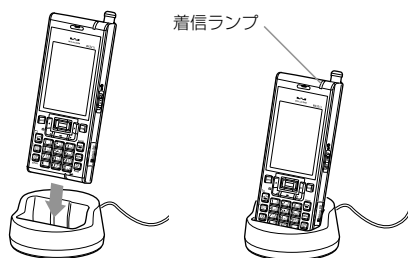
ご注意

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ずコネクタ部にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

卓上充電器で充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上充電器の電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

2 本電話機を卓上充電器に置く

充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。

3 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約100分かかります。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上充電器に置かないでください。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上充電器に逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上充電器に置き直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機と卓上充電器の一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上充電器に戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」(☞ 10-2ページ)
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

十分にあります。
まだあります。
少なくなりました。
ほとんどありません。すぐに充電してください。

■電池がなくなったときは

「ピーピーピーピー」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。
通話中の場合は、「ピーピーピー」という警告音が鳴ってから約3分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間※
公衆モード	約 6.5 時間	約 750 時間

※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

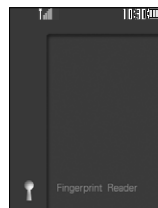
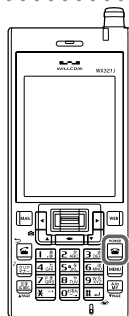
お知らせ

- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネット、カメラ機能などのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　[電源キー] を約２秒以上押す

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。

待ち受け画面

お知らせ

- 指紋センサーに指を置いた状態で、本電話機の電源を入れないでください。正常に動作しない場合があります。
- アニメーションの途中で [電源キー] を押すと、アニメーションが中断され、すぐに待ち受け画面が表示されます。
- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、転送モード、公衆＋オフィスモード（デュアルモード）、公衆＋グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時は公衆モードに設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「モードの活用」（☞14-1ページ）

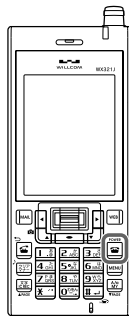
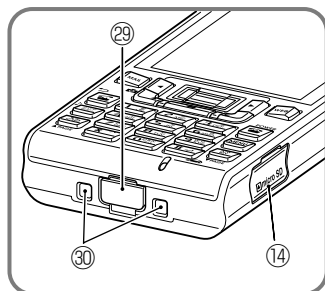
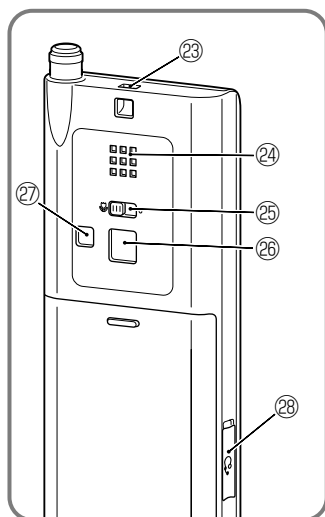
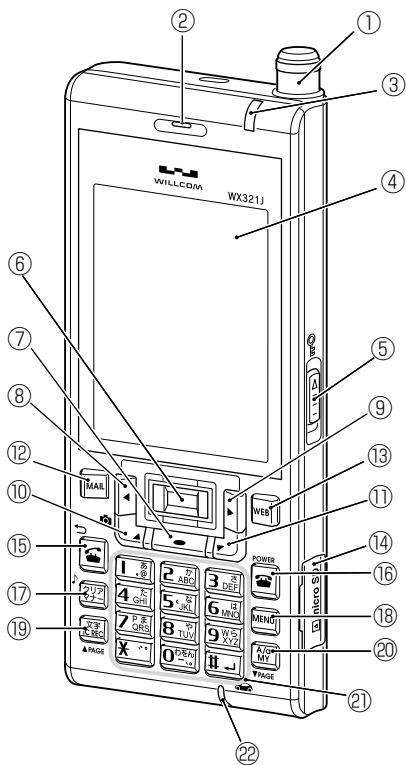
電源を切る

1　[電源キー] を約２秒以上押す

アニメーションが表示され、電源が切れます。

各部の名前

WILLCOM
WX321J
MAIL
WEB
POWER
クリア マナー
文字 IC REC
▲PAGE
MENU
A/a MY
▼PAGE
micro SD

micro SD

①アンテナ

②受話口（レシーバ）

③着信ランプ
着信があったときなどに点滅します。「着信ランプを設定する」（☞13-12ページ）

④画面
「画面の見かた」（☞1-11ページ）

⑤キーロックスイッチ
キーロックの設定／解除を行います。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞11-13ページ）

⑥指紋センサー
指紋認証に使用するほか、ポインティング動作を「ON」に設定することによって、カーソルの移動ができます。「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）

⑦
画面に表示された項目を確定します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。「ボタンの使いかた」（☞1-15ページ）

⑧
画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。

⑨
画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。

⑩
画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、スケジュールを表示します。待ち受け画面でこのボタンを約1秒以上押すと、カメラが起動します。

⑪
画面上の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。
待ち受け画面でこのボタンを約1秒以上押すと、フラッシュが点灯します。

⑫ MAIL
メールメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面左下に表示された機能を実行します。「ガイダンス表示について」（☞1-14ページ）「メールを利用する」（☞5-1ページ）

⑬ WEB
Webメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面右下に表示された機能を実行します。「ガイダンス表示について」（☞1-14ページ）「インターネットを利用する」（☞6-1ページ）

⑭microSDカードカバー
「microSDカードを取り付ける／取り外す」（☞1-24ページ）

⑮
電話をかけたり受けたりするときに押します。「電話をかける」（☞2-2ページ）

⑯
通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。

⑰ クリア マナー
入力した番号・文字を消去します。また、操作中に前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。

⑱ MENU
メインメニューを表示します。「メインメニューについて」（☞1-19ページ）

⑲ 文字 IC REC
ICレコーダメニューを表示します。「ICレコーダを利用する」（☞13-34ページ）

⑳ A/a MY
マイメニューを表示します。「マイメニューを利用する」（☞7-78ページ）

㉑ダイヤルボタン（0 〜 9、*、#）
電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。

㉒送話口（マイク）

㉓ストラップ取り付け穴

㉔スピーカ

㉕マクロスイッチ
接写するときは に合わせ、通常の撮影では に合わせます。「画像を撮影する」（☞12-2ページ）

㉖カメラ
「カメラ」（☞12-1ページ）

㉗フラッシュ
カメラのフラッシュです。ライトとしても使用できます。「フラッシュを使用する」（☞12-6ページ）「ライトの使いかた」（☞1-10ページ）

㉘イヤホンマイク端子
市販のイヤホンマイクを接続します。「イヤホンマイクをつなぐ」（☞13-48ページ）

㉙ USB端子
USBケーブルでパソコンと接続できます。「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）

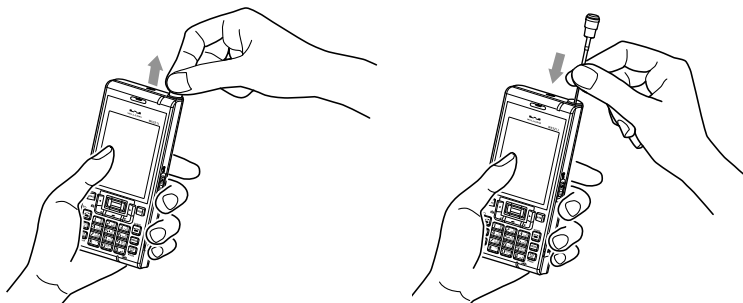
㉚充電端子
「充電する」（☞1-3ページ）

お知らせ

- ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納していても電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。
●アンテナを伸ばすときは、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。
●アンテナを収納するときはアンテナの根本を持ってまっすぐに下ろしてください。

アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると変形や破損の原因になります。

お知らせ

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。アンテナが破損する原因となります。

ライトの使いかた

カメラのフラッシュを点灯させてライトとして使用することができます。

1 待ち受け画面で [キー] を約1秒以上押す

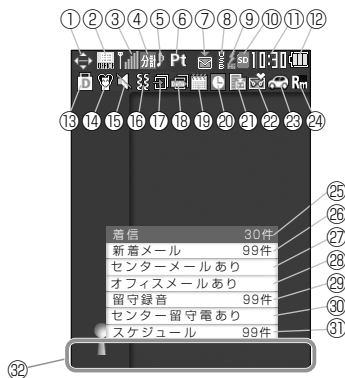
ライトが点灯します。

2 どれかキーを押す

ライトが消灯します。

お知らせ

- 次の場合にもライトは消灯します。
  - ・約3分間経過した場合
  - ・本電話機を卓上充電器に置いた場合
  - ・USBケーブルでパソコンと接続した場合
  - ・電話着信やメール受信などがあった場合

画面の見かた

①
上下左右の項目を選択できるときに表示されます。

上下の項目を選択できるときに表示されます。

左右の項目を選択できるときに表示されます。

②
オフィスモード時に表示されます。

公衆／オフィスモード時に表示されます。

オフィス／公衆モード時に表示されます。

グループモード時に表示されます。

公衆／グループモード時に表示されます。

グループ／公衆モード時に表示されます。

転送モード時に表示されます。

③ 圏外、～（公衆モード）
受信している電波の強度を表示します。電波が強いほど通話に適しています。やのときは電波が弱く、通話できないことがあります。圏外のときは通話できません。電波が弱く通話できないときは、電波の強い場所に移動してご使用ください。

弱い ←――――→ 強い

待ち受けモードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態をのように表示します(上が公衆、下がオフィス)。

④ 分計
料金分計設定時に表示されます。「料金分計サービスを利用する（有料)」(☞13-95ページ)

呼び出し中、通話中に表示されます。

データ送受信中に点滅します。「インターネット」(☞9-1ページ)

SSL通信中に表示されます。データ送受信中は点滅します。

J
Java起動中に表示されます。一時停止中は点滅します。「Javaアプリケーションを実行する」(☞13-74ページ)

⑤ ♪
Webページに音楽データが組み込まれているときに表示されます。「BGMの再生を設定する(BGM)」(☞9-33ページ)

⑥ Pt
32kパケットまたは128kパケット通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞10-3ページ)

32kPIAFS通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞10-3ページ)

64kPIAFSのベストエフォート通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞10-3ページ)

64kPIAFSのギャランティ通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞10-3ページ)

AO/DI(32kパケットと64kPIAFSの切り替え)通信中に表示されます。「データ通信を行う」(☞10-3ページ)

未読メールがあるときに表示されます。「受信したメールを読む」(☞8-14ページ)

⑦
Eメールやライトメールの受信中にアニメーションで表示されます。「受信したメールを読む」(☞8-14ページ)

Eメール受信に失敗し、サーバに未受信のメールが残ったときに表示されます。「Eメールを受信する」(☞8-14ページ)

⑧
USBケーブルでパソコンと接続中に表示されます。データ送受信中は点滅します。「パソコンと接続する」(☞10-2ページ)

⑨
USBケーブル経由で高速充電中に表示されます。「USBで充電する」(☞13-6ページ)

USBケーブル経由で低速充電中に表示されます。「USBで充電する」(☞13-6ページ)

⑩ SD (灰色)
microSDカード装着時に表示されます。データの読み書き中は点滅します。「データフォルダを活用する」(☞13-53ページ)

SD (緑色)
microSDカード内のデータ閲覧中に表示されます。データの読み書き中は点滅します。

⑪ 10:30
時計が表示されます。「日時を設定する」(☞1-22ページ)

⑫ ～
電池残量が表示されます。「充電する」(☞1-3ページ)

充電しているときに点灯します。「充電する」(☞1-3ページ)

充電するよう警告を表示しているときに点滅します。「充電する」(☞1-3ページ)

⑬ D
Sダイヤルロック、オートダイヤルロック設定時に表示されます。「ダイヤルをロックする(Sダイヤルロック)」(☞11-14ページ)

⑭
マナーモード時に表示されます。「マナーモードを設定する」(☞7-66ページ)

オートサイレントモード時に表示されます。「特定の時間帯に着信音を消す(オートサイレント)」(☞7-68ページ)

⑮
マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。「マナーモードを設定する」(☞7-66ページ)

⑯
マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。「マナーモードを設定する」(☞7-66ページ)

⑰
履歴の確認されていない不在着信があるときに表示されます。「記録されている電話番号にかける(発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(☞7-5ページ)

⑱
データ呼の着信に応答しなかったときに表示されます。「データ通信で発信する」(☞10-15ページ)

⑲
通知「なし」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。「スケジュール機能を利用する」(☞13-19ページ)

⑳
目覚ましが設定されているときに表示されます。「目覚ましを利用する」(☞13-30ページ)

㉑
留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する（有料)」(☞13-96ページ)

㉒
マナー留守録が設定されているときに表示されます。「「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する」(☞7-68ページ)

留守録が設定されているときに表示されます。「留守録音を設定する」(☞7-74ページ)

未確認の留守録があるときに表示されます。「録音されたメッセージを再生／削除する」(☞7-75ページ)

保存先の容量がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示されます。「録音されたメッセージを再生／削除する」(☞7-75ページ)

㉓
安全運転モードのときに表示されます。「安全運転モードを設定する」(☞7-69ページ)

㉔
国際ローミングやオフィスローミングが設定されているときに表示されます。「国際ローミングを利用する（国際ローミング)」(☞13-91ページ)
「オフィスモードで使う」(☞14-4ページ)

位置情報機能が設定されているときに表示されます。「位置情報を利用する」(☞13-43ページ)

㉕ 着信　　○○件
応答しなかった着信の件数が表示されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ)」(☞7-5ページ)

㉖ 新着メール　○○件
メールを受信したときに表示されます。「Eメールを受信する」(☞8-14ページ)

㉗ センターメールあり
サーバにメールがあるときに表示されます。「Eメールを受信する」(☞8-14ページ)

㉘ オフィスメールあり
オフィスモードでメールを受信したときに表示されます。「オフィスEメールを送受信する」(☞14-7ページ)

㉙ 留守録音　○○件
留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。「留守録音を設定する」(☞7-74ページ)

㉚ センター留守電あり
留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する（有料)」(☞13-96ページ)

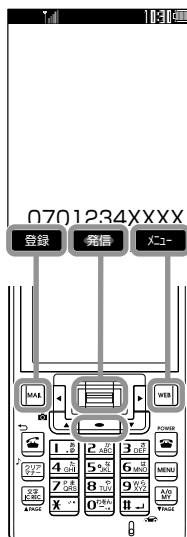
㉛ スケジュール　○○件
「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。「スケジュール機能を利用する」(☞13-19ページ)

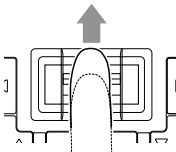
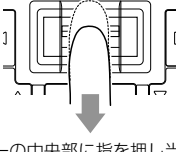
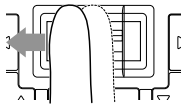
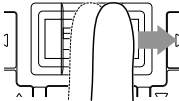
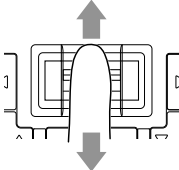
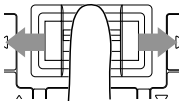
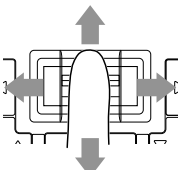
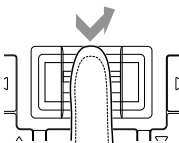
㉜ ガイダンス表示
「ガイダンス表示について」(☞1-14ページ)

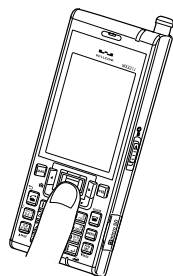
お知らせ

- 「㉕着信」の表示は最大30件です。30件を越えた場合でも「30件」と表示されます。
- 「㉖新着メール」「㉙留守録音」「㉛スケジュール」の表示は最大99件です。99件を越えた場合は「＊＊件」と表示されます。

ガイダンス表示について

画面の下端には、[MAIL]、[●]、[WEB]のその時点の機能が表示されます。

お知らせ

- ガイダンス表示がないときは、[MAIL]はメールメニュー、[WEB]はWebメニューを表示します。
- 指紋センサーで操作を行うには、「ポインティング設定」を「ON」にする必要があります。「指紋センサーの使いかた」（☞1-15ページ）「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）

ボタンの使いかた

指紋センサーの使いかた

指紋センサーは、指紋センサー表面に指で触れたり指をスライドさせたりして使用します。どの指を使ってもかまいません。これらの動作により、画面項目の選択、決定、指紋認証という３つの操作を行います。画面項目の選択や決定については「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）を参照してください。指紋認証については「指紋や暗証番号による認証を行う（指紋設定／暗証番号変更）」（☞11-7ページ）を参照してください。

本書では指紋センサーを使った操作を次のように表します。

操作	動作	表記
上の項目を選択 ・指紋センサーで「上」操作を行うには、ポインティング動作設定で「上下」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（上）へスライドさせ、指を離す。	[上] ・[上]を押すのと同じ働きなので、本書では「[上]」と表記します。
下の項目を選択 ・指紋センサーで「下」操作を行うには、ポインティング動作設定で「上下」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（下）へスライドさせ、指を離す。	[下]または[指紋下] ・[下]を押すのと同じ働きなので、本書では「[下]」と表記します。例外として、指紋センサーでの操作説明の場合に、[指紋下]と表記します。
左の項目を選択 ・指紋センサーで「左」操作を行うには、ポインティング動作設定で「左右」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（左）へスライドさせ、指を離す。	[左] ・[左]を押すのと同じ働きなので、本書では「[左]」と表記します。

操作	動作	表記
右の項目を選択 ・指紋センサーで「右」操作を行うには、ポインティング動作設定で「左右」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（右）へスライドさせ、指を離す。	・を押すのと同じ働きなので、本書では「」と表記します。
上または下の項目を選択 ・指紋センサーで「上下」操作を行うには、ポインティング動作設定で「上下」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（上または下）へスライドさせ、指を離す。	または ・を押すのと同じ働きなので、本書では「」と表記します。例外として、指紋センサーでの操作説明の場合に、と表記します。
左または右の項目を選択 ・指紋センサーで「左右」操作を行うには、ポインティング動作設定で「左右」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（左または右）へスライドさせ、指を離す。	・を押すのと同じ働きなので、本書では「」と表記します。
上下左右の項目を選択 ・指紋センサーで「上下左右」操作を行うには、ポインティング動作設定で「上下」と「左右」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサーの中央部に指を押し当て矢印方向（上下左右いずれか）へスライドさせ、指を離す。	・を押すのと同じ働きなので、本書では「」と表記します。
決定 ・指紋センサーで「決定」操作を行うには、ポインティング動作設定で「決定」を「ON」にする必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサーの中央部に指でタッチする。	・を押すのと同じ働きなので、本書では「」と表記します。

お知らせ

- スクロール操作をすることもできます。「高速スクロールする」（☞ 1-21 ページ）
- 指紋センサー上で指をスライドさせるときは、指を軽く押し当てたまましっかりと動かしてください。指が押し当てられていない場合や、動きが速すぎたり遅すぎたりする場合は、正常に動作しないことがあります。
- 指紋センサー表面にゴミや水分が付着していると、正常に動作しないことがあります。

指紋センサーの操作上の注意

ご注意

- 故障や破損の原因となるので、次のようなことは行わないでください。
  - ・指紋センサーをひっかいたり先のとがったものでつつく
  - ・指紋センサーを爪や硬いもので強くこすってキズをつける
  - ・泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサーをキズつけたり汚したりする
  - ・指紋センサーにシールを貼ったりインクを塗ったりする
- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。静電気が誤動作や故障の原因となることがあります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 指紋センサー表面が濡れているときは、柔らかい布で水分を拭きとってからご使用ください。濡れたままご使用になると誤動作の原因となります。
- 指の状態が次のような場合は、指紋センサーに指で触れたり指をスライドさせたりして画面項目の選択、決定をする動作が困難になることがあります。その場合は、手を洗う、手を拭くなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで改善されることがあります。
  - ・お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  - ・指に脂が多い場合
  - ・手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
  - ・手が極端に乾燥していたり乾燥肌の場合
  - ・指が泥や油などで汚れている場合
  - ・指が濡れたり、汗が付着している場合
- 次のような場合は、指紋センサーに指で触れたり指をスライドさせたりして画面項目の選択、決定をする動作が困難になることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ・指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている場合
  - ・指紋センサー表面に汗などの水分が付着している場合
  - ・指紋センサー表面が結露している場合

指紋センサーの清掃

指紋センサーを清掃する際は、メガネ拭きなどの乾いた柔らかい布で指紋センサー表面の汚れを軽く拭きとってください。

ご注意

- 長期間使用することにより指紋センサー周囲にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないでください。

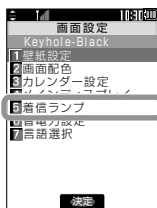
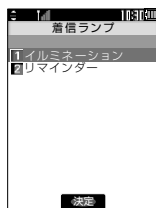
項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法、および指紋センサーを使う方法とがあります。

上下左右ボタンで選択し、決定するには

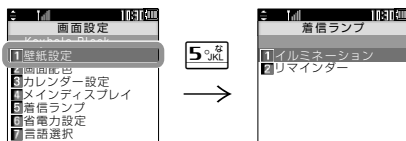
1 上下左右ボタンで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、[上下ボタン] で項目を選択します。例えば「壁紙設定」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、[下ボタン] を４回押します。

2 [決定ボタン] を押す

「着信ランプ」の画面が表示されます。

ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に 1 、 2 、 3 …と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

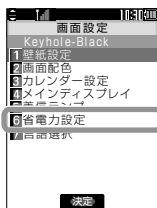
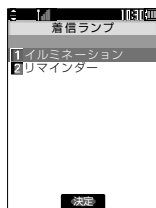
1 ダイヤルボタンを押す

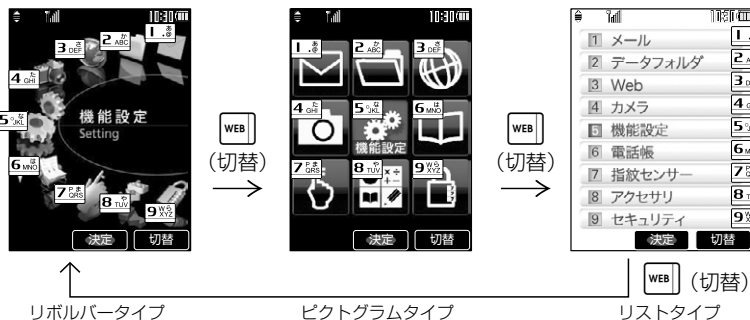
例えば「着信ランプ」を選択する場合は [5] を押します。

指紋センサーで選択し、決定するには

指紋センサーで項目の選択や決定をするには、あらかじめポインティング設定を「ON」に設定し、「上下」、「左右」、「決定」などを「ON」に設定する必要があります。「ポインティング動作を設定する」(☞13-50ページ)

1 指紋センサーで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、[指紋センサー上下] で項目を選択します。例えば「壁紙設定」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、[指紋センサー下] を４回行います。

2 [決定ボタン] を押す

「着信ランプ」の画面が表示されます。

メインメニューについて

待ち受け画面で MENU または ● を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。メインメニューは WEB （切替）を押すことでデザインを切り替えることができます。
メインメニューの項目は ◀▲▼▶ で選択して ● を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。「メインメニュー画面を変更する」(☞13-17ページ)

お知らせ

● メインメニューは MENU または ● で表示しますが、本書の説明では MENU のみの表記で統一しています。

共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

1 [クリア/マナー] を押す

操作の途中で [クリア/マナー] を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。

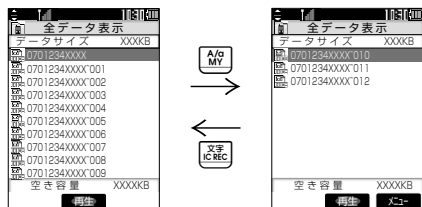
待ち受け画面に戻る

1 [終話] を押す

スクロールする

一覧表示の画面では、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることができます。

1 [A/a MY] または [文字 IC REC] を押す

[A/a MY] で次の一覧を表示することができます。また、[文字 IC REC] で前の一覧に戻ることができます。

高速スクロールする

一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

1 [▲]または[▼]を約1秒以上押したままにする

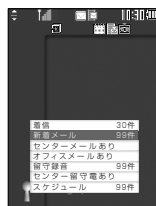
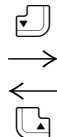
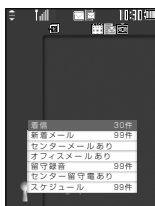
画面上のカーソルが高速にスクロールします。
[A/a MY]、[文字 IC REC]も、ボタンを約1秒押したままにしておくと、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

お知らせ

● 指紋センサーで高速スクロールを行うには、ポインティング動作設定で「長押し」を「ON」に設定する必要があります。「ポインティング動作を設定する」（☞13-50ページ」

ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

1 ポップアップが表示されているとき[▲▼]でポップアップを選択する

2 [●]を押す

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

▶ **ポップアップを消すには**

[クリア マナー]を押します。

▶ **ポップアップを再表示するには**

[●]を約1秒以上押します。

日時を設定する

本電話機の使用開始前に日時を設定してください。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。

1 待ち受け画面で MENU を押す

メインメニューが表示されます。

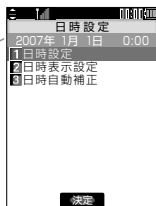
2 [•] を押す

▶「機能設定」が選択されていないときは

[◀][▲][▼][▶] で「機能設定」を選択してから [•] を押してください。

3 [▲][▼] で（日時設定）を選択する

4 [•] を押す

ここに現在の設定内容が表示されます

5 [•] を押す

▶（日時設定）が選択されていないときは

[▲][▼] で（日時設定）を選択してから [•] を押してください。

6 [◀][▶] で年月日の直したい箇所にカーソル（点滅する四角）を移動し、[0] ～ [9] で正しい数字を入力する

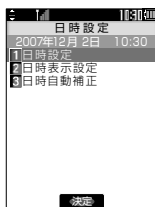
年は、西暦の下２桁だけが変更できます。
１桁の数字を入力するときは、先頭に０をつけて「01」のように入力してください。

7 年月日を直したら、[▲][▼] でカーソルを時刻側に移動する

[▲][▼] で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。

8 [◀][▶] で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、[0] ～ [9] で正しい数字を入力する

9 正しい日時に合わせたら ▭ を押す

完了音が鳴って「設定しました」とメッセージが表示され、日時が設定されます。

10 ☎ を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度です（25℃常温の場合）。
- 時計の表示形式を変えることもできます。「日時表示を設定する」（☞13-8ページ）
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「日時自動補正を設定する」（☞13-8ページ）

microSDカードを取り付ける／取り外す

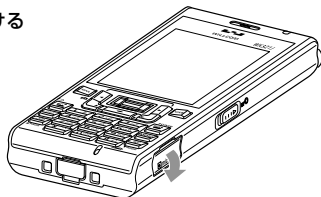
microSDカード（別売り）を本電話機に装着すると記録容量が増え、メール、録音データ、画像など各種のデータをより大量に保存できます。使用できるmicroSDカードのサイズは64Mバイト～ 1Gバイトです。
当社基準において動作確認したmicroSDカードは、Panasonic、東芝、SanDiskです。

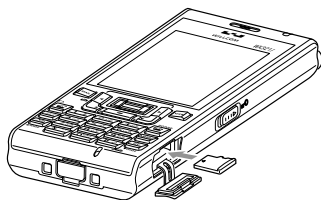
microSDカードを取り付ける

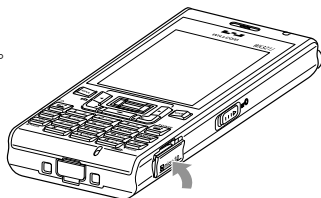
ご注意

- microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず本電話機の電源を切った状態で行ってください。

1 電源が入っているときは、☎を約2秒以上押して電源を切る

2 本電話機のmicroSDカードカバーを開ける

3 microSDカードを差し込む

microSDカードには向きがあるので、図のように正しい向きになっていることを確認し、奥に突き当たるまでゆっくりと差し込んでください。

4 microSDカードカバーを閉じる

「カチ」と音が鳴るまでしっかりと閉じてください。

5 ☎ を約2秒以上押して電源を入れる

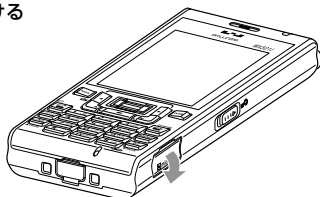
microSDカードが正常に差し込まれていると、待ち受け画面に SD が表示されます。SD が表示されない場合は、電源を切り、microSDカードをいったん抜いて、もう一度差し込んでください。「microSDカードを取り外す」（☞同じページ内です。）

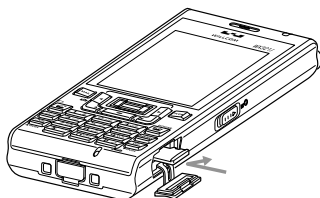
ご注意

- microSDカード以外は差し込まないでください。
- キズや変形のあるmicroSDカードや、ゴミが付着しているmicroSDカードは、差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

microSDカードを取り外す

1 電源が入っているときは、☎ を約2秒以上押して電源を切る

2 本電話機のmicroSDカードカバーを開ける

3 microSDカードを抜き取る

microSDカード押し込み手を離すと、microSDカードが少し飛び出るので、microSDカードをゆっくりとまっすぐに取り出してください。

4 microSDカードカバーを閉じる

2
電話をかける／受ける

電話をかける

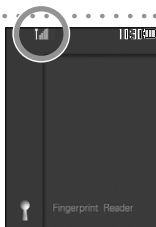
電話をかけるときは次のようにします。

1 アンテナを伸ばす

2 アンテナが表示されていることを確認する

▶ **「圏外」が表示されているときは**

電波が届いていないため、ご利用になれません。電波の届く場所へ移動してからおかけください。

3 0 〜 9 でダイヤルする

▶ **一般電話にかけるには**

市外局番からダイヤルしてください。

▶ **番号を間違えたら**

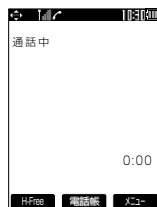
クリア を押すごとに最後の１桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。◀ でカーソルを削除したい箇所に移動し、クリア を押して削除することもできます。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」(☞7-17ページ)

4 ☎ または ━（発信）を押す

電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

5 相手が出たら通話を始める

▶ **つながらないときは**

相手が話し中や電波が届かないところにいるときなどは、電話がつながりません。そのようなときは、☎ を押して電話を切ってください。

▶ **通話中に音量を変えるには**

音量は５段階で調節できます。▲▼ で現在の音量レベルが表示され、続けて ▲▼ を操作するごとに音量が変わります。

6 通話が終了したら ☎ を押す

右下に通話時間が「時：分：秒」の形式で表示されます（１時間未満の場合は「分：秒」のみ）。

お知らせ

- ☎ を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒後に発信が行われます。

電話を受ける

電話がかかってきたときは次のようにします。

1 着信音が鳴る

着信ランプと画面が点灯し、画面に「着信中」と表示されます。電話帳に登録されている番号からの着信の場合、相手の名前が表示されます。

▶ 着信音を止めるには

着信音を止めたいときは、[MAIL]（マナー）または[☎]を押します。その後、[WEB]（拒否）または[☎]を押した場合は着信が切断され、[☎]を押した場合は通話を始めることができます。

2 アンテナを伸ばす

3 [☎]を押して通話する

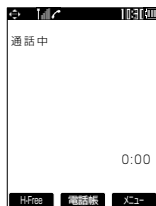
▶ 電話に出ないと

電話があったことを表す「[アイコン]」と「着信○○件」が表示されます。この表示は着信履歴を確認すると消えます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

▶ 通話中に音量を変えるには

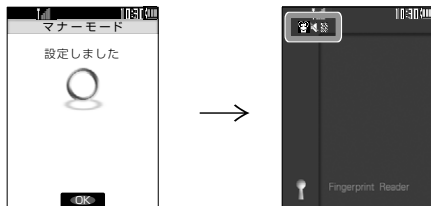
音量は５段階で調節できます。[▲▼]で現在の音量レベルが表示され、続けて[▲▼]を操作するごとに音量が変わります。

4 通話が終わったら[☎]を押す

右下に通話時間が「時：分：秒」の形式で表示されます（１時間未満の場合は「分：秒」のみ）。

マナーモードにする

電車の中や映画館など、着信音を鳴らしたくない場所では本電話機をマナーモードにしましょう。マナーモードにすると、電話がかかってきても着信音は鳴らず、バイブ（振動）で着信を知らせます。

1 待ち受け画面で [クリア/マナー] を約１秒以上押す

「設定しました」とメッセージが表示されたあと待ち受け画面に戻ります。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」「 」「 」が表示されます。

▶ マナーモードを解除するには

待ち受け画面で [クリア/マナー] を約１秒以上押すとマナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

● マナーモードにすると、本電話機の動作は次のようになります（お買い上げ時の設定）。「マナーモードを設定する」（☞7-66ページ）

バイブ	→ON（着信時に振動する）
電話着信音量	→OFF（電話の着信音は鳴らない）
メール着信音量	→OFF（メールの着信音は鳴らない）
目覚まし音量	→OFF（目覚ましのアラームは鳴らない）
スケジュール音量	→OFF（スケジュールのアラームは鳴らない）
効果音	→OFF（キー確認音など効果音はすべて鳴らない）
留守録音	→OFF（留守録音をしない）

記録された電話番号にかける

電話をかけた相手や発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、本電話機に自動的に記録されるので、その電話番号に簡単な操作で電話をかけることができます。

リダイヤルする

前回かけた電話番号にかけます。

1 ☎を２回押す

２回目は、１回目に☎を押してから約19秒以内に押してください。
前回かけた相手に電話がかかります。

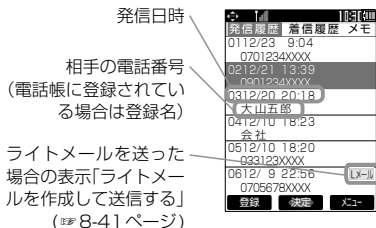
お知らせ

- 記録されている電話番号がない場合は、発信は行われません。

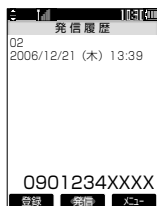
発信履歴の電話番号にかける

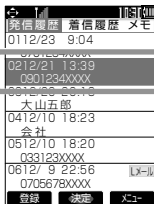
かけた電話の履歴（発信履歴）を表示して、その相手に電話をかけます。

1 待ち受け画面で▶を押す

発信履歴が表示されます。一番上が最新の発信で、下のほうほど古くなります。

2 ▲▼でかける相手を選択する

3 [•]を押す

選択した履歴の内容が表示されます。

4 [•]（発信）または☎を押す

表示されている相手に電話がかかります。

お知らせ

- 発信履歴の詳細については、「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）を参照してください。

着信履歴の電話番号にかける

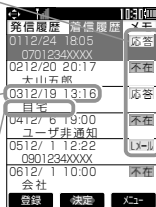
かかってきた電話の履歴（着信履歴）を表示して、その相手に電話をかけます。

1 待ち受け画面で ◂ を押す

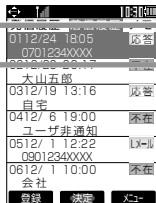
着信履歴が表示されます。一番上が最新の着信で、下のほうほど古くなります。

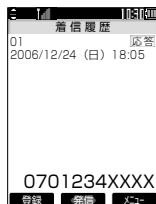
着信時の対応
- 応答：電話に出た
- 不在：電話に出なかった
- 拒否：着信拒否の相手からの電話
- Lメール：ライトメールの着信

着信日時

相手の電話番号（電話帳に登録されている場合は登録名、電話番号非通知の場合は非通知理由）

▶ 着信件数が表示されているときは

待ち受け画面に着信件数が表示されているときは、▭ を押して着信履歴を表示することもできます。

2 ◻◻ でかける相手を選択する

3 ▭ を押す

選択した履歴の内容が表示されます。

4 ▭（発信）または ☎ を押す

表示されている相手に電話がかかります。

お知らせ

- 手順2のあと ☎ を押して発信することもできます。
- 発信履歴の詳細については、「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）を参照してください。

3
電話帳を使う

電話帳に登録する

よく電話をかける相手の電話番号は電話帳に登録しておくと便利です。登録した電話番号には簡単な操作で電話をかけられます。また、登録した電話番号から電話がかかってきたときには相手の名前が画面に表示されるので、誰からの電話かが出る前にわかります。
電話帳にはメールアドレスや住所などさまざまな情報を登録できますが、ここでは名前と電話番号だけを登録してみましょう。「電話帳を利用する」(☞7-45ページ)

1 待ち受け画面で MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 [↑↓] で「電話帳」を選択する

3 [•] を押す

電話帳メニューが表示されます。

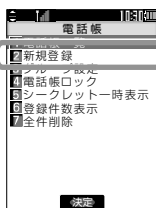
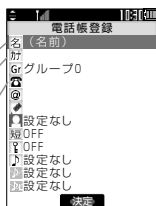
4 [↑↓] で(新規登録)を選択する

5 [•] を押す

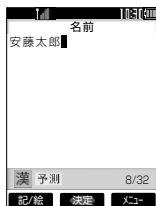
電話帳登録画面が表示されます。

名前
フリガナ
電話番号

電話帳登録
名(名前)
Gr グループ0
設定なし
OFF
OFF
設定なし
設定なし
設定なし
決定

6 もう一度 [•] を押す

名前の入力画面が表示されます。名前欄以外が選択されているときは、[↑↓] で名前欄を選択してから [•] を押します。

7 名前を入力する

名前は次の手順で入力します。苗字だけでも下の名だけでもかまいません。文字の入力方法は次の章で説明します。「文字を入力する」(☞4-4ページ)

①ダイヤルボタンで名前の読みを入力する
(例　あんどうたろう)

押すボタン	表示される文字
1	あ
0 0 0	ん
4 4 4 4 4 ＊	ど
1 1 1	う
4	た
9 9 9 9 9	ろ
1 1 1	う

② [↓] で漢字に変換する
(例　あんどうたろう　→　安藤太郎)

③ [•] で変換結果を確定する
間違って入力した文字は [クリア] で消去することができます。

8 [ボタン] を押す

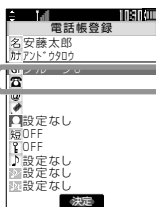
入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

▶ **名前の読みを修正するには**

[左右ボタン] で直したい箇所にカーソルを移動し、[クリアボタン] で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。

9 [ボタン] を押す

入力した名前とフリガナが、電話帳登録画面に表示されます。

10 [上下ボタン] で「☎」を選択する

11 [ボタン] を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

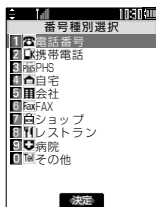
12 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

▶ **電話番号を修正するには**

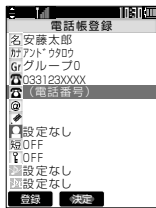
[左右ボタン] で直したい箇所にカーソルを移動し、[クリアボタン] で消去してから、ダイヤルボタンで正しい番号を入力します。

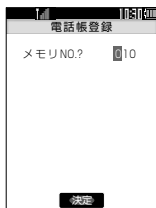
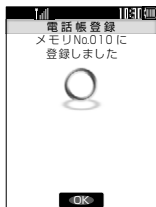
13 [ボタン] を押す

電話番号の種別を選択する画面が表示されます。

14 [上下ボタン] で種別を選択する

15 [ボタン] を押す

入力した電話番号が電話帳登録画面に表示されます。

16 [MAIL] （登録）を押す

メモリNo.の登録画面が表示されます。これはデータの検索などに使う番号です。自分で指定することもできますが、指定しなければ自動的に設定されます。

17 [ボタン] を押す

入力したデータが電話帳に登録され、「メモリNo.XXXに登録しました」と表示されます。

お知らせ

● 登録した電話番号には簡単な操作で電話をかけることができます。「電話帳から電話をかける」（☞3-6ページ）

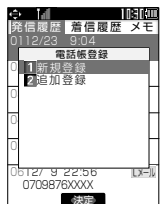
記録された電話番号を登録する

発信履歴や着信履歴に残っている電話番号は、次の手順で電話帳に登録することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」(☞7-51ページ)

1 待ち受け画面で [◀▶] を押し、発信履歴または着信履歴を表示する

[▶] で発信履歴、[◀] で着信履歴が表示されます。

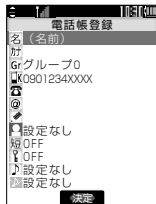
2 [▲▼] で登録する電話番号を選択する

3 [MAIL]（登録）を押す

4 [•] を押す

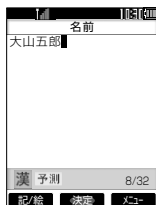
電話番号の種別を選択する画面が表示されます。

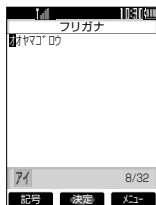
5 [▲▼] で種別を選択する

6 [•] を押す

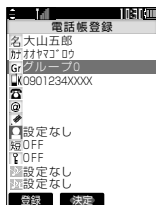
電話帳登録画面が表示されます。「[携帯]」には、手順2で選択した電話番号が表示されます。

7 [•] を押す

名前の入力画面が表示されます。

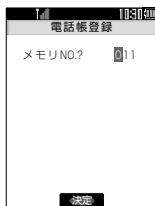
8 名前を入力する

9 [•] を押す

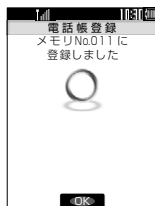
入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

10 [•] を押す

入力した名前とフリガナが電話帳登録画面に表示されます。

11 MAIL（登録）を押す

メモリNo.の登録画面が表示されます。これはデータの検索などに使う番号です。「000」～「999」の3桁の数字を入力します。

▶ **自動でメモリNo.を登録するとき**

メモリNo.を入力せずに、手順12へ進みます。メモリNo.010以降の空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

12 ● を押す

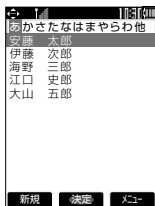
入力したデータが電話帳に登録され、「メモリNo.XXXに登録しました」と表示されます。

電話帳から電話をかける

電話帳に登録した電話番号を表示し、電話をかけることができます。電話帳の表示のしかたには、「あかさたな一覧」「グループ一覧」「メモリNo.一覧」などがありますが、お買い上げ時には「あかさたな一覧」に設定されており、データは名前の五十音順に表示されます。

1　待ち受け画面で を押す

電話帳の登録データが「あかさたな一覧」で表示されます。

2　 で相手先を選択する

 でカーソルが上下に移動します。
 で行（あ行、か行、さ行、…）が切り替わります。

3　 を押す

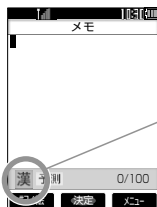
相手先に電話がかかります。

4

文字の入力について

文字の種類を切り替える

入力モードについて

電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。入力モードは文字ボタンで切り替えます。現在の入力モードは画面の左下に表示されます。

入力モード	入力できる文字
漢 漢字モード	ひらがな（あ　い　う　え　お）　漢字
ア カタカナモード（全角）	全角カタカナ（ア　イ　ウ　エ　オ）
ｱｲ カタカナモード（半角）	半角カタカナ（ｱｲｳｴｵ）
Ａ 英字モード（全角）	全角英字（Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ）
AB 英字モード（半角）	半角英字（ABCDE）
1 数字モード	半角数字（12345）

お知らせ

- 漢字は、漢字モードで入力したひらがなを変換して入力します。
- 全角と半角は、別の文字として扱われます。例えば全角カタカナの「ア」と半角カタカナの「ｱ」は別の文字になります。
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Ｅメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

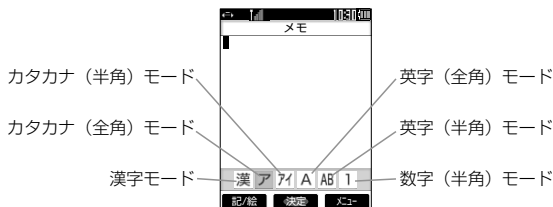
入力モードを切り替える

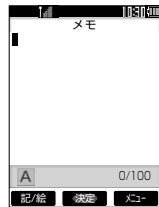
入力する文字の種類を切り替える方法を説明します。ここでは電話帳のメモの画面を例にしますが、他の文字入力画面でも操作は同じです。

1 文字を入力する画面を表示する

左下に入力モードが表示されます。

2 [文字] を押して入力モードを選択する

[文字] を押すごとに入力モードが切り替わります。[◀] で左の入力モード、[▶] で右の入力モードを選択することもできます。
数字（半角）モードを表示しているときに、[文字] または [▶] で漢字モードに戻ります。また、漢字モードを表示しているときに、[◀] で数字（半角）モードが表示されます。

3 [●] を押す

入力モードが確定し、その入力モードの文字が入力できるようになります。

文字を入力する

入力モードを選択したら、実際に文字を入力します。文字を入力するには［0］～［9］［＊］［#］のダイヤルボタンを使用します。ここでは例として電話帳のメモに「あおぞら町123　コーポAbc」と入力してみます。

ひらがなや漢字を入力する

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。ダイヤルボタンに「あ行」から「わ行」までのひらがなが割り振られており、ボタンを押す回数により入力される文字が切り替わります。漢字は、まずその読みをひらがなで入力し、それから漢字に変換します。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
［1］	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
［2］	か	き	く	け	こ					
［3］	さ	し	す	せ	そ					
［4］	た	ち	つ	て	と	っ				
［5］	な	に	ぬ	ね	の					
［6］	は	ひ	ふ	へ	ほ					
［7］	ま	み	む	め	も					
［8］	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
［9］	ら	り	る	れ	ろ					
［0］	わ	を	ん	ー	、	。	？	！	～	全角スペース
［#］	改行									
［＊］	゛	゜								

お知らせ

- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）のあとに［＊］を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（は行）のあとに［＊］を2回押して入力します。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。例えば［2］を6回押すと、1回目を押したときと同じく「か」が入力されます。
- ダイヤルボタンを押したあとに［☎］を押すと、表の最後から逆順に進みます。

1 漢字モードにする

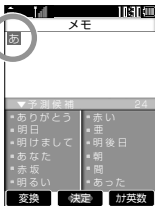
「文字の種類を切り替える」(☞4-2ページ)
「漢」が表示されているときはすでに漢字モードになっているので、入力モードを切り替える必要はありません。

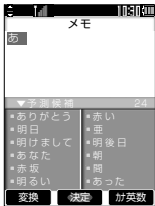
予測変換機能が「ON」の場合の表示

▶ 予測変換をONにするには

以下の操作では、入力しようとしている言葉を自動的に予測して語句の候補を表示する予測変換機能を使用します。お買い上げ時は予測変換が「ON」に設定されていますが、画面に「 予測 」が表示されていない場合は、予測変換が「OFF」になっています。次のようにして「ON」に設定してください。「予測変換を利用する（予測変換）」（☞ 7-21ページ）
① WEB（メニュー）を押します
② WEB（次頁）を押します
③ 3（予測変換ON）を押します

2 1 を押して「あ」を入力する

「あ」が表示されます。お買い上げ時は予測変換機能が「ON」に設定されているので、入力しようとしている言葉が自動的に予測され、候補の一覧が表示されます。

3 ▸ でカーソルを右に移動する

カーソルが1文字分だけ右に移動します。次に入力する「お」も 1 を使いますが、このように同じボタンで入力する文字が続くときは、▸ でカーソルを移動します。

▶ 予測候補を選択するには

▾ を押します。カーソルが予測候補に移動するので、▴▾ で語句を選択し、● を押します。

4 1 を5回押して「お」を入力する

▶ ボタンを押しすぎたときは

誤ってボタンを6回以上押してしまったときは、☎ を押して逆順に戻っていくことができます。または、そのままボタンを繰り返し押していってください。11回目で最初の文字に戻り、さらに繰り返し押すことで「お」が表示されます。

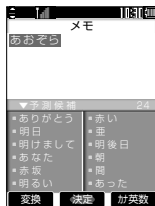
1　2　3　4　(5)　6　7　8　9　10回目

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

5 3 を5回押して「そ」を入力する

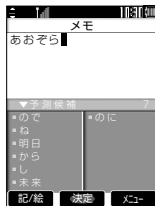
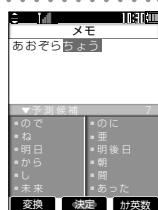
6 ＊ を押して「そ」に濁点を付ける

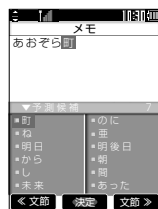
「ぞ」が入力されます。このように、濁点・半濁点を付けるときは、まず濁点・半濁点なしの文字を入力し､次に ＊ を1回（濁点）または2回（半濁点）押します。

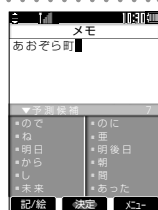
7 9 を押して「ら」を入力する

8 ● を押す

入力された「あおぞら」が確定されます。

9 4 を2回押して「ち」を入力する

10 8 を6回押して「ょ」を入力する

11 [1] を3回押して「う」を入力する

12 で予測候補から「町」を選択する

で予測候補にカーソルが移動し、を押すごとにカーソルが次の候補へ移動します。でカーソルを前の候補に戻すこともできます。

13 を押す

「町」が入力されます。

お知らせ

- 入力を終えるときは を押しますが、ここでは「あおぞら町123　コーポAbc」と入力するので、引き続き入力操作を行います。

数字を入力する

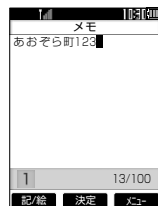
数字を入力するときは、数字モードに切り替えます。ここでは前項の続きとして「あおぞら町123　コーポAbc」の「123」の部分を入力します。

1 [文字] で「1」を選択して を押す

2 [1] [2] [3] を押す

「123」が入力されます。

▶ **「-」（ハイフン）を入力するには**

住所や郵便番号で使われる「-」を入力するときは、英字モードで [1] を6回押します。「英字を入力する（英字モード）」（☞7-26ページ）

▶ **文字を削除するには**

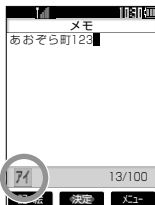
間違って入力した文字を削除するには、[クリア] を押します。カーソル位置の文字が削除されます。でカーソルを移動してから [クリア] を押して削除することもできます。

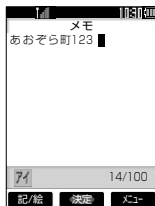
お知らせ

- 入力を終えるときは を押しますが、ここでは「あおぞら町123　コーポAbc」と入力するので、引き続き入力操作を行います。

カタカナを入力する

カタカナを入力するときは、カタカナモード（全角）またはカタカナモード（半角）に切り替えます。カタカナモードでのダイヤルボタンへの文字の割り当ては、ひらがなの場合と同じで、「ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）」（☞7-20ページ）の表をカタカナに置き換えたものになります。
ここでは前項の続きとして「あおぞら町123　コーポAbc」の「コーポ」の部分を半角のカタカナで入力します。

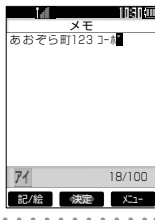
1 文字 で「ｱｲ」を選択して ● を押す

2 ▶ でスペースを入力する

「あおぞら町123」と「コーポAbc」の間を空けるため、スペース（空白文字）を入力します。スペースは、カーソルが文字列の最後にあるときに ▶ を押すことで入力されます。

3 2 を5回押して「コ」を入力する

4 0 を4回押して「ー」を入力する

5 6 を5回押して「ホ」を入力する

6 ＊ を2回押して「ホ」に半濁点を付ける

「ポ」が入力されます。

お知らせ

- この例は電話帳のメモなので半角のカタカナが入力できますが、Eメールでは半角カタカナは入力できません。
- 漢字モードでカタカナを入力することもできます。漢字モードの予測候補にカタカナの言葉も表示されるので、それを選択して入力してください。

英字を入力する

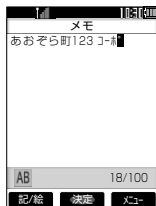
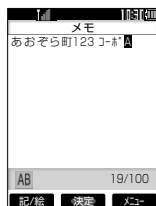
英字（アルファベット）を入力するときは、英字モード（全角）または英字モード（半角）に切り替えます。

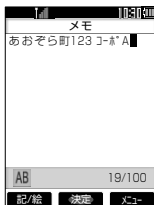
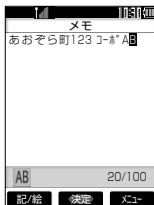
ボタン	ボタンを押したときに入力される文字										
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目
1	@	.	,	/	:	-	~	_	+	^	1
2	A	B	C	a	b	c	2				
3	D	E	F	d	e	f	3				
4	G	H	I	g	h	i	4				
5	J	K	L	j	k	l	5				
6	M	N	O	m	n	o	6				
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7		
8	T	U	V	t	u	v	8				
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9		
0	?	!	;	`	0	スペース					
#	改行										
*	英字モード（半角）の場合は、Eメールのアドレス用の文字列（http:// など）										

お知らせ

- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。例えば 2 を8回押すと、1回目を押したときと同じく「A」が入力されます。
- 英字の大文字と小文字は、A/a で切り替えます。
- 英字モードが小文字モードの場合、表の網かけの文字は入力できません。
- ダイヤルボタンを押したあとに を押すと、表の最後から逆順に進みます。

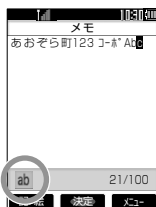
ここでは前項の続きとして「あおぞら町123コーポAbc」の「Abc」の部分を半角の英字で入力します。

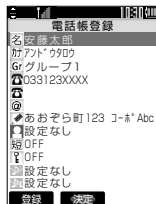
1 文字 で「AB」を選択して を押す

2 2 を押して「A」を入力する

3 ▸ でカーソルを右に移動する

次に入力する「b」も 2ABC を使うので、カーソルを1文字分だけ右に移動しておきます。

4 2ABC を2回押して「B」を入力する

5 A/a MY を押して「B」を「b」に変換する

A/a MY を押すと、カーソル位置の英字が大文字から小文字に変換され、入力モードも小文字の英字モードになります。

6 ▸ でカーソルを右に移動する

7 2ABC を3回押して「c」を入力する

8 ▭ を押す

入力した情報が登録されます。

お知らせ

- 文字入力については7章でさらに詳しく解説します。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

5

メールを利用する

自分のメールアドレスを設定する

Eメールを利用するには、「オンラインサインアップ」という手続きで自分のEメールアドレスを取得する必要があります。オンラインサインアップ後は、すぐにEメールが利用できます。

1　待ち受け画面で [MAIL] を押す

メールメニューが表示されます。

2　[▲▼] で「オンラインサインアップ」を選択する

3　[●] を押す

オンラインサインアップ画面が表示されます。

4　[▲▼] で「接続」を選択する

5　[●] を押す

ウィルコムのサーバーに接続されます。

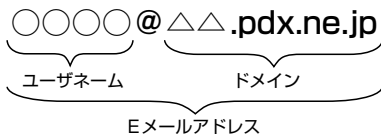
6　画面の指示に従って、操作を行う

オンラインサインアップが完了すると、すぐにEメールが使用できます。

▶ Eメールアドレスについて

Eメールアドレスは、「ユーザネーム」と「ドメイン」で構成されています。オンラインサインアップでは、Eメールアドレスのユーザネームを設定します。ドメインは、センターによって自動的に設定されます。

○○○○@△△.pdx.ne.jp

ユーザネーム　ドメイン

Eメールアドレス

ユーザネームは、次の規則に従って設定してください。

- 使用できる文字は、半角英数字、「-」(ハイフン)、「_」(アンダーバー)のみ
- 文字数は4～20文字
- 先頭は英字にする
- 英字は大文字で入力しても小文字で登録される

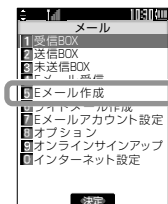
お知らせ

- オンラインサインアップで取得したEメールアドレスは、メモしておきましょう。忘れた場合はオンラインサインアップの画面で確認することもできます。
- Eメールのほかに、本電話機ではライトメールというメール機能も使用できます。「ライトメールを使用する」(☞8-41ページ)

Eメールを送る

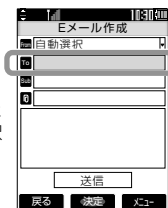
新規にEメールを作成して送信します。

1 待ち受け画面で MAIL を押す

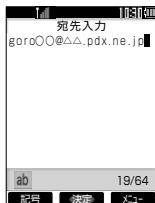
2 で「Eメール作成」を選択する

3 を押す

Eメール作成画面が表示されます。入力が必要なのは宛先（To）、件名（Sub）、本文の3箇所です。

4 To欄が選択されていることを確認し、を押す

To欄が選択されていないときは、でTo欄を選択してからを押します。

アドレス編集画面が表示されます。

5 ダイヤルボタンで宛先のEメールアドレスを入力する

いずれかのダイヤルボタンを押すと、宛先入力画面が表示されます。半角の英数字でEメールアドレスを入力してください。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

▶ **Eメールアドレスの便利な入力方法**

電話帳からEメールアドレスを指定することができます。「Eメールを作成送信する」（☞8-8ページ）

6 を押す

アドレス編集画面に戻ります。

7 MAIL（戻る）を押す

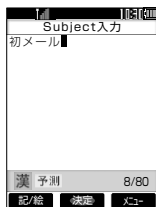
Eメール作成画面に戻ります。

8 Sub欄が選択されていることを確認し、を押す

Sub欄が選択されていないときは、でSub欄を選択してからを押します。

件名入力画面が表示されます。

9 **ダイヤルボタンで件名を入力する**

全角40文字(半角80文字)まで入力できます。ただし、半角カタカナは使用できません。「文字を入力する」(☞7-19ページ)

10 **[ボタン]を押す**

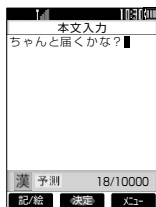
Eメール作成画面に戻ります。

11 **本文欄が選択されていることを確認し、[ボタン]を押す**

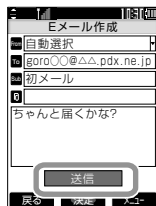
本文欄が選択されていないときは、[ボタン]で本文欄を選択してから[ボタン]を押します。

本文入力画面が表示されます。

12 **ダイヤルボタンで本文を入力する**

全角5000文字(半角10000文字)まで入力できます。ただし、半角カタカナは使用できません。「文字を入力する」(☞7-19ページ)

13 **[ボタン]を押す**

Eメール作成画面に戻ります。

14 **[ボタン]で「送信」を選択する**

15 **[ボタン]を押す**

Eメールが送信されます。

お知らせ

- 画像やサウンドデータなどをメールに添付して送信することができます。「ファイルを添付する」(☞8-10ページ)
- 一度に複数の相手にメールを送信することができます。「宛先(To)を入力する」(☞8-9ページ)

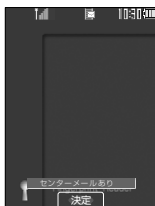
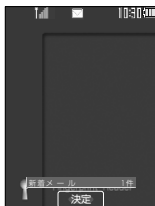
メールを受け取る

オンラインサインアップで取得したメールアドレスの場合は、メールは自動的に受信することができます。

1 Eメールを自動的に受信する

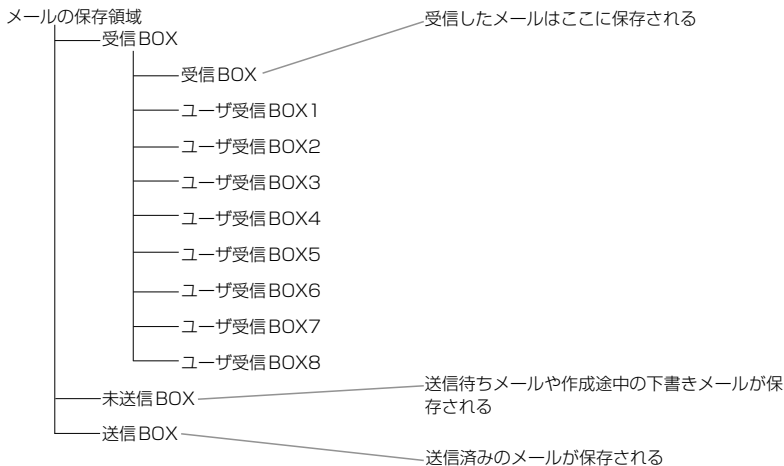
受信が終わると、待ち受け画面に受信したメール件数が「新着メール　○○件」と表示されます。「メールを読む」（☞5-6ページ）

▶ **待ち受け画面に「センターメールあり」と表示されているときは**

自動受信時に圏外になってしまったなどの理由でEメールの受信に失敗した場合は、「センターメールあり」と画面に表示されます。このときは、［●］を押すと、Eメールの受信が開始されます。

お知らせ

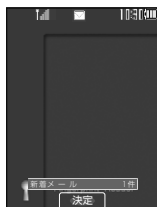
- 自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。お買い上げ時の設定は「ON」です。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞8-33ページ）

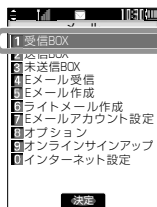
メールを読む

本電話機では、メールの保存領域として、受信BOX、未送信BOX、送信BOXという３種類のフォルダが用意されており、さらに受信BOX内は「受信BOX」と「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」というフォルダに分かれています。
お買い上げ時の設定では、受信したメールは受信BOXの中の「受信BOX」に保存されるので、メールを読むにはこの「受信BOX」を表示します。

1 待ち受け画面で [MAIL] を押す

メールメニューが表示されます。

▶ **待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

まだ読んでいないメールが受信BOXにある場合は、待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されます。この場合は、[●] を押すと新着メールの一覧が表示されるので、手順4へ進んでください。

2 「受信BOX」が選択されていることを確認し、[●] を押す

「受信BOX」が選択されていないときは、[▲▼] で「受信BOX」を選択してから [●] を押します。
受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。

3 **「受信BOX」が選択されていることを確認し、 を押す**

「受信BOX」が選択されていないときは、 で「受信BOX」を選択し、 を押します。
「受信BOX」内のメール一覧が表示されます。

カッコ内の数字は、未読メールの件数

4 **受信した新着メールのうち、内容を読みたいメールを で選択する**

メールの送信日時

差出人のメールアドレス（電話帳に登録してある相手の場合は登録名が表示される）

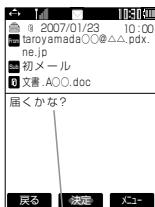
メールの件名

5 **を押す**

メールの本文が表示されます。この画面をメール詳細画面といいます。メールの本文が画面に表示しきれていないときは、 で本文の続きを表示します。 で元に戻すことができます。

メールの本文

▶ **メールを削除するには**

（メニュー）を押し、「削除」を選択します。確認のメッセージが表示されるので、 で「Yes」を選択し、 を押します。

お知らせ

● メールの返信を送る方法や添付ファイルを表示する方法については、「受信メールを表示する」（☞8-16ページ）を参照してください。

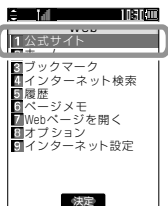
6
インターネットを利用する

インターネットの利用を開始する／終了する

本電話機は、インターネットの標準的な通信ルールに対応したブラウザ（Webページ閲覧ソフト）を搭載しています。お買い上げ後オンラインサインアップを行えば、すぐにインターネットに接続して、Webページを見ることができます。「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）
また、お客様が現在契約しているプロバイダを利用してインターネットにアクセスすることもできます。

公式サイトを表示する

ウィルコムでは、さまざまな情報を集めた公式サイト「CLUB AIR-EDGE」をご提供しています。
最初はこの「CLUB AIR-EDGE」のサイトにアクセスし、そこから他のWebページに接続してみましょう。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

Webメニューが表示されます。

2 「公式サイト」が選択された状態で、[●] を押す

「CLUB AIR-EDGE」への接続が開始されます。

お知らせ

- インターネットに接続して公式サイトを表示するには、オンラインサインアップを行う必要があります。「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）

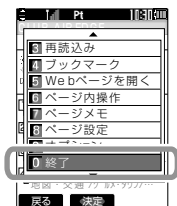
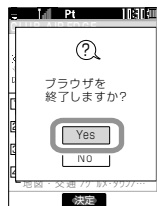
インターネットの利用を終了する

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

ブラウザメニューが表示されます。

2 [▼] でメニューを下にスクロールする

3 [▲▼] で「終了」を選択する

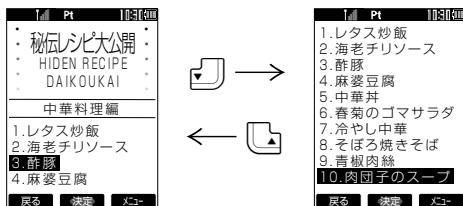
4 [●] を押す

5 [▲] で「Yes」を選択する

6 [●] を押す

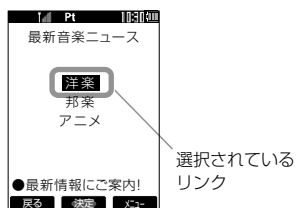
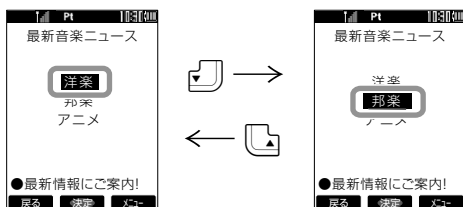
インターネットの利用が終了し、Webメニュー画面に戻ります。

Webページの基本的な操作

他のWebページに移動することや、Webページ内で項目を選択するなど、インターネットを使いこなすための基本的な操作を覚えましょう。
操作は表示モードによって異なりますが、ここではお買い上げ時の設定（ケータイモード）の場合について説明します。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

表示範囲を移動する

Webページが縦に長く、１画面に収まらないときは、 で表示範囲を上下に移動（スクロール）すると続きを表示することができます。

リンク先のWebページを表示する

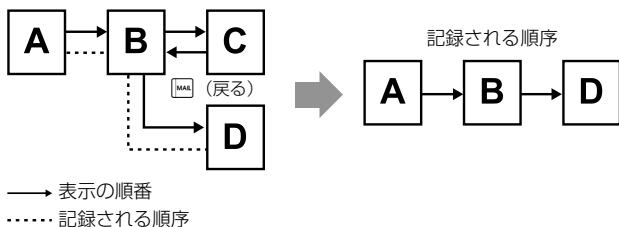
リンクとは、Webページ内に表示されている、他のWebページへのジャンプ先のことです。このリンクを選択して、他のWebページを表示することができます。
Webページ内で選択されているリンクは、反転して表示されます。この反転部分は、 で移動することができます。

1 で目的のリンクに反転部分を移動する

2 を押す

リンク先のWebページが表示されます。

前のページに戻る／次のページに進む

Webページをどのような順序で表示したかは、最新の50件分が自動的に記録されています。この記録を利用して、前後のページに移動することができます。

▶ **記録順序**

図のように、A→B→Cの順番にWebページを表示させ、MAIL（戻る）を押してBに戻ったあとDを表示させたときは、Cは消去されてA→B→Dの経路が記録されます。

ひとつ前のページに戻る

1 Webページの表示中に MAIL（戻る）を押す

記録されている、ひとつ前のページに戻ります。

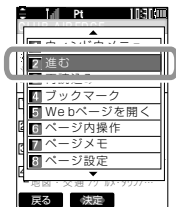
お知らせ

● ケータイモードでは、◀でひとつ前のページに戻ることもできます。

次のページに進む

1 Webページの表示中に WEB（メニュー）を押す

ブラウザメニューが表示されます。

2 ▲▼で「進む」を選択する

3 ● を押す

記録されている、次のページに進みます。

お知らせ

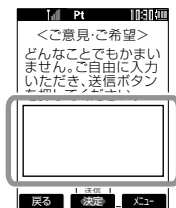
● ケータイモードでは、▶で次のページに戻ることもできます。

Webページでの入力と選択

Webページの中には、Webサーバに情報を送信するためのボックスやボタンが表示されているものがあります。このボックスやボタンを選択して、テキストを入力したり、項目を選択したりすることができます。
Webページ内で選択されているボックスやボタンは、枠で囲まれて表示されます。この枠は[上下キー]で移動できます。

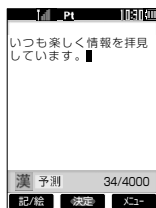
テキストボックス

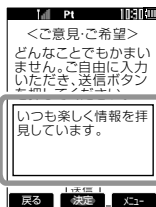
テキストボックスは、任意の文字の入力が必要な場合に使用します。

1 [上下キー]で目的のテキストボックスに枠を移動する

2 [センターキー]を押す

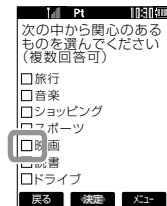
文字入力のための画面が表示されます。

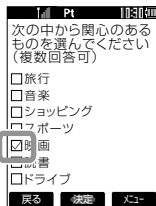
3 文字を入力する

「文字を入力する」(☞7-19ページ)

4 [センターキー]を押す

テキストボックスに文字が表示されます。
パスワードなどを入力したときは「****」と表示されることもあります。

チェックボックス

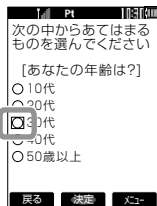
チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択する場合に使用します。

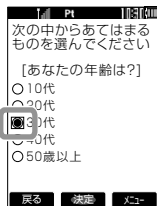
1 [上下キー]で目的のチェックボックスに枠を移動する

2 [センターキー]を押す

チェックボックスの表示が「☑」となり、設定がONになります。
OFFにするには、もう一度同じ操作を繰り返します。

3 他のチェックボックスをONにするときは、手順1～2を繰り返す

ラジオボタン

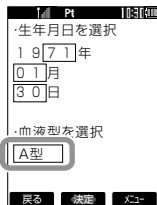
ラジオボタンは、選択肢の中から１つだけを選択する場合に使用します。

1 で目的のラジオボタンに枠を移動する

2 を押す

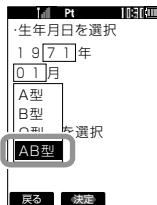
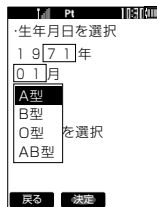
ラジオボタンの表示が「○」から「◉」になり、設定がONになります。

プルダウンメニュー

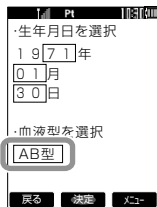
プルダウンメニューは、引き下げ形式の項目一覧から１つ選択する場合に使用します。

1 で目的のプルダウンメニューに枠を移動する

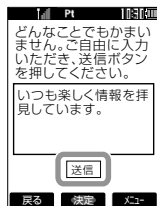
2 を押す

プルダウンメニューが開きます。

3 で項目を選択する

一度にすべての項目が表示されないときは、で項目一覧をスクロールしてから選択します。
選択した項目は反転表示されます。

4 を押す

選択した項目の内容が、枠内に表示されます。

ボタン

ボタンは、データの送信などの機能を実行する場合に使用します。

1 で目的のボタンに枠を移動する

2 を押す

ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

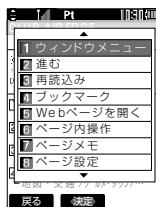
ホームページを利用する

最も頻繁に閲覧するWebページは、ホームページとして設定しておくと便利です。ホームページは、待ち受け画面から簡単な操作ですぐに表示させることができます。

ホームページを設定する

ここでは、表示中のWebページをホームページに設定する方法を説明します。

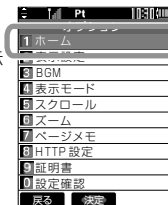
1 **ホームページとして設定したいWebページを表示させる**

2 **［WEB］（メニュー）を押す**

ブラウザメニューが表示されます。

3 **［↓］でメニューを下にスクロールする**

4 **［↑↓］で「オプション」を選択する**

5 **［●］を押す**

オプションメニューが表示されます。

6 **「ホーム」が選択された状態で、［●］を押す**

ホームメニューが表示されます。

7 **［↑↓］で「ホームに設定」を選択する**

8 **［●］を押す**

表示中のWebページが、ホームページに設定されます。

ホームページを表示する

待ち受け画面から、設定したホームページを表示します。

1　待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

Webメニューが表示されます。

2　[▲▼] で「ホーム」を選択する

3　[•] を押す

ホームページとして設定されているWebページが表示されます。

お知らせ

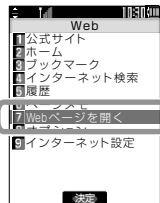
- [WEB] を約1秒以上押してホームページを表示することもできます。

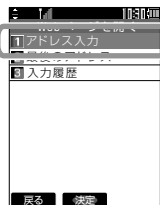
アドレスを指定して接続する

アドレスとは、インターネット上に存在するWebページの場所を示すもので、Webサーバと呼ばれるコンピュータの名前にあたるものです。URLとも呼ばれます。
このアドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続することができます。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

Webメニューが表示されます。
Webページの表示中に、アドレスを指定して他のWebページに移動することもできます。「アドレスを入力してWebページに接続する」(☞9-7ページ)

2 [▲▼] で「Webページを開く」を選択する

3 [●] を押す

Webページを開くメニューが表示されます。

4 「アドレス入力」が選択された状態で、[●] を押す

アドレス入力画面が表示されます。

5 アドレスを入力する

「http://」はあらかじめ入力されているので、それ以降のアドレスを入力します。
URLは「http://」を含めて半角で200文字まで入力できます。

6 [●] を押す

入力したアドレスのWebページが表示されます。

ブックマークを利用する

ブックマークとは、本の「しおり」のような機能です。Webページをブックマークとして登録しておくと、簡単な操作で接続することができます。
ブックマークは、Webページの内容によって、10のフォルダに分類して登録しておくことができます。1つのフォルダにつき各20件、合計200件まで登録できます。

ブックマークに登録する

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

ブラウザメニューが表示されます。

2 [▲▼] で「ブックマーク」を選択する

3 [●] を押す

ブックマークメニューが表示されます。

4 「ブックマーク登録」が選択された状態で、[●] を押す

ブックマークフォルダの一覧が表示されます。

5 [▲▼] で登録先のフォルダを選択する

6 [●] を押す

表示中のWebページがブックマークとして登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

ブックマークから接続する

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

Webメニューが表示されます。
Webページの表示中に、ブックマークから他のWebページに移動することもできます。「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞9-14ページ)

2 [▲▼] で「ブックマーク」を選択する

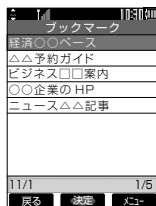
3 [●] を押す

ブックマークフォルダの一覧が表示されます。

4 [▲▼] で目的のブックマークが登録されているフォルダを選択する

[▼] でブックマークフォルダの一覧を下にスクロールすることができます。

5 [●] を押す

選択したブックマークフォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

6 [▲▼] で目的のブックマークを選択する

7 [●] を押す

選択したブックマークのWebページに接続します。

機能解説編

7 基本機能

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

・警察……………………………………110
・消防・救急…………………………119
・海上保安庁…………………………118
・NTT災害伝言ダイヤル……………171*[1]
・時報……………………………………117
・天気予報……………………………177
・番号案内……………………………104*[2]
・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）*[3]
・ポケットベル呼び出し
・フリーダイヤル*[4]

*[1] 詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。
*[2] PHS電話番号はご案内できません。
*[3] 手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける」（ウィルコム国際電話サービス）（☞13-94ページ）
*[4]「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
・PHSからの通報であることを伝えてください。
・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

・電報……………………………………115
・NTTテレホンセンター……………116*[5]
・コレクトコール……………………106
・ダイヤルQ²
・ナビダイヤル
・衛星船舶電話

*[5] ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

1 アンテナを伸ばす

2 画面にアンテナが表示されていることを確認する

▶「圏外」が表示されているときは

電波が届いていないため、ご利用になれません。アンテナの表示される場所へ移動してお かけください。

3 0 ～ 9 でダイヤルする

▶ **一般電話にかけるには**

市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

▶ **番号を間違えたら**

クリア を押すごとに最後の１桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。◀ でカーソルを削除したい箇所に移動し、クリア を押して削除することもできます。
◀ のあと クリア を約１秒以上押すことで、カーソル以降の番号をすべて削除することもできます。

▶ **電話をかけずに待ち受け画面に戻るには**

クリア を約１秒以上押すか、☎ を押します。

4 ☎ または ━ （発信）を押す

電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

5 相手が出たら通話する

相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、右下に通話時間が表示されます。

▶ **つながらないときは**

「ツーツーツー」と聞こえるときは、相手が話し中、電波が届かない場所にいる、回線が混雑しているなどの理由で電話をつなぐことができない状態にあります。そのようなときは、☎ を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけなおしてください。

▶ **通話中に音量を変えるには**

音量は５段階で調節できます。▲▼ で現在の音量レベルが表示され、続けて ▲▼ を操作するごとに音量が変わります。

▶ **相手が出たことを振動で知らせるようにするには**

相手が電話に出たことを電話機の振動でお知らせするように設定することもできます。「相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）」（☞7-73ページ）

6 通話が終了したら ☎ を押す

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- ☎ を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒経つか、☎ または ━ （発信）を押すと発信が行われます。
- ISDN回線で端末を指定するときに使用するサブアドレスは ＊ に続けて入力します。「サブアドレスを設定する」（☞13-15ページ）
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなるので、聞き取りにくかったり途切れたりすることがあります。
- 移動しながら通話していると、「ポポ　ポポ」と鳴ることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わるハンドオーバの通知音です。ハンドオーバの際は一時的に通話が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる直前に「ピーピー　ピーピー」という圏外警告音でお知らせするよう設定することもできます。「圏外／充電警告音を設定する（効果音）」（☞7-71ページ）
- 待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。「入力した電話番号を登録する」（☞7-52ページ）

より強い電波を探す（パワーサーチ）

いま検知している公衆基地局よりも電波の強い公衆基地局を探します。パワーサーチにより、さらに安定したクリアな通話ができます。

1 待ち受け時または通話時に [A/a MY] を約1秒以上押す

「パワーサーチ」という文字が点滅します。
公衆基地局が見つかると「パワーサーチOK!」と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 待ち受け時はパワーサーチに成功したときに成功音が鳴ります。
- 通話時は3回までパワーサーチを実行することができます。この場合、[WEB]（メニュー）を押し、[WEB]（次頁）を押し、[1]（パワーサーチ）を押して実行することもできます。
- パワーサーチを行っても状態が変わらないことがあります。
- パワーサーチを行っても、電波の状態が悪い場所などではうまく公衆基地局を探せず圏外になることもあります。
- パワーサーチは公衆モード、公衆／オフィスモード、公衆／グループモードでのみ行えます。

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるとき、電話番号の前に「184」を付けると相手に番号が通知されず、「186」を付けると番号が通知されます。これらの番号は以下の操作により自動的に入力することができます。

1 [0] ～ [9] で相手の電話番号を入力する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（184）または [3]（186）を押す

電話番号を通知しないときは [2]（184）、通知するときは [3]（186）を押してください。
「184」または「186」が電話番号の先頭に入力されます。

4 [発信キー] または [ソフトキー]（発信）を押す

電話がかかります。

お知らせ

- 「184」「186」のどちらも付加しなかった場合は、番号通知設定の設定内容に従います。「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞11-2ページ）
- 本電話機の番号通知設定が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号が通知されません。また、番号通知設定が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号が通知されます。
- 番号を通知した場合でも、発信者番号を表示する機能が相手の電話機にないときは発信者番号は表示されません。

記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、通話中に入力した番号メモを使用して電話をかけることもできます。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞ 7-17ページ）
電話帳から電話をかける方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞ 7-52ページ）を参照してください。

記録される内容

種類	内容
発信履歴	本電話機からかけた電話の記録です。電話番号とかけた日時が 30 件まで記録されます。 発信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 Lメール：ライトメールの発信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 8-41 ページ） 分計：分計発信「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞ 13-95 ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞ 7-12 ページ） 通録：未再生の通話録音が microSD カードに保存されている 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている 通録：再生済みの通話録音が microSD カードに保存されている
着信履歴	本電話機にかかってきた電話の記録です。発信者番号通知を設定している相手からの場合は、電話番号と日時が記録されます。発信者番号非通知の場合は電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「電話を受ける（着信）」（☞ 7-9 ページ） 着信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 応答：電話に出た 不在：電話に出なかった 拒否：着信拒否の相手からの電話「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（☞ 11-4 ページ） Lメール：ライトメールの着信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 8-41 ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞ 7-12 ページ） 通録：未再生の通話録音が microSD カードに保存されている 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている 通録：再生済みの通話録音が microSD カードに保存されている 留録：未再生の留守録音が本体に保存されている「留守録音を設定する」（☞ 7-74 ページ） 留録：未再生の留守録音が microSD カードに保存されている 留録：再生済みの留守録音が本体に保存されている 留録：再生済みの留守録音が microSD カードに保存されている
番号メモ	通話中に番号メモとして入力した電話番号です。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞ 7-17 ページ）

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発信履歴／着信履歴／番号メモのデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 電話帳に登録してある電話番号の場合は、相手の名前も表示されます。ただし、シークレットが「ON」で電話帳に登録されている場合は「ユーザ非通知」と表示されます。また、電話帳ロックが「ON」の場合は、名前は表示されません。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）、「電話帳をロックする（電話帳ロック）」（☞7-59ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号は、電話帳に登録することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞7-51ページ）

発信履歴／着信履歴／番号メモで電話をかける

発信履歴／着信履歴／番号メモを表示して、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 待ち受け画面で [◂▸] を押す

[▸] で発信履歴、[◂] で着信履歴が表示されます。

2 [◂▸] で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択する

[▸] で「発信履歴」→「着信履歴」→「番号メモ」と画面が切り替わり、[◂] で逆の順番に画面が切り替わります。

3 [▴▾] で相手を選択し、[発信] を押す

表示されている相手に電話がかかります。

▶ **シークレットの電話番号を一時的に表示するには**

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [8]（シークレット一時表示）を押します。指紋認証または暗証番号認証を行うと、シークレット設定が「ON」で登録されている電話番号が一時的に表示されます。

お知らせ

- 手順3で [▴▾] で相手を選択し、[•] を押すと、より詳しい情報が表示されます。
- 待ち受け画面に「着信　○○件」が表示されているときは、[•] を押して着信履歴を表示することもできます。
- 電話帳に登録してある相手の場合、登録してある電話番号を変更すると、履歴の電話番号にも変更が反映されます。
- 通話中も手順1、2の操作で発信履歴／着信履歴／番号メモを参照することができます。

■リダイヤルする

待ち受け画面で[発信キー]を2回押すことで、前回かけた相手に電話をかけることができます。

発信履歴／着信履歴／番号メモの内容を削除する

発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号を1件ずつ削除します。全件をまとめて削除することもできます。

■1件だけ削除する

1　待ち受け画面で[◀▶]を押す

[▶]で発信履歴、[◀]で着信履歴が表示されます。

2　[◀▶]で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択する

3　[▲▼]で削除するデータを選択する

4　[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す

5　[1]（一件削除）を押す

6　[▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

■選択して削除する

1　待ち受け画面で[◀▶]を押す

[▶]で発信履歴、[◀]で着信履歴が表示されます。

2　[◀▶]で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択する

3　[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す

4　[2]（選択削除）を押す

5　削除する履歴を選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

[▲▼]で削除する履歴を選択し、[●]（チェック）を押します。履歴の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度[●]（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[1]（全件選択）を押します。すべての履歴の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[2]（全件解除）を押します。

6　[MAIL]（削除）を押す

7　[▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

履歴の全データ（発信履歴／着信履歴／番号メモ）を削除します。

1　待ち受け画面で［◀▶］を押す

［▶］で発信履歴、［◀］で着信履歴が表示されます。

2　［◀▶］で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択する

3　［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［WEB］（次頁）を押す

4　［3］（全件削除）を押す

5　［◆］で「Yes」を選択し、［●］を押す

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

ポーズを利用する

発信する電話番号にポーズ（一時停止）を挿入することができます。ポーズを挿入すると、発信が一時的に停止しますが、［発信］を押すとポーズ以降の番号が発信されます。留守番電話の暗証番号の入力やプッシュホンサービスなど、途中でポーズが必要な場合にご利用ください。電話帳にポーズ入りで登録することもできます。

1　ダイヤルボタンで電話番号を入力中、［WEB］（メニュー）を押す

2　［6］（ポーズ）を押す

電話番号の最後に「P」が表示されます。

3　ダイヤルボタンで続きの番号を入力する

4　［発信］または［●］（発信）を押す

電話番号の発信が行われます。「P」のところで発信は停止します。

5　［発信］を押す

「P」以降の番号が発信されます。

お知らせ

- 電話帳に電話番号を「P」付きで登録しておくと、電話帳からかけた電話でポーズを利用することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞7-51ページ）

電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

1 着信音が鳴る

画面が点灯し、「着信中」と表示されます。相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
着信ランプの設定に従い、着信ランプが点滅します。「着信ランプを設定する」（☞13-12ページ）

▶ 着信中に着信音を止めるには（クイックサイレント）

着信を切断せずに着信音やバイブレータの振動を止めるには、MAIL（マナー）または☎を押します。この状態から着信を中断するには、WEB（拒否）または☎を、通話を始めるには☎を押します。

▶ 留守録音で応答するには

（留守録）を押します。「留守録音を設定／解除する」（☞7-74ページ）

▶ 着信拒否を設定するには

着信中にWEB（拒否）を押します。かけてきた相手の電話番号が着信拒否に設定され、着信が切れます。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（☞11-4ページ）

2 アンテナを伸ばす

3 ☎を押して通話する

▶ 通話中に音量を変えるには

音量は５段階で調節できます。▲▼で現在の音量レベルが表示され、続けて▲▼を操作するごとに音量が変わります。

4 通話が終わったら☎を押す

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- 画面に「圏外」が表示されているときは、電話を受けることはできません。
- 着信音は着信メロディの設定によって変更することができます。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、電話がかかってきたことを振動によってお知らせします。「バイブレータを設定する」（☞7-64ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、☎を押すほかに、文字、クリア、A/a、MENU、0～9、＊、#、◀▲▼▶でも電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞13-16ページ）

相手の発信者番号が通知されないとき

発信者番号が非通知の相手からの着信では、非通知理由が画面に表示されます。

非通知理由	意味
ユーザ非通知	相手が発信者番号非通知に設定しています。
公衆電話発信	相手が公衆電話から発信しています。
通知不可能	国際電話などで発信者番号が通知できません。

お知らせ

- 相手の発信者番号が非通知のときは、着信履歴には電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「 」と「着信○○件」が表示されます。
「 」と「着信○○件」は着信履歴を確認すると消えます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

お知らせ

- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。ボタンを何か１つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(☞13-13ページ)

通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）

「音声、PIAFS通信中着信」が「ON」の場合は、通話中に着信があると「ピピピ　ピピピ　ピピピ…」と鳴り、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。

音声着信（通常の電話）の場合→「着信がありました」
Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」
データ着信の場合→「データ着信がありました」
位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」

通話を終了すると、通話中の着信の件数が「着信○○件」と表示されます。通話中の着信は、着信履歴では のマークが表示されます。

お知らせ

- ライトメールは、通話中は着信できません。
- 通話中に電話をかけてきた相手側には「ツーツーツー」という話し中の音が聞こえます。
- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。ボタンを何か１つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(☞13-13ページ)

通話中の着信を設定する

通話中の着信を受けるかどうかを設定します。

1 **待ち受け画面で [MENU] [5] [5] を押す**

2 **[5]（通信中着信）を押す**

3 **[1]（音声、PIAFS通信中着信）を押す**

4 **着信を受けるときは [1]（ON）、受けないときは [2]（OFF）を押す**

設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

通話中の操作

通話中に受話音量（相手の声の音量）やスピーカ音量を変えることができます。音量は１～５の５段階で調節できます。

受話音量を調節する

1　通話中に [▲▼] を押す

現在の音量レベルが表示されます。

2　[▲▼] で音量を変更し、[●] を押す

音量は [▲] で大きくなり、[▼] で小さくなります。約60秒以上操作をしないと、その時点の音量が設定され通話画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、音量は「VOL.4」に設定されています。
- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 待ち受け中に受話音量を設定することもできます。「受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）」（☞7-61ページ）
- 通話録音中は [▲▼] で受話音量を変えることもできますが、録音内容の音量は変わりません。
- スピーカでの受話については「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞7-16ページ）を参照してください。

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

1　通話中に [クリア/マナー] を押す

「保留中」と表示され、設定している保留音が相手に流れます。

2　通話を再開するときは [クリア/マナー] または [通話] を押す

お知らせ

- 通話中に [WEB]（メニュー）を押し、[2]（保留）を押して保留にすることもできます。また、保留中に [WEB]（メニュー）を押し、[2]（保留解除）を押して保留を解除することもできます。
- 保留音は、保留音設定によって変更することができます。「保留音を設定する」（☞7-72ページ）
- オフィスモードでは、オフィスシステム（PBX）の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます（自分の声は録音されません）。録音内容は電源を切っても消えません。
録音データの保存先は、本電話機のデータフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。「通話録音の保存先を選択する」（☞7-15ページ）
1件の録音時間や、録音件数に制限はなく、メモリの空き容量一杯まで録音できます。ただし、メモリの空き容量が約3秒未満のときは、録音できません。

1 通話中に［文字/IC REC］を押す

録音が開始されます。

2 ［●］（停止）を押す

録音が終了し、「録音終了」と、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。通話が終了したときやメモリの空き容量がなくなったときも録音は終了します。

お知らせ

- 録音時間が約3秒未満だった場合は、その録音内容は保存されません。
- 通話中に［WEB］（メニュー）を押し、［3］（通話録音）を押して録音を開始することもできます。
- 録音の開始や終了の成功音は鳴りません。
- 録音中は充電警告音は鳴らず、「 」が表示されます。
- 録音中、［▲▼］で受話音量を調節することもできますが、録音内容の音量は変化しません。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、自動的に別の保存先に切り替わります。例えば、microSDカードが装着されている状態で、保存先が本電話機のデータフォルダに設定されている場合、自動的にmicroSDカードに保存されます。

通話録音を再生する

■データフォルダから再生する

1 待ち受け画面で［MENU］［2］を押す

データフォルダ（本電話機のメモリ）の内容が表示されます。

▶ microSDカードの内容を表示するには

録音データの保存先をmicroSDカードに設定している場合は、［MAIL］（microSD）を押します。microSDカードの内容が表示されます。データフォルダに戻るときはもう一度［MAIL］（本体）を押します。

2 ［▲▼］で「録音データ」を選択し、［●］を押す

3 ［▲▼］で「通話録音」を選択し、［●］を押す

録音データ一覧が表示されます。再生されていない録音データは「 」、再生済みの録音データは「 」が表示されます。録音データ名は、相手の電話番号が使われます（番号非通知での着信の場合は、非通知理由が表示されます）。同じ電話番号が複数ある場合には、「相手の電話番号˜連番」になります。電話帳に登録してある相手の場合は、登録名が表示されます。

4 ［▲▼］で再生する録音データを選択し、［●］（再生）を押す

再生画面が表示されます。

5 ［●］（再生）を押す

録音データが再生されます。

▶ **再生を終了するには**

再生中に［●］（停止）または［クリア/マナー］を押します。

▶ **再生中の録音データを削除するには**

再生中に［WEB］（削除）を押します。「削除しますか？」と表示されるので、「Yes」を選択して［●］を押します。録音データが削除されます。他の録音データがある場合は次の録音データが再生され、録音データがない場合は元の画面に戻ります。

▶ **音量を調節するには**

［▲］：再生音量レベルが上がります。
［▼］：再生音量レベルが下がります。

▶ **スピーカから音を聞くには**

再生中に［MAIL］（スピーカ）を押します。受話口（レシーバ）に切り替えるには［MAIL］（レシーバ）を押します。

お知らせ

- 録音データ一覧では、新しい順にデータが並んでいます。表示順序を変えることもできます。「データを並べ替える」（☞13-78ページ）
- 再生中に［文字/ICREC］を押すと前の録音が再生され、［A/a MY］を押すと次の録音データが再生されます。
- オートサイレントモードやマナーモードのときに再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して［●］を押すと、再生が開始されます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている相手の場合は、通話録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［WEB］（次頁）を押して［2］（シークレット一時表示）を押します。指紋認証または暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。

■発信履歴／着信履歴から再生する

通話録音のデータは、発信履歴／着信履歴から再生することもできます。

1　待ち受け画面で［◀|▶］を押す

［▶］で発信履歴、［◀］で着信履歴が表示されます。

2　［◀|▶］で「発信履歴」「着信履歴」のいずれかを選択する

3　［WEB］（メニュー）を押し、［7］（通話録音再生）を押す

通話録音された履歴の一覧が表示されます。

4　［▲▼］で履歴を選択し、［●］（再生）を押す

再生画面が表示されます。

5　［●］（再生）を押す

録音データが再生されます。

通話録音を削除する

■1件だけ削除する

1　待ち受け画面で［MENU］［2］を押す

データフォルダの内容が表示されます。

▶ **microSDカードの内容を表示するには**

録音データの保存先をmicroSDカードに設定している場合は、［MAIL］（microSD）を押します。microSDカードの内容が表示されます。データフォルダに戻るときはもう一度［MAIL］（本体）を押します。

2　［▲▼］で「録音データ」を選択し、［●］を押す

3　［▲▼］で「通話録音」を選択し、［●］を押す

4　［▲▼］で削除する録音データを選択する

5 WEB（メニュー）を押し、サブメニューでWEB（次頁）を押す

6 3（一件削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

7 ▼で「Yes」を選択し、● を押す

データが削除され、「削除しました。」と表示されます。

■選択して削除する

1 待ち受け画面でMENU 2 を押す

データフォルダの内容が表示されます。

▶ **microSDカードの内容を表示するには**

録音データの保存先をmicroSDカードに設定している場合は、MAIL（microSD）を押します。microSDカードの内容が表示されます。データフォルダに戻るときはもう一度MAIL（本体）を押します。

2 ▲▼で「録音データ」を選択し、● を押す

3 ▲▼で「通話録音」を選択し、● を押す

4 WEB（メニュー）を押し、サブメニューでWEB（次頁）を押す

5 4（選択削除）を押す

6 削除する録音データを選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

▲▼で削除する録音データを選択し、●（チェック）を押します。録音データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ●（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

WEB（メニュー）を押し、サブメニューで1（全件選択）を押します。すべての録音データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで2（全件解除）を押します。

7 MAIL（削除）を押す

「選択されたファイルを削除しますか？」と表示されます。

8 ▼で「Yes」を選択し、● を押す

データが削除され、「削除しました。」と表示されます。

■全件削除する

1 待ち受け画面でMENU 2 を押す

データフォルダの内容が表示されます。

▶ **microSDカードの内容を表示するには**

録音データの保存先をmicroSDカードに設定している場合は、MAIL（microSD）を押します。microSDカードの内容が表示されます。データフォルダに戻るときはもう一度MAIL（本体）を押します。

2 ▲▼で「録音データ」を選択し、● を押す

3 ▲▼で「通話録音」を選択し、● を押す

4 WEB（メニュー）を押し、サブメニューでWEB（次頁）を押す

5 5（全件削除）を押す

6 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

7 [↓]で「Yes」を選択し、[●]を押す

データが削除され、「削除しました。」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」のメッセージが表示されているときに[☎]を押すと、その時点までのデータが削除され、処理が中断します。
- 削除対象の録音データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して[●]を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。
- フォルダ内のデータを一括して削除することもできます。「データを削除する」（☞13-83ページ）

通話録音の保存先を選択する

通話録音の保存先は、本電話機のデータフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。

1 待ち受け画面で[MENU][5][4]を押す

2 [4]（通話録音設定）を押す

3 [1]（データフォルダ保存）または[2]（microSD保存）を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「通話録音設定」は「データフォルダ保存」に設定されています。
- microSDカードが装着されていない場合、「microSD保存」は選択できません。
- 選択した保存先の空き容量が残り約3秒未満の場合、「空き容量が足りません 整理しますか？」と表示されます。「Yes」を選択して[●]を押すと、データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。「通話録音を削除する」（☞7-13ページ）

小声で話す（ひそひそ通話）

小声でも相手に声が伝わるよう、送話音量を大きくします。あわせて受話音量も大きくなります。

1 通話中に[WEB]（メニュー）を押す

2 [4]（ひそひそ通話）を押す

ひそひそ通話が開始され、「ひそひそ通話中」と表示されます。通話が終了すると、ひそひそ通話は解除されます。

▶ 通話中にひそひそ通話を解除するには

[WEB]（メニュー）を押し、[4]（ひそひそ通話解除）を押します。

お知らせ

- 最初からひそひそ通話になるよう設定することもできます。「ひそひそ通話を設定する（ひそひそ設定）」（☞7-61ページ）

手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）

ハンズフリー通話を利用すると、本電話機を手に持たずに話すことができます。また、スピーカ受話を利用すると相手の声をスピーカで聞くことができます。

ハンズフリー通話にする

ハンズフリー通話時は、本電話機を手に持たずに相手と通話することができます。相手の声は、本電話機背面のスピーカから聞こえます。

1 通話中に [MAIL]（H-Free）を押す

ハンズフリー通話が開始され、「H-Free通話中」と表示されます。

▶ ハンズフリー通話を解除するには

[MAIL]（解除）を押します。

お知らせ

- ハウリング防止のため、ハンズフリー通話中は一方が話しているときはもう一方の声は音量が下げられ相手には聞こえません。相手が話し終えてから話すようにしてください。

スピーカ受話にする

相手の声を受話口（レシーバ）ではなく本電話機背面のスピーカで聞くことができます。こちら側の声は、相手に伝わりません。

1 通話中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [8]（スピーカ受話）を押す

スピーカでの受話に切り替わり、「スピーカ受話中」と表示されます。

▶ スピーカ受話を解除するには

[WEB]（メニュー）を押し、[8]（スピーカ受話解除）を押します。

通話中に電話帳を検索する

通話中に電話帳を検索して電話番号など登録内容を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。電話帳の操作の詳細は「電話帳を利用する」（☞7-45ページ）を参照してください。

1 通話中に [●]（電話帳）を押す

電話帳が表示されます。

2 [▲][▼] で表示する相手を選択し、[●] を押す

登録内容の詳細が表示されます。

3 元の画面に戻るときは [クリア] を2回押す

何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面面に戻ります。

通話中にスケジュールを確認する

通話中にスケジュールを表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。スケジュール機能の詳細は「スケジュール機能を利用する」（☞13-19ページ）を参照してください。

1 通話中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [1]（スケジュール）を押す

今月のカレンダーが表示されます。

3 [◀][▲▼][▶] でスケジュールを確認する日付を選択し、[●] を押す

選択した日に登録されているスケジュールが表示されます。

4 [▲▼] でスケジュールを選択し、[●]（詳細）を押す

スケジュールの詳細が表示されます。

5 元の画面に戻るときは [クリア] を3回押す

何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号をメモする（番号メモ）

通話中に32桁までの電話番号を30件までメモすることができます。

1 通話中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [5]（番号メモ）を押す

3 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

何も操作せずに約60秒経過するか、[MAIL]（戻る）を押すと、番号メモは登録されずに通話中画面に戻ります。

▶ **文字を削除するには**

[クリア] を押します。カーソル位置の文字が削除されます。入力中の番号メモをすべて削除するには、[クリア] を約1秒以上押したままにします。番号メモの入力中は、[クリア] を押しても保留にはなりません。

▶ **ポーズを入力するには**

番号メモにポーズを入力するには、[WEB]（ポーズ）または [文字] を押します。ポーズを入力した箇所には「P」が表示されます。

4 [●] を押す

番号メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- グループモードでは番号メモは利用できません。
- 30件を超えて登録すると、一番古いデータが1件削除され、新しいデータが登録されます。

通話中にメモ帳に入力する

通話中にメモ帳を表示したり入力したりすることができます。メモ帳の詳細は「メモ帳を利用する」(☞13-39ページ)を参照してください。

1 通話中に WEB (メニュー) を押す

2 6 (メモ帳) を押す

メモの一覧が表示されます。

3 MAIL (新規) を押す

メモ帳の入力画面が表示されます。

▶ 既存のメモの内容を表示するには

▲▼ でメモを選択して ● を押します。

4 文字を入力し、● を押す

メモが保存され、「登録しました」と表示されます。

5 元の画面に戻るときは クリア を押す

何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 入力の途中で、何も操作せずに約60秒経過するか通話が切断された場合は、その時点で確定済みだった文字が自動的にメモ帳に登録されます。

通話中に自分の電話番号を確認する

通話中に本電話機の電話番号やEメールアドレスなどプロフィール情報を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。プロフィール機能の詳細は「プロフィールを表示する」(☞13-5ページ)を参照してください。

1 通話中に WEB (メニュー) を押し、7 (プロフィール) を押す

プロフィールが表示されます。通話中に MENU 0 を押しても表示できます。

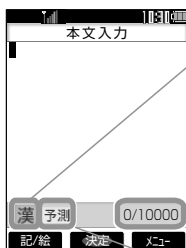
2 ◀▶ で表示項目を選択する

3 元の画面に戻るときは クリア を押す

何も操作せずに約60秒経過した場合も元の画面に戻ります。

文字を入力する

文字入力画面について

文字を入力する画面では、次の記号や数字が表示されます。

入力モード

漢：漢字モード
ア：カタカナモード（全角）
ｱｲ：カタカナモード（半角）
A：英字モード（全角）
AB：英字モード（半角）
1：数字モード（半角）

入力した文字数／入力できる文字数

漢で予測変換が「ON」のとき表示される

お知らせ

- 画面の右下に表示される「入力した文字数／入力できる文字数」は、半角文字の文字数で表示され、全角文字の場合は、1文字で半角文字2文字になります。

入力する文字の種類を切り替える

入力する文字に応じて、入力モードを切り替えます。

1 文字を入力する画面で、[文字] を押す

画面下側に入力モードの記号が表示されます。

2 [文字] を押して入力モードを選択する

[◀] で左の入力モード、[▶] で右の入力モードを選択することもできます。

3 [●] を押す

入力モードが確定し、その入力モードの文字が入力できるようになります。[●] を押さずにダイヤルボタンを押し、入力モードを確定するとともに文字入力を開始することもできます。選択中の入力モードの文字が入力されます。

お知らせ

- 入力モードについては「入力モードについて」(☞4-2ページ）も参照してください。
- 入力モードの切り替えについては「入力モードを切り替える」(☞4-3ページ）も参照してください。
- 記号や絵文字を入力することもできます。「記号や絵文字を入力する」(☞7-28ページ)
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Eメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞7-19ページ）を参照してください。
ひらがなは、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。
漢字は、読みをひらがなで入力してから漢字に変換して入力します。変換には、予測変換によって自動的に変換する方法と［MAIL］（変換）を押して変換する方法とがあります。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
［1］	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
［2］	か	き	く	け	こ					
［3］	さ	し	す	せ	そ					
［4］	た	ち	つ	て	と	っ				
［5］	な	に	ぬ	ね	の					
［6］	は	ひ	ふ	へ	ほ					
［7］	ま	み	む	め	も					
［8］	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
［9］	ら	り	る	れ	ろ					
［0］	わ	を	ん	ー	、	。	?	!	～	全角スペース
［#］	改行									
［*］	゛	゜								

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、［▶］でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「あい」と入力するときは、［1］を押して「あ」を入力し、［▶］でカーソルを右に移動してから［1］を2回押して「い」を入力します。
  ①［1］ ………… 「あ」が入力される
  ②［▶］ …………… カーソルが右に移動する
  ③［1］［1］ …… 「い」が入力される
- ［#］で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）のあとに［*］を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（は行）のあとに［*］を2回押して入力します。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）は、大きい文字を入力したあと［A/a］を押して入力することもできます。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに［☎］を押すと、表の最後から逆順に進みます。

基本機能
文字を入力する

予測変換を利用する（予測変換）

漢字モードで予測変換が「ON」の場合、その時点で入力が予測される文字列の一覧が表示されます。入力したい文字列が一覧にあるときは、それを選択するだけで文字列が入力できるので、文字入力の手間を大幅に減らすことができます。

1 漢字モードで文字を入力する

入力した文字から予測される予測候補の一覧が表示されます。
入力したい予測候補が表示されるまで文字を入力していきます。

2 [▲][▼] で入力したい予測候補を選択する

一覧の右上の数字は、選択した予測候補の番号と予測候補の総数です。
[▼] で予測候補の先頭、[▲] で予測候補の末尾にカーソルが移動し、さらに [▲][▼] でカーソルを上下に移動することができます。

▶ **別の列やページに移動するには**

予測候補一覧の左列から右列へ、または右列から次のページへとカーソルを移動するには、[▶] を押します。カーソルを逆方向に移動するには、[◀] を押します。

3 [●] を押す

選択した候補が入力されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、予測変換は「ON」に設定されています。

■予測変換をON／OFFする

1 文字入力画面で [WEB]（メニュー）を押す

2 [WEB]（次頁）を押す

3 [3]（予測変換OFF）を押す

お知らせ

● 予測変換を「ON」にする場合も操作は同じです。ただし、手順3で選択するメニューが「予測変換ON」に変わります。

漢字に変換する（漢字変換）

予測変換が「OFF」の場合は予測候補が表示されないので、漢字を入力するにはひらがなを漢字に変換する操作が必要です。

1 ひらがなで読みを入力する

読みは最大で20文字まで入力できます。

2 [▲][▼] で変換する

[▼] で先頭の変換候補、[▲] で末尾の変換候補が表示されます。

▶ **変換結果を確定するには**

表示された変換候補でよければ [●] を押します。

3 で他の変換候補を表示する

変換候補の一覧が表示されます。一覧の右上の数字は、選択した変換候補の番号と変換候補の総数です。

▶ **別の列やページに移動するには**

変換候補一覧の左列から右列へ、または右列から次のページへとカーソルを移動するには、を押します。カーソルを逆方向に移動するには、を押します。

4 で変換候補を選択し、を押す

変換が確定し、文字が入力されます。

変換の区切りを変更する

予測変換や漢字変換したときに意図しない位置で文字列が区切られ、正しく変換されないときは、変換の区切りを変更します。

1 文字を入力し、を押す

2 適切な区切りになるまで（≪文節）で変換の範囲を短くする

▶ **変換の範囲を広げるには**

（文節≫）で変換の範囲を右に広げます。

3 で候補を選択し、を押す

変換された部分が確定し、変換されていない部分が変換対象になります。

4 残りの未変換部分についても手順2、3を繰り返して変換する

変換が必要ない場合はを押して文字列を確定します。

ひらがなをカタカナや英数に変換する（カナ英数変換）

漢字モードで入力したひらがなをカタカナ、英字、数字に変換します。

1 ひらがなを入力する

2 （カナ英数）を押す

手順１で押したボタンに対応する英字や数字からなる候補が表示されます。例えば「あした」（、×２回、）と入力したときは、数字「１３４」「134」、数字を時間形式にしたもの「１：３４」「1:34」、英字「＠ＥＧ」「@EG」「＠ｅｇ」「@eg」、カタカナ「アシタ」「ｱｼﾀ」が変換候補として表示されます。

3 で候補を選択し、を押す

お知らせ

● カナ英数変換は予測変換が「ON」「OFF」のいずれの場合でも行えます。

よく使う語句をユーザ辞書に登録する

よく使う語句を読みと一緒にユーザ辞書に登録します。登録した語句は、予測変換や漢字変換により入力することができます。変換に手間のかかる語句を簡単な読みで登録しておくと、入力の手間が省けて便利です。
ユーザ辞書には最大100件までの語句を登録することができます。1件につき語句と読みをそれぞれ全角10文字（半角20文字）まで登録することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 5 を押す

登録済みの語句がある場合は、その語句と読みが表示されます。
DIC：登録されている単語や語句
ヨミ：登録されている単語や語句の読み

2 MAIL（新規）を押す

単語登録画面が表示されます。

▶ 文字入力画面から単語登録画面を表示するには

WEB（メニュー）を押し、WEB（次頁）を押し、5（ユーザ辞書登録）を押します。

3 登録する単語や語句を入力する

漢字やカタカナなど、変換後の単語や語句を入力します。

4 ● を押す

5 登録する単語や語句の読みを入力する

好みの読みかたを入力します。

6 ● を押す

単語や語句が登録され、「登録しました」と表示されます。

■登録語句を変更する

登録した単語や語句、読みを変更することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 5 を押す

登録済みの語句が表示されます。

2 ▲▼ で変更する語句を選択し、● を押す

3 必要に応じて語句を修正し、● を押す

4 必要に応じて読みを修正し、● を押す

変更が登録され、「登録しました」と表示されます。

■登録語句を１件だけ削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 5 を押す

登録済みの語句が表示されます。

2 ▲▼ で削除する項目を選択し、WEB（メニュー）を押す

3 1（一件削除）を押す

4 ▲ で「Yes」を選択し、● を押す

語句が削除され、「削除しました」と表示されます。

■登録語句を選択して削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 5 を押す

登録済みの語句が表示されます。

2 WEB（メニュー）を押す

3 2（選択削除）を押す

4 削除する語句を選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

で削除する語句を選択し、（チェック）を押します。語句の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

MAIL（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての語句の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

5 MAIL（削除）を押す

6 で「Yes」を選択し、を押す

語句が削除され、「削除しました」と表示されます。

■登録語句を全件削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 5 を押す

登録済みの語句が表示されます。

2 WEB（メニュー）を押す

3 3（全件削除）を押す

4 で「Yes」を選択し、を押す

語句がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

学習内容を削除する

本電話機は、予測変換や漢字変換での変換結果を記録し、次回からの変換時に変換候補として優先的に表示します。この学習内容を削除することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 9 を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「学習文字をクリアしますか？」と表示されます。

3 で「Yes」を選択し、を押す

学習内容が削除され、「クリアしました」と表示されます。

カタカナを入力する（カタカナモード）

カタカナは、カタカナモード（全角）またはカタカナモード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞7-19ページ）を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ					
3	サ	シ	ス	セ	ソ					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
7	マ	ミ	ム	メ	モ					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
0	ワ	ヲ	ン	ー	、	。	?	!	～	全角スペース
#	改行									
*	゛	゜								

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、[▶]でカーソルを移動してからボタンを押します。例えば「アイ」と入力するときは、[1]を押して「ア」を入力し、[▶]でカーソルを移動してから[1]を2回押して「イ」を入力します。
- [#]で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（カ行、サ行、タ行、ハ行、「ウ」）のあとに[*]を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（ハ行）のあとに[*]を2回押して入力します。
- 「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと[A/MY]を押して入力することもできます。ただし、小さい「ヮ」が入力できるのは全角の場合だけです。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに[☎]を押すと、表の最後から逆順に進みます。
- 漢字モードの予測候補からカタカナの言葉を選択することで漢字モードでカタカナを入力することもできます。
- Eメールでは半角カタカナは入力できません。貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、半角のカタカナは切り捨てられます。

英字を入力する（英字モード）

英字（アルファベット）は、英字モード（全角）または英字モード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞7-19ページ）を参照してください。
各ダイヤルボタンで入力できる文字の最後にはそのボタンと同じ数字があるので、英字モードで数字を入力することもできます。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字										
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目
[1]	@	.	,	/	:	-	~	_	+	^	1
[2]	A	B	C	a	b	c	2				
[3]	D	E	F	d	e	f	3				
[4]	G	H	I	g	h	i	4				
[5]	J	K	L	j	k	l	5				
[6]	M	N	O	m	n	o	6				
[7]	P	Q	R	S	p	q	r	s	7		
[8]	T	U	V	t	u	v	8				
[9]	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9		
[0]	?	!	;	‘	0	ｽﾍﾟｰｽ					
[#]	改行										
[*]	英字モード（半角）の場合は、Eメールのアドレス用の文字列（http://など）										

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、[▸]でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「AB」と入力するときは、[1]を押して「A」を入力し、[▸]でカーソルを右に移動してから[1]を2回押して「B」を入力します。
  ①[1] ………… 「A」が入力される
  ②[▸] …………… カーソルが右に移動する
  ③[1][1] …… 「B」が入力される
- [#]で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに[☎]を押すと、表の最後から逆順に進みます。
- 英字モードが小文字の場合、表の網かけの文字は入力できません。「大文字と小文字を切り替える」（☞7-27ページ）

大文字と小文字を切り替える

英字モード（全角）と英字モード（半角）では、それぞれ大文字と小文字を切り替えることができます。

	大文字	小文字
英字モード（全角）	Ａ　ＡＢＣ…	ａ　ａｂｃ…
英字モード（半角）	AB　ABC…	ab　abc…

1　英字を入力する

最初は大文字で入力されます。

2　小文字にしたい文字を入力したら、[A/a MY]を押す

カーソルの位置の文字が小文字に変わります。大文字に戻すには、もう一度[A/a MY]を押します。

▶ 入力前に大文字と小文字を切り替えるには

文字を入力する前に[A/a MY]を押します。[A/a MY]を押すごとに、大文字と小文字が切り替わります。

アドレス文字を入力する

英字モード（半角）ではアドレス用の文字列を入力することができます。Eメールアドレスや Webのアドレス（URL）を入力するときに便利です。

1　英字モード（半角）で[＊]を押す

アドレス文字の一覧が表示されます。

2　入力したいアドレス文字に対応するダイヤルボタンを押す

例えば[6]（WWW.）を押すと、「WWW.」が入力されます。

数字を入力する（数字モード）

数字を入力するときは、数字モードに切り替えます。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞7-19ページ）を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字
[1]	1
[2]	2
[3]	3
[4]	4
[5]	5
[6]	6
[7]	7
[8]	8

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字
[9]	9
[0]	0
[#]	#
[＊]	*

▶「-」（ハイフン）を入力するには

「-」を入力するときは、英字モードで[1]を6回押します。「英字を入力する（英字モード）」（☞7-26ページ）

改行を挿入する

プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳では、文章に改行を入力することができます。

1 で改行したい箇所にカーソルを移動する

2 を押す

カーソルのあった箇所に改行が挿入されます。改行は「」で表されます。

お知らせ

- カーソルが文章の最後にあるときは で改行を挿入することもできます。

記号や絵文字を入力する

本電話機では記号や絵文字を入力することができます。記号や絵文字を入力できるのは、メールの本文や署名、ブックマークのタイトル、画面メモのタイトル、スケジュール、電話帳の名前、メモ帳、ユーザ辞書の単語、自作定型文などです。

1 文字入力画面で （記／絵）を押す

▶ **半角の記号しか入力できない場合は**

メールアドレスの入力画面など全角の文字が入力できない画面では、画面左下に「記号」と表示されます。この画面では、（記号）を押すと記号の一覧が表示されます。この画面では で記号を選択して を押すと、記号が入力できます。

2 （全角記号）、（半角記号）、（絵文字）、（Web入力用絵文字）のいずれかを押す

▶ **（全角記号）を押すと**

全角記号の一覧が表示されます。

▶ **（半角記号）を押すと**

半角記号の一覧が表示されます。

▶ **（絵文字）を押すと**

絵文字の一覧が表示されます。絵文字は、対応しているウィルコムの電話機で使用できます。絵文字に対応していない機種や他社の電話機やパソコンなどにメールで送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。

▶ **（Web入力用絵文字）を押すと**

Web入力用絵文字の一覧が表示されます。Web入力用絵文字は、一般の携帯電話向けWebページの閲覧時に絵文字入力が必要な際にご利用ください。

3 [MAIL]または[A/a MY]、[文字 IC REC]で入力したい記号／絵文字のページを表示する

記号は５画面、絵文字は２画面、Web入力用絵文字は３画面あり、これらの画面はページを切り替えていくことですべて表示することができます。[MAIL]または[A/a MY]で次のページ、[文字 IC REC]で前のページを表示することができます。

4 [◀▲▼▶] で記号／絵文字を選択し、[●] を押す

記号／絵文字が入力されます。

▶ 記号や絵文字をまとめて入力するには

[◀▲▼▶] で記号／絵文字を選択して [WEB]（連続）を押すと、選択した記号／絵文字が画面上部に表示されます。この操作を続けて入力したい記号／絵文字を画面上部に表示し、[●] を押すと、画面上部の記号／絵文字がまとめて入力されます。最大で全角11個（半角の場合は22個）までまとめて入力することができます。

▶ 記号や絵文字をダイヤルボタンで選択するには

何行目の何列目にあるかをダイヤルボタンで数字で指定して記号や絵文字を入力することができます。例えば4行目の2列目にある音符の絵文字（ ♬ ）を入力する場合は、[4] [2] を押します。

お知らせ

● ライトメールでは、アニメーション絵文字を使用することもできます。「アニメーション絵文字を添付する」（☞8-42ページ）

絵文字を変換で入力する

絵文字やWeb入力用絵文字は、漢字モードで読みを変換（）することで入力することもできます。

■絵文字

絵文字	読み	絵文字	読み	絵文字	読み
	はーと		じゅうよう		さる
	らぶらぶ		ぎゃくでんぱ		たこ
	きゅーぴっど		でんぱ		じぞう
	はーとぶれいく / しつれん		だうん		ぺた / あしあと
	おどろき		あっぷ		びーる
	えっ		おんぷ		こーひー
	なに		ひらめき		かっぷ
	ばつ		はれ		ぐらす
	むかっ / いかり		あめ		しょくじ
	なみだ		くもり		けーき
	こまった		かみなり		らーめん
	ぐるぐる		うずまき		おにぎり
	にこにこ		ゆきだるま		りんご
	わらう		ほし		ぴーち / ばーみやん
	ねる		つき		すいか
	おこる		どくろ		あいす / かきごおり
	ますく		うんち / うんこ		くるま
	なく		けいたい		でんしゃ
	なきがお		でんわ		ひこうき
	おやじ		めーる		ばいく
	ぐっど		とけい		ばす
	ちから		ひよこ		いかり
	ぱんち		いぬ		きす
	ぴーす		ぞう		じゅうはちきん
	ばいばい		ねこ		ちけっと
	ちゅうい		かえる		くりっぷ

絵文字	読み
	こぴー
	しょうひょう
	ほし
	りさいくる
	じょうげ
	さゆう
	まきもどし
	はやおくり
	やきゅう
	ぼーる
	てにす
	すきー
	さっかー
	さーふぃん
	びきに
	ねくたい
	しゃつ
	ぷれぜんと
	かばん
	おかね
	すりーせぶん
	ばりさん
	のーと
	ぺん
	はさみ
	たばこ
	きんえん
	しょしんしゃ
	れこーど
	べる

絵文字	読み
	だいや
	くらぶ
	すぺーど
	にく
	ちゅーりっぷ
	はな
	かれは
	どあ
	はた
	ぜろ
	いち
	に
	さん
	よん / し
	ご
	ろく
	なな / しち
	はち
	きゅう / く
	おひつじざ
	おうしざ
	ふたござ
	かにざ
	ししざ
	おとめざ
	てんびんざ
	さそりざ
	へびつかいざ
	いてざ
	やぎざ

絵文字	読み
	みずがめざ
	うおざ
	いえ
	びる
	ちゅうしゃ
	おんせん
	でぐち
	えいが
	まいく
	ふじさん
	きゃんぷ / てんと
	うみ
	やま
	ひじょうぐち
	もやい
	はちこう
	せいぶ
	ゆーえふじぇい
	びっくりどんきー
	えーえむぴーえむ
	ろーそん
	どとーる
	ろってりあ
	もす
	まくど / まっく

■Web入力用絵文字

Web入力用絵文字	読み
	はーと
	はーと
	はーとぶれいく / しつれん
	はーと / らぶらぶ
	うれしい / わーい
	ちっ / いかり
	なく
	なく
	ふらふら
	ぐっど / あっぷ
	るんるん / おんぷ
	おんせん
	かわいい / はな
	きす
	ぴかぴか / きらきら
	ひらめき
	むかっ / いかり
	ぱんち
	ばくだん
	むーど / おんぷ
	ばっど / だうん
	ねむい
	おどろき
	えっ
	おどろき
	どん / しょうげき
	あせ / こまった
	あせ / こまった
	だっしゅ / ぷー
	じぐざぐ
	くるん
	ぴっち / えっじ / けいたい

Web入力用絵文字	読み
	めーる
	ふぁっくす
	あいもーど
	あいもーど
	めーる
	どこも
	どこも
	ゆうりょう / えん
	むりょう / ふりー
	あいでぃー / みぶんしょうめい
	ぱすわーど / かぎ
	つぎ
	くりあ
	さーち
	にゅー
	いちじょうほう / はた
	ふりーだいやる
	しゃーぷ
	もばきゅー
	いち
	に
	さん
	よん / し
	ご
	ろく
	なな / しち
	はち
	きゅう / く
	ぜろ
	けってい / おーけー
	しんげつ
	つき

Web入力用絵文字	読み
	はんげつ／つき
	みかづき／つき
	まんげつ
	め
	みみ
	ぐー
	ちょき
	ぱー
	あしあと
	くつ
	めがね
	くるまいす
	はーと
	すぺーど
	だいや
	くらぶ
	やじるし
	やじるし
	やじるし
	いぬ
	ねこ
	りぞーと／よっと
	くりすます／つりー
	やじるし
	いえ／うち
	びる／かいしゃ
	ゆうびんきょく
	びょういん
	ぎんこう
	えーてぃーえむ
	ほてる
	こんびに
	すたんど

Web入力用絵文字	読み
	ぱーきんぐ
	しんごう
	といれ
	れすとらん
	きっさてん／かっぷ
	ばー／かくてる
	びーる
	ふぁーすとふーど／はんばーがー
	ぶてぃっく／ひーる
	びよういん／はさみ
	からおけ／まいく
	えいが
	ゆうえんち
	おんがく／へっどほん
	あーと
	えんげき
	いべんと
	ちけっと
	たばこ／きつえん
	きんえん
	でんしゃ
	ちかてつ
	しんかんせん
	くるま／せだん
	くるま／あーるぶい
	ばす
	ふね
	ひこうき
	ぽけべる
	かめら
	かばん
	ほん
	りぼん

Web入力用絵文字	読み
	ぷれぜんと
	ばーすでー / たんじょうび
	でんわ
	けいたい / ぴっち / えっじ
	めも
	てれび
	げーむ
	でぃすく
	すぽーつ
	やきゅう
	ごるふ
	てにす
	さっかー
	すきー
	ばすけ
	はた / ふらっぐ
	おひつじざ
	おうしざ
	ふたござ
	かにざ
	ししざ
	おとめざ
	てんびんざ
	さそりざ
	いてざ
	やぎざ
	みずがめざ
	うおざ
	はれ / てんき
	くもり
	あめ
	ゆき
	かみなり

Web入力用絵文字	読み
	たいふう / うずまき
	きり / かすみ
	こさめ / かさ
	かちんこ
	ふくろ
	ぺん
	ひとかげ
	いす
	よる / つき
	すーん / すぐ
	おん
	えんど
	とけい
	あぷり
	あぷり
	しゃつ
	さいふ
	けしょう / くちべに
	じーんず / ずぼん
	すのぼ
	ちゃぺる / べる
	どあ
	どる / かね
	ぱそこん
	らぶれたー
	れんち
	えんぴつ
	おうかん / かんむり
	ゆびわ / りんぐ
	すなどけい
	じてんしゃ
	ゆのみ / おちゃ / ちゃ
	うでどけい / とけい

Web 入力用絵文字	読み
	かんがえ / うーん
	ほっ
	ひやあせ / ほっ
	ひやあせ / ほっ
	いかり / もー
	ぼけー / ふーん
	どきどき / わくわく
	おーけー / りょうかい
	べー
	うぃんく
	うれしい / わーい
	がまん / しょっく
	ねこ
	なく / わーん
	なく / なみだ
NG	えぬじー
	くりっぷ
©	こぴー / こぴーらいと
TM	とれーどまーく / しょうひょう
	だっしゅ / はしる
	まるひ
	りさいくる
®	とれーどまーく / しょうひょう
	きけん / けいこく
	きんし
	あき / くうしつ / くうせき / くうしゃ
	ごうかく
	まんしゃ
	やじるし
	やじるし
	がっこう
	なみ / うみ
	ふじさん

Web 入力用絵文字	読み
	くろーば
	さくらんぼ
	ちゅーりっぷ / はな
	ばなな
	りんご
	め
	もみじ
	さくら
	おにぎり / おむすび
	けーき
	とっくり / さけ
	どんぶり / らーめん
	ぱん
	かたつむり
	ひよこ
	ぺんぎん
	さかな
	うまい / わらい
	うっしっし / わらい
	うま
	ぶた
	わいん
	げっそり / むんく

定型文を引用する

文字入力画面では、定型文を呼び出して入力することができます。定型文には次の３種類があります。
・自作定型文（自分で登録した定型文）
・顔文字（記号を組み合わせて表情を表した文字列）
・アドレス文字（Eメールアドレスや Webのアドレスで使われる文字列）

自作定型文を引用する

1 文字入力画面で WEB（メニュー）を押す

2 4（定型文引用）を押す

3 1（自作定型文）を押す

自分で登録した定型文の一覧が表示されます。「自作定型文を登録／編集する」（☞7-38ページ）

▶ **詳細を表示するには**

自作定型文の一覧には、全角換算で最初の10文字までしか表示されません。11文字以上の長さの定型文の全体を表示するには MAIL（詳細）を押します。

4 引用したい自作定型文に対応するダイヤルボタンを押す

お知らせ

● 定型文が１件も登録されていないときは、自作定型文を入力することができません。

定型文から顔文字を引用する

記号を組み合わせて表情を表す顔文字が60件登録されています。顔文字は次の手順で入力します。

1 文字入力画面で WEB（メニュー）を押す

2 4（定型文引用）を押す

3 2（顔文字）を押す

顔文字の一覧が表示されます。

4 文字、A/a を押して、入力する顔文字のページを表示する

顔文字の一覧は５ページにわたっています。文字 で前のページ、A/a で次のページが表示されるので、入力する顔文字のあるページを表示させてください。

5 ▲▼ で顔文字を選択し、● を押す

定型文からアドレス文字を引用する

Eメールアドレスや Webのアドレスでよく使われるアドレス文字が定型文に収録されています。これは英字モード（半角）で [＊] を押して入力できるアドレス文字と同じものです。「アドレス文字を入力する」（☞7-27ページ）

1 **文字入力画面で [WEB]（メニュー）を押す**

2 **[4]（定型文引用）を押す**

3 **[3]（アドレス文字）を押す**

アドレス文字の一覧が表示されます。

4 **引用したいアドレス文字に対応するダイヤルボタンを押す**

自作定型文を登録／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は12件まで、1件につき全角50文字（半角100文字）まで登録できます。「自作定型文を引用する」（☞7-37ページ）

1 **[MENU][8][6]を押す**

自作定型文の一覧が表示されます。

2 **自作定型文を登録する番号のダイヤルボタンを押す**

新規に登録する場合は、未登録の番号のダイヤルボタンを押します。登録済みの自作定型文を編集する場合は、その番号のダイヤルボタンを押し、[MAIL]（編集）を押します。

3 **自作定型文を入力／編集する**

4 **[●]を押す**

自作定型文が保存され、「登録しました」と表示されます。

■入力画面の文章を自作定型文に登録する

メールの本文など、文字入力画面で入力した文章をコピーして自作定型文に登録することができます。

1 **登録する文章を文字入力画面で入力する**

2 **[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [WEB]（次頁）を押す**

3 **[1]（定型文登録）を押す**

画面下側に「始点を選んで下さい」と表示されます。

4 **[◀▲▼▶] で登録する文章の先頭にカーソルを移動し、[●] を押す**

画面下側に「終点を選んで下さい」と表示されます。

5 **[◀▲▼▶] で登録する文章の最後にカーソルを移動し、[●] を押す**

6 **自作定型文を登録する番号のダイヤルボタンを押すか、[▲▼] で登録箇所を選択して [●] を押す**

▶ **既存の自作定型文に上書きするには**

すでに自作定型文の登録されている番号を選択すると、元の定型文を削除し、新しい定型文を上書きするかどうか確認する画面が表示されます。上書きしてよければ [▲] で「Yes」を選択し、[●] を押します。

自作定型文を削除する

■ 1件だけ削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 6 を押す

自作定型文の一覧が表示されます。

2 ▲▼ で削除する自作定型文を選択し、WEB（メニュー）を押す

3 1（一件削除）を押す

削除するかどうか確認する画面が表示されます。

4 ◀ で「Yes」を選択し、● を押す

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■選択して削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 6 を押す

自作定型文の一覧が表示されます。

2 WEB（メニュー）を押す

3 2（選択削除）を押す

削除するかどうか確認する画面が表示されます。

4 削除する自作定型文を選択する

▶ 1件ずつ選択するには

▲▼ で削除する自作定型文を選択し、●（チェック）を押します。自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ●（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

MAIL（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

5 MAIL（削除）を押す

6 ◀ で「Yes」を選択し、● を押す

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 6 を押す

自作定型文の一覧が表示されます。

2 WEB（メニュー）を押す

3 3（全件削除）を押す

削除するかどうか確認する画面が表示されます。

4 ◀ で「Yes」を選択し、● を押す

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

文字サイズを変更する

文字を入力する画面では文字の表示サイズを３段階から選択することができます。

1 文字入力画面で［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［WEB］（次頁）を押す

2 ［2］（文字サイズ）を押す

3 ［1］（16dot）、［2］（20dot）、［3］（24dot）のいずれかを押す

お知らせ

- お買い上げ時は「20dot」に設定されています。
- 「dot」は、文字を構成する点のことです。16dot、20dot、24dotの順に大きくなります。
- 画面に表示できる最大行数は、16dotのときは12行、20dotのときは10行、24dotのときは8行です。
- ブラウザとドキュメントビューワーについては、それぞれの機能で設定された文字サイズになります。

文章を編集する

文章の途中に文字を挿入する

文字を入力する画面で、入力済みの文章の途中に文字を挿入することができます。

1 ［◀▲▼▶］で文字を入力したい箇所にカーソルを移動する

2 文字を入力する

カーソルの位置に文字が挿入され、カーソル以降の部分は入力した文字数分だけ後ろにずれます。

文字を削除する

1 ［◀▲▼▶］で削除したい文字にカーソルを移動する

2 ［クリア］を押す

カーソルのあった箇所の文字が削除されます。カーソルが文章の最後尾にあるときはカーソルの前の文字が削除されます。

▶ **文章をまとめて削除するには**

［◀▲▼▶］でカーソルを文章の先頭または最後尾に移動し、約1秒以上［クリア］を押します。文章全体が削除されます。カーソルが文章の途中にある場合は、カーソル以降だけが削除されます。

文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は電源を切っても記録されており、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角2048文字（半角4096文字）までです。

■文章をコピー／カットする

編集中の文章をコピー／カットします。コピーの場合は元の文章はそのまま残りますが、カットの場合は元の文章は残りません。受信メール、送信メールの内容をコピーすることもできます。「メール本文の文字をコピーする」（☞8-25ページ）

1 文字入力画面で［WEB］（メニュー）を押す

2 ［1］（コピー）または［2］（カット）を押す

画面下側に「始点を選んで下さい」と表示されます。

3 ［カーソルキー］でコピー／カットする文章の先頭にカーソルを移動し、［●］を押す

画面下側に「終点を選んで下さい」と表示されます。

4 ［カーソルキー］でコピー／カットする文章の最後にカーソルを移動し、［●］を押す

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。
コピーの場合は選択した範囲の文章はそのまま残りますが、カットの場合は削除されます。

■文章を貼り付ける

1 文字入力画面で［カーソルキー］でコピー／カットした文章を貼り付けたい箇所にカーソルを移動する

2 ［WEB］（メニュー）を押す

3 ［3］（ペースト）を押す

カーソル位置の文字の前に、コピー／カットした文章が挿入されます。

お知らせ

- 文字列がコピーされていないときは使用できません。
- その画面で入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字列だけが貼り付けられます。
- 半角文字しか入力できない画面で全角のカタカナ、英字、数字を貼り付けると、半角文字に変換されて貼り付けられます。
- その画面に入力できる文字数よりも貼り付ける文章の文字数が多い場合は、エラー音が鳴り、入力できる文字数分までが貼り付けられます。

電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する

文字入力画面では、電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳に登録してある情報を引用して入力することができます。

■電話帳から引用する

1 文字入力画面で [◀][▲][▼][▶] で引用先の箇所にカーソルを移動する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [5]（電話帳引用）を押す

電話帳が表示されます。

4 [▲][▼] で引用する対象の人を選択し、[●] を押す

電話帳の検索方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）を参照してください。

5 [▲][▼] で引用する項目を選択し、[●] を押す

カーソルの位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。

お知らせ

- 引用対象は、名前、電話番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■ブックマークから引用する

1 文字入力画面で [◀][▲][▼][▶] で引用先の箇所にカーソルを移動する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [6]（ブックマーク引用）を押す

ブックマークフォルダ一覧が表示されます。

4 [▲][▼] でフォルダを選択し、[●] を押す

5 [▲][▼] で引用するブックマークを選択し、[●] を押す

カーソルの位置の前に、ブックマークのアドレスが挿入されます。

お知らせ

- 半角の英字、数字、記号のいずれも入力できない画面では、ブックマーク引用は選択できません。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■プロフィール／メモ帳から引用する

1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動する

2 （メニュー）を押す

3 （プロフィール引用）、 （メモ帳引用）のいずれかを押す

プロフィール／メモ帳に登録されている情報が表示されます。

4 で引用する項目を選択し、 を押す

カーソル位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。

お知らせ

- プロフィールの引用対象は、名前、電話番号、オフィス番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。
- メモ帳からの引用では、手順4で （microSD）を押すとmicroSDに保存されているメモが表示され、 （本体）を押すと本体のメモが表示されます。また、 （詳細）を押すと、メモの詳細が表示されます。

ポケベル方式で入力する

ポケットベルと同様の方法で文字を入力することができます。

ポケベル方式に切り替える

1 文字入力画面で （メニュー）を押す

2 （次頁）を押す

3 （入力方法）を押す

4 （ポケベル入力）を押す

▶ **かな入力に戻すには**

お買い上げ時の入力方法である「かな入力」に戻すには、 （かな入力）を押します。

ポケベル方式で入力する

1 を押して入力モードを選択する

ポケベル入力には次の入力モードがあり、 で選択することができます。

P：全角モード
PB：半角モード

2 を押す

モードが設定されます。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

ダイヤルボタンを２回押すことで文字を指定します。

＜全角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
	2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
	3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
	5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	－	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆	スペース	☎	、
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	改行	♥	。
	9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
	0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

＜半角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&	スペース		､
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	改行		｡
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

お知らせ

- #を押して改行することもできます。
- *を押して濁点や半濁点を入力することはできません。
- アルファベットの大文字と小文字は A/a MY で切り替えます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）と「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと A/a MY を押して変換します。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを、電話帳に登録しておくことができます。登録件数は最大で1000件です。
電話帳には、次の項目を登録できます。

名 名前、カナ フリガナ

発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、相手の名前がディスプレイに表示されます（着信者表示機能）。

Gr グループ

ビジネスや友人など、電話帳に登録するデータを10グループに分類して管理できます。

電話番号　および分類マーク

電話帳1件の登録につき、3つの電話番号が登録できます。また、PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。マークは次の10種類です。

① ：電話番号
② ：携帯電話
③ ：PHS
④ ：自宅
⑤ ：会社
⑥ ：FAX
⑦ ：ショップ
⑧ ：レストラン
⑨ ：病院
⑩ ：その他

@ メールアドレス　および分類マーク

電話帳1件の登録につき、3つのメールアドレスが登録できます。また、携帯電話や会社PCなど、相手のメールアドレスにマークを付けて分類できます。マークは次の5種類です。

① ：指定なし
② ：携帯電話
③ ：PHS
④ ：自宅PC
⑤ ：会社PC

メモ

住所や誕生日など、相手に関する情報を登録しておくことができます。全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

画像

特定の電話帳データに画像登録をしておくと、着信時に登録した画像が表示され、だれから電話がかかってきたのかを知ることができます。この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

短 短縮番号

よく電話をかける相手をメモリNo.000 ～ 009の短縮番号に設定しておくと、短縮番号の下1桁を押すだけで簡単に電話をかけることができます。

シークレット

電話帳データのシークレット設定を「ON」にすると、そのデータが電話帳に表示されなくなります。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また、シークレット設定を「ON」にして登録した相手に電話をかけても、発信履歴には名前が残りません。
シークレットデータを表示するには、指紋または暗証番号による認証が必要になります。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信音

特定の電話帳データに着信音を登録しておくと、着信時の呼び出し音の種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信イルミネーション

特定の電話帳データに着信イルミネーションを登録しておくと、着信時のイルミネーションの種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。イルミネーションは８種類あります。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

電話帳に登録する

電話帳を新規登録する

1 待ち受け画面で MENU 6 2 を押す

電話帳登録画面が表示されます。

2 で入力する項目を選択し、を押す

選択した項目の編集画面が表示されます。
どの項目からでも入力できますが、名前、フリガナ、電話番号またはメールアドレスの最低３項目を入力しないと電話帳に登録できません。
次の項目が入力・設定できます。

- ▶ 名 ｶﾅ 名前とフリガナを入力する（☞7-47ページ）
- ▶ Gr グループを選択する（☞7-47ページ）
- ▶ 電話番号と分類マークを入力する（☞7-48ページ）
- ▶ @ メールアドレスと分類マークを入力する（☞7-48ページ）
- ▶ 電話やメールの着信時に表示される画像を設定する（☞7-49ページ）
- ▶ 短 短縮番号を設定する（☞7-49ページ）
- ▶ シークレットを設定する（☞7-49ページ）
- ▶ 電話やメールの着信音を選択する（☞7-50ページ）
- ▶ 電話やメールの着信イルミネーションを選択する（☞7-50ページ）

3 必要に応じて手順２を繰り返し、各項目を入力・設定する

4 MAIL（登録）を押す

メモリNo.の登録画面が表示されます。ただし「短縮設定」を「ON」にしている場合は、登録画面は表示されずに登録が完了します。

5 [0] ～ [9] でメモリNo.を入力する

「010」～「999」の3桁の数字を入力します。

▶ **自動でメモリNo.を登録するとき**

メモリNo.を入力せずに、手順6へ進みます。メモリNo.010以降の、空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

6 [決定] を押す

データが登録され、「メモリNo.○○○に登録しました」と表示されます。

▶ **すでに登録済みのメモリNo.を入力したとき**

「○○○に上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きをしてよいときは、[↓] で「Yes」を選択して [決定] を押します。「No」を選択したときは、もう一度 [0] ～ [9] でメモリNo.を入力します。

お知らせ

- 待ち受け画面から [電話帳] で電話帳一覧を表示し、[MAIL]（新規）を押しても、電話帳の新規登録画面が表示されます。
- ダイヤルロックが設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておくと、指紋または暗証番号による認証を行わないと、電話帳機能が使えなくなります。「電話帳ロックを設定する」（☞7-59ページ）
- 登録件数がいっぱいのときは、電話帳に登録できません。まず、電話帳から不要なデータを削除してください。「電話帳の内容を削除する」（☞7-57ページ）

■名前とフリガナを入力する

名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角で32文字まで入力できます。

1 名前を入力する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 [決定] を押す

入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

▶ **フリガナを修正するには**

[◀▶] で修正したい箇所にカーソルを移動し、[クリア] で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

3 [決定] を押す

電話帳登録画面に戻ります。

お知らせ

- フリガナに空白は入力できません。名前に空白を入力しても、フリガナでは空白が削除されて表示されます。

■グループを選択する

グループを選択しなかった電話帳データは、「グループ0」に登録されます。
グループ名を変更することもできます。「グループ名を変更する」（☞7-58ページ）

1 選択するグループの番号を押す

電話帳登録画面に戻ります。

■電話番号と分類マークを入力する

電話帳１件につき、電話番号を最大３件まで登録できます。電話番号は32桁まで入力できます。

1 0 ～ 9 で電話番号を入力する

▶ **電話番号を修正するには**

◀▶ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア で消去してから、0 ～ 9 で正しい番号を入力します。

2 ［・］を押す

番号種別選択画面が表示されます。

3 選択する分類マークの番号を押す

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力した電話番号が電話番号１として表示されます。また、電話番号２を入力するための項目が追加されます。

▶ **分類マークを指定しないときは**

0（Tel その他）を押します。

▶ **電話番号２、３を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示された電話番号の項目を選択してから、手順１～３を繰り返します。

お知らせ

- 手順１で「070」から始まる電話番号を入力した場合は、手順２で「PHS PHS」が自動的に選択されます。
- 手順１で「090」や「080」から始まる電話番号を入力した場合は、手順２で「@ 携帯電話」が自動的に選択されます。

■メールアドレスと分類マークを入力する

電話帳１件につき、メールアドレスを最大３件まで登録できます。また、メールアドレスは半角64文字まで入力できます。

1 メールアドレスを入力する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 選択する分類マークの番号を押す

メールアドレス種別選択画面が表示されます。

3 選択する分類マークの番号を押す

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力したメールアドレスがメールアドレス１として表示されます。また、メールアドレス２を入力するための項目が追加されます。

▶ **分類マークを指定しないときは**

1（@ 指定なし）を押します。

▶ **メールアドレス２、３を登録するには**

電話帳登録画面で、追加　表示されたメールアドレスの項目を選択してから、手順１～３を繰り返します。

■メモを入力する

メモは全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

1 メモを入力する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 ［・］を押す

電話帳登録画面に戻ります。

■電話やメールの着信時に表示される画像を設定する

画像を設定すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。
設定できるのは、データフォルダ内に保存されている画像です。

1 [1]または[2]を押す

▶ **[1]（設定なし）を押したときは**

画像の設定が解除されます。

▶ **[2]（データフォルダ）を押したときは**

[▲▼]でフォルダを選択後[●]を押し、[◀▲▼▶]で画像データを選択して[●]を押します。「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

お知らせ

- 画像の一覧画面で[WEB]（一覧）を押すと、画像名の一覧に切り替わります。もう一度[WEB]（サムネイル）を押すと、画像の一覧表示に戻ります。
- 画像の一覧画面で、[◀▲▼▶]で画像を選択して[MAIL]（表示）を押すと、選択中の画像が大きく表示されます。[▲▼]で前後の画像を表示することもできます。[クリア]を押すと画像の一覧に戻ります。

■短縮番号を設定する

短縮番号は、メモリNo.000 ～ 009の10件まで設定できます。短縮番号を設定した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで簡単に電話をかけることができます。

1 [1]（ON）を押す

▶ **短縮番号が10件登録されているときは**

短縮番号を設定できません。[クリア]または[2]を押して、電話帳登録画面に戻ります。

2 [▲▼]で短縮番号を選択し、[●]を押す

電話帳登録画面に戻ります。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータを、シークレットに設定しておくことができます。
この設定をしておくと、指紋または暗証番号による認証を行わないと、電話帳にデータが表示されません。
「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞7-60ページ）

1 [1]（ON）を押す

電話帳登録画面に戻ります。

▶ **シークレットの設定を解除するには**

[2]（OFF）を押します。

お知らせ

- シークレットを「ON」に設定した相手から電話がかかってきた場合、相手の名前は表示されず、電話番号だけが表示されます。
- シークレットを「ON」に設定してある相手先からの発信や着信があった場合、発信履歴や着信履歴に相手の名前は表示されません。「ユーザ非通知」と表示されます。

■電話やメールの着信音を選択する

指定着信音を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、Eメールやライトメールの着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

1　[1]～[3]のいずれかを押す

▶ **[1]（設定なし）を押したときは**

着信音の設定が解除されます。

▶ **[2]（固定サウンド）を押したときは**

本電話機に初めから用意されているパターンやメロディの一覧が表示されます。[▲▼]で着信音を選択して[●]を押します。

▶ **[3]（データフォルダ）を押したときは**

[▲▼]でフォルダを選択し、[▲▼]で着信音を選択して[●]を押します。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）

お知らせ

- 着信音を選択して[MAIL]（再生）を押すと、選択した着信音が再生されます。
- 着信音の再生中に[MY]を押すと、サウンド一覧での次のメロディが再生され、[IC REC]を押すとひとつ前のメロディが再生されます。

■電話やメールの着信イルミネーションを選択する

指定イルミネーションを設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。また、Eメールやライトメールのイルミネーションを登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。
設定できるイルミネーションは8種類です。「着信ランプを設定する」（☞13-12ページ）

1　イルミネーションの番号を押す

電話帳登録画面に戻ります。

▶ **イルミネーションを確認するには**

[▲▼]でイルミネーションを選択すると、そのイルミネーションが点滅します。

▶ **イルミネーションの設定を解除するには**

[1]（設定なし）を押します。

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を、電話帳に登録することができます。登録方法には、名前を新しく入力して登録する「新規登録」と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する「追加登録」があります。

1　待ち受け画面で [◀|▶] を押す

[▶] で発信履歴、[◀] で着信履歴が表示されます。

2　必要に応じて、[◀|▶] で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

3　[▲|▼] で登録する電話番号を選択し、[●] を押す

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

4　[MAIL]（登録）を押す

5　[1] または [2] を押す

▶ **[1]（新規登録）を押すと**

「新規登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

▶ **[2]（追加登録）を押すと**

「追加登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

■新規登録する

[1]（新規登録）を押したときは、電話番号の分類マークを選択する画面が表示されます。

1　選択する分類マークの番号を押す

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

2　他の項目を入力し、電話帳を登録する

「電話帳を新規登録する」（☞7-46ページ）

■追加登録する

[2]（追加登録）を押したときは、電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

1　[▲|▼] で登録先の名前を選択し、[●] を押す

電話帳の登録内容が表示されます

2　[▲|▼] で電話番号が登録されていない項目を選択して、[●] を押す

3　選択する分類マークの番号を押す

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

4　必要に応じて他の項目を入力し、電話帳を登録する

お知らせ

- 登録済みの電話番号に上書きするときは、手順2で上書きする電話番号を選択して [●] を押してください。「上書きしますか？」と表示されるので、[▲] で「Yes」を選択して [●] を押します。

入力した電話番号を登録する

待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。

1 待ち受け画面で、電話帳に登録する電話番号を入力する

2 [MAIL]（登録）を押す

3 [1]または[2]を押す

▶ [1]（新規登録）を押すと

「新規登録する」(☞7-51ページ)に進みます。

▶ [2]（追加登録）を押すと

「追加登録する」(☞7-51ページ)に進みます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してあるデータは、名前の50音順・グループ・メモリNo.・名前の読み・電話番号・メールアドレスで検索して呼び出すことができます。この呼び出した電話帳データを使って、電話をかけられます。

1 待ち受け画面で[MENU][6][1]を押す

電話帳の一覧画面が表示されます。[↵]でも、同じ操作ができます。ただし、電話帳に1件もデータが登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されます。「電話帳に登録する」(☞7-46ページ)

2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されるので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の6つの方法で検索できます。

▶ 名前の50音順一覧で検索する（☞7-53ページ）

▶ グループ別一覧で検索する（☞7-54ページ）

▶ メモリNo.で検索する（☞7-54ページ）

▶ 名前の読みで検索する（☞7-55ページ）

▶ 電話番号で検索する（☞7-55ページ）

▶ メールアドレスで検索する（☞7-56ページ）

3 相手先を選択し、[●]を押す

電話帳詳細画面に登録データの詳細が表示されます。

4 [◀▶]で、発信する電話番号に対応する分類マークを選択する

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

▶ 登録内容を確認するには

[◀▶]で分類マークを選択すると、その項目の登録内容が画面の下側に表示されます。[✎]の場合は、選択して[●]（確認）を押すとメモ帳の画面にメモの内容が表示されます。[♪]の場合は、選択して[●]（確認）を押すと、オプション画面に着信音と着信イルミネーションの設定が表示されます。

▶ 前後のデータを表示するには

電話帳詳細画面で[↳]を押すと前のデータ、[↵]を押すと次のデータが表示されます。

5 [●]（発信）または[☎]を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳は名前の50音順一覧で表示するよう設定されています。
- 手順2で［通話］を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号が2つ以上登録されているときは、電話番号1に電話がかかります。
- オフィスモードのときには、手順4の後で［A/MY］を押すと、登録した外線発信番号が先頭に付加されます。もう一度［A/MY］を押すと、外線発信番号は消えます。
- 手順4の後でダイヤルボタンを押すと、選択した電話番号の後ろにダイヤルボタンの番号が付加されます。その状態で［MAIL］（登録）を押して電話番号を新規登録または追加登録することもできます。登録手順は発信履歴などの電話番号を登録する場合と同じです。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞7-51ページ）
- 手順4の後で［WEB］（メニュー）を押し、［3］（184発信）または［4］（186発信）を押すと、電話番号に「184」または「186」が付加されて発信されます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞7-4ページ）
- 待受モードが「公衆＋オフィス」に設定されている場合は、外線発信するとき、手順4で番号を選択して［MENU］を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「発信するモードを一時的に切り替える」（☞14-6ページ）

名前の50音順一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で［WEB］（メニュー）を押す

2 ［1］（表示切替）を押す

3 ［1］（あかさたな一覧）を押す

「あ」行の電話帳が表示されます。

4 表示する行を切り替える

行を切り替えるには、［◀▶］による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

▶ **ダイヤルボタンで切り替えるには**

ダイヤルボタンに書かれているひらがなが、50音の行に対応しています。例えば［3］を押すと「さ」行が表示されます。［#］を押すと「あ」～「わ」行以外の名前が表示されます。

5 ［▲▼］で相手先を選択する

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法が名前の50音順一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれているひらがなに対応した行が表示されます。
例えば待ち受け画面で［3］を約1秒以上押すと、「さ」行の電話帳が表示されます。

お知らせ

- 名前の50音順一覧画面で、行に対応するダイヤルボタンを繰り返し押すと、名前の読みの最初の文字単位で選択位置が移動します。例えば「さ」行が表示されているときは、［3］を押すたびに、読みが「さ」→「し」→「す」→「せ」→「そ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

グループ別一覧で検索する

1 **電話帳の一覧画面で WEB（メニュー）を押す**

2 **1（表示切替）を押す**

3 **2（グループ一覧）を押す**

グループ別の電話帳が表示されます。

4 **◀▶ で表示するグループを切り替える**

5 **▲▼ で相手先を選択する**

■待ち受け画面から直接、目的のグループを表示させる

電話帳の表示方法がグループ一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したグループが表示されます。
例えば待ち受け画面で 3 を約1秒以上押すと、「グループ3」の電話帳が表示されます。

お知らせ

- グループ一覧画面でダイヤルボタンを押すと、表示しているグループ内で、ダイヤルボタンに書かれているひらがなで始まる名前に選択位置が移動します。例えば 3 を押すと、読みが「さ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

メモリNo.で検索する

1 **電話帳の一覧画面で WEB（メニュー）を押す**

2 **1（表示切替）を押す**

3 **3（メモリNo.一覧）を押す**

4 **検索するメモリNo.を入力し、● を押す**

▶ **上1桁を入力したとき**

100件単位で表示されます。例えば「3」と入力すると、No.300～399の電話帳データが表示されます。

▶ **上2桁を入力したとき**

10件単位で表示されます。例えば「31」と入力すると、No.310～319の電話帳データが表示されます。

▶ **メモリNo.を入力しなかったとき**

「短縮（000)」から、10件単位で電話帳データが表示されます。

5 **必要に応じて、表示するメモリNo.の範囲を切り替える**

メモリNo.の範囲を切り替えるには、◀▶ による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

▶ **ダイヤルボタンで切り替えるには**

ダイヤルボタンに書かれている数字が、メモリNo.の上1桁に対応しています。例えば 0 を1回押すと、「短縮」(No.000～010）の電話帳データが表示されます。0 を押すたびに、表示される範囲がNo.010～019、No.020～029のように10件単位で切り替わります。

6 **▲▼ で相手先を選択する**

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法がメモリNo.一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したメモリNo.が表示されます。例えば[3]を約1秒以上押すと、No.300 ～ 309の電話帳データが表示されます。

お知らせ

- 入力したメモリNo.に対応するデータが1件も登録されていない場合は、入力したメモリNo.以降で、最もメモリNo.の小さいデータが表示されます。

名前の読みで検索する

1 電話帳の一覧画面で[WEB]（メニュー）を押す

2 [1]（表示切替）を押す

3 [4]（読み検索一覧）を押す

4 名前の読みを入力する

読みは、すべてを入力しなくても構いません。最初の文字だけを入力すれば、その読みで始まる名前がすべて検索されます。

5 [●]を押す

検索結果が、名前の50音順一覧で表示されます。

6 相手先を選択する

「名前の50音順一覧で検索する」(☞7-53ページ)

電話番号で検索する

局番など、電話番号の一部で電話帳データを検索することができます。

1 電話帳の一覧画面で[WEB]（メニュー）を押す

2 [2]（番号検索）を押す

3 番号を入力する

番号は5桁まで入力できます。

4 [●]を押す

検索結果が、名前の50音順一覧で表示されます。

5 [▲▼]で相手先を選択する

メールアドレスで検索する

メールアカウント（@より前）やドメイン名（@より後）など、メールアドレスの一部で電話帳データを検索することができます。

1 **電話帳の一覧画面で [WEB]（メニュー）を押す**

2 **[3]（アドレス検索）を押す。**

3 **アドレスを入力する**

アドレスは半角で10文字まで入力できます。

4 **[●] を押す**

検索結果が、名前の50音順一覧で表示されます。

5 **[▲▼] で相手先を選択する**

短縮番号で電話をかける

短縮番号（メモリNo.000 〜 009）に登録した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで、簡単に電話をかけることができます。電話番号が複数登録されているときは、電話番号1にかかります。

1 **待ち受け画面で、[0] 〜 [9] でメモリNo.の下1桁を入力する**

2 **[発信] または [●]（発信）を押す**

お知らせ

- 短縮番号による発信は、公衆モードでのみご利用いただけます。

電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

1 **修正する電話帳データの詳細を表示する**

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

2 **[MAIL]（編集）を押す**

3 **[▲▼] で編集する項目を選択し、[●] を押す**

4 **登録内容を編集する**

「電話帳を新規登録する」（☞7-46ページ）

電話帳の内容を削除する

電話帳のデータは、１件ずつ、または何件かまとめて削除できます。
電話帳のデータをすべて削除するには、指紋または暗証番号による認証が必要になります。

１件だけ削除する

1 待ち受け画面で [MENU] [6] [1] を押す

電話帳の一覧画面が表示されます。[ ]でも、同じ操作ができます。

2 削除するデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

削除するデータの内容を確認したいときは、データを選択して [ ] を押し、詳細を表示させてから [WEB]（メニュー）を押します。

3 [7]（一件削除）を押す

詳細画面の場合は [6]（一件削除）を押します。

4 [ ] で「Yes」を選択して、[ ] を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で [MENU] [6] [1] を押す

電話帳の一覧画面が表示されます。[ ]でも、同じ操作ができます。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [8]（選択削除）を押す

4 削除するデータを選択する

▶ １件ずつ選択するには

[ ][ ] で削除する電話帳データを選択し、[ ]（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [ ]（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [1]（全件選択）を押します。すべての電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [2]（全件解除）を押します。

5 [MAIL]（削除）を押す

6 [ ] で「Yes」を選択して、[ ] を押す

選択したデータが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

電話帳のデータをすべて削除すると、シークレットデータも削除されます。

1 待ち受け画面で MENU 6 7 を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

3 で「Yes」を選択して、 を押す

電話帳のデータがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

電話帳のグループ設定を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。また、グループごとに着信音やイルミネーションを設定することもできます。

グループ名を変更する

電話帳のグループ名は、全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

1 待ち受け画面で MENU 6 3 を押す

2 名前を変更するグループの番号を押す

3 ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

4 を押す

グループ名が設定され、「設定しました」と表示されます。

■グループ名をお買い上げ時の状態に戻す

お買い上げ時には、グループ名は「グループ1」～「グループ0」に設定されています。

1 待ち受け画面で MENU 6 3 を押す

2 WEB（メニュー）を押す

3 2（グループ名初期化）を押す

4 で「Yes」を選択して、 を押す

グループ名が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

グループごとの着信メロディ／着信イルミネーション／バイブを設定する（グループ着信設定）

グループごとに着信メロディ／着信イルミネーション／バイブレータを設定することができます。

1 待ち受け画面で［MENU］［6］［3］を押す

2 ［▲▼］で設定するグループの番号を選択する

3 ［WEB］（メニュー）を押す

4 ［1］（グループ着信設定）を押す

5 ［1］～［3］のいずれかを押す

▶ ［1］（電話着信）を押したときは

電話着信に対する設定になります。

▶ ［2］（Eメール着信）を押したときは

Eメール着信に対する設定になります。

▶ ［3］（ライトメール着信）を押したときは

ライトメール着信に対する設定になります。

6 ［1］～［3］のいずれかを押す

▶ ［1］（着信メロディ）を押したときは

［2］（固定サウンド）または［3］（データフォルダ）を押し、［▲▼］で着信メロディを選択して［●］を押します。［1］（通常と同じ）を押した場合は、「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）で設定した着信メロディとなります。

▶ ［2］（着信イルミネーション）を押したときは

［1］～［9］のいずれかを押します。［1］（通常と同じ）を押した場合は、「着信ランプを設定する」（☞13-12ページ）で設定した着信イルミネーションとなります。

▶ ［3］（バイブ）を押したときは

［1］～［8］のいずれかを押します。［1］（通常と同じ）を押した場合は、「バイブレータを設定する」（☞7-64ページ）で設定したバイブレータとなります。

電話帳をロックする（電話帳ロック）

電話帳ロックを設定すると、他の人に電話帳を利用されることを防止できます。電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときにも、相手の名前を表示しません。
また、発信履歴／着信履歴／メモに記録されている名前も表示されなくなります。
電話帳ロックを設定するには、指紋または暗証番号による認証が必要になります。

電話帳ロックを設定する

1 待ち受け画面で［MENU］［6］［4］を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、電話帳ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

電話帳ロックを解除する

1 待ち受け画面で MENU 6 4 を押す

「電話帳ロック中です　解除しますか？」と表示されます。

2 で「Yes」を選択して、 を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、電話帳ロックが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「解除」に設定されています。
- 電話帳ロックの設定中に で電話帳を呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。指紋または暗証番号による認証を行うと、電話帳ロックが一時的に解除され、電話帳が表示されます。表示された電話帳を使って電話をかけたり、電話帳以外の画面を表示させると、自動的に電話帳ロックが再設定されます。

シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）

電話帳の登録時にシークレット設定を「ON」にしたデータは、電話帳を検索しても表示されません。
シークレットデータを一時的に表示するには、指紋または暗証番号による認証が必要になります。
電話帳の検索画面から発信を行ったり、違う画面に表示を切り替えたりすると、シークレットデータは自動的に非表示に戻ります。

1 待ち受け画面で MENU 6 5 を押す

または、電話帳検索画面で WEB（メニュー）を押し、5（シークレット一時表示）を押します。

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると電話帳の一覧画面が表示されます。シークレットデータは他と違う色の文字で表示されます。「画面の配色を設定する」（☞13-9ページ）

電話帳の登録件数を確認する（登録件数表示）

電話帳に登録されているデータの総数、およびグループごとの登録件数を表示できます。
シークレット設定されているデータもカウントされます。

1 待ち受け画面で MENU 6 6 を押す

登録件数表示画面が表示されます。登録件数は「○○○／ 1000」と表示され、棒グラフでも表示されます（1000は登録可能な最大件数）。

お知らせ

- 電話帳検索画面で WEB（メニュー）を押し、4（登録件数表示）を押しても、電話帳の登録件数を表示できます。

音を調整する

受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）

電話先の相手の声を聞くときの受話音量を５段階で設定できます。ここで設定した受話音量は、スピーカに切り替えたときにも反映されます。

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 2（受話音量）を押す

現在の受話音量レベルが表示されます。

3 ▲▼で受話音量レベルを選択する

▲：着信音量レベルが上がります。
▼：着信音量レベルが下がります。

4 ●（決定）を押す

受話音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.4」に設定されています。
- 本機能の設定は、電源を切っても変わりません。
- 通話中に受話音量を調節することができます。「受話音量を調節する」(☞7-11ページ)

ひそひそ通話を設定する（ひそひそ設定）

公共の場所などで小さな声でしゃべりたいときに、通話時の音を設定できます。この場合、小さな声で話しても相手には大きく聞こえます。また、相手の声も大きく聞こえます。

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 3（ひそひそ設定）を押す

3 1（ON）を押す

ひそひそ通話が設定されていると、通話中の画面に「ひそひそ通話中」と表示されます。

▶ ひそひそ通話設定を解除するには

ひそひそ通話設定時に 2（OFF）を押します。ひそひそ通話が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 通話中に一時的にひそひそ通話設定を切り替えることができます。この場合、通話中に WEB（メニュー）を押し、サブメニューから 4（ひそひそ通話）を選択します。ひそひそ通話を解除するには、ひそひそ通話中に WEB（メニュー）を押し、サブメニューから 4（ひそひそ通話解除）を選択します。
- 通話中に一時的にひそひそ通話に切り替えた場合に、通話を終了すると自動的にひそひそ通話は解除されます。
- 本機能を「ON」に設定すると、解除するまで有効です。
- 本機能の設定は、イヤホン装着時の通話でも有効です。

着信音を設定する

着信時の着信メロディ、着信メロディの音量、鳴動時間、バイブレータ、Eメールのバックグランド受信通知について設定します。

着信メロディを設定する

相手から着信したときの着信メロディを設定できます。着信メロディの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信メロディの設定方法を例にしています。
着信メロディは、固定サウンド、本電話機のデータフォルダ、またはmicroSDカードに保存されているサウンドデータから選択できます。

1　待ち受け画面で MENU 5 1 1 を押す

2　1（公衆着信）を押す

3　1（着信メロディ）を押す

4　1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ **1（固定サウンド）を押すと**

固定サウンドの中から着信メロディを選択します。

▶ **2（データフォルダ）を押すと**

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、着信メロディを選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

▶ **3（microSD）を押すと**

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、着信メロディを選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていなければ、この項目は選択できません。

▶ **メロディを聞くには**

▲▼でメロディを選択して MAIL（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、A/a MY で次のメロディ、文字 IC REC で前のメロディを再生します。再生を終了するには、MAIL（停止）または クリア マナー を押します。● を押すと、再生中のメロディが着信メロディとして設定されます。

▶ **音量を調節するには**

メロディ再生中に、▲▼で音量の調節ができます。

▶ **着信時の動作を確認するには**

WEB（リハーサル）を押すと、本電話機が現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、A/a MY（▼PAGE）で次のメロディ、文字 IC REC（▲PAGE）で前のメロディを再生します ● を押すと、その時点で再生中のメロディが設定されます。再生を終了するには、MAIL（停止）を押します。

5　▲▼で着信メロディを選択し、● を押す

▶ **手順４で 1（固定サウンド）または 2（データフォルダ）を押した場合**

着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **手順４で 3（microSD）を押した場合**

「本体へコピーし設定します よろしいですか？」と表示されます。▲で「Yes」を選択し、● を押します。「コピー中　microSD を抜かないで下さい」のメッセージの後、着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

■固定サウンド一覧

種別	サウンド名
メロディ	バッハ:イタリア協奏曲 サティ :ピカデリー ボロディン:韃靼人の踊り ブラームス:子守歌 バッハ:シチリアーノ マイムマイム ロッシーニ:ウィリアム・テル序曲 マスネ:タイスの瞑想曲 ジングル1 ジングル2 ジングル3 ジングル4 ジングル5 ジングル6 ジングル7 ジングル8
アラーム	アラーム1 アラーム2
音声	「お電話です。」 「メールがきています。」 「間もなくお時間です。」 「お早うございます。」
Beep音	パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 パターン5 パターン6 パターン7 パターン8 パターン9 パターン10

■お買い上げ時の設定値

機能	着信メロディ	鳴動時間	音量	バイブレータ	バックグランド受信通知
公衆着信	パターン1	−	音量3	OFF	−
Eメール着信	ジングル1	10秒			ON
ライトメール着信	ジングル2	10秒			−
オフィス外線着信	パターン4	−			−
オフィス内線着信	パターン6	−			−
オフィス専用線着信	パターン10	−			−

着信音量を設定する

着信音量を調節できます。着信音量の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音量の設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で MENU 5 1 1 を押す

2 1（公衆着信）を押す

3 2（音量）を押す

4 ▲▼ で着信音量のレベルを選択する

▲：着信音量レベルが上がります。
▼：着信音量レベルが下がります。

STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。

STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

▶ **着信音量を確認するには**

MAIL（再生）を押すと、現在選択している着信音量レベルが確認できます。確認を終了するには、MAIL（停止）を押します。

▶ **着信時の動作を確認するには**

WEB（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。再生を終了するには、MAIL（停止）を押します。

5 ●（決定）を押す

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。

バイブレータを設定する

相手から着信したとき、音を鳴らさずにバイブレータでお知らせするように設定できます。バイブレータの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時のバイブレータの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で MENU 5 1 1 を押す

2 1（公衆着信）を押す

3 3（バイブ）を押す

バイブレータには6つのパターンがあります。▲▼ でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

4 1 〜 7 のいずれかを押す

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **6（バイブ後サウンド鳴動）を押すと**

着信時にバイブレータが振動し、約10秒後に着信音も鳴り出します。この場合、着信音は現在設定されている着信メロディです。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）

▶ **バイブレータを解除するには**

バイブレータ設定時に 7（OFF）を押します。

▶ **着信時の動作を確認するには**

[WEB]（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、[▲▼]でバイブレータのパターンが変更できます。[●]を押すと、その時点でのパターンが設定されます。再生を終了するには、[MAIL]（停止）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メール着信時の鳴動時間を設定する

Eメールとライトメールを受信したときの鳴動時間を、1秒～60秒まででで設定できます。以下はEメール着信時の鳴動時間の設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で[MENU][5][1][1]を押す

2 [2]（Eメール着信）を押す

3 [4]（鳴動時間）を押す

4 [0]～[9]で鳴動時間を入力する

1秒～60秒まで入力できます。
[◀▶]で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

5 [●]を押す

メール着信時の鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）

Eメール以外の機能の使用時にEメールを受信したとき、Eメール着信音やメッセージで通知するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で[MENU][5][1][1]を押す

2 [2]（Eメール着信）を押す

3 [5]（バックグランド受信通知）を押す

4 [1]（ON）または[2]（OFF）を押す

バックグランド受信通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **[1]（ON）を押すと**

バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行います。

▶ **[2]（OFF）を押すと**

バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

着信時の動作を確認する（リハーサル）

着信メロディ、音量、バイブの設定どおり本電話機を動作させ、設定内容を確認することができます。

1 着信音設定を行う

「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）
「着信音量を設定する」（☞7-64ページ）
「バイブレータを設定する」（☞7-64ページ）
「メール着信時の鳴動時間を設定する」（☞7-65ページ）
「Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）」（☞7-65ページ）

2 登録直後の画面で［WEB］（リハーサル）を押す

設定どおりに本電話機が動作します。

マナーモードを設定する

公共の場所などで音を鳴らしたくないときに、マナーモードを設定できます。また、マナーモードの内容はお好みで設定できます。

マナーモードにする

1 待ち受け画面で［クリア/マナー］を約1秒以上押す

本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」「 」「 」が表示されます。

▶ マナーモードを解除するには

マナーモード設定時に、待ち受け画面で［クリア/マナー］を約1秒以上押すと、マナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「マナーモード」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時の状態で「マナーモード」を設定すると、「バイブ」は「ON」に、「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」「効果音」「留守録音」は「OFF」に設定されます。それぞれの機能設定画面で違う設定にしていても、「マナーモード」の設定が優先されます。
- 「オートサイレント」が設定されているときには、本機能を設定することはできません。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞7-68ページ）

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「バイブレータ」、「電話着信音量」、「メール着信音量」、「目覚まし音量」、「スケジュール音量」、「効果音（キー確認音、成功／エラー音、圏外／充電警告音、送達確認音）」、および「留守録音」の設定内容を変更できます。

■「バイブ」「効果音」のマナーモードの設定内容を変更する

1 待ち受け画面で MENU 5 4 1 を押す

2 1（マナーモード）を押す

3 1 または 6 を押す

4 1（ON）または 2（OFF）を押す

▶ **1（ON）を押すと**

「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象とします。

▶ **2（OFF）を押すと**

「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象外とします。

5 MAIL（登録）を押す

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- バイブレータの動作は、「電話着信」、「メール着信」、「目覚まし」、および「スケジュール」のそれぞれで動作パターンが異なります。

■「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモードに設定したときでも、お好みの音量で音を鳴らすことができます。

1 待ち受け画面で MENU 5 4 1 を押す

2 1（マナーモード）を押す

3 2 ～ 5 のいずれかを押す

4 ▲▼ で着信音量のレベルを選択し、● を押す

▲：着信音量レベルが上がります。
▼：着信音量レベルが下がります。
STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で５秒ごとに１レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。
STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で５秒ごとに１レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

▶ **それぞれの音量を確認するには**

MAIL（再生）を押すと、現在選択している音量レベルが確認できます。確認を終了するには、MAIL（停止）を押します。

5 MAIL（登録）を押す

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

■「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「留守録音」の動作を設定します。この機能が設定されている場合（「OFF」以外の場合）は、待ち受け画面に「」が表示されます。

1 待ち受け画面で MENU 5 4 1 を押す

2 1（マナーモード）を押す

3 7（留守録音設定）を押す

4 1 ～ 4 のいずれかを押す

「留守録音を設定する」（☞7-74ページ）

5 ● を押す

6 MAIL（登録）を押す

設定が登録され､「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、着信音を自動的に鳴らさないように設定できます。オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」（☞1-22ページ）

1 待ち受け画面で MENU 5 4 1 を押す

2 2（オートサイレント）を押す

3 1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ **1（ON（毎日））を押すと**

毎日、同じ時間帯にオートサイレントを有効にします。

▶ **2（ON（一度きり））を押すと**

1度だけオートサイレントを有効にします。

▶ **3（ON（曜日指定））を押すと**

曜日の一覧が表示されるので、オートサイレントを有効にしたい曜日を で選択し、●（選択）を押してチェックを付けます。曜日を選択したら、MAIL（完了）を押します。

▶ **オートサイレントを解除するには**

オートサイレント設定時に 4（OFF）を押すと、オートサイレントが解除され、「解除しました」と表示されます。

4 0 ～ 9 で開始時刻を入力し、● を押す

 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

5 0 ～ 9 で終了時刻を入力する

 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

▶ **「終日」に設定するには**

WEB（終日）を押します。

6 ● を押す

オートサイレントが設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、その時刻になるとオートサイレントが有効になり、待ち受け画面に「」が表示されます。

お知らせ

- 「オートサイレント」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 23:00 ～ 04:00のように、日をまたがる設定もできます。
- 「ON(一度きり)」を設定していた場合、その設定時刻を過ぎたときは、自動的に「OFF」に設定されます。
- 本機能が設定されているときに、音や着信メロディの設定で再生をしようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して [•] を押すと、再生を開始します。
- 音量調節などで音を鳴らしているときに本機能の設定時刻になっても、再生音は停止しません。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに「安全運転モード」に設定しておくと便利です。電話がかかってきても、着信音やバイブレータ、バックライトなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。
安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする「電話機応答」と、ウィルコムのネットワークから電話に出られないことをお伝えする「ネットワーク応答留守電サービス」および「ネットワーク応答」の3つのモードがあります。「ネットワーク応答留守電サービス」や「ネットワーク応答」を利用するには、ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただく必要があります。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞ 13-96ページ）

安全運転モードにする

1 待ち受け画面で [#] を約1秒以上押す

お買い上げ時の設定では、安全運転モードが設定され、「電話機応答に設定しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「[車]」が表示されます。

▶ 安全運転モードを解除するには

待ち受け画面で [#] を約1秒以上押すと、安全運転モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

安全運転モードの設定内容を変更する

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [4] を押す

2 [8]（安全運転モード設定）を押す

3 [1] ～ [3] のいずれかを押す

▶ [1]（ネットワーク応答留守電サービス）を押すと

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流し、ウィルコムの留守番電話センターに相手のメッセージを録音します。

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に「センター留守電あり」と表示され、「[アイコン]」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

▶ [2]（ネットワーク応答）を押すと

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流します。この場合、相手のメッセージは録音されません。待ち受け画面に着信件数が表示され、「[アイコン]」が表示されます。この表示は、着信履歴を確認するまで表示されます。

▶ 3（電話機応答）を押すと

「ただいま移動中のため、電話に出られません。ピーッとなりましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージを流し、本電話機のデータフォルダまたはmicroSDカードに相手のメッセージを録音します。1件につき最大60秒間のメッセージが録音できます。メッセージの保存先は「留守録音を設定する」で設定した場所と同じです。「留守録音を設定／解除する」(☞7-74ページ)
相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

お知らせ

- 相手がメッセージを録音している途中で、☎を押すと録音は中止されます。この場合、途中までのメッセージが保存されます。
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 応答メッセージを流しているときや録音中は、相手からの音声を受話口（レシーバ）で聞くことができます。
- 保存先をmicroSDカードに設定しているとき、応答メッセージの再生中にmicroSDカードを抜くと、自動的に本電話機のデータフォルダにメッセージを録音します。このとき本電話機のデータフォルダの容量が一杯の場合には、メッセージを流した後、通話が終了します。

保存先の容量が足りない場合

■保存先の自動切り替え

設定された録音データ保存先の容量が足りなくなると、自動的に別の保存先に切り替わります。
例えば、microSDカードが装着されている状態で、保存先が本電話機のデータフォルダに設定されている場合、自動的にmicroSDカードに保存されます。

キー確認音を設定する（効果音）

ボタンを押したときに、キー確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 1 を押す

2 2（効果音選択）を押す

3 1（キー確認音）を押す

キー確認音には4つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれのキー確認音のパターンを確認できます。

4 1 ～ 5 のいずれかを押す

キー確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ キー確認音を解除するには

キー確認音設定時に 5（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターンA」に設定されています。
- キー確認音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。キー確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていればキー確認音は鳴ります。
- キー確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。キー確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中はキー確認音は鳴りません。
- キー確認音を「ON」にしても、イヤホン装着時は試聴時を含めキー確認音は鳴りません。

成功／エラー音を設定する（効果音）

各機能を設定したときに、成功音およびエラー音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 1 2 を押す

2 2（成功/エラー音）を押す

3 1（ON）を押す

成功／エラー音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **成功/エラー音を解除するには**

成功/エラー音設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 成功/エラー音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。成功/エラー音を「OFF」にしても､「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていれば成功/エラー音は鳴ります。
- 成功/エラー音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。成功/エラー音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は成功/エラー音は鳴りません。

圏外／充電警告音を設定する（効果音）

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるとき、または電池の充電が必要となり「 」が表示されるときに、圏外警告音および充電警告音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 1 2 を押す

2 3（圏外/充電警告音）を押す

3 1（ON）を押す

圏外／充電警告音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **圏外/充電警告音を解除するには**

圏外/充電警告音設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 圏外/充電警告音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。圏外/充電警告音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていれば圏外/充電警告音は鳴ります。
- 圏外/充電警告音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。圏外/充電警告音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は圏外/充電警告音は鳴りません。

送達確認音を設定する（効果音）

ライトメールを送信したときに、送達確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [1] [2] を押す

2 [4]（送達確認音）を押す

3 [1]（ON）を押す

送達確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **送達確認音を解除するには**

送達確認音設定時に [2]（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 送達確認音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。送達確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていれば送達確認音は鳴ります。
- 送達確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。送達確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は送達確認音は鳴りません。

保留音を設定する

保留音の種類を選択できます。保留音は、固定サウンド、本電話機のデータフォルダ、またはmicroSDカードに保存されているサウンドデータから選択できます。
保留音として設定できる固定サウンドは、着信音と同じです。「固定サウンド一覧」（☞7-63ページ）

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [1] を押す

2 [3]（保留音選択）を押す

3 [1] ～ [3] のいずれかを押す

▶ **[1]（固定サウンド）を押すと**

固定サウンドの中から保留音を選択します。

▶ **[2]（データフォルダ）を押すと**

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、保留音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

▶ **[3]（microSD）を押すと**

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、保留音を選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていなければ、この項目は選択できません。

▶ **メロディを聞くには**

[▲▼] でメロディを選択して [MAIL]（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、[A/a MY] で次のメロディ、[文字 IC REC] で前のメロディを再生します。再生を終了するには、[MAIL]（停止）または [クリア マナー] を押します。

▶ **音量を調節するには**

メロディ再生中に、[▲▼] で音量の調節ができます。

4 保留音を選択する

▶ **手順3で [1]（固定サウンド）を押した場合**

[▲▼] で保留音を選択し、[●] を押します。
保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **手順3で [2]（データフォルダ）を押した場合**

「全データ表示」「サウンドデータ」「録音データ」または「ユーザデータ」を選択します。
[▲▼] で保留音を選択し、[●] を押します。
保留音が設定され「設定しました」と表示されます。

▶ 手順3で[3]（microSD）を押した場合

「サウンドデータ」「録音データ」「PCデータ」または「ユーザデータ」を選択します。[▲▼]で保留音を選択し、[●]を押します。
「本体へコピーし設定します よろしいですか？」と表示されます。[▲]で「Yes」を選択し、[●]を押します。「コピー中 microSDを抜かないで下さい」のメッセージの後保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「固定サウンド」の「バッハ:イタリア協奏曲」に設定されています。
- お買い上げ時には、試聴時の音量は3に設定されています。
- イヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約0.5秒振動してそのことをお知らせするかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で[MENU][5][6]を押す

2 [4]（発信先応答通知）を押す

3 [1]（ON）を押す

発信先応答通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 発信先応答通知を解除するには

発信先応答通知設定時に[2]（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

留守録音を設定する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、1件につき約3秒～60秒間録音できます。
相手のメッセージの保存先は、本電話機のデータフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。
相手のメッセージは、データ保存容量の範囲内で何件でも保存できます。

留守録音を設定／解除する

留守録音を設定する

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 5（留守録音設定）を押す

3 1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ **1（応答&録音 本体保存）を押すと**

応答メッセージを流し、相手のメッセージを本電話機のデータフォルダに保存します。

▶ **2（応答&録音 microSD保存）を押すと**

応答メッセージを流し、相手のメッセージをmicroSDカードに保存します。microSDカードが装着されていないとこの項目は選択できません。microSDカードが装着されていると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

▶ **3（応答のみ）を押すと**

「ただいま電話に出られません。恐れいりますが、後ほどおかけ直しください」という応答メッセージを流します。この場合、相手のメッセージは録音されません。

4 0 ～ 9 で応答時間を入力する

着信してから応答メッセージが流れるまでの時間を0秒～99秒までで入力します。

5 （決定）を押す

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「留守録音設定」は「OFF」に設定されています。
- お買い上げ時には、「応答時間設定」は「10秒」に設定されています。
- 応答メッセージを流しているときや留守録音中は、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 応答メッセージの再生中に または （通話）を押すと、通話状態となり相手と話すことができます。
- 「留守録音設定」を設定していなくても、着信中に （留守録）を押すと、留守録音に切り替わります。
- 通話中に相手の声を録音することもできます。「通話を録音する（通話録音）」（☞7-12ページ）
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 保存先をmicroSDカードに設定しているとき、相手がメッセージを録音している途中でmicroSDカードを抜くと、途中までのメッセージがmicroSDカードに保存されます。
- 「留守録音設定」は、国際ローミングでも同様に動作します。

留守録音設定を解除する

1 待ち受け画面で [MENU][5][4] を押す

2 [5]（留守録音設定）を押す

3 [4]（OFF）を押す

留守録音が解除され、「解除しました」と表示されます。

保存先の容量が足りない場合

■保存先の自動切り替え

設定された録音データ保存先の容量が足りなくなると、自動的に別の保存先に切り替わります。
例えば、microSDカードが装着されている状態で、保存先が本電話機のデータフォルダに設定されている場合、自動的にmicroSDカードに保存されます。

録音されたメッセージを再生／削除する

相手のメッセージが録音されると､待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、[クリア]を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

データフォルダから再生する

1 待ち受け画面で [MENU][5][4] を押す

▶ 待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは

まだ再生していない留守録音メッセージがある場合は､待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されます。この場合は、[●]を押すと最新の留守録音メッセージが再生されるので、手順3に進んでください。

2 [6]（留守録音再生）を押す

[VOICE]：再生されていない録音メッセージ
[VOICE]：再生済みの録音メッセージ

▶ microSDカードの録音データを再生するには

[MAIL]（microSD）を押すと、microSDカードの録音データが表示されます。以下の手順は同じです。
[MAIL]（本体）を押すと本電話機のデータフォルダに戻ります。

3 [▲▼]で再生したい録音メッセージを選択し、[●]（再生）を押す

再生画面が表示されます。

4 [●]（再生）を押す

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。[●]または[クリア]を押すまで、同じメッセージの再生を繰り返します。

▶ スピーカから音を聞くには

再生中に[MAIL]（スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには[MAIL]（レシーバ）を押します。

▶ 再生を終了するには

再生中に[●]または[クリア]を押します。

▶ 再生中の録音メッセージを削除するには

再生中に[WEB]（削除）を押すと、「削除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して[●]を押すと、「削除しました」と表示されます。フォルダ内に録音メッセージがある場合は、次の録音メッセージを再生します。録音メッセージが1件もない場合には、元の画面に戻ります。

▶ **音量を調節するには**

再生中に、[▲▼]で音量を調節します。

[▲]：再生音量レベルが上がります。

[▼]：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」（☞13-78ページ）
- 再生中に、[文字]で前の、[マナー]で次の録音メッセージを再生します。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音メッセージを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して[●]を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている発信者の場合は、留守録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押して[2]（シークレット一時表示）を押します。指紋認証または暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。
- ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただくと、ネットワーク経由で留守番電話機能をご利用いただけます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞13-96ページ）

着信履歴から再生する

留守録音メッセージは、着信履歴から再生することもできます。

1 待ち受け画面で[◀]を押す

着信履歴が表示されます。

2 [WEB]（メニュー）を押し、[6]（留守録音再生）を押す

留守録音された履歴の一覧が表示されます。

3 [▲▼]で履歴を選択し、[●]（再生）を押す

再生画面が表示されます。

4 [●]（再生）を押す

留守録音メッセージが再生されます。

録音されたメッセージを削除する

■1件だけ削除する

1 待ち受け画面で[MENU][5][4]を押す

2 [6]（留守録音再生）を押す

3 [▲▼]で削除する録音メッセージを選択する

4 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す

5 [3]（一件削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

6 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

録音メッセージが削除され、「削除しました」と表示されます。

■選択して削除する

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 6（留守録音再生）を押す

3 WEB（メニュー）を押し、サブメニューで WEB（次頁）を押す

4 4（選択削除）を押す

5 削除する録音メッセージを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

で削除する録音メッセージを選択し、（チェック）を押します。録音メッセージの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての録音メッセージの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

6 MAIL（削除）を押す

「選択されたファイルを削除しますか？」と表示されます。

7 で「Yes」を選択し、を押す

選択した録音メッセージが削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 6（留守録音再生）を押す

3 WEB（メニュー）を押し、サブメニューで WEB（次頁）を押す

4 5（全件削除）を押す

5 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

6 で「Yes」を選択し、を押す

録音メッセージがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」（☞13-78ページ）
- 「削除中」のメッセージが表示されているときに を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の録音メッセージの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。「No」を選択して を押すと、設定データ以外の録音メッセージが削除されます。

マイメニューを利用する

よく利用するメニューやブックマークを「マイメニュー」に登録すると、操作が簡単に行えるようになります。

マイメニューに登録する

メニューやブックマークを最大12件までマイメニューに登録することができます。「マイメニューにブックマークを登録する」（☞9-15ページ）
以下は、電話帳ロック機能をマイメニューに登録する設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で [A/a MY] を押す

2　登録する番号をダイヤルボタンで押す

▶ 登録済みの番号を選択すると

「上書きしますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して [●] を押します。

3　[MAIL]（登録）を押す

4　登録する機能をメインメニューから選択する

ここでは電話帳ロックを登録するので、[6]（電話帳）を押し、[4]（電話帳ロック）を押します。
マイメニューに機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「マイメニュー」には、「オンラインサインアップ」、「公式サイト」および「Java™アプリ」が登録されています。
- 同じ機能を複数登録することができます。

マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューやブックマークを操作します。

1　待ち受け画面で [A/a MY] を押す

2　呼び出す機能の番号をダイヤルボタンで押す

機能メニューを選択すると、選択したメニューの画面が表示されます。
ブックマークを選択すると、ブックマークのURLに接続を開始します。

マイメニューから削除する

登録されているメニューやブックマークを削除します。

1件だけ削除する

1 待ち受け画面で [A/a MY] を押す

2 [▲▼] で削除するメニューを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（一件削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

4 [▲] で「Yes」を選択し、[●] を押す

マイメニューが1件削除され、「削除しました」とメッセージが表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で [A/a MY] を押す

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（選択削除）を押す

4 削除するメニューを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

[▲▼] で削除するメニューを選択し、[●]（チェック）を押します。メニューの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [●]（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [1]（全件選択）を押します。すべてのメニューの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで [2]（全件解除）を押します。

5 [MAIL]（削除）を押す

6 [▲] で「Yes」を選択し、[●] を押す

マイメニューが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面で [A/a MY] を押す

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [3]（全件削除）を押す

「全件削除しますか？」と表示されます。

4 [▲] で「Yes」を選択し、[●] を押す

マイメニューが全件削除され、「削除しました」と表示されます。

8
メール

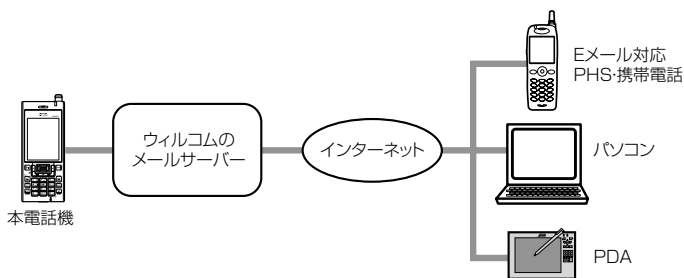
メールについて

本電話機で利用できるメールには、Ｅメールとライトメールがあります。

Ｅメール：　インターネットを経由するメールです。パソコンや他社のＥメール対応携帯電話機ともやり取りが可能です。「Ｅメールについて」（☞同じページ内です。）

ライトメール：相手の電話機と直接通信して送受信するメールで、送信時は相手の電話番号を宛先として指定します。ウィルコムのライトメール対応電話機どうしでやり取りが可能です。「ライトメールについて」（☞8-4ページ）

Ｅメールについて

Ｅメールは、ウィルコムのメールサーバーを経由してインターネットに接続し、パソコンやＥメール対応電話機などとメッセージをやり取りするサービスです。パソコンなどで利用しているメールアカウントを本電話機で利用することもできます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞8-38ページ）

お知らせ

- Ｅメールを使用するには、オンラインサインアップを行う必要があります。「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）
- ウィルコムのメールサーバーに蓄積できる受信メールの容量は、合計１Ｍバイトまでです。画像やメロディなどの添付ファイルがない場合で、約1000文字のメール約500通に相当します。センターの蓄積容量がいっぱいになると、それ以上メールを受信できなくなります。（2007年２月現在）
- ウィルコムのメールサーバーでの保管期間はメールの到着日を含め31日です。
- ご契約の料金プランによっては、ウィルコムのメールサーバーに接続できず、Ｅメールをご利用いただけない場合があります。詳しくはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 本電話機に保存されているＥメールやライトメールは、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取り扱いの不注意によっても消失する場合があります。万一、保存されているメールが消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っている最中は、電話機単体でのＥメールの送受信はできません。
- 電話機単体でＥメールの送受信を行っている最中は、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。

通信料の節約について

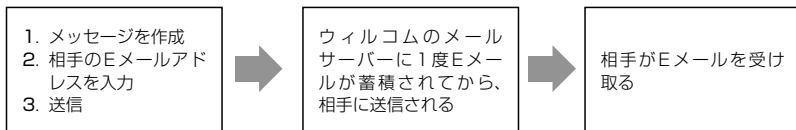
ご契約の料金プランによっては、Eメールの送受信の通信時間またはデータ量に応じた通信料がかかります。予期しない長文メールやサイズの大きい添付ファイルの受信によって通信料が多くかかることを避けるには、1件あたりの受信メールの長さ（行数）を低く制限するのが有効です。「Eメールの受信行数を設定する」（☞8-36ページ）
添付ファイルを自動的に削除することもできます。「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）

Eメール送信の流れ

Eメールを送信すると、いったんセンターに蓄積されます。

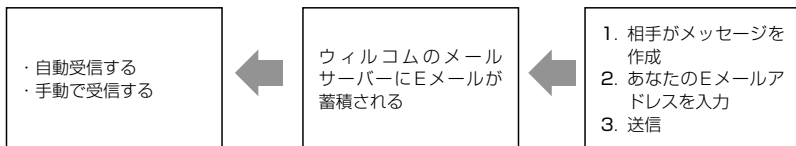
1. メッセージを作成
2. 相手のEメールアドレスを入力
3. 送信

ウィルコムのメールサーバーに1度Eメールが蓄積されてから、相手に送信される

相手がEメールを受け取る

Eメール受信の流れ

受信の場合も､Eメールはセンターに蓄積されます。本電話機はセンターから受信メールを読み取ります。受信メールの読み取り方法には、自動受信と手動受信があります。

1. 相手がメッセージを作成
2. あなたのEメールアドレスを入力
3. 送信

ウィルコムのメールサーバーにEメールが蓄積される

・自動受信する
・手動で受信する

自動受信については｢自動でEメールを受信する｣(☞8-14ページ)を､手動受信については｢手動でEメールを受信する｣（☞8-15ページ）を参照してください。

ライトメールについて

ライトメールは、インターネット経由ではなく電話機どうしで直接やり取りするメールです。本電話機は、ライトメール対応機種との間でライトメールを送受信することができます。アニメーションに対応した機種には、アニメーションを付けてライトメールを送信することもできます。ライトメールについては、「ライトメールを作成して送信する」（☞8-41ページ）を参照してください。

ライトメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

	全角文字	半角文字
文字のみ	45文字	90文字
アニメーション付き	44文字	88文字

お知らせ

- ライトメールを送信するときは、相手がライトメール対応電話機であることを確認してください。
- 本電話機はライトメールのフレームには対応していません。フレーム付きのライトメールが送信されてきても正しく表示されません。
- 相手の電話機によっては、ライトメール対応機種であっても送信した文字が完全に表示されないことがあります。
- ライトメールは、分計サービスを使って送信することはできません。

メールBOXについて

Eメールとライトメールは、メールBOXに保存されます。メールBOXには次の3種類があります。

メールBOXの種類	用途
受信BOX	受信したメールが保存されます。8つのサブフォルダがあり、受信メールをサブフォルダに分けて整理することができます。「受信したメールを読む」（☞8-14ページ）
未送信BOX	送信待ちのメールや下書きメールが保存されます。「Eメールを保存し、まとめて送信する」（☞8-12ページ）
送信BOX	送信済みのメールが保存されます。「送信メールを読む」（☞8-22ページ）

メールメニューを表示する

Eメールとライトメールの作成・送信、受信したメールの表示、メールアカウントを取得するためのオンラインサインアップや設定などは、メールメニューから操作を行います。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

メールメニューが表示されます。

2 [0] ～ [9] のいずれかを押し、メールの操作を行う

▶ **[1]（受信BOX）を押すと**

「受信メールを表示する」（☞8-16ページ）

▶ **[2]（送信BOX）を押すと**

「送信メールを表示する」（☞8-22ページ）

▶ **[3]（未送信BOX）を押すと**

「未送信メールを編集する」（☞8-12ページ）

▶ **[4]（Eメール受信）を押すと**

「Eメールを受信する」（☞8-14ページ）

▶ **[5]（Eメール作成）を押すと**

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）

▶ **[6]（ライトメール作成）を押すと**

「ライトメールを作成して送信する」（☞8-41ページ）

▶ **[7]（Eメールアカウント設定）を押すと**

「メールアカウントを設定する」（☞8-6ページ）

▶ **[8]（オプション）を押すと**

「本文の引用について設定する」（☞8-32ページ）
「フォルダ表示を切り替える」（☞8-32ページ）

▶ **[9]（オンラインサインアップ）を押すと**

「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）

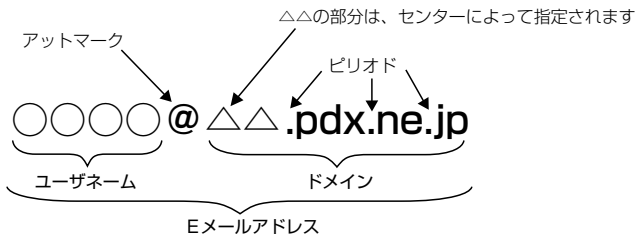
▶ **[0]（インターネット設定）を押すと**

「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞9-41ページ）

メールアカウントを設定する

ウィルコムのメールアドレスを取得するためには、オンラインサインアップの手続きが必要です。オンラインサインアップをすることで、メールやインターネットに関する設定を行うことができます。

Eメールアドレスについて

Eメールアドレスは、ユーザネームとドメインで構成されています。

ユーザネームは、オンラインサインアップの際に自分で好きな名前を登録できます。ただし、次の規則があります。
・使用できる文字は、半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）のみです。
・文字数は4文字以上20文字以内です。
・先頭に使用できるのは英字のみです。
・英字は、大文字で入力しても小文字で登録されます。

オンラインサインアップでは、ユーザネームのみ入力してください。ドメインは自動的に設定されます。

オンラインサインアップを行う

オンラインサインアップサーバに接続してEメールアドレスを登録します。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 9（オンラインサインアップ）を押す

3 1（接続）を押す

オンラインサインアップサーバに接続されます。

4 画面の指示に従って、操作を行う

▲▼ で項目を選択し、● を押し、必要な情報を入力してください。

5 オンラインサインアップを完了する

オンラインサインアップが完了すると、Eメールアドレス、パスワードなどのメールアカウント設定、ダイヤルアップ設定が、本電話機に自動的に設定されます。

お知らせ

- 同じユーザネームがすでに登録されている場合、そのユーザネームはご利用いただけません。別のユーザネームを指定し直してください。
- 機種変更で本電話機をご購入になった場合は、オンラインサインアップにより、機種変更前のEメールアドレスを継続してご使用になれます。
- 待ち受けモードが「公衆＋オフィス」でオフィス優先に設定されている場合でも、オンラインサインアップを行うことができます。

オンラインサインアップ情報を削除する

オンラインサインアップで取得したEメールアカウントの使用を停止する場合は、オンラインサインアップ情報を削除します。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 9（オンラインサインアップ）を押す

3 2（削除）を押す

4 ▲ でYesを選択し、● を押す

オンラインサインアップ情報が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 誤ってオンラインサインアップ情報を削除してしまったときは、オンラインサインアップサーバに接続することで再度設定することができます。
- オンラインサインアップ情報を削除しても、一般のプロバイダのメールアカウントは削除されません。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞8-38ページ）

Eメールを作成送信する

新しいEメールを作成して送信します。すぐに送信せずに保存して、あとで送信することもできます。

Eメールを新規に作成して送信する

1　待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2　5（Eメール作成）を押す

Eメール作成画面が表示されます。

3　▲▼で項目を選択し、入力・設定を行う

次の項目が入力・設定できます。

- ▶ **差出人(From)を設定する(☞8-9ページ)**
- ▶ **宛先（To）を入力する（☞8-9ページ）**
- ▶ **件名（Sub）を入力する（☞8-10ページ）**
- ▶ **ファイルを添付する（☞8-10ページ）**
- ▶ **本文を入力する（☞8-11ページ）**

4　▲▼で「送信」を選択し、● を押す

Eメールが送信されます。☎を押しても送信できます。送信中は、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名、送信件数が表示されます。
送信が成功すると、送信した件数が表示されます。送信したEメールは送信BOXに保存されます。

▶ **現在の接続先がEメールのダイヤルアップ接続先と異なるときは**

「設定の異なる接続先で通信中です。継続しますか？」と表示されます。現在の接続先を経由してEメールを送信する場合は、▲で「Yes」を選択して ● を押してください。「No」を選択した場合は、Eメールは送信されません。

▶ **送信に失敗したときは**

Eメールは未送信メールとして未送信BOXに保存され、「送信失敗しました」と表示されます。「未送信メールを送信する」（☞8-13ページ）

▶ **電話帳からメールを作成するには**

①電話帳でEメールの送信先を検索し、詳細画面を表示します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）
②◀▶で「@」を選択し、●（Eメール）を押すか、WEB（メニュー）を押して 2（Eメール作成）を押します。メールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。

▶ **待ち受け画面から短縮番号でEメールを作成するには**

待ち受け画面で１桁の数字を入力し、MAIL（メール）を押して、サブメニューで 2（Eメール作成）を押します。入力した１桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データのEメールアドレスが宛先にコピーされてEメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 作成中のEメールをライトメールに変更することができます。変更するには、手順2のEメール作成画面で WEB（メニュー）を押し、3（メール種別切り替え）を押します。本文の文字数が90バイト以上の場合は、「本文の文字数90バイト目以降は削除されます。よろしいですか？」と表示されるので、▲で「Yes」を選択し、● を押します。本文の先頭から全角45文字（半角90文字）までがコピーされて、ライトメール作成画面が表示されます。ライトメールとして編集し直します。「ライトメールを作成して送信する」（☞8-41ページ）
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）」（☞9-41ページ）

差出人（From）を設定する

メールの差出人を設定します。

1 Eメール作成画面で［上下キー］で「From」を選択し、［決定キー］を押す

2 ［上下キー］でアカウントを選択し、［決定キー］を押す

「自動選択」を選択すると、現在の動作モードで設定されている送信メールアカウントが使用されます。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞9-41ページ）

宛先（To）を入力する

Eメールの送り先となるメールアドレスを入力します。

1 Eメール作成画面で［上下キー］で「To」を選択し、［決定キー］を押す

アドレス編集画面が表示されます。

2 ［決定キー］を押し、［2］（宛先入力）を押す

宛先入力画面が表示されます。To欄が選択された状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

▶ 電話帳から宛先を指定するには

アドレス編集画面で［決定キー］を押し、［1］（電話帳を開く）を押します。電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されているメールアドレスを選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

3 メールアドレスを入力する

メールアドレスは半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

4 ［決定キー］を押す

電話帳に登録されているメールアドレスの場合は、登録名が表示されます。

▶ 複数の宛先を入力するには

1つ目の宛先を入力すると、別の宛先（To）欄が追加されます。追加されたTo欄を［上下キー］で選択してメールアドレスを入力することで、複数の宛先を入力することができます。宛先を追加すると、さらにまた新しいTo欄が追加されます。

▶ 他の人に参考としてメールのコピーを送信するには

Cc/Bcc欄を追加します。Cc欄は、To欄とは別に参考として同じメールを送りたい宛先がある場合に使います。Bcc欄は、その人に送信したことをTo、Cc欄の人には知らせたくないときに使います。

Cc/Bcc欄を追加するには、To欄で［WEB］（メニュー）を押し、［2］（Ccに変更）または［3］（Bccに変更）を押します。また、Cc/Bcc欄をTo欄に戻すには、Cc/Bcc欄で［WEB］（メニュー）を押し、［1］（Toに変更）を押します。

▶ 宛先を削除するには

To/Cc/Bcc欄のいずれかで［WEB］（メニュー）を押します。選択されている宛先1件だけを削除する場合は［4］（削除）を、指定した宛先すべてを削除する場合は［5］（全削除）を押します。確認の画面が表示されるので「Yes」を選択して［決定キー］を押すと、宛先が削除されます。

5 ［MAIL］（戻る）を押す

お知らせ

- 宛先は、To/Cc/Bccを合わせて最大20個まで入力できます。
- CcはCarbon Copy（カーボンコピー）の略で、BccはBlind Carbon Copy（ブラインドカーボンコピー）の略です。どちらも参考としてメールのコピーを送る宛先を指します。Ccの宛先は、Toや他のCcの相手にも公開されるのに対して、Bccの宛先はToやCcの相手には公開されないという違いがあります。

件名（Sub）を入力する

メールの件名を入力します。

1 Eメール作成画面で [↑↓] で「Sub」を選択し、[•] を押す

件名入力画面が表示されます。「Sub」を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

2 件名を入力する

件名は全角40文字（半角80文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

3 [•] を押す

ファイルを添付する

Eメールにデータフォルダのデータを添付して送信することができます。データフォルダに表示されるデータであれば、画像、サウンド、文書などの種類のデータでも添付することができます。

1 Eメール作成画面で [↑↓] で「 [添付] 」を選択し、[•] を押す

添付ファイル編集画面が表示されます。

2 [•] を押す

データフォルダが表示されます。「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 添付するファイルをデータフォルダから選択し、[•] を押す

添付ファイル編集画面に添付ファイル名が表示されます。

▶ 複数の添付ファイルを追加するには

[↑↓] で「添付ファイル追加」を選択し、[•] を押します。データフォルダが表示されるので、添付するファイルを選択して [•] を押してください。

▶ 添付ファイルを削除するには

添付ファイルをメールから削除するには（データフォルダ上のデータ自体は削除されません）、[↑↓] で添付ファイルを選択し、[WEB]（メニュー）を押します。選択されている添付ファイル1件だけを削除する場合は [1]（削除）を、添付ファイルすべてを削除する場合は [2]（全削除）を押します。確認の画面が表示されるので「Yes」を選択して [•] を押すと、添付ファイルがメールから削除されます。

お知らせ

- コピーガードされている画像やサウンドはEメールに添付することができません。
- 添付できるデータのサイズは1件あたり最大350Kバイトです。ただし、データの添付によってメールの合計サイズ（本文やヘッダ情報を含む）が512Kバイトを超える場合は、350Kバイト未満のデータでも添付できません。

■画像データの添付について

JPEG形式の画像データのうちSXGA（1280×960）、VGA（640×480）、QVGA（320×240）のサイズのものは、サイズを縮小して添付することができます。

1 添付時に縮小サイズ指定メニューが表示される

2 [1] ～ [4] のいずれかを押す

▶ [1]（サイズ変更なし）を押すと

画像データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、[1]（サイズ変更なし）は選択できません。

▶ [2]（VGAに縮小）を押すと

画像データがVGA（640×480）サイズに縮小されます。

▶ [3]（QVGAに縮小）を押すと

画像データがQVGA（320×240）サイズに縮小されます。

▶ [4]（QQVGAに縮小）を押すと

画像データがQQVGA（160×120）サイズに縮小されます。

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです　縮小保存し添付しますか？」と表示されます。[▲]で「Yes」を選択して[●]を押し、[2] ～ [4] で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

本文を入力する

メールの本文を入力します。

1 Eメール作成画面で [▲▼] で本文欄を選択し、[●] を押す

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

2 本文を入力し、[●] を押す

全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます（改行は全角1文字に相当します）。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

お知らせ

- Fromで選択されているアカウントに署名が設定されている場合は、その署名が本文に自動的に挿入されます。署名の前に本文を入力してください。「署名を設定する」（☞8-34ページ）
- Eメールの作成では、半角のカタカナは入力できません。
- 本文が規定文字数を超える場合は、改行が自動的に挿入される場合があります。
- 携帯電話やパソコンに送信する場合、絵文字は受信者側で正しく表示されない場合があります。
- 本文中の文字列をコピーして流用することができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

Eメールを保存し、まとめて送信する

作成中のEメールを保存し、あとでまとめて送信することができます。

作成中のEメールを保存する

1 Eメールの宛先、件名、本文を入力する

「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-8ページ)

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（送信待ち保存）を押す

Eメールが未送信メールとして未送信BOXに保存されます。「未送信メールを送信する」（☞8-13ページ）

▶ 作成中のEメールを下書きとして保存するには

作成途中のEメールを下書きとして保存する場合は、[2]（下書き保存）を押します。Eメールは未送信BOXに保存されます。下書きとして保存したEメールは送信操作を行っても送信されません。「未送信メールを編集する」(☞同じページ内です。)

お知らせ

- 宛先が未入力の場合は、[1]（送信待ち保存）は選択できません。
- Eメールは下書きを20件まで保存できます。ただし、未送信BOXと送信BOXの合計で120件を超える場合は保存できません。

未送信メールを編集する

未送信BOXに保存された送信待ちメールや下書きメールを編集します。

1 待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す

2 [3]（未送信BOX）を押す

未送信BOXに、未送信メールと下書きメールの一覧が表示されます。一覧には、メールを保存した日時、宛先、件名が表示されます。マークの意味は次のとおりです。

- ：未送信Eメール
- ：下書きEメール
- ：下書きライトメール
- ：保護メール
- ：添付ファイルあり

3 [▲▼]でメールを選択し、[●]を押す

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです（設定されていない項目は表示されません）。

・メールの保存日時
・To：宛先
・Cc：Ccの宛先
・Bcc：Bccの宛先
・Sub：メールの件名
・ ：添付ファイル名
・メールの本文

▶ 前後のメールを表示するには

[◀]で前のメール、[▶]で次のメールが表示されます。

▶ メールアドレスをすべて表示するには

差出人（From）やすべてのTo、Ccを表示する方法については「Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞8-17ページ）を参照してください。

▶ **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、[↑↓]で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」(☞8-23ページ)を参照してください。

4 **[WEB](メニュー)を押し、[1](編集)を押す**

Eメール作成画面が表示されます。

▶ **メール詳細画面からメールを送信するには**

[WEB](メニュー)を押し、[2](送信)を選択します。

5 **必要に応じてメールの各項目を編集する**

[↑↓]でTo欄〜本文欄のいずれかを選択し、[●]を押すと、その項目の内容を変更することができます。「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-8ページ)

▶ **下書きメールを送信するには**

[↑↓]で「送信」を選択し、[●]を押します。

お知らせ

- 未送信メール、下書きメールを編集した場合は、元のメールに上書きされます。
- 手順3の詳細画面の表示において、Toは1番目を表示し、Cc,Bccは1番目のCcまたはBccのいずれかを表示します。

未送信メールを送信する

送信待ち保存で保存したEメールを送信します。

1 **待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す**

2 **[3](未送信BOX)を押す**

未送信BOXが表示されます。

3 **[↑↓]で未送信メールを選択し、[WEB](メニュー)を押す**

4 **[2](送信)を押す**

選択したEメールが送信されます。

▶ **未送信メールをまとめて送信するには**

[3](全送信)を押します。

▶ **現在の接続先がEメールのダイヤルアップ接続先と異なるときは**

「設定の異なる接続先で通信中です。継続しますか?」と表示されます。現在の接続先を経由してEメールを送信する場合は、[↑]で「Yes」を選択して[●]を押してください。「No」を選択した場合は、Eメールは送信されません。

お知らせ

- 下書き保存したメールは送信されません。
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する(ダイヤルアップ設定)」(☞9-41ページ)

受信したメールを読む

Eメールを受信する

受信したEメールは最大500件まで保存されます。受信できるEメールのサイズは1件あたり最大で約512Kバイトです。

自動でEメールを受信する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントのメールは、自動で受信することができます。自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。「Eメール自動受信機能を設定する」(☞8-33ページ)

1 Eメールを自動的に受信する

ウィルコムのメールサーバーにEメールが届くと本電話機に通知され、本電話機は自動的にEメールを受信します。

受信中は画面上端に「 」が表示され、受信が完了すると最後に着信したメールのアドレスに対応した着信音が鳴ります。また、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面には受信したメール件数が「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」(☞8-16ページ)

お知らせ

- 受信するメールのサイズを制限したい場合は、受信行数制限を設定してください。「Eメールの受信行数を設定する」(☞8-36ページ)
- 受信によって受信BOXのEメールが500件を超える場合や、受信BOXと送信BOXの合計が2048Kバイトを超える場合は、保護されていない既読メールが日付の古い順に削除され、新しいEメールが受信されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」(☞8-28ページ)
- センターからEメールの受信通知を受け取った際、センターの電話番号などの情報が本電話機に登録されているセンターの電話番号と一致しない場合、「Eメール自動受信通知のセンタコードが一致しません」と表示されます。メールアカウントの内容をご確認になり、一度オンラインサインアップ情報を削除してからもう一度オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」(☞8-7ページ)
- を押して受信を中断した場合や受信中に圏外になるなどの理由で受信に失敗した場合は、「センターにEメールがあります」というメッセージと「 」が表示されます。この場合は または を押すと待ち受け画面に戻ることができます。「手動でEメールを受信する」(☞8-15ページ)
- 待受モードが「オフィス」または「グループ」に設定されているときは、Eメールの自動受信を行うことはできません。「公衆＋オフィス」、「公衆＋グループ」に設定されているときは、優先発信切替の設定にかかわらずEメールの自動受信を行うことができます。

■バックグランドでの受信について

待ち受け画面以外を表示しているときにEメールを受信した場合は受信が終わると、「Eメール受信完了」と表示され、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面に戻ると、「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」(☞8-16ページ)

お知らせ

- 「バックグランド受信通知」が「OFF」の場合は、「Eメール受信完了」のメッセージは表示されません。「Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）」（☞7-65ページ）
- 本電話機の操作内容によっては、Eメールを受信できない場合があります。また、Eメール受信中にこれらの操作を行おうとすると、Eメール受信を中断するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択すると、Eメールの受信は中断されます。「No」を選択すると、受信が続行されます。

手動でEメールを受信する

ウィルコムのメールサーバーにある未受信のEメールを手動で受信します。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 4（Eメール受信）を押す

センターにある未受信のEメールがすべて受信されます。受信中は、受信件数と未受信メールの合計件数、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名が表示されます。
受信が完了すると、受信したアカウント名ごとに受信件数が表示されたあと、受信BOXが表示されます。「受信メールを表示する」（☞8-16ページ）

▶「センターにEメールがあります」と表示されているときは

クリア または 終話 を押すとメッセージが消え、「センターメールあり」というポップアップが表示されます。この状態で ● を押すと、Eメールの受信が開始されます。

お知らせ

- オンラインサインアップの設定によって、Eメールがウィルコムのメールサーバーに届いていることをライトメールで通知させることもできます。「オンラインサインアップを行う」（☞8-7ページ）

■複数アカウントが設定されている場合のメール受信

複数のメールアカウントを設定してある場合、手動でEメール受信を行ったときにどのメールアカウントで受信するかは、現在選択している接続モードの設定によります。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞9-41ページ）
接続モードの受信メールアカウントの「毎回選択」が「ON」のときは、手動での受信の手順は次のようになります。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 4（Eメール受信）を押す

受信アカウント選択画面が表示されます。

3 ▲▼ で受信するアカウントを選択し、● を押す

選択したアカウントにチェックマークが表示されます。

4 ▲▼ で「受信開始」を選択し、● を押す

手順3で選択したアカウントのメールが受信されます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）」（☞9-41ページ）

受信メールを表示する

受信したメールは受信BOXに保存されます。受信BOXには、ユーザ受信BOX1 ～ユーザ受信BOX8の8つのサブフォルダもあり、設定により自動的に受信メールをサブフォルダに振り分けることもできます。「メールを自動的にフォルダに振り分ける」(☞8-19ページ)

1 待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す

▶ 待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは

まだ読んでいないメールが受信BOXにある場合は、待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されます。この場合は、[●]を押すと受信BOXの新着メール一覧が表示されるので、手順4へ進んでください。

2 [1](受信BOX)を押す

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。新着メールのあるフォルダの左側には「✉」が表示されます。また、各フォルダの右側にはフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

新着メールのあるフォルダ
フォルダ中の未読メール件数
何件目のフォルダを選択しているか／全フォルダ数
全メール件数

受信BOX
受信BOX(3)
ユーザ受信BOX1 (2)
ユーザ受信BOX2 (6)
ユーザ受信BOX3 (0)
ユーザ受信BOX4 (0)
ユーザ受信BOX5 (0)
ユーザ受信BOX6 (0)
ユーザ受信BOX7 (0)
ユーザ受信BOX8 (0)
30件 1/9
戻る 決定 メニュー

▶ フォルダ一覧を表示させないようにするには

オプションの設定により、フォルダを表示せず受信BOXの各フォルダ全体のメール一覧を表示させることもできます。「フォルダ表示を切り替える」(☞8-32ページ)

3 [▲▼]でフォルダを選択し、[●]を押す

選択したフォルダ内のメール一覧が表示されます。一覧には、メールの送信日時、差出人、件名が表示されます。マークの意味は次のとおりです。

- ✉：新着メール
- ✉：未読Eメール
- ✉：既読Eメール
- ✉：未読ライトメール
- ✉：既読ライトメール
- 🔒：保護メール
- ✉：不完全な新着メール※
- ✉：不完全な未読メール※
- ✉：不完全な既読メール※

※ 受信行数制限設定を「ON」にしている場合など、すべてのデータを受信しきれなかったときに表示されます。

画面下側には選択したメールの番号と全メール件数も表示されます。

4 [▲▼]でメールを選択し、[●]を押す

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです。

・メールの送信日時(メールに送信日時の情報がない場合やライトメールの場合は受信日時)
・From：メールの差出人
・Reply：返信先(指定されていない場合は表示されません)
・Sub：メールの件名
・📎：添付ファイル名
・メールの本文

▶ 前後のメールを表示するには

[◀]で前のメール、[▶]で次のメールが表示されます。

▶ 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、[▲▼]で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」(☞8-23ページ)を参照してください

5 [MAIL](戻る)を押す

メール一覧に戻ります。

お知らせ

- HTML形式のEメールは表示することができません。
- 新着メール一覧画面には新着の未読メールだけが表示されます。手順4でメールの詳細画面を表示し、手順5でメール一覧に戻ると、そのメールは新着メール一覧には表示されません。新着メール一覧画面で[MAIL](戻る)を押すと、待ち受け画面に戻ります。

Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する

Eメールには、宛先（To）と差出人（From）のほか、Ccや返信先（Reply）が指定されている場合もあります。ToやCcが複数指定されている場合もあります。これらのメールアドレスをすべて表示することができます。

1 メール詳細画面で［キー］を押す

Eメールの宛先（To）、Ccが表示されます。

2 ［キー］でTo/Cc/From/Replyのいずれかを選択し、［キー］を押す

Eメールに指定されているTo/Cc/From/Replyのすべてが表示されます。

▶ メールアドレスを電話帳に登録するには

［キー］でいずれかのメールアドレスを選択し、［キー］を押すと、「電話帳に登録しますか？」と表示されます。［キー］で「Yes」を選択し、［キー］を押すと、電話帳が表示され、メールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

添付されているファイルを開く

Eメールに添付されているファイルを開きます。

1 受信メール詳細画面で［キー］で添付ファイルを選択し、［キー］を押す

Eメールに添付されているファイルの一覧が表示されます。

2 ［キー］で添付ファイルを選択し、［キー］を押す

画像データや文書データの場合は内容が表示されます。サウンドデータの場合は再生されます。その他の添付ファイルについては、下記の「添付ファイルを保存するには」の手順に従ってデータフォルダに保存してから表示／再生してください。表示／再生時の操作については下記を参照してください。

画像データ：「画像データを活用する」（☞13-56ページ）
サウンドデータ：「サウンドデータを活用する」（☞13-64ページ）
録音データ：「録音データを活用する」（☞13-65ページ）
テキストデータ：「テキストデータを開く」（☞13-67ページ）
文書データ：「パソコンの文書データを開く」（☞13-68ページ）
圧縮データ：「圧縮データを開く」（☞13-72ページ）
Javaアプリケーション：「Javaアプリケーションを活用する」（☞13-73ページ）

▶ 添付ファイルを保存するには

添付ファイル一覧で［キー］でファイルを選択して［WEB］（保存）を押し、保存先として「データフォルダ」または「microSD」を選択すると、添付ファイルが保存されます。添付ファイルの保存フォルダは、データの種類に応じて自動的に選択されます。「データフォルダについて」（☞13-53ページ）

返信する

受信したEメールに返信をします。

1 受信メール詳細画面で[WEB]（メニュー）を押し、[1]（返信）を押す

または、メール一覧でEメールを選択した状態で[WEB]（メニュー）を押し、[1]（返信）を押します。差出人のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。本文には受信メールの内容を引用することができます。

▶ **全員へ返信するには**

受信メール詳細画面で[WEB]（メニュー）を押し、[2]（全員へ返信）を押します。差出人（From）、Ccの全員のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞8-8ページ）

お知らせ

● お買い上げ時には、「引用設定」は「引用しない」に設定されています。「本文の引用について設定する」（☞8-32ページ）

転送する

受信したEメールを差出人とは別の人に送信します。

1 受信メール詳細画面で[WEB]（メニュー）を押し、[3]（転送）を押す

または、メール一覧でEメールを選択した状態で[WEB]（メニュー）を押し、[3]（転送）を押します。本文に受信メールの内容が引用された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞8-8ページ）

受信BOXのフォルダを活用する

受信BOXには、「受信BOX」フォルダと「ユーザ受信BOX1」〜「ユーザ受信BOX8」の合計９つのサブフォルダがあります。お買い上げ時の設定では、受信メールはすべて「受信BOX」に保存されますが、設定により自動的にユーザ受信BOXに受信メールを振り分け、受信メールを整理することができます。ユーザ受信BOXはフォルダ名を変更することもできます。

フォルダ名を変更する

「ユーザ受信BOX1」〜「ユーザ受信BOX8」のフォルダの名前を変更することができます。受信BOXにフォルダが表示されない場合は、フォルダ表示切替で「表示する」に設定してください。「フォルダ表示を切り替える」（☞8-32ページ）

1 待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す

2 [1]（受信BOX）を押す

3 [▲▼]で名前を変更したいフォルダを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [1]（フォルダ名編集）を押す

フォルダ名編集画面が表示されます。

5 **フォルダ名を変更する**

フォルダ名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

6 **[●]を押す**

メールを自動的にフォルダに振り分ける

特定の差出人（メールアドレス）からのメールを自動的に受信BOXの指定フォルダに振り分けることができます。１つのフォルダに対して最大24件のメールアドレスを設定することができます。

1 **待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す**

2 **[1]（受信BOX）を押す**

3 **[▲▼]で振り分け先のフォルダを選択し、[WEB]（メニュー）を押す**

4 **[2]（振り分け設定）を押す**

5 **[▲▼]で「振り分け設定追加」を選択し、[●]を押す**

振り分けるメールアドレスの指定方法が表示されます。

6 **[1]～[4]のいずれかを押す**

▶ **[1]（電話帳引用）を押したときは**

電話帳が表示されるので、振り分けるメールアドレスを電話帳から選択します。「電話帳を利用する」（☞7-45ページ）

▶ **[2]（送信履歴引用）を押したときは**

[1]（Eメール）または[2]（ライトメール）を押し、振り分けるメールアドレスを送信履歴から選択します。

▶ **[3]（グループ）を押したとき**

電話帳のグループ一覧が表示されるので、振り分けるグループを選択します。この場合、グループに含まれる各メールアドレスが振り分けの対象になります。「グループ別一覧で検索する」（☞7-54ページ）

▶ **[4]（直接入力）を押したときは**

振り分けるメールアドレスを直接入力します。

7 **必要に応じて設定を追加する**

設定を追加すると、設定したメールアドレスやグループ名が振り分け設定画面に表示されます。設定を追加する場合は、[▲▼]で「振り分け設定追加」を選択し、[●]を押します。

▶ **振り分け設定を変更するには**

振り分け設定画面で変更したい設定を[▲▼]で選択し、[●]を押します。手順6を行い、設定を変更します。

▶ **振り分け設定を１件だけ削除するには**

振り分け設定画面で削除したい設定を[▲▼]で選択し、[WEB]（メニュー）を押して[1]（一件削除）を押します。確認のメッセージが表示されるので、[▲]で「Yes」を選択し、[●]を押します。振り分け設定が削除され、「削除しました」と表示されます。

▶ **振り分け設定を全件削除するには**

振り分け設定画面でいずれかの設定を[▲▼]で選択し、[WEB]（メニュー）を押して[2]（全件削除）を押します。指紋認証または暗証番号認証を行い、確認のメッセージが表示されるので、[▲]で「Yes」を選択し、[●]を押します。振り分け設定が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 複数のフォルダに同じ差出人を設定することはできません。ただし、あるフォルダに設定したグループ内のメールアドレスを他のフォルダに単独の差出人として設定することはできます。この場合、単独の差出人として設定したフォルダへの振り分けが優先されます。
- 受信メールを手動でフォルダに移動することもできます。「メールを移動する」（☞8-20ページ）

■振り分け設定をリセットする

全フォルダの振り分け設定を一括して削除します。

1 待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す

2 [1]（受信BOX）を押す

3 [WEB]（メニュー）を押す

4 [3]（振り分け設定リセット）を押す

5 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全てのフォルダの振り分け設定をリセットしますか？」と表示されます。

6 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

振り分け設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

メールを移動する

受信BOX内のメールを他のフォルダに移動することができます。

■1件だけ移動する

1 待ち受け画面で[MAIL]または[MENU][1]を押す

2 [1]（受信BOX）を押す

3 [▲▼]でフォルダを選択し、[●]を押す

4 [▲▼]で移動するメールを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

5 [4]（移動）を押す

6 [1]（一件）を押す

7 [▲▼]で移動先のフォルダを選択し、[●]を押す

メールが移動し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- メール詳細画面からメールを移動することもできます。メール詳細画面で[WEB]（メニュー）を押し、[4]（移動）を押します。フォルダ選択画面が表示されるので、[▲▼]で移動先のフォルダを選択し、[●]を押します。
- メールをフォルダに移動した場合でも、フォルダ表示を「表示しない」に設定すると、すべてのメールが受信BOX内に表示されるようになります。再度、「表示する」に設定したときは、それぞれのフォルダ内に表示されます。

■選択して移動する

1 待ち受け画面で［MAIL］または［MENU］［1］を押す

2 ［1］（受信BOX）を押す

3 ［▲▼］でフォルダを選択し、［●］を押す

4 ［WEB］（メニュー）を押し［4］（移動）を押す

5 ［2］（選択）を押す

6 ［▲▼］で移動するメールを選択し、［●］を押す

選択したメールにチェックマーク「☑」が付きます。この操作を繰り返し、移動するメールをすべて選択します。

7 ［WEB］（移動）を押す

8 ［▲▼］で移動先のフォルダを選択し、［●］を押す

メールが移動し、「移動しました」と表示されます。

■全件移動する

1 待ち受け画面で［MAIL］または［MENU］［1］を押す

2 ［1］（受信BOX）を押す

3 ［▲▼］でフォルダを選択し、［●］を押す

4 ［WEB］（メニュー）を押し［4］（移動）を押す

5 ［3］（全件）を押す

6 ［▲▼］で移動するメールを選択し、［●］を押す

メールが移動し、「移動しました」と表示されます。

送信メールを読む

送信メール（送信済みのメール）は送信BOXに保存されます。送信メールを編集して、別のメールとして送信することもできます。

送信メールを表示する

1 待ち受け画面で［MAIL］または［MENU］［1］を押す

2 ［2］（送信BOX）を押す

送信メールの一覧が表示されます。一覧には、メールの送信日時、差出人、件名が表示されます。
マークの意味は次のとおりです。

- ：Eメール
- ：ライトメール
- ：保護メール
- ：添付ファイルあり

3 ［▲▼］でメールを選択し、［●］を押す

メールの詳細画面が表示されます。表示される内容は未送信メールと同じです。「未送信メールを編集する」（☞8-12ページ）

▶ **前後のメールを表示するには**

［◀］で前のメール、［▶］で次のメールが表示されます。

▶ **メールアドレスをすべて表示するには**

差出人（From）やすべてのTo、Ccを表示する方法については「Eメールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞8-17ページ）を参照してください。

▶ **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、［▲▼］で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞8-23ページ）を参照してください。

送信メールを編集して送信する

1 送信メールのメール詳細画面を表示する

「送信メールを表示する」（☞同じページ内です。）

2 ［WEB］（メニュー）を押し、［1］（編集）を押す

3 必要に応じてメールの各項目を編集する

［▲▼］でTo欄～本文欄のいずれかを選択し、［●］を押すと、その項目の内容を変更することができます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）

4 ［▲▼］で「送信」を選択し、［●］を押す

お知らせ

- 送信メールを編集した場合は、新規メールとして保存され、元のメールも残ります。
- 未送信BOXと送信BOXのEメールの合計が120件を超えると、保護されていないメールのうち日付の古いものから削除されます。

メールを管理する

メールの管理方法について説明します。ここで説明する操作は、受信BOX、未送信BOX、送信BOXに共通するものです。

メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する

メール詳細画面の本文に含まれる電話番号、メールアドレス、URL（Webサイトのアドレス）の利用方法を説明します。

メール本文の電話番号を利用する

メール本文の電話番号を利用して、電話の発信、ライトメール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

1 メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2 [▲▼]で電話番号を選択し、[●]を押す

「0」または「TEL:」で始まる10～32桁の半角の数字列が電話番号とみなされます。

▶ **選択した電話番号に電話をかけるには**

[発信]を押すと、選択している電話番号に電話がかかります。

3 [1]～[4]のいずれかを押す

▶ **[1]（発信）を押すと**

「この番号に発信しますか？」と表示されます。[●]（発信）または[発信]を押すと、選択した電話番号に電話がかかります。

▶ **[2]（ライトメール作成）を押すと**

選択している電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」（☞8-41ページ）

▶ **[3]（電話帳登録）を押すと**

選択している電話番号を電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

▶ **[4]（コピー）を押すと**

選択している電話番号がコピーされます。コピーした電話番号は、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

メール本文のメールアドレスを利用する

メール本文のメールアドレスを利用して、Eメール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

1 メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2 [▲▼]でメールアドレスを選択し、[●]を押す

「@」を含む半角の英数字列がメールアドレスとみなされます。

3 [1]～[3]のいずれかを押す

▶ [1]（Eメール作成）を押すと

選択しているメールアドレスを宛先にしたEメール作成画面が表示されます。

▶ [2]（電話帳登録）を押すと

選択しているメールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

▶ [3]（コピー）を押すと

選択しているメールアドレスがコピーされます。コピーしたメールアドレスは、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

メール本文のURLを利用する

メール本文のURLを利用して、Webページの表示、ブックマーク登録、文字列のコピーを行うことができます。

1 メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2 [▲▼]でURLを選択し、[●]を押す

「http://」や「https://」で始まる半角の文字列がURLとみなされます。

3 [1]～[3]のいずれかを押す

▶ [1]（開く）を押すと

選択しているURLのWebページが表示されます。

▶ [2]（ブックマーク登録）を押すと

選択しているURLをブックマークに登録することができます。「ブックマークを利用する」（☞9-13ページ）

▶ [3]（コピー）を押すと

選択しているURLがコピーされます。コピーしたURLは、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

メール本文の文字をコピーする

メール本文の文字列をコピーします。コピーした文字列は他の場所で貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

1 メール詳細画面を表示する

受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれのメールでもかまいません。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 受信BOXの場合は [7]（コピー）、未送信BOXの場合は [5]（コピー）、送信BOXの場合は [4]（コピー）を押す

画面下側に「始点を選んで下さい」と表示されます。

4 [◀▲▼▶] でコピーする文章の先頭にカーソルを移動し、[●] を押す

画面下側に「終点を選んで下さい」と表示されます。

5 [◀▲▼▶] でコピーする文章の最後にカーソルを移動し、[●] を押す

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。

お知らせ

- コピーできるのは約全角2048文字（半角4096文字）までです（改行は全角1文字に相当します）。

メールを削除する

■1件だけ削除する

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

2 [1] ～ [3] のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 [▲▼] で削除するメールを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は [5]（削除）、未送信BOXの場合は [4]（削除）、送信BOXの場合は [2]（削除）を押す

5 [1]（一件）を押す

確認のメッセージが表示されます。

6 [▲] で「Yes」を選択し、[●] を押す

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- メール詳細画面からメールを削除することもできます。メール詳細画面で [WEB]（メニュー）を押し、「削除」を選択します。

■選択して削除する

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 1 ～ 3 のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 WEB（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は 5（削除）、未送信BOXの場合は 4（削除）、送信BOXの場合は 2（削除）を押す

5 2（選択）を押す

選択削除画面が表示されます。

6 ▲▼で削除したいメールを選択し、● を押す

選択したメールにチェックマーク ✓ が付きます。この操作を繰り返し、削除するメールをすべて選択します。
ただし、保護されたメールを選択することはできません。

7 WEB（削除）を押す

削除するかどうか確認する画面が表示されます。

8 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

BOX内のメールをすべて削除します。ただし、フィルタにより表示されていないメールは削除されません。「メールを抽出する（フィルタ）」（☞8-30ページ）

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 1 ～ 3 のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、「フォルダ内で全件削除する（受信BOXのみ）」（☞8-27ページ）を参照してください。

3 WEB（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は 5（削除）、未送信BOXの場合は 4（削除）、送信BOXの場合は 2（削除）を押す

5 3（全件）を押す

削除条件を指定する画面が表示されます。選択肢はBOXの種類により異なります。

6 ▲▼で削除条件を選択し、● を押す

7 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「メールをすべて削除しますか？」と表示されます。

8 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。
- 受信BOXのフォルダ一覧から全件削除を行うには、WEB（メニュー）を押し、4（メール全件削除）を押し、手順6～8を行います。

■フォルダ内で全件削除する（受信BOXのみ）

受信BOXの選択したサブフォルダ内の全メールを削除します。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 1（受信BOX）を押す

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしていない場合は、「全件削除する」（☞8-26ページ）を参照してください。

3 ▲▼ でメールを削除するサブフォルダを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 5（フォルダ内全件削除）を押す

削除条件を指定する画面が表示されます。
既読のみ削除：既読メールだけが削除されます。
保護以外削除：保護メール以外が削除されます。
全件削除：フォルダ内の全メールが削除されます。

5 ▲▼ で削除条件を選択し、● を押す

6 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「メールをすべて削除しますか？」と表示されます。

7 ◁ で「Yes」を選択し、● を押す

お知らせ

- 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。
- サブフォルダのメール一覧からフォルダ内の全件削除を行うには、WEB（メニュー）を押し、5（削除）を押し、3（全件）を押して手順５～７を行います。

■メールBOX内のメールをすべて削除する

1 待ち受け画面で MENU 9 3 を押す

2 2（メールBOX使用状況）を押す

3 WEB（全削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「メールBOX内を全削除しますか？」と表示されます。

5 ◁ で「Yes」を選択し、● を押す

メールがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

メールを保護する

大切なメールは保護することができます。保護されたメールは、全件削除以外の削除機能では削除することができません。また、保護された未送信メールは編集や送信もできません。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 1 ～ 3 のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 ▲▼ で保護するメールを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は 6（保護／保護解除）、未送信BOXの場合は 5（保護／保護解除）、送信BOXの場合は 3（保護／保護解除）を押す

メールが保護され、「保護しました」と表示されます。保護メールは、メール一覧やメール詳細画面で「🔒」が表示されます。

お知らせ

- メール詳細画面からメールを保護することもできます。メール詳細画面で WEB（メニュー）を押し、「保護／保護解除」を選択します。
- 保護の設定は1件ずつ行います。複数のメールをまとめて保護することはできません。
- 保護メールに同じ操作を行うと、保護が解除されます。
- 保護できるメールの件数は、ライトメールの場合は受信BOXで50件まで、未送信BOX／送信BOXで15件までです。Eメールは保護できるメールの件数に制限はありません。

メールを並べ替える（ソート）

メール一覧のメールの並べかたを設定します。これは、メールの日付、差出人（宛先）、件名のいずれかの要素でメールの順序を決めるものです。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 1 ～ 3 のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。
画面下側には、「日付↓」が表示されています。

3 WEB（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は 7 （ソート）、未送信BOXの場合は 6 （ソート）、送信BOXの場合は 4 （ソート）を押す

並べ替えの条件を選択する画面が表示されます。

・受信BOXの場合

順序を決めるための要素	順序	画面上のマーク	説明
日付	古い順	↑	メールの日時の古い順に並べます。
	新しい順	↓	メールの日時の新しい順に並べます。
差出人	昇順（A ～ Z）	↓	差出人のメールアドレスの順に並べます。
	降順（Z ～ A）	↑	差出人のメールアドレスの順に逆から並べます。
件名	昇順（A ～ Z）	↓	メールの件名の順に並べます。
	降順（Z ～ A）	↑	メールの件名の順に逆から並べます。

・未送信BOX ／送信BOXの場合

順序を決めるための要素	順序	画面上のマーク	説明
日付	古い順	↑	メールの日時の古い順に並べます。
	新しい順	↓	メールの日時の新しい順に並べます。
宛先	昇順（A ～ Z）	↓	宛先のメールアドレスの順に並べます。
	降順（Z ～ A）	↑	宛先のメールアドレスの順に逆から並べます。
件名	昇順（A ～ Z）	↓	メールの件名の順に並べます。
	降順（Z ～ A）	↑	メールの件名の順に逆から並べます。

5 で条件を選択し、 を押す

指定した条件に合わせてメールの順番が並べ替えられます。

お知らせ

- メールを終了した場合には、設定は保持されません。

メールを抽出する（フィルタ）

メール一覧に表示するメールの条件を設定します。これにより、新着メールのみ、保護メールのみ、添付ファイルありのメールのみ、といったように特定の条件に合うメールだけを抽出して表示することができます。フィルタの設定は、いったん他のメールBOXやメールメニューを表示すると解除され、すべてのメールが表示される状態に戻ります。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

2 [1] ～ [3] のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。
フィルタ機能が設定されているときは、画面下側に [Filter] が表示されます。

3 [WEB]（メニュー）を押す

4 受信BOXの場合は [8]（フィルタ）、未送信BOXの場合は [7]（フィルタ）、送信BOXの場合は [5]（フィルタ）を押す

表示するメールの条件を選択する画面が表示されます。BOXにより選択できる条件が異なります。
「解除」を選択すると、すべてのメールが表示されます。

5 [▲▼] で条件を選択し、[●] を押す

指定した条件に合わせてメールが抽出されます。

メールのヘッダ情報を表示する

Eメールには本文以外に「ヘッダ情報」と呼ばれるさまざまな情報が付加されています。このヘッダ情報を表示することができます。この機能が使用できるのは、受信BOXと送信BOXです。ライトメールではヘッダ情報を表示することはできません。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

2 [1] または [2] を押す

選択したボタンに応じて、受信BOXまたは送信BOXが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 [▲▼] でメールを選択し、[●] を押す

メール詳細画面が表示されます。

4 [WEB]（メニュー）を押す

5 受信BOXの場合は [9]（メールヘッダ表示）、送信BOXの場合は [6]（メールヘッダ表示）を押す

ヘッダ情報が表示されます。

6 [MAIL]（戻る）を押す

▶ ヘッダ情報をコピーするには

[WEB]（コピー）を押すとヘッダ情報をコピーすることができます。
① [WEB]（コピー）を押すと、コピーの始点を選択する画面になります。
② [◀▲▼▶] でコピーの始点にカーソルを移動し、[●] を押します。
③ [◀▲▼▶] でコピーの終点にカーソルを移動し、[●] を押します。選択した範囲がコピーされます。
コピーしたヘッダ情報は、メールの本文などに貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41 ページ）

文字サイズを切り替える

メール詳細画面では、文字のサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

2 [1] ～ [3] のいずれかを押す

選択したボタンに応じて、受信BOX、未送信BOX、送信BOXのいずれかが表示されます。受信BOXをフォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

3 [▲▼] でメールを選択し、[●] を押す

メール詳細画面が表示されます。

4 [WEB]（メニュー）を押す

5 受信BOXの場合は [0]（文字サイズ変更）、未送信BOXの場合は [7]（文字サイズ変更）、送信BOXの場合は [7]（文字サイズ変更）を押す

文字サイズ変更画面が表示されます。

6 [▲▼] でサイズを選択し、[●] を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「20dot」に設定されています。
- 次に表示したときも、ここで設定した文字サイズで表示されます。設定は電源を切っても保持されます。

メールBOXの使用状況を見る

メールBOXの使用状況を帯グラフで表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [9] [3] を押す

2 [2]（メールBOX使用状況）を押す

メールBOX使用状況画面が表示されます。
受信BOX：受信BOXで使用している容量です。
送信BOX：送信BOXで使用している容量です。
未送信BOX：未送信BOXで使用している容量です。
空き容量：使用されていない容量です。

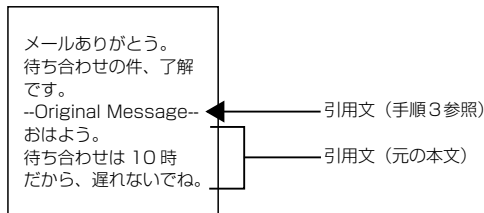
お知らせ

- [WEB]（全削除）を押すと、メールBOX内のデータをすべて削除することができます。「メールBOX内のメールをすべて削除する」（☞8-27ページ）

Eメールの環境を設定する

本文の引用について設定する

Eメールを返信、転送する場合に、元の本文を引用するかどうかについて設定することができます。「引用する」に設定した場合は、引用の先頭に入れる文字列（引用文）も指定することができます。

＜例＞

1 **待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す**

2 **[8] [1] を押す**

引用設定画面が表示されます。

3 **[▲▼] で「引用する」または「引用しない」を選択する**

「引用する」を選択した場合は、さらに [▲▼] で「引用文」を選択し、[●] を押すと、引用文を入力することができます。「文字を入力する」（☞ 7-19ページ）

4 **[▲▼] で「OK」を選択し、[●] を押す**

引用について設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「引用しない」に設定されています。

フォルダ表示を切り替える

受信BOXでフォルダを表示するかどうかについて設定することができます。「表示する」にした場合は、各フォルダに保存されたメールはそのフォルダを開かなければ表示されません。「表示しない」にした場合は、各フォルダに保存したメールも含め、すべてのメールが受信BOX直下に一覧表示されます。

1 **待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す**

2 **[8] [2] を押す**

フォルダ表示切替画面が表示されます。

3 **[▲▼] で「表示する」または「表示しない」を選択し、[●] を押す**

フォルダ表示切替が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。
- 受信メールを表示する方法については、「受信メールを表示する」(☞8-16ページ)を参照してください。
- フォルダ名を変更したり受信メールを自動的にフォルダに振り分けたりすることができます。「受信BOXのフォルダを活用する」(☞8-18ページ)

Eメールの保存先を設定する

Eメールの保存先を電話機本体とmicroSDから選択できます。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 8 3 を押す

Eメール保存先選択画面が表示されます。

3 ▲▼ で「本体」または「microSD」を選択し、● を押す

Eメールの保存先が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。

Eメール自動受信機能を設定する

新しいEメールがウィルコムのメールサーバーに届いたときに、Eメールを自動で受信するよう設定します。
本機能は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントでのみ利用できる機能です。また、あらかじめオンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 7 1 7 を押す

Eメール自動受信機能画面が表示されます。

3 1 (ON)を押す

自動受信回数設定画面が表示されます。

▶ Eメール自動受信を解除するには

2 (OFF)を押します。Eメール画面に戻ります。

4 1～3の範囲で受信を試みる回数を入力し、● を押す

自動受信が成功するまで何回受信を行うか設定します。

5 MAIL (完了)を押す

Eメール受信機能が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 「OFF」の場合は、手動でEメールを受信してください。「手動でEメールを受信する」(☞8-15ページ)
- オンラインサインアップでは、「Eメール自動受信」「新着メール通知」「しない」のいずれかが選択できます。Eメールの自動受信が行われるのは、オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を選択し、上記手順で「ON」に設定した場合のみです。「オンラインサインアップを行う」(☞8-7ページ)

送信するメールに表示する名前を設定する

送信する相手先に表示される差出人の名前を設定することができます。名前はメールアカウントごとに設定することができます。

1 **待ち受け画面で［MAIL］または［MENU］［1］を押す**

2 **［7］を押す**

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 **［1］～［3］のいずれかを押す**

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。
アカウント設定画面が表示されます。

4 **［8］（名前）（アカウント2、3では［7］）を押し、名前を入力する**

全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞7-19ページ）

5 **［●］を押す**

手順3のアカウント設定画面に戻ります。

6 **［MAIL］（完了）を押す**

差出人名が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、名前は設定されていません。

署名を設定する

Eメールを新規作成、返信、転送するときに署名を付けるかどうかを設定します。署名は、メールアカウントごとに設定することができます。

1 **待ち受け画面で［MAIL］または［MENU］［1］を押す**

2 **［7］を押す**

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 **［1］～［3］のいずれかを押す**

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。
アカウント設定画面が表示されます。

4 **［9］（署名）（アカウント2、3では［8］）を押す**

署名画面が表示されます。

5 **［3］（署名入力）を押す**

署名入力画面が表示されます。

6 **署名を入力し、［●］を押す**

全角128文字（半角256文字）まで入力できます。絵文字を使用することもできます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

7 **［1］（ON）を押す**

手順3のアカウント設定画面に戻ります。

▶ **署名を付けないとき**

［2］（OFF）を押します。手順3のアカウント設定画面に戻ります。

8 **［MAIL］（完了）を押す**

署名が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、署名は設定されていません。
- 署名を設定すると、Eメール作成時に、あらかじめメール作成画面に署名が入力された状態となります。
- ライトメールには署名は挿入されません。

返信メールアドレスを設定する

メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定します。例えば、オンラインサインアップのメールアカウントから送信したメールの返信を、パソコンで使用しているメールアドレスにもらいたい場合などにこの設定を行います。返信メールアドレスは、メールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 7 を押す

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 1 ～ 3 のいずれかを押す

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。
アカウント設定画面が表示されます。

4 0（詳細設定）（アカウント2、3では 9）を押す

詳細設定画面が表示されます。

5 1（返信メールアドレス）を押し、返信メールアドレスを入力する

返信メールアドレス画面が表示されます。半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

6 ● を押す

手順4の詳細設定画面に戻ります。

7 MAIL（完了）を押す

返信メールアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 返信メールアドレスは正確に入力してください。1文字でも間違いがあると、相手からの返信のメールは届きません。
- お買い上げ時には、返信メールアドレスは設定されていません。
- 返信メールアドレスが設定されていないときは、メールを送信したときのメールアカウントに返信されます。
- 相手のメールソフトによっては、返信メールアドレスに返信されない場合もあります。

Eメールをサーバに保存する

お買い上げ時の設定では、受信したEメールはサーバやセンターから削除されますが、削除せずに残しておくよう設定することもできます。Eメールを本電話機で受信した後、パソコンからも受信したいという場合などにこの設定を行います。これはメールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU][1] を押す

2 [7] を押す

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 [1] ～ [3] のいずれかを押す

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

4 [0][2]（アカウント2、3では[9][2]）を押す

Eメール削除設定画面が表示されます。

5 [1]（保存）を押す

詳細設定画面に戻ります。

▶ **Eメールを削除するとき**

[2]（削除）を押します。詳細設定画面に戻ります。

6 [MAIL]（完了）を押す

Eメールの保存について設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
- 「削除」に設定した場合、本電話機がメールを受信すると、これまで保存されていたメールサーバ上のメールは、すべて削除され、受信し直すことができません。
- 「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。

Eメールの受信行数を設定する

Eメールを受信する際の1通あたりのメールのデータ量を行数で指定して制限することができます。受信行数制限は、メールアカウントごとに設定することができます。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU][1] を押す

2 [7] を押す

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 [1] ～ [3] のいずれかを押す

ここで設定対象のメールアカウントを選択します。

4 [0][9]（アカウント2、3では[9][9]）を押す

受信行数制限設定画面が表示されます。

5 [1]（ON）を押す

受信行数画面が表示されます。

▶ **受信行数を制限しないとき**

[2]（OFF）を押します。詳細設定画面に戻ります。

6 受信行数を入力し、[•] を押す

受信行数を0 ～ 999の範囲で半角数字で入力します。「文字を入力する」(☞7-19ページ)

7 [MAIL]（完了）を押す

Eメールの受信行数が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、受信行数制限設定は「OFF」で、受信行数は「600」に設定されています。
- 受信行数を少なく制限することで通信料を低く抑えることができます。ただし、設定した行数を超える長いメールやサイズの大きいファイルが添付されたメールは、途中までしか受信できないことになります。その結果、添付された画像データやサウンドデータが表示再生できなかったり、添付ファイルの一部が文字化けした状態で本文に表示されたりすることがあります。
- サーバによっては受信行数制限が有効にならない場合があります。

プロバイダのメールアカウントを利用する

オンラインサインアップによって取得したメールアカウントのほかに、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。
プロバイダにより、メールアカウントの設定変更のみで利用可能なプロバイダと、ダイヤルアップの接続先も変更する必要があるプロバイダがあります。
また、ご利用のプロバイダでのメールの送受信に、本電話機で設定できない内容が必要な場合、本電話機でのメールの送受信はできません。あらかじめご了承ください。

メールアカウントを設定する

ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに設定を行います。設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
メールアカウントの設定は、オンラインサインアップで取得するアカウントと合わせて３件まで登録できます。
設定したメールアカウントを使用してメールを送受信するには、そのメールアカウントを「送信メールアカウント」、「受信メールアカウント」で選択します。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞9-41ページ）

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 7 を押す

Eメールアカウント設定画面が表示されます。ここに現在設定されているメールアカウント名が表示されます。未設定のアカウントは「アカウントn」（nは数字）と表示されます。

3 2 または 3 を押す

メールアカウント設定画面が表示されます。
1（Eメール）は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントなので、下記の 1（センター名称設定）～ 6（メールアドレス）は変更できないため、プロバイダのメールアカウントは登録できません。

4 1 ～ 8 のいずれかを押し、各項目を入力・設定する

各項目の設定後、手順５に進み詳細設定を行います。

▶ 1（センター名称設定）を押したときは

この設定の名前としてご自分でわかりやすい名前を入力し、● を押します。
全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

▶ 2（受信メール(POP)）を押したときは

プロバイダからの通知をもとに受信メールサーバ（POPサーバやPOP3サーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、● を押します。

▶ 3（送信メール(SMTP)）を押したときは

プロバイダからの通知をもとに送信メールサーバ（SMTPサーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、● を押します。

▶ 4（アカウント）を押したときは

プロバイダからの通知をもとにメールアカウント（ユーザ名ともいいます）を半角で入力し、● を押します。

▶ 5（パスワード）を押したときは

プロバイダからの通知をもとにメールのパスワードを半角で入力し、● を押します。
入力したパスワードは、文字数に関わらず「********」で表示されます。

▶ 6（メールアドレス）を押したときは

プロバイダからの通知をもとに自分のEメールアドレスを半角で入力し、● を押します。

▶ 7（名前）を押したときは

メールの差出人名として使用する名前を入力し、[•]を押します。
全角16文字（半角32文字）まで入力できます。「送信するメールに表示する名前を設定する」（☞8-34ページ）

▶ 8（署名）を押したときは

Eメールを新規作成、返信、転送するときにメールに付ける署名を設定します。
署名を付ける場合は「ON」に設定し、3（署名入力）を押して署名の入力も行ってください。全角128文字（半角256文字）まで入力できます。署名を付けない場合は「OFF」に設定します。「署名を設定する」（☞8-34ページ）

5 9（詳細設定）を押す

詳細設定画面が表示されます。

▶ 詳細設定を行わないときは

手順7に進んでください。

6 0 〜 9 のいずれかを押し、各項目を入力・設定する

必要に応じて項目を設定し、手順7に進みます。

▶ 1（返信メールアドレス）を押したときは

送信した相手が返信してくるときのメールアドレスを半角で入力し、[•]を押します。
メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定したいとき、この項目を入力します。「返信メールアドレスを設定する」（☞8-35ページ）

▶ 2（Eメール削除設定）を押したときは

Eメールを受信するときに、メールサーバにメールを残すかどうかの設定です。残す場合は「保存」に設定します。残さない場合は「削除」に設定します。お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。「Eメールをサーバに保存する」（☞8-36ページ）

▶ 3（POPポート番号）を押したときは

POPサーバのポート番号を半角で入力し、[•]を押します。
半角数字5桁まで入力できます。お買い上げ時には、「110」に設定されています。

▶ 4（SMTPポート番号）を押したときは

SMTPサーバのポート番号を半角で入力し、[•]を押します。
半角数字5桁まで入力できます。お買い上げ時には、「25」に設定されています。

▶ 5（SMTP認証）を押したときは

メール送信時の認証方式であるSMTP認証を行う場合は「ON」、行わない場合は「OFF」を選択し、[•]を押します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
POPbeforeSMTPが「ON」の場合は、SMTP認証は設定できません。

▶ 6（POPbeforeSMTP）を押したときは

メール送信時にPOP before SMTPと呼ばれる認証システムを使用するプロバイダの場合は、「ON」に設定します。お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、POPサーバとの接続からSMTPサーバに接続するまでの待ち時間（秒）を0〜999の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「0」に設定されています。SMTP認証が「ON」の場合は、POPbeforeSMTPは設定できません。

▶ 7（SMTPユーザ名）を押したときは

メール送信用のアカウント名を半角で入力し、[•]を押します。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

▶ 8（SMTPパスワード）を押したときは

メール送信用のパスワードを半角で入力し、[•]を押します。入力したパスワードは、文字数に関わらず「******」で表示されます。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

▶ 9 （受信行数制限設定）を押したときは

受信するメールの行数を制限する場合は「ON」に設定します。本電話機で受信可能な最大データ量（約512Kバイト）まで受信したい場合は「OFF」に設定します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、受信行数を0～999の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「600」に設定されています。「Eメールの受信行数を設定する」（☞8-36ページ）

▶ 0 （認証方式設定）を押したときは

プロバイダのメール受信時のパスワード認証方式がPOPの場合は「POP」に設定します。APOPの場合は「APOP」に設定します。お買い上げ時には、「POP」に設定されています。

7 MAIL（完了）を押す

詳細設定画面での設定が登録され、手順3のメールアカウント設定画面に戻ります。

8 MAIL（完了）を押す

メールアカウント設定画面の設定が登録され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● 設定を完了させ、登録するには、必ず手順7、8に従い、「完了」を行ってください。手順7までの操作では設定が登録されません。

メールアカウント設定をリセットする

メールアカウント設定を初期値に戻します。（リセット）

1 待ち受け画面で MAIL または MENU 1 を押す

2 7 を押す

Eメールアカウント設定画面が表示されます。

3 2 または 3 を選択し、WEB（リセット）を押す

「このアカウント設定をリセットします　よろしいですか？」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

メールアカウントの設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

お知らせ

● オンラインサインアップで取得したEメールアドレスのアカウントは、リセットできません。

ライトメールを使用する

ライトメールを作成して送信する

新しいライトメールを作成して送信します。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1] を押す

2 [6]（ライトメール作成）を押す

ライトメール作成画面が表示されます。

3 [▲▼] で宛先（To）欄を選択し、[●] を押す

4 [4]（宛先入力）を押す

宛先入力画面が表示されます。To欄が選択された状態で [0] ～ [9] のいずれかを押しても表示できます。

▶ **発信履歴／着信履歴から宛先を指定するには**

To欄で [●] を押し、[1]（発信履歴）または [2]（着信履歴）を押します。発信履歴または着信履歴の一覧が表示されるので、[▲▼] で宛先を選択し、[●] を押します。

▶ **電話帳から宛先を指定するには**

To欄で [●] を押し、[3]（電話帳を開く）を押します。電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されている電話番号を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

▶ **宛先を削除するには**

To欄で [●] を押し、[5]（削除）を押すと、宛先が削除されます。

5 宛先の電話番号を入力し、[●] を押す

宛先が設定されます。

6 [▲▼] で本文欄を選択し、[●] を押す

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態で [0] ～ [9] のいずれかを押しても表示できます。

7 本文を入力し、[●] を押す

全角45文字（半角90文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

▶ **作成したメールの内容を送信前に確認するには**

[▲▼] で「プレビュー」を選択し、[●] を押すと、ライトメールの内容が確認できます。

8 [▲▼] で「送信」を選択し、[●] を押す

ライトメールが送信されます。[発信] を押しても送信できます。送信したライトメールは送信BOXに保存されます。

▶ **送信に失敗したときは**

送信相手の電話機の電源が入っていないなどの理由でライトメールが送信できなかったときは「送信に失敗しました　再送しますか？」とメッセージが表示され「Yes」、「No」選択画面になります。

▶ **電話帳からメールを作成するには**

①電話帳でライトメールの送信先を選択し、詳細画面を表示します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

②[◀▶] で [PHS] などのPHSの電話番号を選択し、[WEB]（メニュー）を押し、[1]（ライトメール作成）を押します。この電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

▶ **待ち受け画面から短縮番号でライトメールを作成するには**

待ち受け画面で１桁の数字を入力し、[MAIL]（メール）を押して、サブメニューで[1]（ライトメール作成）を押します。入力した１桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データの１番目の電話番号が宛先にコピーされてライトメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 絵文字を使用した場合、送信できる本文の文字数が少なくなることがあります。
- 作成中のライトメールをEメールに変更することができます。変更するには、手順2の画面で[WEB]（メニュー）を押し、[2]（メール種別切り替え）を押します。Eメール作成画面が表示されます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）

アニメーション絵文字を添付する

ライトメールにアニメーションを付けて送信することができます。ただし、相手側がライトメールのアニメーションに対応している必要があります。

1 ライトメール作成画面で[▲▼]で「アニメ絵文字」を選択し、[●]を押す

アニメーションの一覧が表示されます。

2 [◀▲▼▶]でアニメーションを選択し、[●]を押す

選択したアニメーションが付加されます。

▶ **アニメーションを解除するには**

ライトメール作成画面で[▲▼]で「アニメ絵文字 □」（□は付加されたアニメーション）を選択し、[●]を押します。アニメーションが解除され、「アニメ絵文字 ー」の表示に戻ります。

お知らせ

- 送信する相手の電話機によっては、送信したアニメーションが正しく表示されないことがあります。

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作成中のライトメールを下書きとして保存し、あとで続きの操作をすることができます。保存したライトメールは下書きメールとして未送信BOXに保存されます。

1 ライトメール作成画面で [WEB]（メニュー）を押す

2 [1.@]（下書き保存）を押す

ライトメールが下書きとして保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- ライトメールは下書きを10件まで保存できます。
- 下書きメールを送信する方法については「未送信メールを編集する」（☞8-12ページ）を参照してください。

受信したライトメールを読む

ライトメールを受信する

ライトメールは自動的に受信されます。受信したライトメールは最大100件まで保存されます。

1 ライトメールを自動的に受信する

受信中は画面上端に「 」が表示されます。受信が完了すると、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面には「新着メール　1件」と表示されます。

お知らせ

- 受信したライトメールが100件を超える場合は、新しいメールを受信したときに、保護されていない受信メールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞8-28ページ）
- ライトメールを100件受信すると、待ち受け画面に「新着メール**件」と表示されます。

受信したライトメールを表示する

ライトメールも、Eメールと同じく受信BOXに保存されます。受信BOXの詳細は「受信したメールを読む」（☞8-14ページ）を参照してください。

1 待ち受け画面で [MAIL] または [MENU] [1.@] を押す

▶ **待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

[●] を押すと、新着メール一覧が表示されます。

▶ **「ライトメール受信完了」と表示されているときは**

[●] または [クリア] を押すと、新着メール一覧が表示されます。

2 [1.@]（受信BOX）を押す

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。

3 [▲▼] でフォルダを選択し、[●] を押す

選択したフォルダ内のメール一覧が表示されます。

4 [▲▼]でメールを選択し、[●]を押す

メールの詳細画面が表示されます。

▶ **前後のメールを表示するには**

[◀]で前のメール、[▶]で次のメールが表示されます。

▶ **本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレス、URLは、[▲▼]で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」(☞8-23ページ)を参照してください。

ライトメールに返信する

ライトメールの送信者に返信します。差出人の電話番号は自動的に入力されます。

1 受信メール詳細画面で[WEB](メニュー)を押し、[1](返信)を押す

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で[WEB](メニュー)を押し、[1](返信)を押します。
差出人の電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

2 ライトメールを作成して送信する

「ライトメールを作成して送信する」(☞8-41ページ)

ライトメールを転送する

受信したライトメールを差出人とは別の人に送信します。

1 受信メール詳細画面で[WEB](メニュー)を押し、[3](転送)を押す

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で[WEB](メニュー)を押し、[3](転送)を押します。
本文に受信メールの内容が引用された状態でライトメール作成画面が表示されます。

2 ライトメールを作成して送信する

本文を入力して送信します。「ライトメールを作成して送信する」(☞8-41ページ)

9
インターネット

Webの基本操作

Webの利用を開始する／終了する

Webの利用を開始する

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

Webメニューが表示されます。このメニューから、インターネット上のWebページへの接続や、ブラウザに関する設定を行います。

Webの利用を終了する

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [0]（終了）を押す

「ブラウザを終了しますか？」と表示されます。

3 [ ] で「Yes」を選択し、[●] を押す

公式サイトを表示する

ウィルコムの提供するポータルサイト「CLUB AIR-EDGE」に接続します。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

2 [1]（公式サイト）を押す

前のページに戻る／次のページに進む

ひとつ前のページに戻る

1 Webページの表示中に [MAIL]（戻る）を押す

次のページに進む

1 Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す

2 ［2］（進む）を押す

お知らせ

- 履歴の一覧を利用して、以前表示したページに接続することもできます。「Webページの表示履歴を利用する」（☞9-9ページ）
- 表示モードが「ケータイモード」の場合は、［◂］でひとつ前のページに、［▸］で次のページに移動することもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

Webページ上の電話番号に電話をかける

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、電話をかけることができます。

1 ［▴▾］で目的の電話番号にフォーカスを移動する

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

2 ［•］を押す

3 ［1］（発信）を押す

確認のメッセージが表示されます。

4 ［•］（発信）または［☎］を押す

表示された番号に電話がかかります。
通話終了後は、元のWebページの表示に戻ります。

お知らせ

- 手順3の電話番号の確認画面で［WEB］（メニュー）を押すと、番号非通知や料金分計での発信を選択することができます。「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞11-2ページ）、「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）
- オフィスモードでWebを利用している場合は、手順3の電話番号の確認画面で［A/MY］を押すと、あらかじめ登録しておいた外線発信番号を付加することができます。また、［MENU］を押すと発信するモードを一時的に切り替えることができます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞14-5ページ）、「発信するモードを一時的に切り替える」（☞14-6ページ）
- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、［◂▸］でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

位置情報を通知して電話をかける

位置情報を利用したWebページの場合は、選択した電話番号に電話をかける際、本電話機の位置情報を付加することができます。
この機能を使うと、位置情報を利用した音声サービスを利用することができます。「位置情報を利用する」（☞13-43ページ）
位置情報を通知して電話をかけるには、あらかじめ位置情報通知機能を「ON」に設定する必要があります。「発信型機能を利用する」（☞13-45ページ）

Webページの電話番号にライトメールを送信する

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、ライトメールを送信することができます。

1 で目的の電話番号にフォーカスを移動する

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

2 を押す

3 （ライトメール作成）を押す

4 ライトメールを作成し、送信する

「ライトメールを作成して送信する」(☞8-41ページ)

WebページのEメールアドレスにメールを送信する

Webページの画面では、Eメールのアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。このEメールアドレスを選択して、Eメールを送信することができます。

1 で目的のEメールアドレスにフォーカスを移動する

フォーカスされたEメールアドレスは反転表示されます。

2 を押す

3 （Eメール作成）を押す

4 Eメールを作成し、送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-8ページ)

お知らせ

- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する(表示モード)」(☞9-33ページ)

端末情報を通知する

Webページによっては、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスを利用するサービスを提供しています。Webページの表示中に、位置情報、電話番号、メールアドレスの要求があった場合、本電話機では情報を送信するかどうか確認する画面を表示します。端末情報を通知する場合は次のように操作します。

1 で「Yes」を選択し、を押す

端末情報が送信されます。

お知らせ

- 端末情報は、送出される前に必ず確認画面が表示されます。
- 送出する端末情報は、インターネットを経由してコンテンツプロバイダに送られるため、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。

フレームを選択する

Webページにフレームが設定されているときは、[←↑↓→]で画面がスクロールしなくなった状態で、さらに[←↑↓→]による移動を行うと、最も近いフレームへ移動します。

お知らせ

- ブラウザの表示モードが「デスクトップモード」の場合は、[←→]で画面を左右にスクロールさせることもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

選択したフレームのみを表示する

Webページにフレームが設定されている場合、あるフレームを選択して画面に表示させることができます。

1 Webページのフレームを選択する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（ウィンドウメニュー）を押す

4 [5]（Frame in）を押す

手順1で選択したフレームのみが表示されます。
[MAIL]（戻る）を押すと、ページ全体の表示に戻ります。

ホームページを利用する

最も頻繁に閲覧するWebページは、ホームページとして設定しておくと便利です。ホームページは、待ち受け画面から簡単な操作ですぐに表示させることができます。

ホームページを設定する

ホームページを設定するには、アドレスを入力して指定する方法と、表示中のWebページをホームページに設定する方法があります。

アドレスを入力して指定する

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

3 1（ホーム）を押す

4 1（アドレス編集）を押す

5 ホームページに指定するWebページのアドレスを入力する

6 ● を押す

ホームページが設定され、「ホームに設定しました」と表示されます。

表示中のWebページをホームページに設定する

1 ホームページとして設定したいWebページを表示させる

2 WEB（メニュー）を押す

3 9（オプション）を押す

4 1（ホーム）を押す

5 2（ホームに設定）を押す

ホームページが設定され、「ホームに設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 表示中のWebページのアドレスが「http://」を含めて200文字を超えるときは、「アドレスが長すぎます。省略して登録しますか？」と表示されます。□で「Yes」を選択して ● を押し、200文字以内に編集してから登録してください。

ホームページを表示する

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 2（ホーム）を押す

▶ **Webページを表示中に、ホームページを表示するには**

WEB（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、1（ホーム）を押します。

アドレスを使ってWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続することができます。
また、入力したアドレスの履歴は自動的に20件まで保存されます。入力履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

アドレスを入力してWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 7（Webページを開く）を押す

▶ Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには

WEB（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

3 1（アドレス入力）を押す

4 アドレスを入力する

「http://」はあらかじめ入力されているので、それ以降のアドレスを入力します。
URLは「http://」を含めて全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。

5 [•] を押す

お知らせ

- URL編集画面で、最初の文字が「http://」「https://」以外の文字で始まるとエラーとなり、編集のやり直しになります。

最後に表示していたWebページに接続する

最後に表示していたWebページに接続します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 7（Webページを開く）を押す

▶ Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには

WEB（メニュー）を押し、5（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

3 2（最後のアドレス）を押す

最後に表示していたWebページのアドレスが表示されます。表示されたアドレスを編集することもできます。

4 [•] を押す

アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）

過去に入力したアドレスの履歴から、インターネット上のWebページに接続することができます。履歴は20件まで保存されています。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU][3] を押す

2 [7]（Webページを開く）を押す

▶ **Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには**

[WEB]（メニュー）を押し、[5]（Webページを開く）を押して、[2]（Webページを開く）を押します。

3 [3]（入力履歴）を押す

以前Webページに接続した際に入力したアドレスの履歴が、20件まで表示されます。（お買い上げ時にはURLの履歴がないため表示されません。）

4 [▲▼] で表示したい入力履歴を選択し、[●] を押す

▶ **入力履歴のアドレスを編集するには**

[▲▼] で入力履歴を選択して [WEB]（メニュー）を押し、[1]（アドレス編集）を押します。アドレスの入力画面に、選択した入力履歴のアドレスが表示されるので、必要に応じて編集します。[●] を押すと、編集後のアドレスへの接続が開始されます。

▶ **入力履歴のアドレスを削除するには**

[▲▼] で入力履歴を選択して [WEB]（メニュー）を押し、[2]（削除）を押します。「入力履歴を削除しますか？」と表示されるので、[▲] で「Yes」を選択し、[●] を押します。

お知らせ

- 入力履歴は、新しいものが一番上に表示されます。20件を超える履歴は古い順から上書きされます。

Webページの表示履歴を利用する

接続したWebページのアドレスは、履歴として自動的に50件まで保存されます。履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

履歴からWebページに接続する（履歴）

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 5（履歴）を押す

履歴一覧が表示されます。

▶ **Webページの表示中に履歴一覧を表示するには**

WEB（メニュー）を押して 5（Webページを開く）を押し、3（履歴）を押します。

3 ▲▼ で表示したい履歴を選択し、● を押す

お知らせ

● 履歴一覧では、最後に保存された履歴が一番上に表示されます。

履歴のアドレスを確認する

履歴のアドレスを表示して確認することができます。

1 履歴一覧を表示する

「履歴からWebページに接続する（履歴）」の手順１～２（☞同じページ内です。）の操作を行います。

2 ▲▼ で確認したい履歴を選択し、WEB（メニュー）を押す

3 1（アドレス表示）を押す

履歴のアドレスが表示されます。MAIL（戻る）を押すと、履歴一覧に戻ります。

お知らせ

● 接続したWebページのアドレスが200文字を超えていたときは、正しく表示されません。

Webページの表示履歴を削除する

Webページの表示履歴は１件ずつ個別に、または一括で削除できます。

履歴を個別に削除する

1 履歴一覧を表示する

「履歴からWebページに接続する（履歴）」の手順１～２（☞9-9ページ）の操作を行います。

2 [▲▼]で削除したい履歴を選択し、[WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（削除）を押す

4 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

履歴をすべて削除する

1 履歴一覧を表示する

「履歴からWebページに接続する（履歴）」の手順１～２（☞9-9ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [3]（全削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

5 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 履歴をすべて削除すると、アドレスの入力履歴もすべて削除されます。「アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）」（☞9-8ページ）

タブを利用して複数のWebページを開く

本電話機では、3ページまでのWebページを切り替えて表示することができます。Webページの切り替えには、画面上部に表示される「タブ」を使います。
タブを使うと、複数のWebページを重ねたように表示できます。それぞれのWebページに表示されるタブを選択することで、一番上に表示することができます。

リンクを新しいタブで開く

タブは、表示しているWebページが1ページだけのときは表示されません。Webページ上のリンクを新しいタブで開くと、今まで表示していたWebページと、新しく開いたリンク先のWebページのそれぞれにタブが設定されます。

1 Webページの表示中に、[◀][▲][▼][▶]で目的のリンクにフォーカスを移動する

2 [●]を約1秒以上押す

3 [2]（新しいタブで開く）を押す

リンク先のWebページが開き、タブが2つ設定されます。
すでにタブが2つ設定されている場合は、3つ目のタブが設定されます。

▶ タブを使わずリンクを開くときは

[1]（開く）を押すと、タブが設定されずにリンク先のWebページに切り替わります。

お知らせ

- リンクにフォーカスを移動して[WEB]（メニュー）を押し、[1]（ウィンドウメニュー）を押して[2]（新規に開く）を押しても、リンク先のWebページが新しいタブで開きます。

表示するタブを切り替える

1 タブが表示されているときに、[MENU]を押す

または[WEB][1][1]を押してください。タブが選択できる状態になります。

2 [◀][▶]で表示するタブを切り替える

[▶]でひとつ右のタブに、[◀]でひとつ左のタブに表示が切り替わります。

3 [●]を押す

表示中のタブを閉じる

現在表示中のタブのみを閉じます。

1 タブが表示されているときに、[WEB]（メニュー）を押す

2 [1]（ウィンドウメニュー）を押す

3 [3]（このタブを閉じる）を押す

表示していないタブを閉じる

現在表示していないタブをすべて閉じます。

1 タブが表示されているときに、[WEB]（メニュー）を押す

2 [1]（ウィンドウメニュー）を押す

3 [4]（他のタブを閉じる）を押す

ブックマークを利用する

よく見るWebページは、ブックマークに登録することで簡単に接続することができます。
ブックマークは、10件のフォルダに各20件、合計200件まで登録することができます。

ブックマークを登録する

表示中のWebページをブックマークに登録する

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [4]（ブックマーク）を押す

3 [1]（ブックマーク登録）を押す

ブックマークフォルダの一覧が表示されます。

4 [▲▼] で登録先のフォルダを選択し、[●] を押す

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

▶ **選択したフォルダにすでに20件登録されているとき**

「これ以上ブックマークに登録できません」と表示されます。[●] を押すと、手順3のフォルダを選択する画面に戻ります。もう一度登録先のフォルダを選択します。

お知らせ

- 登録したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとしてブックマークに登録します。
- 登録したブックマークはフォルダの一番下に追加されます。
- 登録するWebページのアドレスが「http://」を含めて200文字を超えるときは、「アドレスが長すぎます。省略して登録しますか？」と表示されます。[▲] で「Yes」を選択して [●] を押し、200文字以内に編集してから登録してください。

リンク先をブックマークに登録する

Webページ上のリンクを、ブックマークとして登録することができます。

1 Webページの表示中に、[◀▲▼▶] で目的のリンクにフォーカスを移動する

2 [●] を約1秒以上押す

3 [3]（ブックマーク登録）を押す

ブックマークフォルダの一覧が表示されます。

4 [▲▼] で登録先のフォルダを選択し、[●] を押す

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

ブックマークに登録したWebページに接続する

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

2 [3]（ブックマーク）を押す

▶ **Webページの表示中にブックマークフォルダー覧を表示するには**

[WEB]（メニュー）を押し、[4]（ブックマーク）を押して、[2]（ブックマークフォルダ）を押します。

3 [▲▼] でブックマークが登録されているフォルダを選択し、[●] を押す

4 [▲▼] でブックマークを選択し、[●] を押す

ブックマークフォルダ名を変更する

1 ブックマークフォルダー覧から、フォルダ名を変更したいフォルダを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1～3（☞同じページ内です。）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（フォルダ名編集）を押す

4 フォルダ名を変更する

フォルダ名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

5 [●] を押す

ブックマークのタイトルやアドレスを編集する

ブックマークのタイトルをわかりやすく編集したり、アドレスを変更することができます。

1 ブックマーク一覧から、タイトルやアドレスを編集するブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1～4（☞同じページ内です。）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（編集）を押す

編集画面が表示されます。

▶ **ブックマークのアドレスを確認するには**

[1]（アドレス表示）を押します。この画面でアドレスを編集することはできません。[MAIL]（戻る）を押すと、ブックマーク一覧に戻ります。

4 [▲▼] で「タイトル」欄または「アドレス」欄を選択し、[●]（編集）を押す

5 タイトルまたはアドレスを編集する

タイトルは全角16文字（半角32文字）まで、アドレスは最大で半角200文字まで入力できます。

6 [●] を押す

ブックマークのタイトルやアドレスが変更され、手順3の編集画面に戻ります。

7 [WEB]（決定）を押す

タイトルを変更した場合は、ブックマーク一覧に変更後のタイトルが表示されます。

ブックマークを移動する

ブックマークを他のフォルダに移動する

1 ブックマーク一覧から、タイトルやアドレスを編集するブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1 ～ 4（☞9-14ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [5]（移動）を押す

ブックマークフォルダ一覧が表示されます。

4 [▲▼]で移動先フォルダを選択し、[●]を押す

ブックマークが移動し、「移動しました」と表示されます。

ブックマークを１つ上／１つ下に移動する

1 ブックマーク一覧から、タイトルやアドレスを編集するブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1 ～ 4（☞9-14ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [6]または[7]を押す

▶ **[6]（一つ上に移動）を押すと**

ブックマークの位置がひとつ上に移動します。

▶ **[7]（一つ下に移動）を押すと**

ブックマークの位置がひとつ下に移動します。

マイメニューにブックマークを登録する

ブックマークをマイメニューに登録して、簡単にブックマークのアドレスに接続することができます。

1 待ち受け画面で[A/a MY]を押す

2 [▲▼]で登録先を選択し、[MAIL]（登録）を押す

3 [3]を押す

4 マイメニューに登録するブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順2 ～ 4（☞9-14ページ）の操作を行います。

5 [●]を押す

ブックマークがマイメニューに登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- マイメニューからブックマークを消去しても、元のブックマークは消去されません。
- 元のブックマークを消去しても、マイメニューのブックマークは消去されません。
- 元のブックマークのタイトルやアドレスを変更しても、マイメニューのブックマークは変更されません。

ブックマークを削除する

ブックマークを個別に削除する

選択したブックマークをフォルダから削除します。

1 ブックマーク一覧から、削除するブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1～4（☞9-14ページ）の[上下キー]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [3]（削除）を押す

4 [下キー]で「Yes」を選択し、[決定キー]を押す

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順3で[4]（全削除）を押すと、「フォルダ内のブックマークをすべて消去する」の手順4（☞同じページ内です。）に進み、表示されているフォルダ内のブックマークをまとめて削除することができます。

フォルダ内のブックマークをすべて消去する

選択したフォルダ内のブックマークをすべて消去します。

1 ブックマークフォルダ一覧から、ブックマークを削除するフォルダを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1～3（☞9-14ページ）の[上下キー]でフォルダを選択するまでの操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（フォルダ内全件削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「フォルダ内データを削除しますか？」と表示されます。

5 [下キー]で「Yes」を選択し、[決定キー]を押す

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

すべてのブックマークを削除する

全ブックマークフォルダ内の、すべてのブックマークをまとめて削除します。

1 ブックマークフォルダ一覧を表示する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」の手順1～2（☞9-14ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [3]（全件削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

5 [下キー]で「Yes」を選択し、[決定キー]を押す

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

Webページを検索する

インターネット上のWebページを検索したり、表示中のWebページから特定の文字列を検索することができます。

インターネット上のWebページを検索する（インターネット検索）

探している情報に関連したキーワードを指定して、インターネット上のWebページを検索することができます。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 4（インターネット検索）を押す

前回、インターネット検索を行ったときの検索条件が表示されます。

▶ **Webページの表示中にインターネット検索画面を表示するには**

WEB（メニュー）を押して 6（ページ内操作）を押し、2（インターネット検索）を押します。

3 ▲▼ で「キーワード」欄を選択し、● を押す

4 検索キーワードを入力する

キーワードは全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

5 ● を押す

6 ▲▼ で「検索エンジン」欄を選択し、● を押す

7 ▲▼ で利用する検索エンジンを選択し、● を押す

検索エンジンは、Google、Infoseek、Yahooから選択できます。

8 WEB（検索）を押す

検索結果の一覧が表示されます。

9 ▲▼ で表示する検索結果を選択し、● を押す

選択した検索結果への接続が開始されます。

Webページ内の文字列を検索する（文字列検索）

表示中のWebページ内にある、特定の文字列を検索することができます。

1 Webページの表示中に WEB（メニュー）を押す

2 6（ページ内操作）を押す

3 1（文字列検索）を押す

前回、文字列検索を行ったときの検索条件が表示されます。

4 検索キーワードを入力する

キーワードは全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

5 ● を押す

6 [上下キー]で検索方向を選択し、[決定キー]を押す

検索方向は、「上方向に検索」と「下方向に検索」のいずれか一方を選択できます。

7 [上下キー]で設定する検索オプションを選択し、[決定キー]を押す

その検索オプションにチェックがつき、有効となります。チェックを外すには、もう一度そのオプションを選択して[決定キー]を押します。
検索オプションの機能は次のとおりです。

▶ **大文字と小文字を区別**

大文字と小文字を区別して検索します。

▶ **ページの先頭から検索**

ページの先頭から検索します。チェックなしのときはページの末尾から検索します。

▶ **単語検索**

キーワードの文字列と完全に一致する文字列のみを検索します。

▶ **ラウンド検索**

検索方向に応じ、ページの末尾まで検索を終えるとページの先頭へ、ページの先頭まで検索を終えるとページの末尾へそれぞれ戻って検索します。

8 [WEB]（検索）を押す

Webページ内で最初に検索された文字列が反転表示されます。
検索条件に一致する文字列が存在しない場合は、「文字列が見つかりませんでした」と表示されます。

9 次の文字列を検索する場合は、[決定キー]（次へ）を押す

文字列の検索を終了する場合は、[MAIL]（中止）を押します。

ページメモを利用する

気に入ったWebページがあったら、Webページの内容をページメモとしてまるごと本電話機に保存できます。保存したWebページは、インターネットに接続せずに、待ち受け状態でいつでも何度でも見ることができます。ページメモは最大で10件まで保存することができます。

ページメモを保存する

1 **Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す**

2 **［7］（ページメモ）を押す**

3 **［1］（ページメモ保存）を押す**

ページメモが保存され、「保存しました」と表示されます。

▶ **保存件数がいっぱいのときは**

「これ以上ページメモを保存できません」と表示され、保存することができません。

お知らせ

- 作成者の意図などにより、ページメモとして保存できないWebページがあります。
- 保存したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとして保存します。

ページメモの保存先を変更する

ページメモの保存先は、本体メモリとmicroSDカードのどちらかを選択します。

1 **Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す**

2 **［9］（オプション）を押す**

3 **［7］（ページメモ）を押す**

4 **［▲▼］で「本体」または「microSD」を選択し、［●］を押す**

▶ **「本体」を選択すると**

ページメモは本体に保存されるようになります。

▶ **「microSD」を選択すると**

ページメモはmicroSDカードに保存されるようになります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。

ページメモを表示する

保存したページメモを表示します。

1 待ち受け画面で[WEB]または[MENU][3]を押す

2 [6]（ページメモ）を押す

▶ **Webページの表示中にページメモリストを表示するには**

[WEB]（メニュー）を押して[7]（ページメモ）を押し、[2]（ページメモリスト）を押します。

3 [▲▼]で表示したいページメモを選択し、[●]（表示）を押す

▶ **本体とmicroSDカードを切り替えるには**

[WEB]（メニュー）を押し、[7]（本体／microSD）を押します。この操作を行うごとに、本体とmicroSDのページメモ一覧が切り替わります。

お知らせ

● ページメモリストでは、最後に保存されたページメモが一番下に表示されます。

ページメモのタイトルを編集する

ページメモのタイトルをわかりやすく編集できます。

1 ページメモリストから、タイトルを編集するページメモを選択する

「ページメモを表示する」の手順1～3（☞同じページ内です。）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（タイトル編集）を押す

4 タイトルを編集する

タイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

5 [●]を押す

ページメモのアドレスを確認する

ページメモのアドレスを表示して確認することができます。

1 ページメモリストから、アドレスを確認するページメモを選択する

「ページメモを表示する」の手順1～3（☞同じページ内です。）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（アドレス表示）を押す

手順1のページメモのアドレスが表示されます。[MAIL]（戻る）を押すと、ページメモリストに戻ります。

ページメモを保護／保護解除する

ページメモを、誤って削除してしまわないように保護設定することができます。
保護されたページメモに対して削除の操作を行っても、「保護のため削除できません」と表示され、削除が実行されません。

ページメモを保護する

1 ページメモリストから、保護するページメモを選択する

「ページメモを表示する」の手順1～3（☞9-20ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [5]（保護/保護解除）を押す

「保護しますか？」と表示されます。

4 [▲▼]で「Yes」を選択し、[•]を押す

選択したページメモに保護が設定されます。保護が設定されたページメモには、ページメモリストのタイトルに「🔒」が表示されます。

ページメモの保護を個別に解除する

1 ページメモリストから、保護解除するページメモを選択する

「ページメモを表示する」の手順1～3（☞9-20ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [5]（保護/保護解除）を押す

「保護を解除しますか？」と表示されます。

4 [▲▼]で「Yes」を選択し、[•]を押す

選択したページメモの保護が解除されます。保護が解除されたページメモは、ページメモリストの「🔒」が消えます。

ページメモの保護をすべて解除する

1 ページメモリストを表示する

「ページメモを表示する」の手順1～2（☞9-20ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [6]（保護全解除）を押す

「保護を全て解除しますか？」と表示されます。

4 [▲▼]で「Yes」を選択し、[•]を押す

ページメモを削除する

ページメモを個別に削除する

保存されているページメモを1件ごとに削除できます。

1 ページメモリストから、削除するページメモを選択する

「ページメモを表示する」の手順1～3（☞9-20ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [3]（削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

4 [↕]で「Yes」を選択し、[●]を押す

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

ページメモをすべて削除する

保存されているページメモをすべて削除します。ただし、保護されているページメモは削除されません。
「ページメモを保護／保護解除する」（☞9-21ページ）

1 ページメモリストを表示する

「ページメモを表示する」の手順1～2（☞9-20ページ）の操作を行います。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [4]（全削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

5 [↕]で「Yes」を選択し、[●]を押す

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

Webページに関する機能を活用する

Webページを再読み込みする（再読込み）

表示しているWebページの情報を再取得し、内容を更新します。Webページの情報が正常に受信できなかったときなどに行います。

1 Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す

2 ［3］（再読込み）を押す

Webページを翻訳する（翻訳）

表示しているWebページを、Infoseekの翻訳エンジンを使用して他国語に翻訳することができます。英語→日本語、日本語→英語、韓国語→日本語、中国語→日本語の４種類の翻訳が選択できます。

1 Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す

2 ［6］（ページ内操作）を押す

3 ［3］（翻訳）を押す

前回、翻訳を行ったときの条件が表示されます。

4 ［▲▼］で「翻訳方向」欄を選択し、［●］を押す

5 ［▲▼］で何語から何語に翻訳するのかを選択し、［●］を押す

6 ［WEB］（翻訳）を押す

Webページの画像を保存する

本電話機で保存して表示できる画像データの形式はGIF、JPEG、BMP、PNG、およびMNGの一部です。これらの画像データの形式はインターネット上で一般的に使われている形式です。

画像を選択して保存する（画像保存）

Webページ内にある画像を選択して、保存することができます。

1 Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す

2 ［6］（ページ内操作）を押す

3 ［4］（画像保存）を押す

4 ［◀▲▼▶］で保存する画像にフォーカスを移動する

フォーカスされた画像は枠で囲まれます。

5 ［●］を押す

保存先の選択画面が表示されます。

6 で保存先を選択し、 を押す

画像が「画像データ」フォルダに保存され、「保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、画像を保存できないWebページがあります。
- 画像はWebページ内で使用されている名前で保存されます。

背景の画像を保存する（背景画像保存）

Webページの背景となっている画像を保存することができます。

1 Webページの表示中に（メニュー）を押す

2 （ページ内操作）を押す

3 （背景画像保存）を押す

保存先の選択画面が表示されます。

4 で保存先を選択し、 を押す

背景画像が「画像データ」フォルダに保存され、「保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、背景画像を保存できないWebページがあります。
- Webページがフレーム表示されているときは、選択中のフレームの背景画像が保存されます。

Webページ内の文字列をコピーする

Webページ内のテキストから、テキストの一部、電話番号、メールアドレスなどの文字列を選択してコピーすることができます。コピーした文字列は、メモ帳やメール本文などにペーストすることができます。

テキストを選択してコピーする

Webページ内のテキストの一部を選択してコピーすることができます。

1 Webページの表示中に（メニュー）を押す

2 （ページ内操作）を押す

3 （コピー）を押す

Webページ内の一連のテキストが表示されます。画面下側に「始点を選んで下さい」と表示されます。

4 でコピー範囲の始点を選択し、 を押す

画面下側に「終点を選んで下さい」と表示されます。

5 でコピー範囲の終点を選択する

始点から終点までの範囲が反転します。

6 を押す

電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスをコピーする

Webページの画面では、電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。これらを選択してコピーすることができます。

1 [上下キー]で目的の電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスにフォーカスを移動する

フォーカスされた電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスは反転表示されます。

2 [決定キー]を押す（Webページのアドレスの場合は約1秒以上押す）

3 電話番号、およびWebページのアドレスの場合は [4]（コピー）を、メールアドレスの場合は [3]（コピー）を押す

お知らせ

- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、[左右キー]でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

Webページの画面では、電話番号やメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号やメールアドレスを選択して、電話帳に登録することができます。

1 [上下キー]で目的の電話番号やメールアドレスにフォーカスを移動する

フォーカスされた電話番号やメールアドレスは反転表示されます。

2 [決定キー]を押す

3 電話番号の場合は [3]（電話帳登録）を、メールアドレスの場合は [2]（電話帳登録）を押す

4 [1] または [2] を押す

▶ **[1]（新規登録）を押すと**

「新規登録する」（☞7-51ページ）に進みます。

▶ **[2]（追加登録）を押すと**

「追加登録する」（☞7-51ページ）に進みます。

BGMの音量を調整する（音量調節）

Webページの表示中に再生されるBGMの音量を調整することができます。
音量はOFFおよび1～5の範囲で調整できます。

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [6]（ページ内操作）を押す

3 [6]（音量）を押す

現在の設定音量が表示されます。
オートサイレントやマナーモードが設定されているときは、「再生しますか？」と表示されます。[下キー]で「Yes」を選択して [決定キー]を押すと、現在の設定音量が表示されます。

4 [▲▼] で音量を変更し、[●] を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。
- 設定した音量は、表示中のWebページでのみ有効です。
- Webページの表示中にBGMを再生しないよう設定することもできます。「BGMの再生を設定する（BGM）」（☞9-33ページ）

BGMのサウンドデータを保存する（BGサウンドリスト）

Webページに設定されているBGMのサウンドデータを選択して、保存することができます。

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [6]（ページ内操作）を押す

3 [8]（BGサウンドリスト）を押す

Webページに設定されているBGMのサウンドデータのリストが表示されます。

4 [▲▼] で保存するサウンドデータを選択する

サウンドデータを選択して [●]（再生）を押すと、サウンドが再生されます。

5 [WEB]（保存）を押す

保存先の選択画面が表示されます。

6 [▲▼] で保存先を選択し、[●] を押す

サウンドデータが「サウンドデータ」フォルダに保存され、「サウンドを保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

お知らせ

- 作成者の意図などにより、サウンドを保存できないWebページがあります。

Webページの先頭／末尾にジャンプする

Webページの閲覧中に、そのページの先頭や末尾にジャンプすることができます。

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [6]（ページ内操作）を押す

3 [9] または [0] を押す

▶ [9]（先頭へジャンプ）を押すと

Webページの先頭が表示されます。

▶ [0]（末尾へジャンプ）を押すと

Webページの末尾が表示されます。

お知らせ

- フレームを選択しているときは、選択中のフレームの先頭／末尾にジャンプします。

文字サイズを変更する（文字サイズ）

Webページに表示される文字のサイズを、「12dot」「16dot」「20dot」の3段階で設定することができます。dot数の数値が大きいほど、表示される文字が大きくなります。

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [8]（ページ設定）を押す

3 [1]（文字サイズ）を押す

4 [▲▼] で文字サイズを選択し、[●] を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「16dot」に設定されています。
- 複数のタブが表示されている場合、文字サイズの変更は表示中のタブでのみ有効となります。「タブを利用して複数のWebページを開く」（☞9-11ページ）
- 本機能は文字サイズのみの変更となります。画像などを含んだページ全体の拡大／縮小を行うときは、「画面の表示倍率を変更する（ズーム）」（☞9-35ページ）の操作を行ってください。

文字コードを変更する（エンコード）

Webページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを切り替えて表示し直してください。

▶ 文字コードとは？

コンピュータで文字を扱うために文字に割り当てられたコードです。コンピュータは、このコードを文字に変換して、ディスプレイに表示しています。コードの割り当ての規格にはいくつかの種類があります。

本電話機は、シフトJIS、EUC、JISコード（ISO-2022-JP）、Unicode（UTF-8）、ISO 8859、ASCIIコードに対応しています。本電話機でWebページを表示するときは、Webページがどの規格の文字コードで作成されているかを自動的に判断して、規格に従って文字を変換します。文字コードの自動判断がうまく働かなかったときには、文字コードを切り替えて、Webページの文字を変換し直してください。

1 Webページの表示中に [WEB]（メニュー）を押す

2 [8]（ページ設定）を押す

3 [2]（エンコード）を押す

4 [▲▼] で文字コードを選択し、[●] を押す

変更後の文字コードで、Webページの文字が変換し直されます。

Webページの情報（プロパティ）を表示する

ページのプロパティを表示する（ページプロパティ）

表示中のWebページのタイトル、アドレス、MIMEタイプ（データタイプ）、更新日、データサイズを表示します。

1 **Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す**

2 **［8］（ページ設定）を押す**

3 **［3］（プロパティ）を押す**

プロパティ画面が表示されます。

4 **［1］（ページプロパティ）を押す**

表示中のWebページの情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、［▼］で続きを表示させることができます。
［MAIL］（戻る）を押すと、手順3のプロパティ画面に戻ります。

お知らせ

- この画面でアドレスを編集することはできません。

画像のプロパティを表示する（画像プロパティ）

選択した画像のアドレス、MIMEタイプ（データタイプ）、更新日、データサイズを表示します。

1 **Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す**

2 **［8］（ページ設定）を押す**

3 **［3］（プロパティ）を押す**

4 **［2］（画像プロパティ）を押す**

5 **［▲▼］でプロパティを表示する画像を選択する**

選択した画像は枠で囲まれます。

6 **［●］を押す**

選択した画像の情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、［▼］で続きを表示させることができます。
［MAIL］（戻る）を押すと、手順1のWebページの表示に戻ります。

お知らせ

- この画面でアドレスを編集することはできません。

SSL証明書の内容を確認する（SSL証明書）

SSLで保護されたWebページを表示しているとき、使用されているSSL証明書の内容を表示します。

▶ **SSL（Secure Sockets Layer）とは**

Netscape Communications社の提唱するセキュリティ機能の付加されたHTTPプロトコル（通信のための規約）です。インターネット上でプライバシーやクレジットカード番号などに関する情報を、盗用を防ぎ安全にやりとりするために考案されたものです。
SSLで保護されているWebページにアクセスしようとしたときには、まずWebページの持ってい

る証明書や、本電話機が持っている証明書が有効かどうかの確認が行われます。証明書が有効なときには、お客様の個人情報などを、そのWebページに安全に送ることができます。

1 **SSL対応Webページの表示中に［WEB］（メニュー）を押す**

2 **［8］（ページ設定）を押す**

3 **［3］（プロパティ）を押す**

4 **［3］（SSL証明書）を押す**

SSL証明書の一覧が表示されます。

5 **［▲▼］で内容を表示するSSL証明書を選択し、［●］を押す**

SSL証明書の内容が表示されます。［MAIL］（戻る）を押すと、手順4のSSL証明書の一覧に戻ります。

■SSLで保護されたWebページを表示する

SSL証明書の期限の切れているWebページや、本電話機のSSL証明書と異なる証明書を使用しているWebページを表示しようとしたときは、「接続の安全性を確認できません。接続しますか？」と表示されます。
［▲］で「Yes」を選択して［●］を押すと接続はできますが、この場合、お客様の個人情報を安全に送信することができません。ご注意ください。

お知らせ

- 本電話機には、SSL証明書が30件登録されています。

ファイルをダウンロードする

Webサーバから画像、サウンド、アプリケーションなどのファイルをダウンロードして本電話機に保存することができます。
ダウンロードできるファイルの名称などは、他と違う色で表示されています。
ダウンロードしたファイルは、開いてから保存することも、保存してから開くこともできます。

1 **［◀▲▼▶］でダウンロードするファイルにフォーカスを移動する**

フォーカスされたファイルは反転表示されます。

2 **［●］を押す**

「ダウンロードしますか？それとも開きますか？」と表示されます。

▶ **ファイルを開いてから保存するときは**

［▲▼］で「開く」を選択して［●］を押すと、すぐにファイルのダウンロードが開始され、完了するとファイルが開きます。
［WEB］（保存）を押すと、保存先の選択画面が表示されます。［1］（データフォルダ）または［2］（microSD）を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

▶ **ファイルを保存してから開くときは**

［▲▼］で「保存」を選択して［●］を押すと、保存先の選択画面が表示されます。［1］（データフォルダ）または［2］（microSD）を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）
ファイルのダウンロードと保存が完了すると、「ダウンロード終了しました。開きますか？」と表示されます。［▲］で「Yes」を選択して［●］を押すと、ファイルが開きます。

お知らせ

- 作成者の意図などにより、ダウンロードして開くことはできても保存はできないファイルがあります。
- ファイルの種類によっては、一度ファイルを開かないと保存できない場合があります。

Javaアプリケーションをダウンロードする

Javaアプリケーションをダウンロードし、本電話機にインストールすることができます。

1 でダウンロードするJavaアプリケーションにフォーカスを移動する

フォーカスされたJavaアプリケーションは反転表示されます。

2 を押す

「インストールしますか？」と表示されます。

3 で「Yes」を選択し、（実行）を押す

Javaアプリケーションのダウンロード、保存、インストールが行われます。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）
「情報」を選択して（実行）を押すと、アプリケーションのファイル名などの情報が表示されます。（戻る）を押すと、手順2のインストールの確認画面に戻ります。

ファイルをアップロードする

本電話機に保存されているファイルを、Webサーバへアップロードすることができます。

1 Webページで、でファイル選択用ボタン（「参照」など）にフォーカスを移動する

2 を押す

ファイル選択画面が表示されます。

3 アップロードするフォルダを選択し、を押す

「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

4 アップロードするファイルを選択し、を押す

Webページの表示に戻り、アップロードするファイル名が表示されます。

5 で送信用ボタン（「送信」など）にフォーカスを移動し、を押す

ブラウザの各種機能を設定する

画面の表示やBGMの再生など、ブラウザに関する各種設定を行います。ブラウザに関する設定は、表示するすべてのWebページに対して適応されます。

JavaScriptの有効／無効を設定する（JavaScript）

JavaScriptとは、Webページに動きをつけたり、閲覧者の操作に対して何らかの反応を返すためのプログラムの一種です。JavaScriptを無効にすると、Webページの動きや反応などは正しく表示されなくなりますが、複雑なJavaScript が組み込まれているWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

3 ［2］（表示設定）を押す

▶ **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

［WEB］（メニュー）を押して［9］（オプション）を押し、［2］（表示設定）を押します。

4 ［1］（JavaScript）を押す

5 ［▲▼］で有効／無効を選択し、［●］を押す

お知らせ

● お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

アニメーションの表示／非表示を設定する（アニメーション）

Webページを表示する際に、アニメーションを表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると、アニメーションをダウンロードしません。アニメーションデータの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

3 ［2］（表示設定）を押す

▶ **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

［WEB］（メニュー）を押して［9］（オプション）を押し、［2］（表示設定）を押します。

4 ［2］（アニメーション）を押す

5 ［▲▼］で表示する／表示しないを選択し、［●］を押す

お知らせ

● お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。

画像の表示方法を設定する（画像）

Webページを表示する際に、画像を表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると、画像をダウンロードしません。画像データの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

3 2（表示設定）を押す

▶ **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して 9（オプション）を押し、2（表示設定）を押します。

4 3（画像）を押す

5 上下キーで画像の表示方法を選択し、決定キーを押す

▶ **「表示する」を選択すると**

Webページを表示する際、すぐに画像を読み込んで表示します。

▶ **「オンデマンド表示」を選択すると**

Webページに接続した際、すぐに画像を読み込むのではなく、スクロール操作などによって表示領域に画像が入ったときに読み込みを行って表示します。

▶ **「表示しない」を選択すると**

Webページに接続しても、画像を読み込まず表示しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「オンデマンド表示」に設定されています。
- 画像を表示しない場合、画像の位置には「」が表示されます。

テーブル機能の有効／無効を設定する（テーブル）

Webページを表示する際に、表形式として定義されたデータ（テーブル）を表示させるかどうかを設定します。設定を「無効」にすると、ページによっては表示が速くなりますが、レイアウトがくずれてしまうことがあります。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

3 2（表示設定）を押す

▶ **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して 9（オプション）を押し、2（表示設定）を押します。

4 4（テーブル）を押す

5 上下キーで有効／無効を選択し、決定キーを押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

自動判別する言語を設定する（自動判別言語）

コンテンツの自動判別に使用する言語を設定します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

3 2（表示設定）を押す

▶ **Webページの表示中に表示設定メニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して 9（オプション）を押し、2（表示設定）を押します。

4 5（自動判別言語）を押す

5 ▲▼ で言語を選択し、● を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本語」に設定されています。

BGMの再生を設定する（BGM）

WebページにBGMのサウンドデータが埋め込まれているときに、そのBGMを再生するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 3（BGM）を押す

4 ▲▼ で再生する／しないを選択し、● を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「再生する」に設定されています。
- BGMの再生中に音量を調整することもできます。「BGMの音量を調整する（音量調節）」（☞9-25ページ）

画面の表示幅を設定する（表示モード）

Webページの横幅が1画面に収まるように調整して表示するか、調整せずに表示して横スクロールを使って閲覧するかを設定します。また、Webページ表示中の ◀▲▼▶ の動作を設定します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 4（表示モード）を押す

4 ▲▼ で表示モードを選択し、● を押す

▶「ケータイモード」を選択すると

- Webページの横幅が1画面に収まるように表示します。画面の横スクロールには対応しません。
- ◀でひとつ前の履歴に戻り、▶で次の履歴に進みます。
- ▲▼ でフォーカスが移動します。
- リフレッシュ動作は行われません。
- ユーザエージェントが「WILLCOM」に固定されます。「ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）」（☞9-39ページ）

▶「Smart-Fitモード」を選択すると

- Webページの横幅が1画面に収まるように表示します。画面の横スクロールには対応しません。
- ◀▲▼▶ でフォーカスが移動します。
- ◀▶ による履歴の移動は行えません。

▶「デスクトップモード」を選択すると

- Webページの横幅が広い場合は、◀▶ で画面を横にスクロールすることができます。
- ◀▲▼▶ でフォーカスが移動します。
- ◀▶ による履歴の移動は行えません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ケータイモード」に設定されています。
- Webページの表示中は、⌂ を押すと表示モード切り替えの選択ができます。

画面のスクロール量を設定する（スクロール）

Webページの画面を上下にスクロールするときの移動量を設定します。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 5（スクロール）を押す

4 ▲▼ でスクロール量を選択し、● を押す

▶「1行」「3行」「5行」を選択すると

▲▼ によって、Webページが選択した行数だけ上下にスクロールします。

▶「全画面」を選択すると

▲▼ によって、Webページが1画面分上下にスクロールします。

お知らせ

- お買い上げ時には、「3行」に設定されています。
- スクロール量が「全画面」に設定されていても、表示されている画面内に、選択可能なリンクや文字列（Webページのアドレス、電話番号、Eメールアドレスなど）がある場合は、そのリンクや文字列へのフォーカス移動が優先されます。

画面の表示倍率を変更する（ズーム）

Webページの画面表示倍率を変更します。25 ～ 200%の間で、9段階に変更できます。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

オプションメニューが表示されます。

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 6（ズーム）を押す

4 ▲▼で「ズーム」欄を選択し、● を押す

5 ▲▼で表示倍率を選択し、● を押す

画面の表示倍率が変更されます。

6 ▲▼で「決定」を選択し、● を押す

手順2のオプションメニューに戻ります。Webページの表示中の場合は、ズーム設定画面が消えます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「100%」に設定されています。

キャッシュに関する設定を行う（キャッシュ）

ブラウザは、Webページを構成する一連のWebページ、画像ファイル、音楽ファイルなどを、キャッシュと呼ばれるメモリに読み込んで表示しています。
キャッシュを利用すると、他のページに移動したあと直前のページに戻りたいときなどに、あらためてWebページを読み込む必要がないので、画面の表示が速くなります。

キャッシュメニューを表示する

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 8（HTTP設定）を押す

4 1（キャッシュ）を押す

キャッシュメニューが表示されます。

キャッシュモードを設定する

Webページを表示する際、キャッシュに保持されているデータと、ネットワークから取得するデータのどちらを優先させるかを設定します。

1 キャッシュメニューを表示する

「キャッシュメニューを表示する」の手順1～4（☞9-35ページ）の操作を行います。

2 [1]（キャッシュモード）を押す

3 [▲▼]でキャッシュモードを選択し、[●]を押す

▶「ネットワークのみ」を選択すると

キャッシュを使用せず、必ずネットワーク上からデータを取得して表示します。

▶「ネットワーク優先」を選択すると

Webページにアクセスするたびにコンテンツの日時情報などをチェックし、コンテンツが更新されている場合はネットワークから、更新されていない場合はキャッシュからデータを取得して表示します。

▶「キャッシュ優先」を選択すると

キャッシュにデータが保持されている場合はキャッシュから、データが保持されていない場合はネットワークからデータを取得して表示します。

▶「キャッシュのみ」を選択すると

キャッシュに保持されているデータのみ表示します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ネットワーク優先」に設定されています。

Diskキャッシュの使用を設定する

1 キャッシュメニューを表示する

「キャッシュメニューを表示する」の手順1～4（☞9-35ページ）の操作を行います。

2 [2]（Diskキャッシュ使用）を押す

3 [▲▼]で使用する／しないを選択し、[●]を押す

お知らせ

- お買い上げ時には、「使用しない」に設定されています。

■Diskキャッシュを削除する

キャッシュメニューで[3]（Diskキャッシュ削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。[▲]で「Yes」を選択して[●]を押すと、Diskキャッシュがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

Cookieに関する設定を行う（Cookie）

Webサーバが「Cookie（クッキー）」と呼ばれる情報を送ってきたときの受信方法を設定することができます。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 8（HTTP設定）を押す

4 2（Cookie）を押す

5 1（Cookieモード）を押す

6 ▲▼ でCookieモードを選択し、● を押す

▶ **「受信する」を選択すると**

すべてのCookieを受信し、保存します。

▶ **「受信しない」を選択すると**

すべてのCookieを受信しません。

▶ **「確認する」を選択すると**

「Cookieを受信しますか？」と表示されます。▲で「Yes」を選択して ● を押すと、Cookieが受信されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、「受信する」に設定されています。

■Cookieを削除する

手順4の後で 2（Cookie削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。

▲で「Yes」を選択して ● を押すと、Cookieがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

最大リフレッシュ回数を設定する（最大リフレッシュ回数）

リフレッシュによるアドレス移動の回数を制限することができます。

1 待ち受け画面で WEB または MENU 3 を押す

2 8（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

WEB（メニュー）を押して、9（オプション）を押します。

3 8（HTTP設定）を押す

4 3（最大リフレッシュ回数）を押す

5 ▲▼ で最大リフレッシュ回数を選択し、● を押す

▶ **「0回」を選択すると**

リフレッシュを禁止にします。

▶ **「1回」「5回」を選択すると**

最大リフレッシュ回数を1回、5回に設定します。

▶ **「無制限」を選択すると**

リフレッシュ回数に制限を設けません。

お知らせ

● お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。
● 表示モードが「ケータイモード」に設定されている場合は、最大リフレッシュ回数を設定することができません。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

最大リダイレクト回数を設定する（最大リダイレクト回数）

リダイレクトによるアドレス移動の回数を制限することができます。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

［WEB］（メニュー）を押して、［9］（オプション）を押します。

3 ［8］（HTTP設定）を押す

4 ［4］（最大リダイレクト回数）を押す

5 ［▲▼］で最大リダイレクト回数を選択し、［●］を押す

▶ **「0回」を選択すると**

リダイレクトを禁止にします。

▶ **「1回」「5回」を選択すると**

最大リダイレクト回数を1回、5回に設定します。

▶ **「無制限」を選択すると**

リダイレクト回数に制限を設けません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。

ポップアップブロックを設定する（ポップアップブロック）

広告などのポップアップウィンドウの自動表示をブロックするかどうか、設定することができます。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

［WEB］（メニュー）を押して、［9］（オプション）を押します。

3 ［8］（HTTP設定）を押す

4 ［5］（ポップアップブロック）を押す

5 ［▲▼］で使用する／しないを選択し、［●］を押す

▶ **「使用する」を選択すると**

ポップアップウィンドウを自動的に表示しないようブロックします。

▶ **「使用しない」を選択すると**

ポップアップウィンドウを自動的に表示します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「使用する」に設定されています。

認証データの有効／無効を設定する（認証データ）

認証データの有効／無効を設定することができます。
「有効」にすると、認証時に入力したアカウントとパスワードが保存されます。「無効」にすると、入力したアカウントとパスワードが毎回削除されます。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

2 [8]（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

[WEB]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

3 [8]（HTTP設定）を押す

4 [6]（認証データ）を押す

5 [▲▼] で有効／無効を選択し、[●] を押す

お知らせ

● お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）

ユーザエージェント（HTML文書を解釈するプログラム）を選択することができます。

1 待ち受け画面で [WEB] または [MENU] [3] を押す

2 [8]（オプション）を押す

▶ **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

[WEB]（メニュー）を押して、[9]（オプション）を押します。

3 [8]（HTTP設定）を押す

4 [7]（ユーザエージェント）を押す

5 [▲▼] でユーザエージェントを選択し、[●] を押す

お知らせ

● 表示モードがケータイモードの場合は、WILLCOMのユーザエージェント以外は選択できません。

証明書の有効／無効を設定する（証明書）

SSLのルート証明書およびCA証明書の有効／無効を設定することができます。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

▶ Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

［WEB］（メニュー）を押して、［9］（オプション）を押します。

3 ［9］（証明書）を押す

4 ［1］（ルート証明書）または［2］（CA証明書）を押す

証明書の一覧が表示されます。

5 ［▲▼］で証明書を選択し、［●］を押す

証明書の内容が表示されます。

6 ［WEB］（メニュー）を押す

7 ［▲▼］で有効／無効を選択し、［●］を押す

証明書の有効／無効が設定され、手順5の証明書の内容表示に戻ります。［MAIL］（戻る）を押すと、手順4の証明書の一覧に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべての証明書が「有効」に設定されています。

ブラウザに関する各種設定を確認する（設定確認）

ブラウザに関する各種設定の内容を確認することができます。

1 待ち受け画面で［WEB］または［MENU］［3］を押す

2 ［8］（オプション）を押す

▶ Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

［WEB］（メニュー）を押して、［9］（オプション）を押します。

3 ［0］（設定確認）を押す

ブラウザに関する各種設定が一覧表示されます。表示項目は［▲▼］でスクロールできます。

接続先を変更する（インターネット設定）

本電話機はインターネット標準のプロトコルを採用しているので、自分がパソコンで使っている一般のプロバイダなどにダイヤルアップで接続したり、会社のネットワークに接続することができます。
また、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞8-38ページ）

- 一般のプロバイダをご利用になるときは、別途プロバイダとの契約が必要です。
- プロバイダによっては、サーバの設定や接続条件により接続できない場合があります。

ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）

ダイヤルアップの接続先は３件まで設定できます。１件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されていますが、あとの２件については接続先を任意に設定できます。ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに以下の設定を行ってください。詳しい設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
オフィスモードで事業所内のネットワークなどに接続する場合の設定内容については、社内のLAN管理者などにお問い合わせください。また、オフィスモードで利用するには、事業所等に設置されている事業所用PHSシステムに本電話機が登録されている必要があります。「オフィスモードで使う」（☞14-4ページ）

1 待ち受け画面で WEB を押す

2 9（インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で MENU 5 5 4 または MAIL 0 を押して表示することもできます。

3 1（ダイヤルアップ設定）を押す

4 2（接続先2）または 3（接続先3）を押す

接続先の設定画面が表示されます。
1（CLUB AIR-EDGE）を押した場合は、料金分計の設定のみ変更できます。接続先などは変更できません。「5（料金分計）」（☞9-43ページ）

5 1 ～ 9 のいずれかを押し、表示された設定画面で入力・設定を行う

次の項目が入力・設定できます。

- ▶ 1（接続先名称）（☞9-42ページ）
- ▶ 2（接続先電話番号）（☞9-42ページ）
- ▶ 3（ユーザID）（☞9-42ページ）
- ▶ 4（パスワード）（☞9-43ページ）
- ▶ 5（料金分計）（☞9-43ページ）
- ▶ 6（ワンタイムパスワード）（☞9-43ページ）
- ▶ 7（Proxy利用）（☞9-43ページ）
- ▶ 8（Proxyサーバ名）（☞9-43ページ）
- ▶ 9（Proxyポート番号）（☞9-43ページ）

6 必要に応じて手順５を繰り返し、各項目を入力・設定する

7 さらに詳細な設定を行う場合は 0（詳細設定）を押し、各項目を入力・設定する

次の項目が入力・設定できます。ただしオンラインサインアップの場合、0（詳細設定）は設定できません。

- ▶ 1（IPアドレス自動取得）（☞9-44ページ）
- ▶ 2（IPアドレス）（☞9-44ページ）
- ▶ 3（DNS自動取得）（☞9-44ページ）
- ▶ 4（プライマリDNS）（☞9-44ページ）

▶ 5（セカンダリDNS）（☞9-44ページ）

▶ 6（Proxy認証）（☞9-44ページ）

▶ 7（Proxyユーザ名）（☞9-45ページ）

▶ 8（Proxyパスワード）（☞9-45ページ）

各項目の設定が完了したら、MAIL（完了）を押してください。「設定しました」と表示され、手順4の接続先の設定画面に戻ります。

8 設定が完了したら、MAIL（完了）を押す

接続先が設定され、「ダイヤルアップ設定しました」と表示されます。

9 次の接続先を設定するときは、手順4～8を繰り返す

ダイヤルアップの各項目を設定する

■ 1（接続先名称）

お好みの名称をつけることができます。接続先名称を、全角8文字（半角16文字）以内で入力し、●を押します。

■ 2（接続先電話番号）

プロバイダから通知された、ダイヤルアップの接続先電話番号（アクセスポイント）を、32桁以内で入力し、●を押します。「利用できる通信方式」（☞10-3ページ）
また、アクセスポイントの対応通信方式に合わせて、電話番号に続けて下表の番号を入力してください。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4xパケット方式※、2xパケット方式※	##64
1xパケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティー）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式※	##7

「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞11-2ページ）の設定に関係なく、本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されます。あらかじめご了承ください。

※4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ

- お買い上げ時には、「0570570099##61」に設定されています。
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「通信方式を設定する」（☞10-13ページ）もご覧ください。

■ 3（ユーザID）

プロバイダから通知されたユーザIDを、半角64文字以内で入力し、●を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「clubh」に設定されています。

■ 4 （パスワード）
プロバイダから通知されたパスワードを、半角128文字以内で入力し、 を押します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「clubh」に設定されています。

■ 5 （料金分計）
料金分計サービスを利用する場合は 1 （ON）、利用しない場合は 2 （OFF）を押します。
料金分計サービスを利用すると、メール送信の料金の請求先を主計先と分計先の2箇所に分けることができます。料金分計を「OFF」に設定すると料金は主計先に、「ON」に設定すると分計先に請求されます。
料金分計は、契約が必要な有料のサービスです。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）
料金分計サービスは、待受モードが「公衆」のとき、または「公衆/オフィス」「公衆/グループ」で公衆優先に設定されているときにご利用になれます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 6 （ワンタイムパスワード）
接続のたびにワンタイムパスワードを入力する場合は 1 （ON）、入力しない場合は 2 （OFF）を押します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 7 （Proxy利用）
接続にProxyサーバを利用する場合は 1 （ON）、利用しない場合は 2 （OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 8 （Proxyサーバ名）
7 （Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバの名称を半角64文字以内で入力し、 を押します。7 （Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

■ 9 （Proxyポート番号）
7（Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバのポート番号を半角5文字以内で入力し、 を押します。7 （Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

お知らせ
- お買い上げ時には、「8080」に設定されています。

ダイヤルアップの詳細情報を設定する

■ 1 （IPアドレス自動取得）

IPアドレスを自動で取得する場合は 1 （ON）、取得しない場合は 2 （OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

● お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

■ 2 （IPアドレス）

1 （IPアドレス自動取得）を「OFF」に設定した場合、プロバイダから通知されているIPアドレスを入力し、 を押します。 で「.」の右に移動できます。 1 （IPアドレス自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

● お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 3 （DNS自動取得）

DNSサーバのIPアドレスを自動で取得する場合は 1 (ON)、取得しない場合は 2 (OFF)を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

● お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

■ 4 （プライマリDNS）

3 (DNS自動取得)を「OFF」に設定した場合、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力し、 を押します。 で「.」の右に移動できます。 3 （DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

● お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 5 （セカンダリDNS）

3 (DNS自動取得)を「OFF」に設定した場合、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力し、 を押します。 で「.」の右に移動できます。 3 （DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

お知らせ

● お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

■ 6 （Proxy認証）

Proxyサーバを利用した認証を行う場合は 1 （ON）、行わない場合は 2 （OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

お知らせ

● お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

■ 7 （Proxyユーザ名）

6 （Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のユーザ名を半角64文字以内で入力し、 を押します。6 （Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

■ 8 （Proxyパスワード）

6 （Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のパスワードを半角128文字以内で入力し、 を押します。6 （Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

ダイヤルアップ設定を初期化する

1 待ち受け画面で WEB を押す

2 9 （インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で MENU 5 5 4 または MAIL 0 を押して表示することもできます。

3 1 （ダイヤルアップ設定）を押す

4 で初期化する設定を選択する

1 （CLUB AIR-EDGE）の設定は初期化できません。

5 WEB （初期化）を押す

6 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「設定を初期化しますか？」と表示されます。

7 で「Yes」を選択し、 を押す

ダイヤルアップ設定が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

接続モードを設定する（接続モード設定）

ダイヤルアップの接続先（Web用／メール用）、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせを決める「接続モード」は、3件まで設定できます。お買い上げ時には、各モードの接続先やアカウントは以下のように設定されています。

接続モード	ダイヤルアップ接続先（Web用／メール用）	送信メールアカウント	受信メールアカウント
接続モード1	接続先1（CLUB AIR-EDGE）	Eメール	EメールのみON
接続モード2	接続先2	アカウント2	アカウント2のみON
接続モード3	接続先3	アカウント3	アカウント3のみON

1 待ち受け画面で WEB を押す

2 9 （インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で MENU 5 5 4 または MAIL 0 を押して表示することもできます。

3 2 （接続モード設定）を押す

4 1 （接続モード1）～ 3 （接続モード3）のいずれかを押す

接続モードの設定画面が表示されます。

5 [1]（接続モード名称）を押す

6 接続モードの名称を入力する

お好みの名称をつけることができます。全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

7 [—]を押す

8 [2]（Web用ダイヤルアップ接続先）を押す

9 [1]～[3]のいずれかを押す

ダイヤルアップの接続先は、1件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）」（☞9-41ページ）

10 [3]（メール用ダイヤルアップ接続先）を押す

11 [1]～[3]のいずれかを押す

ダイヤルアップの接続先は、1件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）」（☞9-41ページ）

12 [4]（送信メールアカウント）を押す

13 [1]～[3]のいずれかを押す

メールアカウントは3件まで設定できます。「メールアカウントを設定する」（☞8-38ページ）

14 [5]（受信メールアカウント）を押す

受信メールアカウント画面が表示されます。

15 [1]または[2]を押す

▶ **[1]（受信アカウント選択）を押したときは**

受信アカウントの一覧が表示されます。
[1]～[3]のいずれかを押すと、受信アカウントのON/OFFを設定する画面が表示されます。[1]（ON）または[2]（OFF）を押すと、手順14の受信メールアカウント画面に戻ります。
メールアカウントは3件まで設定できます。「メールアカウントを設定する」（☞8-38ページ）

▶ **[2]（毎回選択）を押したときは**

受信アカウントを毎回選択するかどうかを設定します。[1]（ON）または[2]（OFF）を押すと、手順14の受信メールアカウント画面に戻ります。

16 受信メールアカウント画面で[MAIL]（完了）を押す

「設定しました」と表示され、手順4の接続モードの設定画面に戻ります。

17 [MAIL]（完了）を押す

接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

接続モードを選択する

公衆モードで接続する場合と、オフィスモードで接続する場合のそれぞれについて、あらかじめ接続モード（ダイヤルアップ接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせ）を設定しておくことができます。

公衆モード時の接続モードを選択する（公衆使用接続モード）

1 待ち受け画面で［WEB］を押す

2 ［9］（インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で［MENU］［5］［5］［4］または［MAIL］［0］を押して表示することもできます。

3 ［3］（公衆使用接続モード）を押す

公衆使用接続モード画面が表示されます。

4 ［1］～［3］のいずれかを押す

公衆使用接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 接続モードの詳細を確認するには

［▲▼］で接続モードを選択して［MAIL］（詳細）を押すと、Web用／メール用ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。［クリア］を押すと、手順3の公衆使用接続モード選択画面に戻ります。

▶ オフィス接続モードで選択されている接続モードを選択したときは

「オフィス接続モードで選択されています。設定しますか？」と表示されます。［▲］で「Yes」を選択して［●］を押すと、選択したモードが公衆接続時の接続モードとして設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、公衆接続モードは「接続モード1」（接続先はCLUB AIR-EDGE）に設定されています。

オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード）

1　待ち受け画面で［WEB］を押す

2　［9］（インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で［MENU］［5］［5］［4］または［MAIL］［0］を押して表示することもできます。

3　［4］（オフィス接続モード）を押す

オフィス接続モード画面が表示されます。

4　［1］～［3］のいずれかを押す

オフィス接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 接続モードの詳細を確認するには

［▲▼］で接続モードを選択して［MAIL］（詳細）を押すと、接続モードの名称、ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。［クリア］を押すと、手順3のオフィス接続モード画面に戻ります。

▶ 公衆使用接続モードで選択されている接続モードを選択したときは

「公衆接続モードで選択されています。　設定しますか？」と表示されます。［▲］で「Yes」を選択して［●］を押すと、選択したモードがオフィス接続時の接続モードとして設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、オフィス接続モードは「接続モード3」に設定されています。

インターネット

接続モードを初期化する

1　待ち受け画面で［WEB］を押す

2　［9］（インターネット設定）を押す

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で［MENU］［5］［5］［4］または［MAIL］［0］を押して表示することもできます。

3　［5］（接続モード初期化）を押す

4　指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「設定を初期化しますか？」と表示されます。

5　［▲］で「Yes」を選択し、［●］を押す

接続モードの設定がお買い上げ時の状態に戻り、「初期化しました」と表示されます。

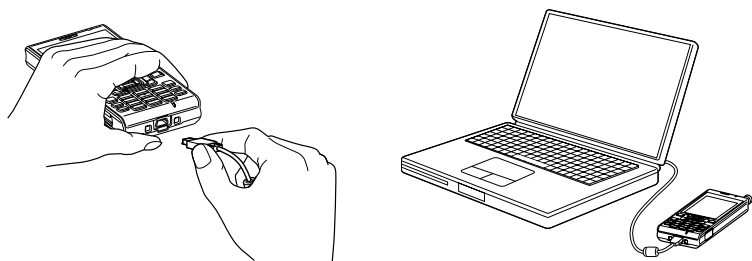
10
パソコンとの連携

パソコンと接続する

パソコンと接続する

USBケーブル（Mini-B対応）で、パソコンと本電話機を接続します。

1 **パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブルのコネクタを接続する**

2 **本電話機の USB 端子のカバーを外し、USB ケーブルのコネクタ（Mini-B）を USB 端子にまっすぐ差し込む**

確認音が鳴り、本電話機の画面に「 」が点灯し、「データ通信ON」と表示されます。

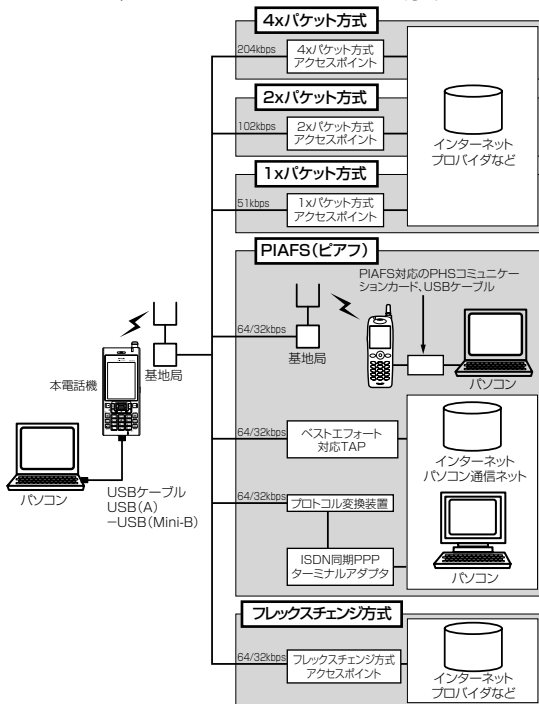
お知らせ

- 電池パックを外した状態で、本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBケーブルを外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- 本電話機からUSBケーブルを抜くときは、差し込むときと同じようにUSB端子のカバーを押さえて、まっすぐに抜いてください。
- 本電話機よりUSBケーブルを外すと、「 」が消灯し、「データ通信OFF」と表示されます。
- USBケーブルでパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。「USBで充電する」（☞13-6ページ）
- USB充電を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費する場合があります。
- ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。

データ通信を行う

データ通信について

利用できる通信方式

本電話機で利用できるデータ通信には、4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、64kPIAFS（ベストエフォート）、32kPIAFS、フレックスチェンジ方式があります。

■4xパケット方式（ヨンエックス）

ウィルコムが提供している最大通信速度204kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

4xパケット方式は、1xパケット通信を４つ束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■2xパケット方式（ニエックス）

ウィルコムが提供している最大通信速度102kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
2xパケット方式は、1xパケット通信を2つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■1xパケット方式（イチエックス）

ウィルコムが提供している最大通信速度51kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■64kPIAFS方式（ベストエフォート）

ウィルコムが採用している最大通信速度64kbpsの通信方式です。
基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度をフレキシブルに選択し、つながりやすく切れにくい通信環境を実現します。

■32kPIAFS方式

PHSの通信標準規格で最大速度32kbpsの通信方式です。
PIAFS対応のターミナルアダプタ（TAP）やPHSを用いたアクセスポイントに接続することにより、32kbpsの高速データ通信が可能です。

■フレックスチェンジ方式

ウィルコムが提供している最大通信速度64kbpsの通信方式です。通信中のデータ量に従い、「1xパケット方式」と「64kPIAFS（ベストエフォート方式）」を、自動的に切り替え、スムーズな通信環境を実現する通信方式です。
回線使用状況などにより64kPIAFS方式での通信を維持できない場合でも、パケット方式で通信を継続するので、再接続する必要はありません。
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

お知らせ

- パケット方式の速度表記は、PHS高度化通信規格（W-OAM）対応時の最大通信速度となります。
- ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ（2007年2月現在）
  本電話機から　局番なしの157　（無料）
  一般電話・公衆電話から　0120-921-157（無料、携帯電話・PHSからもかけられます）
  受付時間（日・祝日も受付）：9:00 ～ 19:00

データ通信用ソフトをインストールする

USBドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、あらかじめ、本電話機をモデムとして動かすためのドライバをパソコンにインストールする必要があります。

■本電話機の対応OSについて

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

▶ Windows

Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows 2000 Professional

▶ Macintosh

Mac OS X v10.1.5 ~ v10.4.1, v10.4.3 ~ v10.4.8
Mac OS 9 v9.2 ~ v9.2.2

ご注意

●以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- 自作したパソコンをご使用の場合
- 対応OSがプレインストールされていないパソコンをご使用の場合
- OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
- パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
- パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
- 増設したUSB端子をお使いの場合
- USBハブなどを経由して接続している場合
- パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合

ドライバのインストール方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。
- ●Windows XPの場合（☞同じページ内です。）
- ●Windows 2000の場合（☞10-7ページ）
- ●Mac OS Xの場合（☞10-9ページ）
- ●Mac OS 9の場合（☞10-10ページ）

WindowsはMicrosoft Corporationの、Macintosh、Mac OSはApple Computer, Inc.の登録商標です。

■Windows XPの場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。

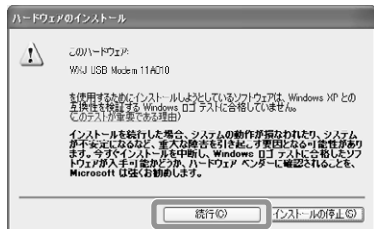
5 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem 11A010」であることを確認し、[完了] をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

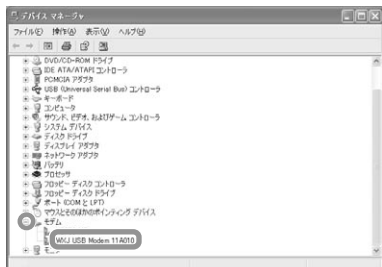
ご注意

● ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

▶ **以下の画面が表示されたとき**

インストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、[続行] をクリックしてインストールを続けてください。

6 [スタート] メニューから、[設定] → [コントロールパネル]を選択し、[システム] をダブルクリックする

7 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] をクリックする

8 「モデム」アイコンの先頭の「+」をクリックし、「WXJ USB Modem 11A010」が表示されていることを確認する

9 「WXJ USB Modem 11A010」を右クリックし、[プロパティ] を選択する

10 [モデム] タブをクリックし、「ポートの最高速度」のプルダウンメニューから最も大きな値を選択し、[OK] をクリックする

以上で設定が完了します。

■Windows 2000の場合

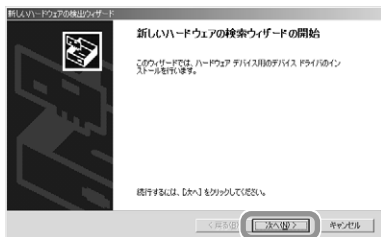
1 パソコンと本電話機の電源を入れる

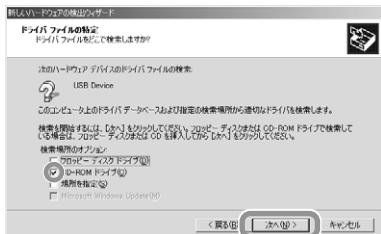
2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(☞10-2ページ)

接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 [次へ] をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] をクリックする

6 「CD-ROMドライブ」を選択し、[次へ] をクリックする

7 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem 11A010」であることを確認し、［完了］をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

ご注意

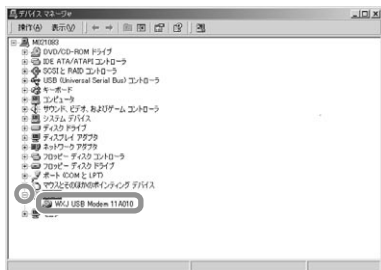
- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

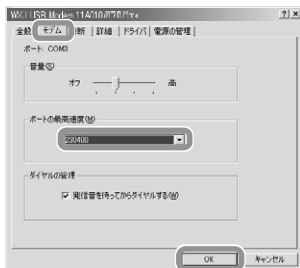
▶ 以下の画面が表示されたとき

インストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、［はい］をクリックしてインストールを続けてください。

8 ［スタート］メニューから、［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］をダブルクリックする

9 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする

10 「モデム」アイコンの先頭の「＋」をクリックし、「WXJ USB Modem 11A010」が表示されていることを確認する

11 「WXJ USB Modem 11A010」を右クリックし、[プロパティ] を選択する

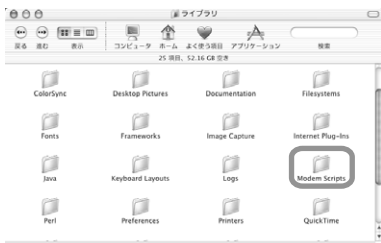
12 [モデム] タブをクリックし、「ポートの最高速度」のプルダウンメニューから最も大きな値を選択し、[OK] をクリックする

以上で設定が完了します。

■Mac OS Xの場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(☞ 10-2ページ)

3 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB Modem 11A010」を、「ライブラリ」の「Modem Scripts」フォルダへコピーする

ご使用のシステムのバージョンによっては、「ライブラリ」は「Library」と表示されています。

4 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する

「表示」プルダウンメニューに「USBモデムX」(Xは任意の数字) と表示されることもあります。

5 ［モデム］タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB Modem 11A010」を選択し、［今すぐ適用］をクリックする

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Mac OS 9の場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）

3 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB Modem 11A010」を、「システムフォルダ」の「機能拡張」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダへコピーする

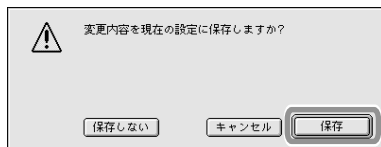
4 「システムフォルダ」内の「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリックする

5 「経由先」のプルダウンメニューから「USB Modem 1」を、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB Modem 11A010」を選択する

「経由先」プルダウンメニューに「USB Modem X」（Xは任意の数字）と表示されることもあります。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

6 「モデム」ウィンドウを閉じ、[保存] をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Windowsでご利用になる場合のご注意

- インストール時に割り当てられるCOMポート番号が、パソコンによっては内蔵モデムや赤外線ポート（IrDA）のCOMポート番号と重なってしまう場合があります。重なった場合、正常に動作しなくなりますので、内蔵ポート、赤外線ポート（IrDA）をデバイスマネージャ上で「使用不可」にするか、モデムポート先を変更してからお使いください。
- WXJ USB Modem 11A010はモデムとしてインストールされますが、すでに複数のモデムがインストール済みのパソコンにインストールした場合、正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、すでにインストール済みの各種モデムを、「モデムのプロパティ」から削除してください。
- Windows XP搭載のパソコンを本電話機と接続するとき、パソコンがモデムとして認識するのにしばらく時間がかかります。そのため、本電話機との接続の直後に通信を開始しようとすると正常に動作しませんのでご注意ください。本電話機と接続後、10秒ほど時間をおいてから使用してください。
- Windows XP、Windows 2000でお使いの場合、ダイヤルアップ接続やターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、パソコンの動作が不安定になることがあります。USBケーブルを抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブルを差し込むようにしてください。

■Macintoshでご利用になる場合のご注意

- Mac OSでお使いの場合、リモートアクセスやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、システムの状態が不安定になります。USBケーブルは、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ（接続断）したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

■サポートWebサイトのお知らせ

- インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトのQ&Aもご覧ください。サポートWebサイト　http://www.jrcphs.jp/
このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

■USBドライバが誤認識された場合の対処法（Windows XPおよびWindows 2000）

● インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「USB Device」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。（下記の画面はWindows XPの場合の例ですが、操作はWindows 2000の場合も同様です。）

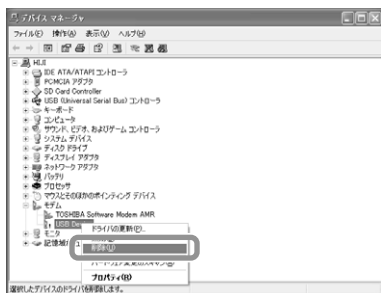
1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

2 デバイスマネージャを表示させる

（Windows XPの場合：☞10-6ページの手順6～7、Windows 2000の場合：☞10-8ページの手順8～9）

3 「モデム」アイコンの先頭の「＋」をクリックする

先頭に「！」の付いた「USB Device」が表示されています。

4 「USB Device」を右クリックし、[削除]を選択する

5 [OK] をクリックする

6 「USB Device」が消えていることを確認する

以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

パソコンとの連携　データ通信を行う

通信方式を設定する

64kPIAFSの選択

64kPIAFS通信の方式を、ベストエフォート型とギャランティー型から選択します。

1 待ち受け画面で［MENU］［5］［5］を押す

2 ［6］（データ通信方式）を押す

3 ［1］（ベストエフォート型）または［2］（ギャランティー型）を押す

▶ ［1］（ベストエフォート型）を押すと

基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度がフレキシブルに選択されます。ウィルコムと公衆サービスの契約をされている場合は、「ベストエフォート型」を選択してください。

▶ ［2］（ギャランティー型）を押すと

通信速度を64kbps固定とします。64kbpsの通信速度が確保できないときには通信を切断します。

お知らせ

- お買い上げ時には、データ通信方式は「ベストエフォート型」に設定されています。他の事業者と公衆サービスの契約をされている場合は、各事業者にご確認のうえ、必要に応じて「ギャランティー型」に設定してください。ウィルコムと契約されている場合は「ギャランティー型」はご利用になれません。
- オフィスモードで使用する場合は、オフィスシステム（PBX）が対応している方式を設定してください。「オフィスモードで使う」（☞14-4ページ）
- 本機能を「ベストエフォート型」に設定している場合でも、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##41」が入力されているときは、ギャランティー型で発信します。また「ギャランティー型」に設定している場合、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##4」が入力されているときは発信できません。「通信方式の設定」（☞10-14ページ）
- 64kギャランティー型での発信の際、フォールバック機能（64kbpsで通信ができない場合に自動的に32kbpsに通信速度を落としてリダイヤルする機能）には対応していません。

通信方式の設定

本電話機での通信方式の設定とは別にパソコン側で、どのアクセスポイントに接続するかによって、通信ソフトの設定を変える必要があります。

▶ パソコンの通信ソフトの設定を変えるには

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を入力するとき、続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4x パケット方式※、2x パケット方式※	##64
1x パケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティー）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式※	##7

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞ 11-2 ページ）

※ 4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFS で通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ

- データ通信を行うための詳しい設定や操作は、お買い求めのパソコン、PDA、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 64kPIAFS 方式をご利用になる場合は、「64kPIAFS の選択」（☞ 10-13 ページ）もご覧ください。

データ通信で発信する

1 USBケーブルで接続したパソコンでデータ通信の発信操作をする

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信先の電話番号が点滅します。

●画面に表示される文字とアイコン

通信方式	表示文字	アイコン
4x パケット方式、2x パケット方式	データ通信 パケット	Pt
1x パケット方式	データ通信 パケット	Pt
64kPIAFS（ベストエフォート）	データ通信 64kPIAFS BE	64k BE
64kPIAFS（ギャランティー）	データ通信 64kPIAFS GR	64k GR
32kPIAFS	データ通信 32kPIAFS	32k PIAFS
フレックスチェンジ方式	データ通信 フレックスチェンジ	64k FC

アクセスポイントに接続すると、画面に通信時間が表示されます。

2 パソコンから切断操作をする

ご注意

- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っているときに、電話機単体でのインターネット接続はできません。
- 電話機単体でインターネット接続やEメールの送受信を行っているときは、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。
- データ通信で発信するときに、料金分計サービスを利用することもできます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）

「エラー 692:」が表示される場合（Windows XP）

ダイヤルアップ接続時に「エラー 692:」のメッセージが表示され、接続できない場合は、インストールされたUSB ドライバの、モデムに対するハードウェア設定を変更します。

1 **パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する**

2 **［スタート］メニューから［接続］→［すべての接続の表示］を選択し、利用するダイヤルアップ接続のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する**

3 **［構成］をクリックする**

4 **「ハードウェアの機能」の項目にチェックが入っているかどうかを確認し、［OK］をクリックする**

チェックが入っていない場合は、以下の画面のようにすべてにチェックを入れてください。

5 **［OK］をクリックする**

ATコマンドで音声発信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、パソコン側の通信ソフトでATコマンドを使用して音声発信を行うことができます。

1 待ち受け画面で、パソコン側の通信ソフトから「ATD○○○○○○○○##0」と入力する

例えば03-1234-5678に発信する場合は「ATD0312345678##0」と入力します。
本電話機に「発信中」と表示され、電話がかかります。

2 通話する

相手が電話に出ると、通信ソフトには「CONNECT」と表示されます。USBケーブルを接続したままでもUSBケーブルを抜いても、通話することができます。

3 通話を終了するときは [電話] を押す

通話が終了し、「通話終了」と表示されます。

お知らせ

- パソコンと接続しているときに音声着信があっても、ATAコマンドで応答することはできません。電話を受けるには [電話] を押してください。

パソコン接続中に着信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、データ着信があった場合、着信操作はパソコン側で行います。

1 着信音が鳴る

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信元の電話番号が点滅します。「データ通信で発信する」(☞10-15ページ)
公衆モードで設定した着信音が鳴ります。「着信音を設定する」(☞7-62ページ)
着信ランプが点滅します。

2 パソコン側でデータ着信の操作を行う

通信が開始されると、画面に通信時間が表示されます。

お知らせ

- 本電話機が「ダイヤルロック」・「リモートロック」されているとき、パソコン側からの発信および通信モードの切り替えはできません。ただし、「ダイヤルロック」されているときは、データ着信は受けられます。「ダイヤルをロックする(Sダイヤルロック)」(☞11-14ページ)
- USBケーブル未接続のときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に [DATA] が表示され、リマインダーが点灯します。
- 「安全運転モード」が設定されているときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に [DATA] が表示され、リマインダーが点灯します。

データ通信中の着信を設定する

データ通信時に、電話がかかってきたときに、それを受けるかどうかを設定します。PIAFS通信（音声通話も含む）とパケット通信のそれぞれについて設定することができます。

PIAFS通信中の着信を設定する（音声、PIAFS通信中着信）

PIAFS方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。設定方法は、「通話中の着信を設定する」（☞7-10ページ）と同じです。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています（通信中の着信を受ける）。
- 「音声，PIAFS通信中着信」が「ON」の場合、音声着信、ライトメール受信、Eメールのバックグラウンド受信、データ通信着信が可能です。ただし、通信のタイミングによっては着信できない場合もあります。

パケット通信中の着信を設定する（パケット通信中着信）

パケット方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 5（通信中着信）を押す

3 2（パケット通信中着信）を押す

4 1（ON）または 2（OFF）を押す

パケット通信中の着信が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 1（ON）を押すと

パケット通信時の着信を受け付けます。

▶ 2（OFF）を押すと

パケット通信時の着信を受け付けません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 「パケット通信中着信」が「ON」の場合、音声着信、ライトメール受信、E メールのバックグラウンド受信、データ通信着信が可能です。ただし、通信のタイミングによっては着信できない場合もあります。

データ通信時に着信があった場合の動作

「音声，PIAFS通信中着信」や「パケット通信中着信」を「ON」に設定している場合、本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っているときに着信があると、画面に着信画像が表示されます。

お知らせ

- データ通信の種類や状態によって着信できないことがあります。

Outlookと同期する（Intellisync）

パソコン上で動作するMicrosoft Outlook（以下､「Outlook」）の「予定表」および「連絡先」のデータと、本電話機の「スケジュール」および「電話帳」のデータを、相互に同期させることができます。パソコンまたは本電話機のどちらかでデータの追加･変更･削除を行っても、同期を行えば、もう一方のデータも同様に更新されます。この同期の処理を「シンク」と呼びます。
この機能を使用するには、付属のCD-ROMからIntellisync for JRC（以下、「Intellisync」）をパソコンにインストールする必要があります。

お客様へのお知らせ、および使用許諾契約

■お客様へのお知らせ

以下の契約内容（以下、「本使用許諾契約」といいます）を注意深くお読みください。同梱されているIntellisync Corporationのソフトウェアプログラム（以下、「本ソフトウェア」といいます。）をお客様のコンピュータシステムにインストールまたは使用することにより、お客様は自動的に本使用許諾契約に同意したものとします。本使用許諾契約を注意して読んだ後、お客様が、使用許諾契約の条項に同意されない場合は、速やかに本ソフトウェアをお客様のコンピュータシステムから削除してください。

■使用許諾

Intellisync Corporationは、お客様に対して、一時に1台のコンピュータシステムに対して、本ソフトウェアをインストールして使用することができる、非独占的権利を与えます。Intellisync Corporationは、本ソフトウェアの使用許諾は、お客様が本契約の条項を遵守されることを条件とします。

■著作権

本ソフトウェアは、合衆国著作権法、日本国著作権法、および国際条約規定により保護されています。本ソフトウェアについての知的財産権に対するいかなる権限もお客様に移転されるものではないことをご了解ください。さらに、本ソフトウェアについての権限および完全なる所有権は、Intellisync Corporationの独占的財産権として存続すること、および、本使用許諾契約に明示的に定められる場合を除き､お客様は本ソフトウェアについて､いかなる権利も取得するものではないことをご了解ください。本ソフトウェアのすべてのコピーは、本ソフトウェアの上部および内部に表示されるのと同一の所有権表示を含むことをご承諾ください。お客様は、本使用許諾契約に基づきお客様によって作成された本ソフトウェアのすべてのコピーについての正確な記録を保管しなければならないことに同意したものとみなします。

■使用上の禁止事項

事前にIntellisync Corporationの書面による許可を入手することなく、以下の行為を行うことはできません。(a) 本使用許諾契約に明示的に定められる場合を除き、本ソフトウェアもしくはこれに関する書面を使用、複製、修正、変更または譲渡すること、(b) 本ソフトウェアを翻案、逆アセンブル、逆コンパイル、プログラムの置き換えもしくはその他の方法により、リバースエンジニアリングすること、(c) 本ソフトウェアもしくはその書面をサブライセンスまたはリースすること、(d) 本ソフトウェアをレンタル、タイムシェアリングもしくはコンピュータサービス業務において使用すること。お客様が本使用許諾契約の条項に違反した場合は、Intellisync Corporationは、他のすべての権利を損なうことなく、本使用許諾契約を解除することができます。このような場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを破棄してください。

■限定保証

Intellisync Corporationは、本ソフトウェアが購入された日から 30 日の期間内において、本書（Intellisyncの使いかた）の記述に従って実質的に機能することを保証するものとします。ソフトウェアに関する黙示保証はこの 30 日間に限定されます。

■エンドユーザへの補償

本ソフトウェアが上記の「限定保証」条項に適合しなかった場合の Intellisync Corporationの全責任とこれに対する唯一の救済は、Intellisync Corporationの裁量により、(a.) エラーを修正する、または (b.) エラーの解決法を見つける、のいずれかに限られます。ソフトウェアの欠陥が、事故、悪用、または誤用によるものである場合は、限定保証は無効となります。交換されたソフトウェアはご購入当初の限定保証期間中保証されます。

■免責条項

Intellisync Corporation は、「限定保証」条項で明記した保証以外には、本ソフトウェアに対するいかなる保証も致しません。Intellisync Corporationは、ソフトウェアに対し明示、黙示を問わず、商品適性、特定用途に対する適合性、および第三者による著作権などの権利の非侵害に関していかなる保証も行いません。管轄区域によっては、黙示保証や黙示保証の保証期間の除外、または偶発的損害の制限の除外を認めていないため、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合もあります。この保証は、お客様に対して特定の法律上の権利を与えるものです。また、管轄区域によっては、その他の権利が適用されることもあります。

■結果的損害に対する責任の排除

いかなる場合においても、Intellisync Corporationは、たとえIntellisync Corporationがそのような損害の発生の可能性について知っていた場合においても、本ソフトウェアの実行または使用から生じる結果的損害、特別損害、付随的損害またはその他のあらゆる種類の間接損害についての責任を負いません。

Intellisync、Intellisyncのロゴは、米国Intellisync Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
その他記載されている社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

このソフトウェアは、アメリカ合衆国特許 5,392,390, 5,666,553, 5,684,990, 5,701,423, 5,943,676, 6,044,381, 6,141,664, 6,212,529, 6,330,568 および 6,405,218で保護されています。その他の特許は申請中です。

Intellisyncでシンクできるデータについて

Intellisyncは、本電話機とパソコンにインストールされているOutlookを連携させるためのソフトウェアです。
Intellisyncを使うと、Outlookで管理している「予定表」および「連絡先」のデータと、本電話機の「スケジュール」および「電話帳」のデータを、相互にシンクさせることができます。
パソコンまたは本電話機のどちらかでデータの追加･変更･削除を行っても、シンクを行えば、もう一方のデータも同様に更新されます。

電話帳データの対応

本電話機の「電話帳」データと、Outlookの「連絡先」データは、1000件までシンクできます。
シンクできる項目と内容は、次のとおりです。

本電話機での項目名	Outlookとのシンク	シンクできる内容
名前	○	全角16文字（半角32文字）まで
フリガナ	○	半角32文字まで
グループ（10種）	×	
電話番号1～3	○	それぞれ32桁まで
電話番号種別アイコン	×	
メールアドレス1～3	○	それぞれ半角64文字まで
アドレス種別アイコン	×	
メモ	○	全角50文字（半角100文字）まで
画像	×	
短縮設定	×	
シークレット設定	○	
指定着信音 （電話・Eメール・ライトメール）	×	
指定着信イルミネーション （電話・Eメール・ライトメール）	×	

お知らせ

- Outlookの「連絡先」データで、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスがない「連絡先」データは、本電話機の「電話帳」データには登録されません。

■「名前」「フリガナ」の処理

本電話機の電話帳の「名前」は、Outlookの連絡先の「姓」と「名」にシンクしています。Outlookの「姓」と「名」が本電話機に転送された場合は、姓と名を「/」（半角）で区切った文字列が、本電話機の電話帳の「名前」に登録されます。
本電話機の「名前」がOutlookに転送された場合、姓と名が「/」で区切られていなければ、Outlookの「姓」として登録されます。姓と名が「/」で区切られていれば、それぞれOutlookの「姓」と「名」に登録されます。

例1： Outlookでの連絡先 → 本電話機の電話帳

姓：山田
名：太郎

シンク

名前：山田/太郎

例2： 本電話機の電話帳 → Outlookでの連絡先

名前：山田太郎

シンク

姓：山田太郎
名：（空白）

「フリガナ」も、「名前」と同様に「/」を区切りとして登録されます。

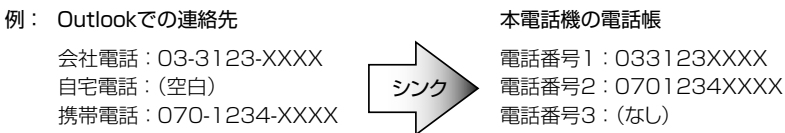
■「電話番号」「メールアドレス」の処理

Outlookの連絡先では、「電話番号」の登録欄が複数あり、一部の欄を未入力（空白）のままにしておくこともできます。しかし本電話機の電話帳では、「電話番号」は常に1から順に登録されます。そのため、シンクを繰り返すと登録欄がずれてしまい、次回シンク時にデータが変更されたと通知され、データを更新してしまう場合があります。
Outlook側での電話番号入力時には、会社電話、自宅電話、携帯電話の順で電話番号を入力していただくことをお勧めいたします。
また、メールアドレスも電話番号と同様に、電子メール、電子メール2、電子メール3の順でメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。

例： Outlookでの連絡先 → 本電話機の電話帳

会社電話：03-3123-XXXX
自宅電話：（空白）
携帯電話：070-1234-XXXX

シンク

電話番号1：033123XXXX
電話番号2：0701234XXXX
電話番号3：（なし）

スケジュールデータの対応

本電話機の「スケジュール」データと、Outlookの「予定表」データは、1000件までシンクできます。シンクできる項目と内容は、次のとおりです。

本電話機での項目名	Outlookとのシンク	シンクできる内容
年月日	○	2000年1月1日～2037年12月31日
開始時刻	○	00:00～23:59
終了時刻	○	00:00～23:59
終日	○	

本電話機での項目名	Outlookとのシンク	シンクできる内容
場所	○	全角 27 文字（半角 54 文字）まで
内容	○	全角 45 文字（半角 90 文字）まで
休日設定	×	
通知設定	○	・通知する ・事前通知する：5-99 分 ・通知しない
音設定	×	

■繰り返しデータの処理

Outlookで定期的な予定として登録されているデータは、本電話機ではそれぞれ1件ずつのスケジュールとして登録されます。

■日をまたぐ終日データの処理

Outlookで2日以上にまたがる終日のイベントとして登録されているデータは、本電話機では1日ずつの終日スケジュールに分割して登録されます。

■開始時刻と終了時刻が日付をまたぐデータの処理

Outlookで日付をまたぐ予定として登録されているデータは、本電話機では開始日の23:59までのスケジュールとして登録されます。

例： Outlookでの予定

開始時刻:2007/2/12　20:00
終了時刻:2007/2/13　2:00

本電話機でのスケジュール

開始時刻:2007/2/12　20:00
終了時刻:2007/2/12　23:59

■「内容」の処理

本電話機のスケジュールの「内容」は、Outlookの予定表の「件名」と「内容」にシンクしています。
本電話機の「内容」がOutlookに転送された場合は、最初の改行までの文字列がOutlookの「件名」に、それ以降の文字列が「内容」として登録されます。
Outlookの「件名」と「内容」が本電話機に転送された場合は、「件名＋（改行）＋内容」の文字列が、本電話機のスケジュールの「内容」に登録されます。

お知らせ

- パソコン側の連絡先データや予定表データが1000件を超える場合、全件を本電話機に登録することはできません。電話帳のフィルタ設定やスケジュールの日付範囲設定を行って、シンク対象を1000件以内に絞り込む必要があります。
- パソコン側の連絡先や予定表のデータが、シンクできる範囲や文字数を超える場合、超えた部分のデータは本電話機に転送されません。

Intellisyncをインストールする

インストール前の確認について

■必要なシステム環境

Intellisyncをインストールしてご利用いただくには、次のシステム環境が必要です。

- OS：日本語版Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、Windows 2000 Professionalのいずれか
- CPU：Pentium以降
- ハードディスク：60MB以上の空き容量
- メモリ：256MB以上
- ディスプレイ：VGA（640×480dot）表示が可能なもの
- CD-ROM ドライブ
- USBポート
- すでにインストールされて設定されている日本語版Microsoft Outlook 2000、2002、2003のいずれか

■USBドライバのインストール

Intellisyncでは、本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータを転送します。USBケーブルで接続された本電話機を転送先として認識するためには、パソコンに必要なドライバがインストールされている必要があります。「USBドライバのインストール」（☞10-4ページ）
Intellisyncのインストール手順に進む前に、本電話機がパソコンに接続されてWindowsに認識されていることを確認しておきます。

■他のIntellisyncソフトウェアがすでにインストールされている場合

Intellisync for JRCと、電話機やPDAとのシンクを行う他のIntellisyncソフトウェアは、1台のパソコン上で共存させることはできません。他のIntellisyncソフトウェアがすでにパソコンにインストールされている場合は、Intellisync for JRCをインストールする前に、アンインストールを行ってください。

Intellisyncをインストールする

■インストールの準備

1 パソコンと本電話機をUSBケーブルで接続する

インストール操作の最後で本電話機との接続を設定するため、本電話機の電源を入れた状態で、付属のUSBケーブルを使ってあらかじめパソコンに接続しておきます。

2 Intellisyncが入っているディスクをCD-ROMドライブに挿入し、Intellisync for JRCのインストーラを起動する

Intellisyncのインストール画面が表示されます。

お知らせ

- インストーラの起動方法については、Easy Setup Tool（CD-ROM）のマニュアルを参照してください。

■Intellisyncのインストール

Intellisyncのインストールは、画面の指示に従って行います。

1 インストール画面で、[次へ]をクリックする

2 ライセンス契約の内容を確認し、契約に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して、[次へ]をクリックする

3 「ユーザ名」と「所属」を入力し、[次へ]をクリックする

4 インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする

インストール先のフォルダは、あらかじめC:¥Program Files ¥Intellisync Corporation ¥Intellisync for JRCに設定されています。通常は特に変更する必要はないので、そのまま[次へ]をクリックします。
インストール先のフォルダを変更するときは、[変更]をクリックして、インストール先を指定します。

5 [インストール]をクリックする

6 本電話機の電源が入っており、USBケーブルでパソコンに接続されていることを確認して、[完了]をクリックする

■接続条件の設定

インストールが完了すると、Intellisyncが起動し、「Intellisync for JRC - 設定」画面が表示されます。（この画面の上に「ユーザー プロファイルの選択」画面が表示された場合は、このあとの「プロファイルの選択」（☞10-28ページ）をご覧ください。）

1 **「ポート」のプルダウンメニューから、本電話機の接続に使用しているポートを選択する**

「ポート」のプルダウンメニューには、有効になっているCOMポートがすべて表示されます。本電話機の接続に使用しているポートが不明な場合は、このあとの「COMポートの確認方法」（☞同じページ内です。）をご覧ください。

2 **「ユーザ名」と「パスワード」を入力する**

初期値では、「ユーザ名」として「default」、「パスワード」として「0000」が自動的に設定されています。この初期値を変更する場合は、半角英数字16文字以内で入力してください。
本電話機の「接続設定」でも、ここで入力した「ユーザ名」と「パスワード」と同じものを設定する必要があります。

3 **［OK］をクリックする**

設定が完了すると「Intellisync for JRC - 設定」画面が閉じ、パソコン画面右下のシステムトレイにIntellisyncのインジケータが表示されます。

● COMポートの確認方法

本電話機との接続に使用されているCOMポートは、次の手順で確認できます。

1 **［スタート］メニューから、［コントロールパネル］→［プリンターとその他のハードウェア］→［電話とモデムのオプション］を選択する**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

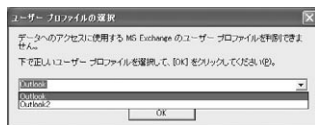
2 **［モデム］タブをクリックする**

本電話機との接続に割り当てられたCOMポートの番号が表示されます。

■プロファイルの選択

Outlookに対して複数のプロファイルを設定している場合は、Intellisyncのインストールが完了すると、「ユーザー プロファイルの選択」画面が表示されます。シンクの対象とするデータにアクセスするためのプロファイルを選択してください。

Outlookに対して複数のプロファイルを設定していない場合、この画面は表示されません。

1 **プロファイルを選択し、[OK] をクリックする**

Intellisyncの状態を管理する

Intellisyncインジケータの表示

Intellisyncのインストールおよび設定を行うと、Intellisyncはパソコンに常駐します。パソコン画面右下のシステムトレイには、Intellisyncの状態に応じたインジケータが表示されます。

・ アクティブ：Intellisyncがパソコンに常駐していて、本電話機とのシンクに対応できる状態

・ 非アクティブ：Intellisyncはパソコンに常駐しているが、本電話機とのシンクには対応できない状態

お知らせ

● アクティブ状態のまま、本電話機をパソコンに接続し、放置しておくとわずかに本電話機の画面が点滅します。これは正常動作で故障ではありません。

■インジケータによるメニューの選択

Intellisyncのインジケータをクリックすると、次の３つのメニューを選択できます。

・ アクティブ：Intellisyncを本電話機とのシンクに対応できる状態にします。
・ 設定：Intellisyncの設定画面を表示します。
・ 終了：Intellisyncを終了し、パソコンに常駐しない状態にします。終了すると、インジケータの表示が消えます。

Intellisyncインジケータが非アクティブの場合

Intellisyncのインジケータが非アクティブ表示の場合は、Intellisyncの設定または本電話機との接続に問題があります。次の点を確認してください。

- インジケータをクリックして、「アクティブ」がチェックされているかどうかを確認します。チェックされていない場合は、「アクティブ」を選択してください。
- インジケータをクリックして「設定」を選択し、表示される画面で、Intellisyncが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 本電話機が正しく接続されているかどうかを確認します。

Intellisyncの再起動

Intellisyncを終了した後、改めて起動してパソコンに常駐させるには、次の2つの方法があります。

- Intellisyncのインストール後にデスクトップに表示された、「Intellisync for JRC」アイコンをダブルクリックする

- [スタート]メニューから、[プログラム]→[Intellisync Corporation]→[Intellisync for JRC]→[設定]を選択する

Intellisyncが起動すると、まず接続の設定画面が表示されます。[OK]をクリックすると設定画面は閉じますが、Intellisyncはパソコンに常駐します。

Outlookとのシンクを実行する

ここでは、Outlookと本電話機のデータをシンクするための基本的な操作について説明しています。詳細な説明については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。

本電話機の接続設定を行う

1 待ち受け画面で MENU 5 7 を押す

2 2（接続設定）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、接続設定画面が表示されます。

4 2（ユーザID）を押す

5 ユーザIDを入力する

パソコンでIntellisyncの設定時に入力した「ユーザ名」と同じものを、半角英数字16文字以内で入力します。

6 [•]を押す

ユーザIDが設定され、接続設定画面に戻ります。

7 3（パスワード）を押す

8 パスワードを入力する

パソコンでIntellisyncの設定時に入力した「パスワード」と同じものを、半角英数字16文字以内で入力します。

9 [•]を押す

パスワードが設定され、接続設定画面に戻ります。設定したパスワードは、文字数に関わらず「＊＊＊＊＊＊＊＊」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ユーザID」として「default」、「パスワード」として「0000」が設定されています。「ユーザID」と「パスワード」が未入力の状態で [•] を押すと、お買い上げ時の設定がそのまま使用されます。

シンクを実行する

1 パソコンと本電話機を、USBケーブルで接続する

本電話機に付属のUSBケーブルを使って、電源の入った本電話機とパソコンを接続します。

2 待ち受け画面で [MENU] [5] [7] を押す

3 [1]（SYNC接続）を押す

4 シンクを行うデータを確認し、[WEB]（SYNC）を押す

「 」が表示されているのが、シンクが行われるデータです。
データのシンクが開始すると「通信中」→「保存中」の順にメッセージが表示され、シンクが終了すると「SYNCに成功しました」と表示されます。

▶ **シンクを解除するには**

[▲▼] で「 」が表示されているデータを選択して、[•]（解除）を押します。
「 」が消え、そのデータのシンクは行われません。

5 パソコンと本電話機から、USBケーブルを抜く

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳データ、スケジュールデータ両方のシンクを行うよう設定されています。
- 待ち受け画面で [文字] を約1秒以上押しても、データのシンクが開始できます。
- 本電話機側で電話帳ロックが設定されているときは、シンクを行うことができません。電話帳ロックを解除してから行ってください。
- シンクするデータ内に認識できない文字が含まれていた場合は、表示可能な文字に置き換えられます。
- シンクを実行した場合、「ユーザID」「パスワード」が、パソコン側でIntellisyncの設定時に入力した「ユーザ名」「パスワード」と一致しないときは、「設定を確認してください」とメッセージが表示されます。
- Outlookの「連絡先」データで、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスがない「連絡先」データを作成し、シンクを実行すると、追加などのダイヤログを表示しますが、本電話機の「電話帳」データには登録されません。
「連絡先」データの作成には、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。
- Outlook側での電話番号を入力するときには、会社電話、自宅電話、携帯電話の順で電話番号を入力していただくことをお勧めいたします。
- Outlook側でのメールアドレスを入力するときには、電子メール、電子メール2、電子メール3の順でメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。
- シンク中は、[☎] を押さないでください。
- シンク中は、パソコンと本電話機から、USBケーブルを抜かないでください。

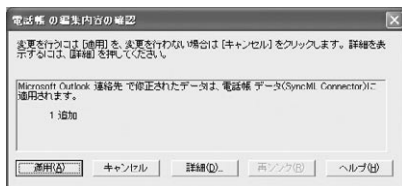
■シンク中のパソコン画面の表示

パソコンの画面では、シンク中に「シンク中」のメッセージが表示されます。終了するまでお待ちください。

▶ Outlook 側のデータ件数が 1000 件を超えている場合

本電話機に登録できる電話帳やスケジュールは、それぞれ 1000 件までです。Intellisync はデータをシンクする際に、シンク後に本電話機に登録されることになるデータ件数をあらかじめ計算し、その件数が1000件を超えることが発見されると警告メッセージを表示します。この場合はシンクをいったんキャンセルし、電話帳のフィルタ設定やスケジュールの日付範囲設定を行ってシンク対象を 1000 件以内に絞り込んでから、再度シンクを行ってください。

▶ 変更データの確認

シンク中に、前回のシンク以降に追加･変更･削除されたデータを認識すると、確認画面が表示されます。

1 変更を実行する場合は、[適用］をクリックする

データの追加・変更・削除などが、シンクの相手側に適用されて、シンクが完了します。

▶ **変更を適用するデータを確認するには**

［詳細］をクリックすると、シンクされるデータの詳細な内容を確認できます。
また、［再シンク］をクリックすると、シンクをもう一度やり直します。

お知らせ

- シンクするデータの範囲を細かく指定することもできます。詳細な説明については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。
- 同一データをシンクさせた場合、確認画面が表示されない場合があります。

■前回のシンク日の確認

前回、Intellisync によるシンクを行った日を確認することができます。

1 待ち受け画面で MENU 5 7 を押す

2 3（前回SYNC 日時）を押す

電話帳およびスケジュールについて、前回シンクを行った日とその結果が表示されます。

Intellisyncを再設定する

Intellisyncのインストールを行うと、通常は、シンクのための基本的な設定も完了します。ここでは、インストール後にIntellisyncを再設定する方法について説明しています。必要に応じて参照してください。詳細な説明については、Intellisync のヘルプをご覧ください。

再設定を行うための準備

■パソコンと本電話機の接続

再設定の前に、パソコンと本電話機をUSBケーブルで接続してください。接続していないとポートを指定できません。また、あらかじめUSBケーブルのドライバをパソコンにインストールしておく必要があります。「USB ドライバのインストール」（☞ 10-4ページ）

■設定画面の表示

Intellisyncの設定画面を表示するには、パソコン画面右下のIntellisyncのインジケータをクリックして、「設定」をクリックします。

［接続］タブでの設定

本電話機との接続に関する設定を行います。

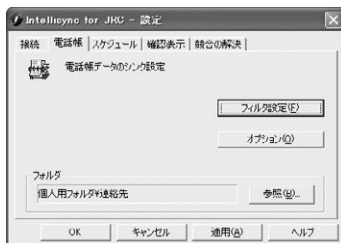
▶ **ポート**

パソコン上で有効となっているCOMポートがリスト表示されるので、その中から本電話機の接続に使用するCOMポートを選択します。本電話機の接続に使用されるCOMポートの番号は、パソコンと本電話機を初めてUSBケーブルで接続した際にインストールされたUSB ドライバにより決定されます。

▶ **ユーザ名、パスワード**

本電話機の「接続設定」で設定した「ユーザID」と「パスワード」を入力します。Intellisyncは、ここで設定されたユーザ名とパスワードの組み合わせを持つ電話機とのみシンクを行います。

[電話帳]タブでの設定

電話帳データのシンクに関する設定を行います。

▶ **フィルタ設定**

Outlook上の連絡先データのうち、ある条件に一致したデータだけをシンク対象とする場合に使用します。本電話機は電話帳データを1000件までしか登録できないため、Outlook上の連絡先データが1000件を超えている場合は、フィルタ設定を行ってシンク対象の件数を絞り込む必要があります。詳細な説明については、このあとの「フィルタの作成」をご覧ください。

▶ **オプション**

Outlookに複数のプロファイルが設定されている場合は、このボタンをクリックして、シンク対象とするプロファイルを選択します。インストールの際や、[スケジュール]タブの画面でプロファイルを選択している場合は、ここで再度選択する必要はありません。

▶ **参照**

Intellisyncは、Outlook上の「連絡先」フォルダを自動的に探し出してシンク対象とします。シンク対象とするフォルダが別の場所にある場合は、このボタンをクリックしてフォルダを選択します。

■フィルタの作成

[電話帳]タブの画面で[フィルタ設定]をクリックすると、「電話帳の詳細設定」画面が表示されます。ここでは、新しいフィルタを作成し、それを適用する方法について説明します。

1 ［新規作成］をクリックする

2 フィルタ名を入力し、[OK] をクリックする

フィルタの条件を設定する画面が表示されます。

3 条件を設定するOutlookの連絡先のフィールドを選択し、演算子を選択して、値を入力する

4 [リストに追加] をクリックする

フィルタの条件が登録されます。

5 複数の条件を設定した場合は、[規則] タブをクリックして、規則を選択する

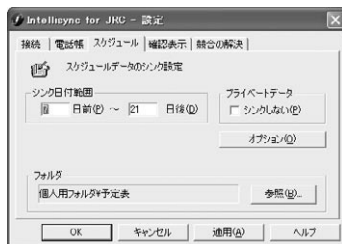
［最低一つの条件を満たす必要がある］を選択すると、複数の条件のいずれかを満たす連絡先がシンク対象となります。

6 [OK] をクリックする

7 「電話帳の詳細設定」画面で、新しく作成したフィルタをオンにして [OK] をクリックする

新しいフィルタが適用されます。

[スケジュール] タブでの設定

スケジュールデータのシンクに関する設定を行います。

▶ **シンク日付範囲**

シンク対象となる日付の範囲を指定します。標準では「7日前」から「21日後」までがシンク対象となり、この範囲以外のスケジュールデータはシンクされません。
本電話機はスケジュールデータを1000件までしか登録できないため、Outlook上のスケジュールデータが1000件を超えている場合は、この日付範囲を設定してシンク対象の件数を絞り込む必要があります。

▶ **プライベートデータ**

Outlookで「プライベート」が設定されている予定をシンク対象から外す場合は、ここをオンにします。

▶ **オプション**

Outlookに複数のプロファイルが設定されている場合は、このボタンをクリックして、シンク対象とするプロファイルを選択します。インストールの際や、[電話帳]タブの画面でプロファイルを選択している場合は、ここで再度選択する必要はありません。

▶ **参照**

Intellisyncは、Outlook上の「予定表」フォルダを自動的に探し出してシンク対象とします。シンク対象とするフォルダが別の場所にある場合は、このボタンをクリックしてフォルダを選択します。

[確認表示]タブでの設定

Intellisyncでは通常、シンクの際に追加･変更･削除する電話帳やスケジュールのレコードデータがあった場合、確認画面を表示します。
[確認表示]タブのオプションのチェックを外すと、確認画面が表示されなくなります。チェックを外さず、確認画面を表示させることをお勧めします。

[競合の解決]タブでの設定

シンクの際に、競合（本電話機とOutlookの双方で同じデータを修正したこと）が発見された場合の動作を設定します。

標準では「競合の発生を通知する」が選択されています。この場合、競合が発生するとメッセージが表示されるので、どのようにシンクするかを選択することができます。この標準設定を変更せず、そのままご使用されることをお勧めします。

パソコンからmicroSDカード内のデータを管理する（USBデータストレージ）

パソコンと本電話機をUSBケーブルで接続して、本電話機のmicroSDカードを、パソコンのドライブの1つ（USBデータストレージ）として認識させることができます。
この機能を使うと､パソコンに保存されている画像データや音声データをmicroSDカードにコピーする､microSDカード内のフォルダやデータを整理する、といった操作をパソコンから行うことができます。

USBデータストレージとして設定する

本電話機がUSBデータストレージとして設定されている間は、電話機としての機能は使用できません。また、圏外状態となるため電話の着信やメールの受信もできません。

1 待ち受け画面で [MENU] [8] [8] を押す

「パソコン等と接続中は圏外状態となります　開始しますか？」と表示されます。

2 [↓] で「Yes」を選択し、[●] を押す

3 パソコンと本電話機を、USBケーブルで接続する

microSDカードがパソコンのUSBデータストレージとして設定され、「USBデータストレージ　ON」と表示されます。
USBデータストレージとして設定されている間、画面には「通信中」と表示され、USB接続中を示す「[USB]」が表示されます。

お知らせ

● microSDカードデータ内の物理フォルダ名と、本電話機で利用する名称との関連は次のとおりです。「データフォルダについて」（☞13-53ページ）

フォルダ名	本電話機での名称
DCIM	デジカメデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$CAMERA	カメラデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$PICTURE	画像データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$SOUND	サウンドデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$RECORD/$IC	ICレコーダ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$RECORD/$MESSAGE	留守録音
PRIVATE/DATA_FOLDER/$RECORD/$PHONE	通話録音
PRIVATE/DATA_FOLDER/$OTHER	その他データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$CODELOG	2次元コードログ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$BACK_UP/$MAIL_BOX	メールBOXバックアップ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$BACK_UP/$PHONE_BOOK	電話帳バックアップ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$BACK_UP/$SCHEDULE	スケジュールバックアップ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$BACK_UP/$BOOKMARK	ブックマークバックアップ
PRIVATE/DATA_FOLDER/PC_INOUT	PCデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$USER_DATA	ユーザデータ
SD_BIND/SVC00001/$SECR	シークレットデータ
SD_BIND/SVC00001/$CONT	著作権ありデータ

USBデータストレージの設定を解除する

1 パソコン側からハードウェアの取り外しを行う

各OSによって異なります。

▶ Windows XPの場合

パソコン画面右下に表示される「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックし、USB大容量記録装置デバイスを停止します。

▶ Windows 2000の場合

パソコン画面右下に表示される「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックし、USB大容量記録装置デバイスを停止します。

▶ Mac OS 9の場合

デスクトップ上に表示されているディスク（USB装置）をゴミ箱へ移動します。（選択してファイルメニューから「片付ける」でも可能です。）

▶ Mac OS Xの場合

デスクトップ上に表示されているボリューム（USB装置）をゴミ箱へ移動します。（選択してファイルメニューから「取り出し」でも可能です。）

2 パソコンと本電話機から、USBケーブルを抜く

画面にはアンテナが表示され、「 」が消えます。

下記手順でも解除できます。

①USBデータストレージの通信中画面で、（中断）を押す

②で「Yes」を選択し、を押す

USBデータストレージの設定が解除され、「USBデータストレージ　OFF」と表示されます。

お知らせ

● パソコン側からハードウェアの取り外しを行わずに、本電話機のUSBデータストレージを終了してしまうと、それまでmicroSDカードとやりとりを行ったデータが保証されませんので、ご注意ください。

11
セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する（番号通知設定）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機のディスプレイに表示するかどうかを設定できます。

1 **待ち受け画面で MENU 5 6 を押す**

2 **3（番号通知設定）を押す**

3 **1（ON）を押す**

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **番号通知設定を解除するには**

番号通知設定時に 2（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で MENU 5 6 を押す

2 1（非通知ガード）を押す

非通知ガードの設定画面が表示されます。

3 1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ 1（通知不可能）を押すと

相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。

▶ 2（ユーザ非通知）を押すと

相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。

▶ 3（公衆電話発信）を押すと

相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

4 1（ON）を押す

非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順３～４を繰り返します。

▶ 非通知ガードを解除するには

非通知ガード設定時に 2（OFF）を押します。

非通知ガードを設定した場合の動作

▶ 番号非通知の電話がかかってくると

着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。
ディスプレイには「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は 通話キー を押して電話に出ることができます。
着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

▶ 番号非通知でライトメールが送信されてくると

ライトメールを受信せず、相手にお断りガイダンスを流します。
ライトメールのあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。
- お断りガイダンスを流しているときは、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 本機能の設定にかかわらず、Eメール自動受信を設定している場合には、Eメールは受信されます。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞8-33ページ）
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。
電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールやデータが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は10件までです。
着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で MENU 5 6 を押す

2 2（着信拒否登録）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

▶ **登録されている番号を確認するには**

着信拒否番号の一覧画面で、上下キーで確認したい番号を選択し、[●]を押します。元の画面に戻るには クリア/マナー を押します。

4 MAIL（新規）を押す

5 1 ～ 3 のいずれかを押し、着信拒否する番号を入力する

▶ **1（直接入力）を押すと**

文字入力画面が表示されるので、0 ～ 9 で相手の番号を入力します。

▶ **2（発着歴引用）を押すと**

発信履歴／着信履歴／メモの画面が表示されるので、上下左右キーで相手先を選択します。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

▶ **3（電話帳引用）を押すと**

電話帳が表示されるので、必要に応じて表示方法を切り替え、相手先を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

6 [●]を押す

着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。
続けて他の番号を設定するときは、手順4～6を繰り返します。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が10件登録されているときは、登録することができません。新しい番号を登録したい場合は、不要な番号を削除してください。「着信拒否番号を削除する」（☞11-5ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの画面で電話番号を選択し、WEB（メニュー）を押して 5（着信拒否登録）を押しても、着信拒否を設定することができます。

特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順5の「直接入力」で番号のあとに「＊」を付けると、先頭から「＊」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901＊」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

お知らせ

● 以下の場合は登録できません。
・「＊」が電話番号の先頭に入力されている場合
・「＊」が２つ以上入力されている場合
・「＊」の後ろに番号が入力されている場合

着信拒否番号を削除する

着信拒否に登録した番号を削除します。

１件だけ削除する

1 着信拒否番号の一覧を表示させる

「着信拒否番号を登録する」の手順１～３（☞11-4ページ）

2 [上下キー]で削除する着信拒否番号を選択し、[WEB]（メニュー）を押す

▶ **登録されている番号を確認するには**

番号を選択して、[決定キー]を押します。元の画面に戻るには[クリア/マナー]を押します。

3 [1]（一件削除）を押す

4 [下キー]で「Yes」を選択し、[決定キー]を押す

選択した番号が削除され、「削除しました」と表示されます。
続けて他の番号を削除するときは、手順２～４を繰り返します。

選択して削除する

1 着信拒否番号の一覧画面で、[WEB]（メニュー）を押す

2 [2]（選択削除）を押す

3 削除する着信拒否番号を選択する

▶ **１件ずつ選択するには**

[上下キー]で削除する番号を選択し、[決定キー]（チェック）を押します。番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度[決定キー]（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[1]（全件選択）を押します。すべての番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[2]（全件解除）を押します。

4 [MAIL]（削除）を押す

5 [下キー]で「Yes」を選択し、[決定キー]を押す

選択した番号が削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 **着信拒否番号の一覧画面で、[WEB]（メニュー）を押す**

2 **[3]（全件削除）を押す**

3 **[↕]で「Yes」を選択し、[●]を押す**

番号がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

指紋や暗証番号による認証を行う（指紋設定／暗証番号変更）

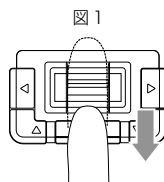
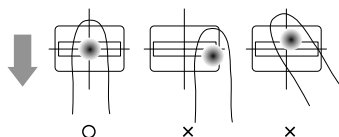
電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、ロック設定などの操作を行う際には、指紋や暗証番号による認証が必要となります。
指紋認証を行うには、あらかじめ認証に利用する指の指紋の登録と設定をしておく必要があります。指紋の登録と設定を行わなかった場合は、暗証番号による認証となります。「暗証番号で認証を行う」（☞ 11-12ページ）
また、ここで説明する指紋と暗証番号のほかに、管理者の認証用に指紋とパスワードを登録することもできます。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」（☞ 11-24ページ）

指紋認証の注意事項について

指紋認証機能について

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で３回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。本電話機を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋登録･認証時の指の動かしかた

- 指紋の登録・認証を行う際は、図１のように指紋センサーに第一関節を合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を押し当て、再度指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らすことができます。
- 指を置く方向は、図１のように本電話機と同じ方向にしてください。
- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたり歪んだりすることがあります。この場合は、登録が困難になったり、認証率（正しく認証操作した際に指紋が認証される割合）が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、図２のように渦の中心が指紋センサーの中央を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。
- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、図３のように指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。

指紋の認証率を向上させるには

- 指の状態が以下のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。その場合は、手を洗う、手を拭くなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、登録・認証時の状況が改善されることがあります。
  - ・お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  - ・指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
  - ・手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
  - ・手が極端に乾燥していたり乾燥肌の場合
  - ・指が泥や油などで汚れている場合
  - ・太ったり、やせたりして指が変化した場合
  - ・磨耗して指紋が薄くなった場合
  - ・指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に変化した場合
  - ・指が濡れたり、汗をかいたりしている場合
- 指紋センサーの表面がほこりや皮脂で汚れていたり、汗などの水分が付着したり、結露している場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率が低下したりすることがありますので、指紋センサー表面を清掃してください。

指紋を登録する

指紋認証を行うためには、事前に指紋を登録しておく必要があります。登録の際は、同一の指で３回の読み取りが必要です。指紋は、10件まで登録できます。
初めて指紋を登録する場合は、暗証番号の入力が必要です。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1　待ち受け画面で MENU 7 1 を押す

2　0 ～ 9 で暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 指紋を登録済みのときは

登録済みの指紋があり、かつ利用設定が有効になっているときは、指紋認証画面が表示されます。「認証に利用する指紋を設定する」（☞11-9ページ）

指紋認証を行うか、または WEB（番号）を押して暗証番号を入力すると、指紋設定画面が表示されます。

3　[•] を押す

指紋設定の一覧画面が表示されます。

4　MAIL（新規）を押す

▶ 指紋を登録済みのときは

登録済みの指紋があるときは、[▲▼] で未登録の項目を選択して MAIL（新規）を押します。

5　指紋を登録する指を、画面のメッセージに従って指紋センサーに押し当て、上から下にスライドする

スキャンされた指紋が正しく読み取られると、もう一度スライドするようメッセージが表示されます。

▶ 読み取りに失敗したときは

うまく読み取れなかった場合は、画面の指示に従って再度スキャンさせてください。読み取りに３回失敗した場合は、手順３の指紋設定の一覧画面に戻ります。手順４から再度操作してください。

6　指紋を３回読み取らせる

読み取りに成功すると、登録名の入力画面が表示されます。

7　指紋の登録名を入力する

8 [ー●ー] を押す

「登録しました」と表示され、指紋の登録が完了します。
さらに、登録した指紋を認証に利用するように設定する場合は、手順9に進みます。

9 [▲] で「Yes」を選択し、[ー●ー] を押す

登録した指紋による認証が可能になります。
指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク「 」が表示されます。

認証に利用する指紋を設定する

登録した指紋を認証に利用するかどうか、個別に設定することができます。複数の指紋を利用するよう設定することもできます。

1 待ち受け画面で [MENU] [7] [1] を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 [▲▼] で認証に利用する指紋を選択し、[ー●ー] を押す

選択した指紋による認証が可能になります。選択した指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク「 」が表示されます。

▶ **利用設定を解除するには**

[▲▼] で「 」が表示されている指紋を選択して、[ー●ー] を押します。「 」が消え、その指紋は認証に利用されなくなります。

指紋の登録名を変更する

1 待ち受け画面で [MENU] [7] [1] を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 [▲▼] で登録名を変更する指紋を選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [1]（登録名編集）を押す

5 登録名を変更する

6 [ー●ー] を押す

「変更しました」と表示され、変更した登録名が指紋登録の一覧に表示されます。

登録した指紋を削除する

1件だけ削除する

1 待ち受け画面で [MENU] [7] [1] を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 で削除する指紋を選択し、（メニュー）を押す

4 （一件削除）を押す

5 で「Yes」を選択し、を押す

選択した指紋が削除され、「削除しました」と表示されます。
削除した指紋があった項目は、空白になります。

選択して削除する

1 待ち受け画面でを押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 （メニュー）を押す

4 （選択削除）を押す

5 削除する指紋を選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

で削除する指紋を選択し、（チェック）を押します。指紋の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

（メニュー）を押し、サブメニューで（全件選択）を押します。すべての指紋の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、（メニュー）を押し、サブメニューで（全件解除）を押します。

6 （削除）を押す

7 で「Yes」を選択し、を押す

選択した指紋が削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面でを押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 （メニュー）を押す

4 （全件削除）を押す

5 で「Yes」を選択し、を押す

指紋がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

暗証番号を設定する

暗証番号は、4～8桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で MENU 9 2 を押す

暗証番号変更画面が表示されます。

2 0 ～ 9 で現在の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

3 ［•］を押す

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順1の暗証番号変更画面に戻ります。

4 0 ～ 9 で新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

5 ［•］を押す

6 確認のため、もう一度、0 ～ 9 で新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

7 ［•］を押す

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 新しい暗証番号の入力が、1回目と2回目で異なっていたとき

エラー音が鳴り、「新しい暗証番号が正しくありません」と表示されます。もう一度、手順4～7を繰り返してください。

▶ 管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき

「管理者パスワードが初期値です　暗証番号と同じ番号にしますか？」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は［左ソフトキー］で［Yes］を、管理者パスワードを変更しない場合は［右ソフトキー］で［No］を選択し、［•］を押します。「管理者パスワードを設定する」（☞11-25ページ）

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

指紋や暗証番号で認証を行う

操作中に、指紋または暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

■指紋で認証を行う

1 指紋登録および利用設定を行っている指を、指紋センサーに押し当ててスライドさせる

「指紋を登録する」（☞11-8ページ）、「認証に利用する指紋を設定する」（☞11-9ページ）

指紋のスキャン結果と、登録されている指紋のデータが一致すると、次の画面に進みます。

▶ 認証に失敗したときは

「登録された指紋と一致しません」と表示されます。画面の指示に従って、指を再度スライドさせてください。

▶ 複数の指紋を利用設定しているときは

利用設定しているどの指をスライドしても、認証が行われます。

▶ 指紋を登録していないときは

指紋を登録していない、または登録していても利用設定を行っている指紋がないときは、指紋認証画面は表示されません。認証時には、暗証番号の入力画面が表示されます。

■暗証番号で認証を行う

1 指紋認証画面で［WEB］（番号）を押す

または、暗証番号の最初の１桁を入力します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 ［0］～［9］で４～８桁の暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

3 ［●］を押す

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

▶ 暗証番号が間違っているときは

「暗証番号が違います」と表示され、手順１の指紋認証画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「暗証番号」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、［クリア］を押します。入力した数字が右端から消えます。

暗証番号で認証を行う

操作中に暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 ［0］～［9］で４～８桁の暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

2 ［●］を押す

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

▶ 暗証番号が間違っているときは

「暗証番号が違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「暗証番号」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、［クリア］を押します。入力した数字が右端から消えます。

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1　キーロックスイッチを上げる

待ち受け画面に「キーロック」と表示されます。
キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」（☞ 1-8ページ）

▶ 操作中の画面でキーロックスイッチを上げたとき

すぐにキーロック状態にはならず、待ち受け画面に戻ったときにキーロック状態になります。

キーロックを解除する

1　キーロックスイッチを下げる

「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中は、☎ を押して電源を切ることができません。
- キーロック中も、☎ を押して電源を入れることができます。

ダイヤルをロックする（Sダイヤルロック）

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。ダイヤルロックを設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。
ダイヤルロックを設定するには、指紋認証または暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で MENU 9 1 を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞ 11-11 ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞ 11-12ページ）

3 1（ON）を押す

ダイヤルロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

4 キーロックスイッチを上げる

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「 D 」が表示されます。

お知らせ

- 手順2では、☎以外のいずれかのボタンを押しても手順3に進めます。

■ダイヤルロックを解除するには

1 キーロックスイッチを下げる

2 0 ～ 9 のいずれかを押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞ 11-11 ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞ 11-12ページ）

ダイヤルロックが解除され、「 D 」の表示が消えます。

■ダイヤルロック設定中でも可能な操作

かかってきた電話に出ることができます。
110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（オートダイヤルロック）

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。ダイヤルロック中は、電話をかけることができません。「ダイヤルをロックする（Sダイヤルロック）」（☞11-14ページ）

自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、1～99分の間で設定できます。また、オートダイヤルロックを設定／解除するには、指紋認証または暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で MENU 9 6 を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

3 1（ON）を押す

▶ **オートダイヤルロックの設定をOFFするには**

2（OFF）を押すと、オートダイヤルロックの設定が解除されます。操作していない状態が続いても、ダイヤルロックはかかりません。

4 0 ～ 9 で時間を入力し、● を押す

オートダイヤルロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **オートダイヤルロック設定中の動作**

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が、手順4で入力した時間だけ続くと、自動的にダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面には「D」が表示されます。

■ダイヤルロックを解除するには

1 0 ～ 9 のいずれかを押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「D」の表示が消えます。
この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度オートダイヤルロックが実行されます。

お知らせ

- 手順1では、☎以外のいずれかのボタンを押しても手順2に進めます。

■ダイヤルロック中でも可能な操作

かかってきた電話に出ることができます。
110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送信することで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

①リモートロック

電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳や発信履歴／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサーを設定する」（☞13-16ページ）

②リモートロック＋データ消去

①に加え、電話機およびmicroSDカードに登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去＋初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「設定をリセットする（リセット）」（☞11-33ページ）
ただし、以下の３項目は初期化されません。
・指紋登録「指紋を登録する」（☞11-8ページ）
・暗証番号「暗証番号を設定する」（☞11-11ページ）
・リモートロック設定「リモートロック機能の設定をする」（☞11-17ページ）

③リモートロック解除

リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送信することにより実行します。
・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）
・ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）
コマンドを送信すると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差し・microSDカード抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、着信者表示機能、画像表示機能、指定着信音機能、留守録は無効になります。「電話帳を利用する」（☞7-45ページ）「電話やメールの着信時に表示される画像を設定する」（☞7-49ページ）「電話やメールの着信音を選択する」（☞7-50ページ）「留守録音を設定する」（☞7-74ページ）
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定していた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック＋データ消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。
- コマンドを受信後、コマンドが実行されるまでにmicroSDカードを抜いた場合、microSDカード内のデータ消去は実行されません。
- コマンドが実行されている間にmicroSDカードを抜いたり、電池がなくなった場合、microSDカード内のデータ消去は完全に実行されません。
- リモートロックは、ウィルコムのオンラインサポート（My WILLCOM）からも実行することができます。

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、許可パスワードを設定します。また、ライトメールによる操作、サブアドレス付き発信による操作について、それぞれ設定を行います。

リモートロック設定画面を表示する

リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。
リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [9] [4] を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）

「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されるとリモートロック設定画面が表示されます。

許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）

最初に、リモートロック機能用の許可パスワードを登録します。
許可パスワードは、４～８桁の数字で設定します。
実際にリモートロック機能を使う際には、ここで登録した許可パスワードを入力して命令（コマンド）を送信することになります。

1 リモートロック設定画面で、[1]（許可パスワード登録）を押す

2 [0] ～ [9] でパスワードを入力する

入力したパスワードを修正する場合は、[クリア] を押します。入力した数字が右端から消えます。

3 [●] を押す

許可パスワードが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は２件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、[2]（サブアドレス起動）を押す

▶ **許可パスワードが未設定のとき**

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、[2]（サブアドレス起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞11-17ページ）

2 [1]～[3]のいずれかを押す

▶ **[1]（ON（番号制限あり））を押すと**

許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順３に進みます。

▶ **[2]（ON（番号制限なし））を押すと**

「ON番号制限なし」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでも、サブアドレス付き発信でのリモートロック操作ができます。

▶ **[3]（OFF）を押すと**

「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。サブアドレス付き発信でのリモートロック操作は実行できません。

3 [1]または[2]を押す

4 [0]～[9]で許可電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ **電話番号を修正するには**

[◀▶]で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、[クリア]を押します。

5 [●]を押す

次の許可電話番号を登録するときは、手順３～５を繰り返します。

6 [MAIL]（登録）を押す

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は２件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、[3]（ライトメール起動）を押す

▶ **許可パスワードが未設定のとき**

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、[3]（ライトメール起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞11-17ページ）

2 1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ **1（ON（番号制限あり））を押すと**

許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順3に進みます。

▶ **2（ON（番号制限なし））を押すと**

「ON番号制限なし」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでもライトメールによるリモートロック操作ができます。

▶ **3（OFF）を押すと**

「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。ライトメールでのリモートロック操作は実行できません。

3 1 または 2 を押す

4 0 ～ 9 で許可電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ **電話番号を修正するには**

◀▶ で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリア を押します。

5 ● を押す

次の許可電話番号を登録するときは、手順3～5を繰り返します。

6 MAIL（登録）を押す

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）」（☞ 11-18ページ）
この場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック+データ消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 11-17ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX＊011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送信した場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送信する必要があります。「ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）」（☞11-18ページ）
この場合、許可電話番号からライトメールを送信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxx
②リモートロック＋データ消去	ソウサ 3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞11-17ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面でTo欄に「0701234XXXX」、本文欄に「ソウサ11234567」と入力し、送信します。
ライトメール送信の操作の詳細については、「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞11-17ページ）を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションを付けて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

ユーザの情報をロックする（ロック設定）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。ロック設定を行うと、機能を使うときやデータを閲覧するときに指紋や暗証番号による認証が必要になります。

ロックする項目を設定する

1 待ち受け画面で MENU 9 を押す

2 7（ロック設定）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

4 ロック設定する機能を選択する

（変更）を押し、ロックする機能にチェックを付け、ロックを解除する機能はチェックを外します。

▶ **1件ずつ選択するには**

で設定する機能を選択し、（チェック）を押します。機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全て選択）を押します。すべての番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全て解除）を押します。

5 MAIL（完了）を押す

ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「解除」に設定されています。
- 手順４で「スケジュール」を選択して「スケジュール」をロック設定した場合は、MENU 5 3 を押して 3（カレンダー設定）を押したときに、9（スケジュールカレンダー）を選択できなくなります。また、壁紙をスケジュールカレンダーに設定しているときに「スケジュール」をロック設定すると、自動的に壁紙が１ヶ月カレンダーに変更されます。
- ロックした機能を呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。指紋または暗証番号による認証を行うと、機能が一時的に解除され使用することができます。他の機能の画面を表示すると、自動的にロック状態に戻ります。
- ロックした情報を他の機能から参照する場合も認証が必要になります。例えば、データフォルダがロックされていると、留守録音の音声をデータフォルダから選択する場合にも認証が必要です。

ロック設定一覧

ロック設定によって認証が必要になる機能は以下のとおりです。

ロック設定	認証が必要になる機能
プロフィール	プロフィールの表示、編集、引用
メール／ Web ／ Java™	メール関連機能、Web 関連機能、Java™ 関連機能
データフォルダ	データフォルダの表示、データの再生
スケジュール	スケジュールの表示、編集
グループ／転送	グループモードの使用、ブックマーク転送
インターネット設定	インターネット設定（ダイヤルアップ設定）
国際ローミング	国際ローミング設定
電話帳	電話帳の表示、編集。「電話帳ロック」と連動しています。「電話帳をロックする（電話帳ロック）」（☞ 7-59 ページ）
ユーザ辞書	ユーザ辞書の表示、編集
自作定型文登録	自作定型文の登録、編集
USB データストレージ	USB データストレージの実行
発着履歴／メモ	発信履歴の表示、着信履歴の表示、番号メモの表示

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。

・Eメール機能　・Web機能　・ダイヤルアップ機能　・USB接続機能
・Java™機能　・発信機能　・着信機能　・先頭一致発信許可

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続、Javaなどの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者指紋または管理者パスワードによる認証が必要です。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」（☞同じページ内です。）
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「設定をリセットする（リセット）」（☞11-33ページ）
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかることを実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者指紋と管理者パスワードを設定する

管理者ロック機能を利用するには、管理者指紋または管理者パスワードによる認証が必要です。

管理者指紋を登録する

管理者指紋の登録方法は、「指紋を登録する」（☞11-8ページ）の手順とほぼ同じです。
初めて指紋を登録する場合は、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 **待ち受け画面で [MENU] [7] を押す**

2 **[4]（管理者指紋登録）を押す**

3 **[0] ～ [9] で管理者パスワードを入力する**

入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 管理者指紋を登録済みのときは

登録済みの管理者指紋があり、かつ利用設定が有効になっているときは、管理者指紋の認証画面が表示されます。「認証に利用する指紋を設定する」（☞11-9ページ）

指紋認証を行うか、または [WEB]（番号）を押して管理者パスワードを入力すると、管理者指紋登録画面が表示されます。

4 [•] を押す

管理者指紋登録画面が表示されます。

5 [MAIL]（新規）を押す

▶ **指紋を登録済みのときは**

登録済みの指紋があるときは、[▲▼] で未登録の項目を選択して [MAIL]（新規）を押します。

6 **指紋を登録する指を、画面のメッセージに従って指紋センサーに押し当て、上から下にスライドする**

スキャンされた指紋が正しく読み取られると、もう一度スライドするようメッセージが表示されます。

▶ **読み取りに失敗したときは**

うまく読み取れなかった場合は、画面の指示に従って再度スキャンさせてください。読み取りに3回失敗した場合は、手順4の管理者指紋登録画面に戻ります。手順5から再度操作してください。

7 **指紋を3回読み取らせる**

読み取りに成功すると、登録名の入力画面が表示されます。

8 **管理者指紋の登録名を入力する**

9 [•] を押す

「登録しました」と表示され、管理者指紋の登録が完了します。
さらに、登録した管理者指紋を認証に利用するように設定する場合は、手順10に進みます。

10 [▼] で「Yes」を選択し、[•] を押す

登録した管理者指紋による認証が可能になります。
管理者指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク「[マーク]」が表示されます。

お知らせ

- 管理者指紋による認証の注意事項については、「指紋認証の注意事項について」（☞11-7ページ）をご覧ください。
- 手順4の管理者指紋登録画面では、認証に利用する指紋の設定が行えます。手順は通常の指紋の場合と同様です。「認証に利用する指紋を設定する」（☞11-9ページ）
- 手順4の管理者指紋登録画面の [WEB]（メニュー）からは、指紋の登録名の変更、登録した指紋の削除が行えます。手順は通常の指紋の場合と同様です。「指紋の登録名を変更する」（☞11-9ページ）、「登録した指紋を削除する」（☞11-9ページ）

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去＋初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、4 ～ 8 桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 **待ち受け画面で [MENU] [9] を押す**

2 [8]（管理者パスワード変更）を押す

3 [0] ～ [9] **で現在の管理者パスワードを入力する**

入力した番号は「＊」と表示されます。

4 [•] を押す

管理者パスワードが間違っているときは、「管理者パスワードが違います」と表示され、手順2の管理者パスワード変更画面に戻ります。

5 [0] ～ [9] **で新しい管理者パスワードを入力する**

入力した番号は「＊」と表示されます。

6 [・] を押す

7 確認のため、もう一度、[0] ～ [9] で新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

8 [・] を押す

新しい管理者パスワードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **新しい管理者パスワードの入力が、１回目と２回目で異なっていたとき**

エラー音が鳴り、「新しい管理者パスワードが正しくありません」と表示されます。もう一度、手順７ ～ ８ を繰り返してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）
- 完全消去＋初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。
- 管理者パスワードが初期値（「0000」）の場合、暗証番号の設定時に管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に設定することもできます。「暗証番号を設定する」（☞11-11ページ）

管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、JavaTM制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可があります。

管理者ロック設定画面を表示する

管理者ロック機能に関する設定は、管理者ロック設定画面から行います。
管理者ロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [9] を押す

2 [9]（管理者ロック）を押す

3 管理者指紋認証または管理者パスワード認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると管理者ロック設定画面が表示されます。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップができないようにします。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-6ページ）

1 管理者ロック設定画面で [1] （Eメール制限）を押す

Eメール制限設定画面が表示されます。

2 [1] （ON）を押す

Eメール制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- Eメール制限を「ON」に設定した後、ウィルコムのメールサーバーからEメール自動受信の通知を受けた場合は、「センターにEメールがあります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「 」が点灯します。「センターメールあり」を選択し、[●] を押すと「Eメール制限設定中です」と表示されます。「Eメールを受信する」（☞8-14ページ）
- Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
- Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞ 11-28ページ）

Webを制限する

Web接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で [2] （Web制限）を押す

Web制限設定画面が表示されます。

2 [1] （ON）を押す

Web制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続やオンラインサインアップをすると、「Web制限設定中です」と表示されます。
- Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞ 11-28ページ）

ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。
ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1 管理者ロック設定画面で [3] （ダイヤルアップ制限）を押す

ダイヤルアップ制限設定画面が表示されます。

2 [1] （WILLCOMのみ）を押す

ダイヤルアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞同じページ内です。）

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能（Eメール送受信、Web接続、データ通信、ファイル転送、H"問屋、Intellisyncなど）への接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で [4] （USB制限）を押す

USB制限設定画面が表示されます。

2 [1] （ON）を押す

USB制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

Javaを制限する

Javaアプリケーションからのダイヤルアップと USB 通信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で 5 （Java制限）を押す

Java制限設定画面が表示されます。

2 1 （ON）を押す

Java制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Java制限を「ON」に設定した場合、Javaアプリケーションからダイヤルアップや USB 通信を実行しようとすると、エラーとなります。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で 6 （発信制限）を押す

発信制限設定画面が表示されます。

2 1 （ON）を押す

発信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「発信型機能を利用する」（☞ 13-45ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に 184 または 186 を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH"問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えを制限するには、USB 接続の制限も同時に設定してください。「USB 接続を制限する」（☞ 11-28ページ）

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で 7（着信制限）を押す

着信制限設定画面が表示されます。

2 1（ON）を押す

着信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があったときは、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には“ツーツーツー”という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたりライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（☞11-4ページ）
- 着信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH"問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えも制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞11-28ページ）

先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。
先頭一致発信許可番号の10件すべてが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、すべての電話番号が発信可能となります。

1 管理者ロック設定画面で [8] （先頭一致発信許可）を押す

先頭一致発信許可画面が表示されます。

2 [0] ～ [9] のいずれかを押して登録する位置を選択する

3 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力する

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。184または186から始まる番号は登録できません。

▶ 先頭一致発信許可番号を修正するには

最後の1桁を消す：[クリア] を押す
すべての桁を消す：[クリア] を約1秒以上押す

▶ 設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには

設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4 に進む

4 [●] を押す

先頭一致発信許可が設定され、「登録しました」と表示されます。

5 必要であれば、手順２～４の要領で他の番号を同様に設定する

▶ 登録した番号を削除するには

先頭一致発信許可の一覧画面で [▲▼] を押して削除したい番号を選択し、[WEB]（メニュー）を押します。サブメニューで [1]（一件削除）、[2]（選択削除）、[3]（全件削除）のいずれかを押して [●] を押します。
[2]（選択削除）を押した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

6 設定が完了したら [クリア] を押す

管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 位置情報通知機能（発信型）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「発信型機能を利用する」（☞13-45ページ）
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184 または186 を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能は以下のとおりです。

管理者ロック設定 ＼ 制限される機能	E メール制限	Web 制限	ダイヤルアップ制限	USB 制限	Java 制限	発信制限	着信制限	先頭一致発信許可
音声発信	―	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
音声着信	―	―	―	―	―	―	○ ※2	―
ライトメール送信	―	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
ライトメール着信	―	―	―	―	―	―	○ ※2	―
E メール送受信（電話機単体）	○	―	○ ※1	―	―	―	―	―
Web 接続（電話機単体）	―	○	○ ※1	―	―	―	―	―
E メール送受信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―	―
Web 接続（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―	―
データ通信の発信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―	―
データ通信の着信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	○ ※2	―
リモートロック	―	―	―	―	―	―	―	―
ローミング登録用ライトメール	―	―	―	―	―	―	―	―
位置情報通知機能（発信型）	―	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
位置情報通知機能（着信型）	―	―	―	―	―	―	―	―
Java ダイヤルアップ接続	―	―	○ ※1	―	○	―	―	―
Java USB 通信	―	―	―	○	○	―	―	―
ファイル転送	―	―	―	○	―	―	―	―
H" 問屋	―	―	―	○	―	―	―	―

○　：制限あり
―　：制限なし
※１：ウィルコムのダイヤルアップのみ許可
※２：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※３：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可

設定をリセットする（リセット）

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
設定だけをリセットしてお客様が登録した内容を残す「オール設定リセット」と、設定も登録内容もすべてお買い上げ時の状態に戻す「完全消去＋初期化」の2つがあります。「完全消去＋初期化」の場合は、管理者の指紋認証または管理者パスワードの入力が必要になります。

1 待ち受け画面で MENU 9 5 を押す

2 1（オール設定リセット）または 2（完全消去＋初期化）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

確認のメッセージが表示されます。

▶「オール設定リセット」を選択した場合

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

▶「完全消去＋初期化」を選択した場合

管理者の指紋認証または管理者パスワードの入力が必要になります。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

確認のメッセージが表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化
暗証番号				―	0000
発信履歴	保存件数			0/30	0/30
着信履歴	保存件数			0/30	0/30
番号メモ	保存件数			0/30	0/30
グループ	リスト1～3	登録件数		–	0/100
	リスト1～3	グループ名		–	グループ1～3
文字入力	コピー/カットデータ			–	0/1
	文字サイズ			20dot	20dot
	予測変換			ON	ON
	入力方法			かな入力	かな入力
	学習文字			–	0件
ファンクション	メニュー表示			リボルバー	リボルバー
プロフィール	名前			–	0/1
	フリガナ			–	0/1
	メールアドレス入力			–	0/3
	メモ			–	0/1
メール	受信BOX	振り分け設定登録数	受信BOX以外のフォルダ	–	0/24
		受信件数	Eメール	–	0/500
			ライトメール	–	0/100
		送信+未送信件数	Eメール	–	0/120
			ライトメール	–	0/30
		下書き件数(未送信BOX)	Eメール	–	0/20
			ライトメール	–	0/10
		保護件数	Eメール	–	受信+送信+未送信
			ライトメール	–	0/65
		受信BOXフォルダ名		–	受信BOX、ユーザ受信BOX
		受信BOX振り分け設定		–	設定なし
		メール詳細画面	文字サイズ変更	20dot	20dot

機能					オール設定リセット	完全消去+初期化
メール	Eメールアカウント設定	Eメール	接続先名称設定		設定なし	設定なし
			受信メール(POP)		設定なし	設定なし
			送信メール(SMTP)		設定なし	設定なし
			アカウント		設定なし	設定なし
			パスワード		設定なし	設定なし
			メールアドレス		設定なし	設定なし
			Eメール自動受信機能		ON	ON
			名前		設定なし	設定なし
			署名		OFF	OFF
			詳細設定	返信メールアドレス	設定なし	設定なし
				Eメール削除設定	削除	削除
				POPポート番号	110	110
				SMTPポート番号	25	25
				SMTP認証	OFF	OFF
				POPbeforeSMTP	ON	ON
				SMTPユーザ名	設定なし	設定なし
				SMTPパスワード	設定なし	設定なし
				受信行数制限設定	OFF、600行	OFF、600行
				認証方式設定	POP	POP
		アカウント2,3	接続先名称設定		設定なし	設定なし
			受信メール(POP)		設定なし	設定なし
			送信メール(SMTP)		設定なし	設定なし
			アカウント		設定なし	設定なし
			パスワード		設定なし	設定なし
			メールアドレス		設定なし	設定なし
			名前		設定なし	設定なし
			署名		OFF	OFF
			詳細設定	返信メールアドレス	設定なし	設定なし
				Eメール削除設定	削除	削除
				POPポート番号	110	110
				SMTPポート番号	25	25
				SMTP認証	OFF	OFF
				POPbeforeSMTP	ON	ON
				SMTPユーザ名	設定なし	設定なし
				SMTPパスワード	設定なし	設定なし
				受信行数制限設定	OFF、600行	OFF、600行
				認証方式設定	POP	POP
	オプション	引用設定	本文		引用しない	引用しない
			引用文		設定なし	設定なし
		フォルダ表示切替			表示する	表示する
データフォルダ		保存件数(ファイル数+フォルダ数)			−	20/1000件
		表示切替(画像データ)			サムネイル表示	サムネイル表示
		表示切替(画像以外のデータ)			一覧表示	一覧表示
		ソート			作成日時順（新→古）	作成日時順（新→古）
Web	ブックマーク	おすすめ			−	20/20+フォルダ2に1件
		件数			−	0/20
		フォルダ名			−	おすすめ、フォルダn
	Webページを開く	最後のアドレス			0/1	0/1
		入力履歴			0/20	0/20
	履歴				0/50	0/50
	ページメモ				−	0/10
	オプション	ホーム			公式サイト	公式サイト
		表示設定	JavaSprict		有効	有効
			アニメーション		表示する	表示する
			画像		オンデマンド表示	オンデマンド表示
			テーブル		有効	有効
			自動判別言語		日本語	日本語
		BGM			再生する	再生する
		表示モード			ケータイモード	ケータイモード

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化
Web	オプション	スクロール		3行	3行
		ズーム		100%	100%
		HTTP設定	キャッシュ キャッシュモード	ネットワーク優先	ネットワーク優先
			キャッシュ Diskキャッシュ使用	使用しない	使用しない
			キャッシュ Cookie	受信する	受信する
			最大リフレッシュ回数	無制限	無制限
			最大リダイレクト回数	無制限	無制限
			ポップアップブロック	使用する	使用する
			認証データ	有効	有効
			ユーザエージェント	ユーザエージェントグレー表示、NetFrontV3.4	ユーザエージェントグレー表示、NetFrontV3.4
	Web中サブメニュー	ページ設定	文字サイズ	16dot	16dot
			エンコード	Shift - JIS	Shift - JIS
		音量調整		音量3	音量3
スケジュール		登録件数		–	0/1000
		日時	日付	–	当日時刻
			開始時刻	–	0:00
			終了時刻	–	0:00
		通知設定		–	通知しない
		スケジュール音設定	スケジュール音	アラーム1	アラーム1
			音量	音量3	音量3
			バイブ	OFF	OFF
			鳴動時間	30秒	30秒
			休日設定	–	0/全日付
音設定	着信設定	公衆着信	着信メロディ	パターン1	パターン1
			着信音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
		Eメール着信	着信メロディ	ジングル1	ジングル1
			着信音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
			鳴動時間	10秒	10秒
			バックグランド受信通知	ON	ON
		ライトメール着信	着信メロディ	ジングル2	ジングル2
			音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
			鳴動時間	10秒	10秒
		オフィス外線着信	着信メロディ	パターン4	パターン4
			音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
		オフィス内線着信	着信メロディ	パターン6	パターン6
			音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
		オフィス専用線着信	着信メロディ	パターン10	パターン10
			音量	3	3
			バイブ	OFF	OFF
		グループ着信	着信メロディ	公衆着信と同様	公衆着信と同様
			音量	公衆着信と同様	公衆着信と同様
			バイブ	公衆着信と同様	公衆着信と同様
	効果音選択	キー確認音		パターンA	パターンA
		成功/エラー音		ON	ON
		圏外/充電		ON	ON
		送達確認音		ON	ON
	保留音選択	メロディ		バッハ:イタリア協奏曲	バッハ:イタリア協奏曲
日時設定		日時設定		–	2007年1月1日 00:00
		日時表示設定	パターン	大(日本語)	大(日本語)
			表示位置	センタリング	センタリング
			色	白	白
		日時自動補正		ON	ON

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化
画面設定	壁紙設定			Keyhole-Black	Keyhole-Black
	画面配色			Modern	Modern
	カレンダー設定			OFF	OFF
画面設定	メインディスプレイ	明るさ		レベル3	レベル3
		点灯時間		10秒	10秒
		消灯時間		60秒後	60秒後
		通話中点灯		OFF	OFF
		キーライト点灯		ON	ON
		卓上充電器充電中点灯		ON	ON
		キーロック中点灯		電源キーのみ	電源キーのみ
	着信ランプ	イルミネーション	電話着信	パターン1/アジュール	パターン1/アジュール
			メール着信	パターン2/ミント	パターン2/ミント
			スケジュール	パターン3/シャンパン	パターン3/シャンパン
			目覚まし	パターン3/カナリア	パターン3/カナリア
			通話時	OFF	OFF
		リマインダー		パターン1/カラフル	パターン1/カラフル
	省電力設定			OFF	OFF
		ON設定の編集項目	日時表示設定	OFF	OFF
			明るさ	レベル1	レベル1
			点灯時間	5秒	5秒
			消灯時間	60秒後	60秒後
			通話中点灯	OFF	OFF
			キーライト点灯	OFF	OFF
			リマインダー	OFF	OFF
	言語選択			日本語 - Japanese	日本語 - Japanese
マナー／留守電	マナー登録	マナーモード	バイブ	ON	ON
			電話着信音量	OFF	OFF
			メール着信音量	OFF	OFF
			目覚まし音量	OFF	OFF
			スケジュール音量	OFF	OFF
			効果音	OFF	OFF
			留守録音設定	OFF	OFF
		応答時間設定		10秒	10秒
		オートサイレント		OFF	OFF
	受話音量			音量4	音量4
	ひそひそ設定			OFF	OFF
	通話録音設定			データフォルダ保存	データフォルダ保存
	留守録音設定			OFF	OFF
		応答時間設定		10秒	10秒
	安全運転モード設定			電話機応答	電話機応答
通信設定	待受モード設定			－	－ （グループ、公衆＋グループ、転送時は公衆。公衆登録がなくオフィス登録がある場合はオフィス）
	位置情報設定			OFF	OFF
	インターネット設定	ダイヤルアップ設定	接続先名称	CLUB AIR－EDGE 接続先2,3	CLUB AIR－EDGE 接続先2,3
			接続先電話番号	0570570099##61	0570570099##61
			ユーザID	clubh	clubh
			パスワード	clubh	clubh
			料金分計	OFF	OFF
			ワンタイムパスワード	OFF	OFF
			Proxy利用	OFF	OFF
			Proxyサーバ名	設定なし	設定なし
			Proxyポート番号	8080	8080
			IPアドレス自動取得	ON	ON
			IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
			DNS自動取得	ON	ON
			プライマリDNS	0.0.0.0	0.0.0.0

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化
通信設定	インターネット設定	ダイヤルアップ設定	セカンダリDNS	0.0.0.0	0.0.0.0
			Proxy認証	OFF	OFF
			Proxyユーザ名	設定なし	設定なし
			Proxyパスワード	設定なし	設定なし
		接続モード設定	接続モード設定	接続モード1	接続モード1
			接続モード名称	接続モード1	接続モード1
			Web用ダイヤルアップ接続先	CLUB AIR−EDGE	CLUB AIR-EDGE
			メール用ダイヤルアップ接続先	CLUB AIR−EDGE	CLUB AIR-EDGE
			送信メールアカウント	設定なし	設定なし
			受信アカウント選択	設定なし	設定なし
			毎回選択	OFF	OFF
		公衆使用接続モード		接続モード1	接続モード1
		オフィス接続モード		接続モード3	接続モード3
	通信中着信	音声,PIAFS通信中着信		ON	ON
		パケット中着信		ON	ON
	データ通信方式			ベストエフォート型	ベストエフォート型
	国際ローミング	国・地域/事業者選択		日本/WILLCOM	日本/WILLCOM
		台湾		−	設定なし
		タイ		−	設定なし
		ベトナム		−	設定なし
	オフィス番号選択			−	−
発着信設定	非通知ガード	通知不可能		OFF	OFF
		ユーザ非通知		OFF	OFF
		公衆電話発信		OFF	OFF
	着信拒否	登録		−	0/10
	番号通知設定			ON	ON
	発信先応答通知			OFF	OFF
	エニーキーアンサー			OFF	OFF
	イヤホン自動応答			OFF	OFF
	サブアドレス			ON	ON
	優先発信切替			オフィス、グループ	オフィス、グループ
	外線発信番号			設定なし	設定なし
Intelli sync	SYNC接続	電話帳データ		同期	同期
		スケジュールデータ		同期	同期
	接続設定			−	登録なし
	前回SYNC日時			−	設定なし
	ユーザ名			−	default
	パスワード			−	0000
電話帳	電話帳表示	表示切替		あかさたな一覧	あかさたな一覧
	新規登録	登録件数		−	0/1000
		グループ		−	グループ0
		画像		−	設定なし
		短縮設定		−	設定なし
		シークレット設定		−	OFF
		指定電話着信音		−	設定なし
		指定Eメール着信音		−	設定なし
		指定ライトメール着信音		−	設定なし
		指定電話着信イルミネーション		−	設定なし
		指定Eメール着信イルミネーション		−	設定なし
		指定ライトメール着信イルミネーション		−	設定なし
	グループ設定	グループ名		グループ1〜0	グループ1〜0
		電話着信	着信メロディ	−	通常と同じ
			イルミネーション	−	通常と同じ
			バイブ	−	OFF

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化
電話帳	グループ設定	Eメール着信	着信メロディ	−	通常と同じ
			イルミネーション	−	通常と同じ
			バイブ	−	OFF
		ライトメール着信	着信メロディ	−	通常と同じ
			イルミネーション	−	通常と同じ
			バイブ	−	OFF
指紋センサー		指紋設定	登録件数	−	0/10
			利用設定	−	−
		ポインティング動作設定	ポインティング設定	OFF	OFF
			ポインティング速度設定	6	6
		マウスカーソル動作設定	マウスカーソル設定	OFF	OFF
			マウスカーソル速度設定	6	6
		管理者認証設定	登録件数	−	0/10
			利用設定	−	−
カメラ		撮影サイズ		壁紙サイズ	壁紙サイズ
		撮影モード		オート	オート
		撮影画質	QQVGA以外	ファイン	ファイン
			QQVGA	ノーマル	ノーマル
		保存先選択		データフォルダ	データフォルダ
		フォト設定	日付スタンプ	解除	解除
			シャッター音	パターン1	パターン1
			フラッシュ	オートフラッシュ	オートフラッシュ
			ピクト表示	ON	ON
			自動保存	OFF	OFF
アクセサリ	目覚まし	登録件数		0/3	0/3
		時刻		00：00	00：00
		曜日設定		一度きり	一度きり
		目覚まし音		アラーム2	アラーム2
		音量		音量3	音量3
		バイブ		パターン3	パターン3
		鳴動時間		30秒	30秒
		スヌーズ		OFF	OFF
	ICレコーダ	プレイリスト	ソート	作成日時順（新→古）	作成日時順（新→古）
		再生出力先		レシーバ	レシーバ
		録音優先モード設定		ON	ON
	メモ帳	登録件数		−	0/12
		ソート		作成日時順（新→古）	作成日時順（新→古）
	ユーザ辞書	登録件数		−	0/100
	自作定型文	登録件数		−	0/12
	USB設定	USB充電		高速	高速
	学習文字クリア			−	0/32K
	Java™アプリ	プリセットアプリ		−	0
		許可設定	ネットワーク接続	−	起動ごとに確認
セキュリティ	Sダイヤルロック			OFF	OFF
	リモートロック	許可パスワード登録		−	設定なし
		サブアドレス起動		OFF	−
		サブアドレス起動ON（番号制限あり）内電話番号		設定なし	−
		ライトメール起動		OFF	−
		ライトメール起動ON（番号制限あり）内電話番号		設定なし	−
	リセット	オール設定リセット		−	−
		完全消去+初期化		−	−
	オートダイヤルロック	(設定ON/OFF)		OFF	OFF
		時間設定		5分	5分
	ロック設定			すべてOFF	すべてOFF
	管理者ロックパスワード			−	0000
	管理者ロック	Eメール制限		−	OFF
		WEB制限		−	OFF
		ダイヤルアップ制限		−	OFF

機能			オール設定リセット	完全消去+初期化
セキュリティ	管理者ロック	ＵＳＢ制限	−	OFF
		Java制限	−	OFF
		発信制限	−	OFF
		着信制限	−	OFF
		先頭一致発信許可	−	設定なし
マイメニュー		登録件数	3/12 オンラインサインアップ 公式サイト Java™アプリ	3/12 オンラインサインアップ 公式サイト Java™アプリ

12
カメラ

画像を撮影する

内蔵のカメラを使って、画像を撮影できます。

カメラをご利用になる前に

カメラご利用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本電話機を温かい場所や直射日光が当たる場所に長時間置いて画像を撮影したり保存した場合は、画像が劣化することがあります。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。
- レンズに直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると画面に縞模様が現れる場合（フリッカー現象）がありますが、故障ではありません。
- 被写体の明るさによっては、画像に縞模様が映る場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、画像が暗くなる場合があります。

撮影時のご注意

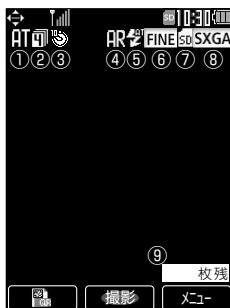
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布で拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付いていると、ピントが合わなくなったり、撮影した画像に汚れが映ったりします。
- 撮影するときに手ぶれで本電話機が動くと、画像がぶれる原因となります。
  本電話機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置き、セルフタイマーを使って撮影してください。「セルフタイマーで撮影する」（☞ 12-12ページ）
- 被写体が画面に確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。本電話機を動かしながらシャッターを押すと、正常に撮影できない場合があります。
- 接写モード以外で撮影するときは、被写体との距離を30cm以上とってください。
- 撮影時は、レンズやフラッシュに指やハンドストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると保存できません。

著作権・肖像権について

本電話機を利用して撮影したもの、およびインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集、公衆送信等をする行為は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権法上禁止されています。ご注意ください。
なお、実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、本電話機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページ上に掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがあります。ご注意ください。

カメラ機能について

本電話機の内蔵カメラは、130万画素です。撮影した画像は、待ち受け画面の壁紙として利用したり、電話帳に貼り付けたり、メールに添付したりできます。

撮影画面の見かた

①撮影モード「室内／屋外など状況に応じたモードにする（撮影モード）」（☞12-10ページ）
: オート
: 室内
: 蛍光灯
: 屋外晴れ
: 屋外曇り
: 夜景

②連続撮影「連続して撮影する（連続撮影）」（☞12-11ページ）
: 4連写
: 9連写

③セルフタイマー「セルフタイマーで撮影する」（☞12-12ページ）
: 2秒
: 5秒
: 10秒

④アレンジ撮影「セピア／ネガ／モノクロで撮影する（アレンジ撮影）」（☞12-13ページ）
: アレンジ撮影

⑤フラッシュ設定「フラッシュを使用する」（☞12-6ページ）
: フラッシュ ON
: オートフラッシュ
: ライト＆フラッシュ

⑥撮影画質「画質を設定する（撮影画質）」（☞12-10ページ）
FINE：ファイン
STD：ノーマル
MAIL：メール

⑦保存先「保存先を設定する（保存先選択）」（☞12-16ページ）
: 本体メモリ
: microSD

⑧撮影サイズ「撮影するサイズを設定する（撮影サイズ）」（☞12-9ページ）
SXGA：SXGAサイズ
VGA：VGAサイズ
QVGA：壁紙サイズ
QQVGA：ケータイサイズ

⑨撮影可能枚数

撮影サイズについて

撮影サイズは、縦と横の画素数によりケータイサイズ、壁紙サイズ、VGAサイズ、SXGAサイズの4種類があります。
各撮影サイズのデータサイズと保存可能枚数は以下のとおりです（データサイズはモード（画質）によって異なります）。「撮影するサイズを設定する（撮影サイズ）」（☞12-9ページ）、「画質を設定する（撮影画質）」（☞12-10ページ）

撮影サイズ（画素数）	撮影画質	データサイズ	保存可能枚数
ケータイサイズ（120 × 160）	ノーマル	20Kバイト前後	約100枚
	メール	9Kバイト以下	約222枚
壁紙サイズ（240 × 320）	ファイン	100Kバイト前後	約20枚
	ノーマル	70Kバイト前後	約29枚
	メール	20Kバイト以下	約100枚
VGAサイズ（640 × 480）	ファイン	200Kバイト前後	約10枚
	ノーマル	100Kバイト前後	約20枚
	メール	50Kバイト前後	約40枚
SXGAサイズ（1280 × 960）	ファイン	500Kバイト以下	約4枚
	ノーマル	300Kバイト前後	約7枚
	メール	200Kバイト前後	約10枚

撮影した画像データについて

撮影した画像データは、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードにJPEG形式で保存されます。「保存先を設定する（保存先選択）」（☞12-16ページ）、「データフォルダを参照する」（☞12-17ページ）
画像データのファイル名は、以下のようになっています。

■壁紙サイズ／ケータイサイズで撮影した場合のファイル名

例えば、2006年9月25日14時32分に撮影した場合のファイル名は、「060925_1432.jpg」となります。同じ日時に複数枚撮影した場合は、「060925_1432~001.jpg」のように連番が付けられます。

■VGAサイズ／ SXGAサイズで撮影した場合のファイル名

デバイスIDは本電話機を表す番号です。連番は、「0001」から始まる番号です。5枚目の画像であればファイル名は「J0010005.jpg」となります。

カメラ 画像を撮影する

画像を撮影する

1 待ち受け画面で を約１秒以上押すか、 を押す

「カメラ起動中　マクロスイッチを確認して下さい」と表示され、撮影画面にカメラの映像が表示されます。

2 撮影距離に合わせてマクロスイッチを設定する

「各部の名前」（☞ 1-8ページ）

接写するとき：「」に合わせ、被写体から約10cm離す。
通常撮影するとき：「」に合わせ、被写体から30cm以上離す。

3 撮影対象を撮影画面に表示する

必要に応じて、以下の設定を行います。

- ▶ **フラッシュを使用する（☞ 12-6ページ）**
- ▶ **ズームする（☞ 12-7ページ）**
- ▶ **明るさを調整する（☞ 12-7ページ）**
- ▶ **カメラ機能の説明を表示する（☞ 12-8ページ）**
- ▶ **画面上のマークを非表示にする（☞ 12-8ページ）**

4 （撮影）を押す

シャッター音が鳴ったあと、撮影確認画像が表示されます。

5 撮影確認画面で画像を確認し、（保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。「保存先を設定する（保存先選択）」（☞ 12-16ページ）

▶ 保存先が本体のデータフォルダの場合

「データフォルダに保存中」と表示され、保存が完了すると「データフォルダに保存しました」と表示されます。画像は「カメラデータ」フォルダに保存されます。

▶ 保存先がmicroSDカードで撮影サイズがSXGAサイズ／VGAサイズの場合

「保存中　microSDを抜かないで下さい」と表示され、保存が完了すると「microSDデジカメデータに保存しました」と表示されます。画像は「デジカメデータ」フォルダの「100JRC01」フォルダに保存されます。

▶ 保存先がmicroSDカードで撮影サイズが壁紙サイズ／ケータイサイズの場合

「保存中　microSDを抜かないで下さい」と表示され、保存が完了すると「microSDカメラデータに保存しました」と表示されます。画像は「カメラデータ」フォルダに保存されます。

撮影しなおす場合は またはを押します。「保存せずに終了しますか？」と表示されるので、で「Yes」を選択して を押すと、撮影画面に戻ります。「No」を選択すると、撮影確認画面に戻ります。また、ここでを押すと、カメラ機能を終了して待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 撮影確認画面が表示されてから約90秒間何も操作しないと、撮影確認画面の画像は自動的に保存されます。
- マナーモード、オートサイレントを設定している場合でも、シャッター音は鳴ります。
- 撮影時に着信があった場合は、着信中画面に変わります。
- 撮影サイズが壁紙サイズまたはケータイサイズの場合は、手順５でファイル名を変更することができます。（メニュー）を押し、（ファイル名編集）を押します。ファイル名編集画面が表示されるので、ダイヤルボタンでファイル名を入力し、を押します。
- 保存先がmicroSDカードの場合、SXGAサイズ／VGAサイズの画像は、「デジカメデータ」フォルダ内のサブフォルダ「100JRC01」に保存されますが、「100JRC01」内のデータ数が上限の1000件に達すると、新しいサブフォルダ「101JRC01」に画像が保存されます。以降、サブフォルダのデータ数が上限に達するごとに「102JRC01」「103JRC01」「104JRC01」…と新しいサブフォルダが生成されます。

■「空き容量が足りません」と表示されたときは

画像の保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、保存方法の選択画面が表示され、保存先を変更したり不要なデータを削除したりできます。

▶ 保存先が本体のデータフォルダの場合

「データフォルダの空き容量が足りません」と表示され、保存方法の選択画面が表示されます。

1 2（本体データ削除）を押す

データフォルダの内容が表示されます。
空き容量のあるmicroSDカードが挿入されている場合は、1（microSDに保存）を押してmicroSDに保存することもできます。

2 ▲▼で削除するデータを選択し、●を押す

「削除しますか？」と表示されます。

3 ▲で「Yes」を選択し、●を押す

「削除しました」と表示され、撮影画像がデータフォルダに保存されます。
保存に必要な容量が確保されなかった場合は、手順2,3を繰り返します。

▶ 保存先がmicroSDカードの場合

「microSDカードの空き容量が足りません」と表示されます。
本体のデータフォルダに空き容量がある場合は、自動的にデータフォルダに保存されます。本体のデータフォルダにも空き容量がない場合は、保存方法の選択画面が表示されます。

1 2（本体データ削除）を押す

データフォルダの内容が表示されます。

2 ▲▼で削除するデータを選択し、●を押す

「削除しますか？」と表示されます。

3 ▲で「Yes」を選択し、●を押す

「削除しました」と表示され、撮影画像がデータフォルダに保存されます。
保存に必要な容量が確保されなかった場合は、手順2,3を繰り返します。

フラッシュを使用する

撮影時にフラッシュを使用するかどうかを設定します。連続撮影を設定している場合は、フラッシュは使用できません。

1 撮影画面で☎を押す

ボタンを押すたびに設定が切り替わります。
現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

⚡（フラッシュ ON）：●（撮影）を押すたびにフラッシュが点灯します。
非表示（フラッシュ OFF）：フラッシュは点灯しません。
⚡A（オートフラッシュ）：撮影時の明るさに応じて、フラッシュが点灯します。周囲が暗い場合はフラッシュが点灯し、明るい場合は点灯しません。
💡（ライト＆フラッシュ）：連続撮影を設定していない場合は、フラッシュの設定後ライトが点灯します。撮影時はライトが消灯し、フラッシュが点灯します。画像を保存したあとは再度ライトが点灯します。
連続撮影を設定している場合は、フラッシュの設定後ライトが点灯しますが、撮影時と保存時は消灯します。保存後撮影画面に戻ったときに再度ライトが点灯します。また、連続撮影時にフラッシュは点灯しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「オートフラッシュ」に設定されています。
- フラッシュの設定は、サブメニューでも変更できます。撮影画面で［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［WEB］（次頁）を押します。［1］（フォト設定）を押し、［3］（フラッシュ）を押します。［1］～［4］のいずれかを選択します。

ズームする

最大16倍までのズームを設定することができます。

1 撮影画面で［▲▼］を押す

撮影画面の右端に現在のズームレベルを表すバーが表示されます。

2 ［▲▼］を押す

ボタンを押すたびに、ズームレベルが変わります。

▶ **［▲］を押すと**

撮影対象をズームアップ（拡大）します。

▶ **［▼］を押すと**

撮影対象をズームダウン（縮小）します。

3 ［●］を押す

ズームレベルが設定されます。

お知らせ

- 画像サイズにより、設定可能なズームレベルは異なります。
- 撮影が終了してもカメラ機能を終了するまでは、設定したズームレベルが維持されます。
- 手順3で［●］を押さなくても、手順2の後に約2秒以上経過するとズームレベルが設定されます。

明るさを調整する

撮影画面に表示されている画像の明るさを調整します。明るさは11段階のレベルで調整できます。

1 撮影画面で［◀▶］を押す

撮影画面の下部に現在の明るさのレベルを表すバーが表示されます。

2 ［◀▶］を押す

ボタンを押すたびに、明るさのレベルが変わります。

▶ **［◀］を押すと**

画像が暗くなります。

▶ **［▶］を押すと**

画像が明るくなります。

3 ［●］を押す

明るさが設定されます。

お知らせ

- 撮影が終了してもカメラ機能を終了するまでは、設定した明るさが維持されます。

カメラ機能の説明を表示する

カメラ機能の操作方法や撮影画面上のマークの説明を表示します。

1 撮影画面で［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［WEB］（次頁）を押す

2 ［2］（ヘルプ機能）を押す

3 ［1］（機能説明）または［2］（ピクト説明）を押す

［1］（機能説明）を押すとカメラ機能の操作方法が、［2］（ピクト説明）を押すと画面上のマーク（ピクト）の説明が表示されます。

画面上のマークを非表示にする

撮影画面に表示されるマークの表示／非表示を切り替えます。

1 撮影画面で［文字］を押す

ボタンを押すたびに表示／非表示が切り替わります。

お知らせ

- マークの表示は、次の操作でも設定できます。撮影画面で［WEB］［WEB］［1］を押し、［4］（ピクト表示）を押します。［1］（ON）を押すと表示、［2］（OFF）を押すと非表示になります。

いろいろな撮影と機能

撮影した画像をEメールで送信する

撮影した画像データをEメールに添付して送信することができます。

1 画像を撮影する

「画像を撮影する」（☞12-5ページ）の手順1～4

2 [MAIL]（Eメール）を押す

画像データがデータフォルダに保存され、「データフォルダに保存しました」と表示されます。

3 [●]を押す

Eメール作成画面が表示されます。保存した画像データが、添付ファイル欄に表示されています。

4 メールを送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）

お知らせ

- 撮影サイズがSXGAサイズまたはVGAサイズで、添付可能サイズ（350Kバイト）を超えている場合は、「サイズオーバーです　縮小保存し　添付しますか」と表示されます。縮小して添付する場合は、[ ]で「Yes」を選択し、[●]を押します。

撮影するサイズを設定する（撮影サイズ）

４種類のサイズから選択できます。用途に応じて使い分けてください。

1 待ち受け画面で[ ]を約１秒以上押すか、[MENU][4]を押す

2 撮影画面で[A/a MY]を押す

ボタンを押すたびに設定が切り替わります。
現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

QQVGA（ケータイサイズ）：画素数120×160。
メールに添付して送信する場合などに使います。

QVGA（壁紙サイズ）：画素数240×320。
待ち受け画面の壁紙に利用する場合などに使います。

VGA（VGAサイズ）：画素数640×480。
パソコンで加工したり、印刷したりする場合などに使います。

SXGA（SXGAサイズ）：画素数1280×960。
Lサイズでプリントする場合などに使います。

3 撮影する

お知らせ

- お買い上げ時には、「壁紙サイズ」に設定されています。
- 撮影サイズの設定は、サブメニューでも変更できます。
  撮影画面で[WEB]（メニュー）を押します。サブメニューで[1]（撮影サイズ）を押し、[1]～[4]のいずれかを選択します。
- 各撮影サイズのデータフォルダ保存サイズや保存可能枚数については、「カメラ機能について」（☞12-3ページ）を参照してください。
- データフォルダに撮影サイズに対応した容量がない場合でも、撮影サイズは変更できます。
- 画面右下に表示される撮影可能枚数は、撮影サイズによって変わります。
- カメラ機能の終了後や電源OFF後も、設定した撮影サイズは維持されます。

画質を設定する（撮影画質）

撮影する画像の画質を設定できます。画質を低くするほどデータサイズも小さくなります。

1 **待ち受け画面で［カメラ］を約1秒以上押すか、［MENU］［4］を押す**

2 **撮影画面で［WEB］（メニュー）を押す**

3 **［7］（撮影画質）を押す**

4 **［1］～［3］のいずれかを押す**

▶ **［1］（ファイン）を押すと**

最高画質（100%の画質）にします。ケータイサイズの場合は選択できません。

▶ **［2］（ノーマル）を押すと**

標準の画質（80%の画質）にします。

▶ **［3］（メール）を押すと**

画質を低く（70%の画質）します。

5 **撮影する**

お知らせ

- お買い上げ時には、「ファイン」に設定されています。ただし、撮影サイズがケータイサイズの場合のみ、「ノーマル」に設定されています。
- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
  FINE：ファイン
  STD：ノーマル
  MAIL：メール
- 各撮影画質のデータフォルダ保存サイズや保存可能枚数については、「カメラ機能について」(☞12-3ページ)を参照してください。

室内／屋外など状況に応じたモードにする（撮影モード）

撮影場所の状況に合わせて、モードを切り替えることができます。

1 **待ち受け画面で［カメラ］を約1秒以上押すか、［MENU］［4］を押す**

2 **撮影画面で［WEB］（メニュー）を押す**

3 **［2］（撮影モード）を押す**

4 **［1］～［6］のいずれかを押す**

選択した撮影モードでの撮影画面が表示されます。

▶ **［1］（オート）を押すと**

撮影場所の状況を自動的に感知して適切な設定にします。

▶ **［2］（室内）を押すと**

室内撮影に適した設定にします。

▶ **［3］（蛍光灯）を押すと**

蛍光灯の下での撮影に適した設定にします。

▶ **［4］（屋外晴）を押すと**

晴天時の屋外撮影に適した設定にします。

▶ **［5］（屋外曇）を押すと**

曇りや雨天時の屋外撮影に適した設定にします。

▶ **［6］（夜景）を押すと**

夜景の撮影に適した設定にします。

［WEB］（次候補）または［MAIL］（前候補）を押すと、撮影モードを切り替えることができます。現在の撮影モードは、画面上部に表示されるマークで確認できます。

AUTO：オート
室内マーク：室内
蛍光灯マーク：蛍光灯
晴マーク：屋外晴
曇マーク：屋外曇
夜景マーク：夜景

5 を押す

選択した撮影モードでの撮影画面になります。

6 撮影する

お知らせ

- お買い上げ時には、「オート」に設定されています。
- カメラ機能の終了後や電源OFF後も、設定した撮影サイズは維持されます。

連続して撮影する（連続撮影）

１回の撮影で、４枚または９枚の画像を連続して撮影できます。撮影の間隔は高速、中速、低速の３種類から選択できます。連続撮影ができるのは、壁紙サイズとケータイサイズの場合のみです。

1 待ち受け画面でを約１秒以上押すか、MENU 4 を押す

2 撮影画面で WEB（メニュー）を押す

3 3（連続撮影）を押す

4 1（4連写）または 2（9連写）を押す

▶ **連写を解除するには**

3（解除）を押します。

5 1 ～ 3 のいずれかを押す

撮影画面が表示されます。

▶ **1（高速連写）を押すと**

約0.2秒間隔で撮影します。

▶ **2（中速連写）を押すと**

約0.5秒間隔で撮影します。

▶ **3（低速連写）を押すと**

約１秒間隔で撮影します。

6 （撮影）を押す

設定した間隔で連続撮影が開始され、撮影終了後、撮影確認画面に撮影された画像が並べて表示されます（インデックス表示）。それぞれの画像には撮影順を示す番号が付けられています。
この撮影確認画面でサブメニューを表示して、画像を保存したり、編集して保存したり、保存先を切り替えたりすることができます。

▶ **選択した画像をまとめて保存するには**

WEB（メニュー）を押して 1（選択保存）を押すと、画像をまとめて保存することができます。「選択して保存する」(☞ 12-12ページ)

▶ **インデックスまたは全画像を保存するには**

WEB（メニュー）を押して 2（インデックス保存）または 3（全保存）を押すと、インデックスをそのまま保存または全画像を保存することができます。「インデックス保存または全保存する」(☞ 12-12ページ)

▶ **画像編集をするには**

WEB（メニュー）を押して 4（画像編集）を押すと、画像を編集することができます。「画像を加工する（編集撮影／画像編集）」(☞ 12-13ページ)

▶ **保存先を切り替えるには**

WEB（メニュー）を押して 5（保存先選択）を押すと、保存先を切り替えることができます。「保存先を設定する（保存先選択）」(☞ 12-16ページ)

7 で保存する画像を選択し、を押す

選択した画像が全画面サイズで表示されます。
文字 ／ A/a で前後の画像に切り替えることもできます。

8 （保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。
保存が完了すると、インデックス表示に戻ります。
保存済みの画像はグレー表示になります。
必要に応じて手順7、8を繰り返し、他の画像を保存します。

お知らせ

- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
  ：４連写
  ：９連写
- 連続撮影中に中止したい場合は、［●］（停止）を押します。

選択して保存する

インデックス表示から画像を複数選択して保存します。

1 連続撮影の撮影確認画面で［WEB］（メニュー）を押す

2 ［1］（選択保存）を押す

3 ［◀▲▼▶］で保存する画像を選択し、［●］（チェック）を押す

選択中の画像は青色の枠が表示され、選択決定した画像は赤色の枠が表示されます。

4 手順３を繰り返し、保存する画像を選択します。

5 ［MAIL］（保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。
保存が完了すると、インデックス表示に戻ります。
保存済みの画像はグレー表示になります。

インデックス保存または全保存する

インデックス保存は、インデックスを１枚の画像として保存します。全保存は、連続撮影した画像すべてをそれぞれ保存します。

1 連続撮影の撮影確認画面で［WEB］（メニュー）を押す

2 ［2］（インデックス保存）または［3］（全保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。
インデックス保存の場合はインデックス表示に、全保存の場合は撮影画面に戻ります。

セルフタイマーで撮影する

タイマーを設定して撮影できます。設定時間は、２秒後、５秒後、10秒後から選択します。

1 待ち受け画面で［▲］を約１秒以上押すか、［MENU］［4］を押す

2 撮影画面で［WEB］（メニュー）を押す

3 ［6］（セルフタイマー）を押す

4 ［1］（2秒）、［2］（5秒）、［3］（10秒）のいずれかを押す

▶ **セルフタイマーを解除するには**

撮影画面で［WEB］（メニュー）、［6］（セルフタイマー）、［4］（解除）を押します。

5 （撮影）を押す

アラーム音とLEDの点滅が始まり、撮影３秒前（1（２秒）の場合は２秒前）から画面に残り秒数が表示されます。
設定時間を経過すると自動的に撮影され、撮影確認画面が表示されます。

▶ **セルフタイマーを停止するには**

（停止）を押します。

6 （保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

お知らせ

- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
  ：２秒
  ：５秒
  ：１０秒
- タイマーの残り時間が３秒前までは、ズームレベルを変更できます。
- セルフタイマーは、撮影後に自動的に解除されます。

セピア／ネガ／モノクロで撮影する（アレンジ撮影）

セピア、ネガ、モノクロの画像を撮影できます。

1 待ち受け画面で を約１秒以上押すか、MENU 4 を押す

2 撮影画面で WEB（メニュー）を押す

3 4（アレンジ撮影）を押す

4 1（セピア）、2（ネガ）、3（モノクロ）のいずれかを押す

アレンジ選択の撮影画面が表示されます。
WEB（次候補）または MAIL（前候補）を押すと、アレンジを切り替えることができます。

▶ **アレンジ撮影を解除するには**

4（解除）を押します。

5 を押す

選択したアレンジでの撮影画面になります。

6 （撮影）を押す

撮影した画像が撮影確認画面に表示されます。

7 （保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

画像を加工する（編集撮影／画像編集）

画像の周囲に枠を付けるなど、撮影した画像を加工することができます。撮影前にあらかじめ設定しておく方法（編集撮影）と、撮影後に編集する方法（画像編集）があります。編集撮影と画像編集ができるのは、撮影サイズが壁紙サイズとケータイサイズの場合のみです。次の３種類の加工ができます。
フレーム添付：画像に額縁のように枠を付けます。
スタンプ添付：画像にスタンプを重ねます。
文字入力：画像に文字を付けます。撮影後の編集時のみ可能です。

編集撮影をする

1 **待ち受け画面で[カメラ]を約1秒以上押すか、[MENU][4]を押す**

2 **撮影画面で[WEB]（メニュー）を押す**

3 **[5]（編集撮影）を押す**

4 **[1]または[2]を押す**

▶ **[1]（フレーム）を押すと**

「画像データにフレームを付ける」（☞13-59ページ）

▶ **[2]（スタンプ）を押すと**

「画像データにスタンプを貼り付ける」（☞13-60ページ）

▶ **編集撮影を解除するには**

[4]（解除）を押します。

5 **[決定]を押す**

フレームまたはスタンプを付けた撮影画面になります。

6 **撮影する**

撮影した画像が撮影確認画面に表示されます。

お知らせ

- 撮影後は、編集内容を取り消すことはできません。
- 撮影サイズがケータイサイズの場合、使用できるフレームのサイズは120×160のみ、スタンプのサイズは60×80以下のみになります。

画像編集をする

1 **「画像を撮影する」の手順に従って、手順4の撮影までを行う**

「画像を撮影する」（☞12-5ページ）

2 **[WEB]（メニュー）を押す**

3 **[1]（画像編集）を押す**

4 **[1]～[3]のいずれかを押す**

▶ **[1]（フレーム）を押すと**

「画像データにフレームを付ける」（☞13-59ページ）

▶ **[2]（スタンプ）を押すと**

「画像データにスタンプを貼り付ける」（☞13-60ページ）

▶ **[3]（文字入力）を押すと**

「画像データに文字を入力する」（☞13-61ページ）

▶ **画像編集を解除するには**

編集内容の設定時に[4]（解除）を押します。

続けて編集を行う場合は、手順2以降を繰り返します。

5 **[決定]（保存）を押す**

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

お知らせ

- 保存後は、編集内容を取り消すことはできません。
- 撮影サイズがVGA、SXGAの場合は、画像編集はできません。
- 手順4で[3]（文字入力）を押し、画像データに文字を入力した場合は、画像編集を解除することができません。

画像に日付を入れる（日付スタンプ）

画像に現在の日時を入れます。日付を入れられるのは、撮影サイズが壁紙サイズ、ケータイサイズの場合のみです。

1 **待ち受け画面で[カメラ]を約1秒以上押すか、[MENU][4]を押す**

2 **撮影画面で[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す**

3 **[1]（フォト設定）を押し、[1]（日付スタンプ）を押す**

4 **[1]～[3]のいずれかを選択する**

撮影確認画面に日付が表示されます。

▶ **[1]を押すと**

年月日が「YY/MM/DD」の形式で表示されます。

▶ **[2]を押すと**

時刻が「HH:MM」で表示されます。

▶ **[3]を押すと**

年月日と時刻が「YY/MM/DD HH:MM」で表示されます。

▶ **日付スタンプを解除するには**

[4]（解除）を押します。

5 **[WEB]（色）を押して日付の色を選択する**

[WEB]（色）を押すごとに色が切り替わります。

6 **[●]を押す**

日付の入った撮影画面になります。

7 **撮影する**

お知らせ

- 手順6の撮影画面では日付スタンプの時刻は更新されませんが、撮影時には正しい時間が反映されます。

シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を設定します。

1 **待ち受け画面で[カメラ]を約1秒以上押すか、[MENU][4]を押す**

2 **撮影画面で[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す**

3 **[1]（フォト設定）を押し、[2]（シャッター音）を押す**

4 **[1]～[5]のいずれかを押す**

シャッター音が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ **シャッター音を確認するには**

[▲▼]でパターンを選択し、[MAIL]（再生）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン1」に設定されています。

画像を自動的に保存する（自動保存）

撮影した画像を自動的に保存するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押し、サブメニューで （次頁）を押す

3 （フォト設定）を押し、 （自動保存）を押す

4 （ON）または （OFF）を押す

自動保存が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ （ON）を押すと

撮影後、設定されている保存先に自動的に保存されます。

▶ （OFF）を押すと

撮影後、撮影確認画面が表示されるので、（保存）を押して保存します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

保存先を設定する（保存先選択）

撮影した画像の保存先を、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに設定します。

1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押す

3 （保存先選択）を押す

4 （データフォルダ）または （microSD）を押す

データの保存先が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ （データフォルダ）を押すと

本体のデータフォルダに保存されます。

▶ （microSD）を押すと

microSDカードに保存されます。microSDカードが挿入されていない場合は選択できません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「データフォルダ」に設定されています。
- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
  ：データフォルダ
  ：microSD
- 本体のデータフォルダでは、撮影したデータはすべて「カメラデータ」フォルダに保存されます。
- microSDカードでは、撮影サイズがVGAサイズ／SXGAサイズの場合は「デジカメデータ」に、壁紙サイズ／ケータイサイズの場合は「カメラデータ」に保存されます。

メモリの使用状況を確認する（保存容量確認）

本体やmicroSDカードのメモリの使用状況を帯グラフで表示します。

1 待ち受け画面で[カメラ]を約1秒以上押すか、[MENU][4]を押す

2 撮影画面で[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す

3 [3]（保存容量確認）を押す

「保存先選択」で設定された保存先のメモリの使用状況が表示されます。「メモリの使用状況を見る」（☞13-88ページ）

▶ **本体とmicroSDカードを切り替えるには**

[MAIL]（本体）または[MAIL]（microSD）を押して、メモリの使用状況の表示を切り替えることができます。

データフォルダを参照する

本体やmicroSDカードのデータフォルダを表示します。撮影した画像を表示する場合もデータフォルダを使用します。「データフォルダを活用する」（☞13-53ページ）

1 待ち受け画面で[カメラ]を約1秒以上押すか、[MENU][4]を押す

2 撮影画面で[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[WEB]（次頁）を押す

3 [4]（データフォルダ）を押す

本体のデータフォルダが表示されます。「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

▶ **microSDカードのデータフォルダを表示するには**

[MAIL]（microSD）を押すとmicroSDカードのデータフォルダ表示に切り替わり、[MAIL]（本体）を押すと、本体のデータフォルダ表示に戻ります。

2次元コードスキャナーとして使用する

カメラで2次元コードを読み取り、読み取った情報を利用することができます。

2次元コードを読み取る

2次元コードの読み取りは、必ず接写モードに切り替えて行います。

1 マクロスイッチを に設定する

接写モードに切り替わります。「各部の名前」（☞1-8ページ）

2 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、MENU 4 を押す

3 MAIL（ ）を押す

「接写モードにしてください」と表示されたあと、読み取り画面が表示されます。

4 2次元コードを画面の中央に表示させて、（読取）を押す

2次元コードが読み取られ、内容が読み取り結果画面に表示されます。

▶ **読み取った情報をコピーするには**

「情報をコピーする」（☞同じページ内です。）

▶ **読み取った情報を電話帳に登録するには**

「電話帳に登録する」（☞12-19ページ）

▶ **読み取った情報からメールを作成するには**

「メールを作成する」（☞12-19ページ）

▶ **読み取った情報をブックマークに登録するには**

「ブックマークに登録する」（☞12-20ページ）

▶ **読み取った情報をそのまま保存するには**

「読み取り結果を保存する（ログ保存）」（☞12-20ページ）

お知らせ

- 2次元コードの読み取りに失敗した場合、または90秒以内に読み取りが完了しなかった場合は、「読み取れませんでした」と表示され、読み取り画面に戻ります。
- バーコード（JANコード）も読み取ることができます。読み取り可能な桁数は8桁および13桁です。
- 読み取ったテキストに電話番号、メールアドレス、URLがあると、リンク文字列として青色下線付きで表示されます。リンク文字列に対する機能については、「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」（☞8-23ページ）を参照してください。

読み取った情報を使用する

情報をコピーする

読み取った情報から必要な部分をコピーして、他の場所に貼り付けることができます。

1 読み取り結果画面で、WEB（メニュー）を押す

2 （コピー）を押す

3 でコピー範囲の始点を選択し、を押す

4 でコピー範囲の終点を選択する

始点から終点までの範囲が反転します。

5 を押す

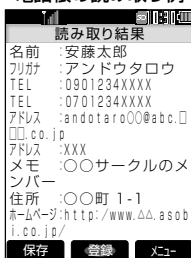
選択した範囲の文字列がコピーされ、読み取り結果画面に戻ります。
このあとは、必要に応じてコピーした情報を他の場所に貼り付けます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-41ページ）

電話帳に登録する

2次元コードから読み取った情報が電話帳データの場合は、本電話機の電話帳に登録することができます。

電話帳の読み取り例

1 読み取り結果画面で、（登録）を押す

読み取った情報が、本電話機の電話帳登録画面に表示されます。

2 （登録）を押し、電話帳に登録する

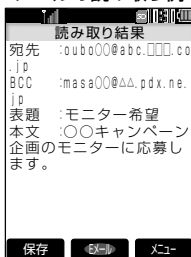
電話帳に登録され、読み取り結果画面に戻ります。
「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

お知らせ

- 読み取り結果画面で（メニュー）を押してサブメニューで（電話機登録）を押しても、電話帳に登録することができます。
- 2次元コードに、電話帳では登録できない文字があった場合は、「入力できない文字は削除しました」と表示されます。

メールを作成する

2次元コードから読み取った情報がメールデータの場合は、読み取った宛先、表題、本文を使用してメールを作成することができます。

メールの読み取り例

1 読み取り結果画面で、（Eメール）を押す

読み取った情報が、本電話機のメール作成画面に表示されます。「Eメールを作成送信する」（☞8-8ページ）

2 で「送信」を選択し、を押す

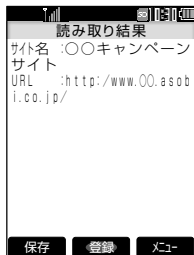
メールが送信され、読み取り結果画面に戻ります。

お知らせ

● 読み取り結果画面で［WEB］（メニュー）を押して［3］（メール作成）を押しても、メールを作成することができます。

ブックマークに登録する

2次元コードから読み取った情報がブックマークデータの場合は、そのブックマークを本電話機のブックマークに登録することができます。

ブックマークの読み取り例

1 読み取り結果画面で、［●］（登録）を押す

ブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。読み取り結果画面に戻ります。

お知らせ

● 読み取り結果画面で［WEB］（メニュー）を押して［4］(ブックマーク登録)を押しても、ブックマークに登録することができます。

読み取り結果を保存する（ログ保存）

読み取り結果をそのまま保存します。

1 読み取り結果画面で、［MAIL］（保存）を押す

読み取り結果が保存され、「保存しました」と表示されます。読み取り結果画面に戻ります。

▶ 保存したログを表示するには

2次元コードの読み取り画面で、［WEB］(データ)を押します。［▲▼］で表示するデータを選択し、［●］を押します。［MAIL］（本体）または［MAIL］（microSD）を押して、本体とmicroSDのデータフォルダを切り替えることができます。

お知らせ

● 読み取り結果画面で［WEB］（メニュー）を押して［5］（ログ保存）を押しても、読み取り結果を保存することができます。

Javaアプリでカメラ機能を使用する

Javaアプリケーションでカメラ機能を使用することもできます。
使用できるのは以下の表で○を付けた機能です。

操作	機能（メニュー）	機能（サブメニュー）
撮影画面でWEB（メニュー）を押す	○撮影サイズ	
	○撮影モード	
	○連続撮影	
	○アレンジ撮影	
	×編集撮影	
	○セルフタイマー	
	○撮影画質	
	×保存先選択	
撮影画面でWEB（メニュー）を押し、サブメニューでWEB（次頁）を押す	○フォト設定	×日付スタンプ
		○シャッター音
		○フラッシュ
		○ピクト表示
		×自動保存
	○ヘルプ機能	
	×保存容量確認	
	×データフォルダ	
連続撮影のインデックス画面でWEB（メニュー）を押す	○選択保存	
	○インデックス保存	
	○全保存	
	×画像編集	
	×保存先選択	

○：使用できます。
×：使用できません。

お知らせ

- Javaアプリケーションで変更したカメラ機能の設定は保存されません。また、通常のカメラ機能の設定にも反映されません。
- Javaアプリケーションでカメラ撮影後、画像を保存するとカメラ機能を終了しJavaアプリケーションに戻ります。連続撮影で選択保存を行った場合は、1枚の画像を選択した時点でJavaアプリケーションに戻ります。
- 自動保存は常に「OFF」です。「画像を自動的に保存する（自動保存）」（☞12-16ページ）

13

便利な使いかた

メニュー一覧表

<table>
<tr><th colspan="4" rowspan="2">メニュー</th><th colspan="3">機能が使えるモード</th><th rowspan="2">お買い上げ時の設定</th><th rowspan="2">参照ページ</th></tr>
<tr><th>公衆</th><th>オフィス</th><th>グループ</th></tr>
<tr><td rowspan="10">メール</td><td>11</td><td colspan="2">受信 BOX</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-16</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="2">送信 BOX</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-22</td></tr>
<tr><td>13</td><td colspan="2">未送信 BOX</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-12</td></tr>
<tr><td>14</td><td colspan="2">E メール受信</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-14</td></tr>
<tr><td>15</td><td colspan="2">E メール作成</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-8</td></tr>
<tr><td>16</td><td colspan="2">ライトメール作成</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-41</td></tr>
<tr><td>17</td><td colspan="2">E メールアカウント設定</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-38</td></tr>
<tr><td>18</td><td colspan="2">オプション</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>8-5、32</td></tr>
<tr><td>19</td><td colspan="2">オンラインサインアップ</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>–</td><td>8-7</td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="2">インターネット設定</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-41</td></tr>
<tr><td>データフォルダ</td><td>2</td><td colspan="2"></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>–</td><td>13-53</td></tr>
<tr><td rowspan="9">Web</td><td>31</td><td colspan="2">公式サイト</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>–</td><td>9-2</td></tr>
<tr><td>32</td><td colspan="2">ホーム</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-6</td></tr>
<tr><td>33</td><td colspan="2">ブックマーク</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-13</td></tr>
<tr><td>34</td><td colspan="2">インターネット検索</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-17</td></tr>
<tr><td>35</td><td colspan="2">履歴</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-9</td></tr>
<tr><td>36</td><td colspan="2">ページメモ</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-20</td></tr>
<tr><td>37</td><td colspan="2">Web ページを開く</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-7</td></tr>
<tr><td>38</td><td colspan="2">オプション</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-6、31</td></tr>
<tr><td>39</td><td colspan="2">インターネット設定</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>–</td><td>9-41</td></tr>
<tr><td>カメラ</td><td>4</td><td colspan="2"></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>–</td><td>12-1</td></tr>
<tr><td rowspan="14">機能設定</td><td rowspan="11">51</td><td rowspan="11">音設定</td><td>公衆着信</td><td rowspan="3">○</td><td>×</td><td>○</td><td>着信メロディ：パターン 1、音量：3、バイブ：OFF</td><td rowspan="6">7-62</td></tr>
<tr><td>E メール着信</td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">×</td><td>着信メロディ：ジングル 1、音量：3、バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒、バックグランド受信通知：ON</td></tr>
<tr><td>ライトメール着信</td><td>着信メロディ：ジングル 2、音量：3、バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒</td></tr>
<tr><td>オフィス外線着信</td><td rowspan="3">×</td><td>着信メロディ：パターン 4、音量：3、バイブ：OFF</td></tr>
<tr><td>オフィス内線着信</td><td>着信メロディ：パターン 6、音量：3、バイブ：OFF</td></tr>
<tr><td>オフィス専用線着信</td><td>着信メロディ：パターン 10、音量：3、バイブ：OFF</td></tr>
<tr><td rowspan="4">効果音選択</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="3">○</td><td>キー確認音：パターンA</td><td>7-70</td></tr>
<tr><td>成功 / エラー音：ON</td><td>7-71</td></tr>
<tr><td>圏外 / 充電警告音：ON</td><td>7-71</td></tr>
<tr><td>×</td><td>送達確認音：ON</td><td>7-72</td></tr>
<tr><td>保留音選択</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>バッハ：イタリア協奏曲、試聴時の音量 3</td><td>7-72</td></tr>
<tr><td rowspan="3">52</td><td rowspan="3">日時設定</td><td>日時設定</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>2007 年 1 月 1 日 00:00</td><td>1-22</td></tr>
<tr><td>日時表示設定</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>画面パターン：大（日本語）、表示位置：画面中央、色：白</td><td>13-8</td></tr>
<tr><td>日時自動補正</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ON</td><td>13-8</td></tr>
</table>

メニュー				機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
				公衆	オフィス	グループ		
機能設定	53	画面設定	壁紙設定	○	○	○	Keyhole-Black	13-57
			画面配色	○	○	○	Modern	13-9
			カレンダー設定	○	○	○	OFF	13-9
			メインディスプレイ	○	○	○	明るさ：レベル3、点灯時間：10秒、消灯時間：60秒後、通話中点灯：OFF、キーライト点灯：ON、卓上充電器充電中点灯：ON、キーロック中点灯：電源キーのみ	13-10
			着信ランプ	○	○	○	電話着信：パターン1、アジュール	13-12
				○	○	×	メール着信：パターン2、ミント	
				○	○	○	スケジュール：パターン3、シャンパン	
				○	○	○	目覚まし：パターン3、カナリア	
				○	○	×	通話中：OFF	
				○	○	×	リマインダー：パターン1、カラフル	
			省電力設定	○	○	○	OFF	13-13
			言語選択	○	○	○	日本語－Japanese	13-16
	54	マナー/留守電	マナー登録	○	○	○	バイブ：ON、電話着信音量・メール着信音量・目覚まし音量・スケジュール音量・効果音・留守録音：OFF、オートサイレント：OFF	7-67
			受話音量	○	○	○	Vol.4	7-61
			ひそひそ設定	○	○	○	OFF	7-61
			通話録音設定	○	○	○	データフォルダ保存	7-12
			留守録音設定	○	○	×	OFF、応答時間設定：10秒	7-74
			留守録音再生	○	○	×	－	7-75
			留守番電話 (NW)	○	×	×	－	13-96
			安全運転モード設定	○	○	×	OFF	7-69
	55	通信設定	待受モード設定	○	○	○	公衆	14-3
			グループ/転送	×	×	○	－	14-9
			位置情報通知	○	×	×	位置情報通知LI：OFF、自動位置情報送出設定：OFF	13-45
			インターネット設定	○	○	×	－	9-41
			通信中着信	○	○	×	音声, PIAFS通信中着信:ON、パケット通信中着信：ON	10-18
			データ通信方式	○	○	×	データ通信方式：ベストエフォート型	10-13
			国際ローミング	○	×	×	国・地域／事業者選択：日本/WILLCOM	13-91
			オフィス番号選択	×	○	×	－	14-7
	56	発着信設定	非通知ガード	○	○	×	通知不可能：OFF、ユーザ非通知：OFF、公衆電話発信：OFF	11-3
			着信拒否登録	○	○	×	未登録	11-4
			番号通知設定	○	○	×	ON	11-2
			発信先応答通知	○	○	○	OFF	7-73
			エニーキーアンサー	○	○	×	OFF	13-16
			イヤホン自動応答	○	○	×	OFF	13-14
			サブアドレス	○	○	×	ON	13-15
			優先発信切替	○	○	○	オフィス、グループ優先	14-6
			外線発信番号	×	○	×	未登録	14-5
	57	Intellisync	SYNC接続	○	○	○	電話帳データ：同期、スケジュールデータ：同期	10-20
			接続設定	○	○	○	－	－
			前回SYNC日時	○	○	○	－	－

メニュー				機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
				公衆	オフィス	グループ		
電話帳	61	電話帳一覧		○	○	○	表示切替：あかさたな一覧	7-53
	62	新規登録		○	○	○	–	7-46
	63	グループ設定		○	○	○	–	7-58
	64	電話帳ロック		○	○	○	解除	7-59
	65	シークレット一時表示		○	○	○	非表示	7-60
	66	登録件数表示		○	○	○	–	7-60
	67	全件削除		○	○	○	–	7-58
指紋センサー	71	指紋設定		○	○	○	登録件数：未登録	11-9
	72	ポインティング動作設定	ポインティング設定	○	○	○	OFF	13-50
			ポインティング速度設定	○	○	○	6	13-51
	73	マウスカーソル動作設定	マウスカーソル設定	○	○	×	OFF	13-51
			マウスカーソル速度設定	○	○	×	6	13-52
	74	管理者指紋登録		○	○	○	登録件数：未登録	11-24
アクセサリ	81	電卓		○	○	○	–	13-33
	82	目覚まし		○	○	○	時刻：0:00、曜日設定：一度きり、目覚まし音:アラーム 2、音量:音量 3、バイブ:パターン 3、鳴動時間:30 秒、スヌーズ：OFF	13-30
	83	IC レコーダ		○	○	○	–	13-34
	84	メモ帳		○	○	○	–	13-39
	85	ユーザ辞書		○	○	○	–	7-23
	86	自作定型文登録		○	○	○	–	7-38
	87	USB 充電		○	○	○	高速	13-6
	88	USB データストレージ		○	○	○	–	10-36
	89	学習文字クリア		○	○	○	–	7-24
	80	Java™ アプリ		○	○	×	–	13-73
	8∗	スケジュール		○	○	○	通知設定：通知しない、スケジュール音：アラーム 1、音量：3、バイブ：OFF、鳴動時間：30 秒	13-19
セキュリティ	91	S ダイヤルロック		○	○	○	OFF	11-14
	92	暗証番号変更		○	○	○	0000	11-11
	93	メモリ使用状況 / 全削除		○	○	○	–	13-88
	94	リモートロック		○	○	×	許可パスワード登録：–、サブアドレス起動：OFF、ライトメール起動：OFF	11-16
	95	リセット		○	○	○	–	11-33
	96	オートダイヤルロック		○	○	○	OFF	11-15
	97	ロック設定		○	○	○	すべて OFF	11-22
	98	管理者パスワード変更		○	○	○	0000	11-25
	99	管理者ロック※		○	×	×	OFF（先頭一致発信許可：未登録）	11-24

○：機能を使うことができます。
×：機能を使うことができません。

※ USB 制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

お知らせ

● メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で MENU に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信BOX」の数字は「11」なので、MENU 1 1 を押すことで表示することができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときのオフィス番号、自分の名前、フリガナ、Eメールアドレス、および住所などを記録するメモを表示できます。このうち公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス以外はユーザが登録します。

プロフィールを登録する

1 待ち受け画面で MENU 0 を押す

2 MAIL（編集）を押す

3 ▲▼ で入力する項目を選択し、● を押す

名：名前を入力します。
カナ：フリガナを入力します。
@～@：メールアドレスを入力します。
メモ：住所などのメモを入力します。

次の項目が入力・設定できます。

▶ 名 カナ 名前とフリガナを入力する
（☞同じページ内です。）

▶ @ メールアドレスを入力する
（☞ 13-6ページ）

▶ メモを入力する（☞ 13-6ページ）

4 必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を入力・設定する

5 MAIL（登録）を押す

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 「☎」には、本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- 「OFFICE」には、「オフィス番号選択」で選択したオフィス番号が表示されます。
- 「@」には、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。
- 公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスは、グレー表示されており編集できません。

■名前とフリガナを入力する

1 名前を入力する

全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角32文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 ● を押す

入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

▶ **フリガナを修正するには**

◀▶ で修正した箇所にカーソルを移動し、クリア で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

3 ● を押す

■メールアドレスを入力する

メールアドレスを最大3件まで入力できます。また、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」(☞7-19ページ)

1 アドレスを入力する

2 [•] を押す

3 [1] ～ [5] のいずれかを押してアドレス種別を選択する

1件登録されると2件目のアドレス入力項目にカーソルが移動します。最大3件まで続けて登録できます。

■メモを入力する

住所などをメモとしてプロフィールに入力できます。

1 メモを入力する

全角50文字(半角100文字)まで入力できます。「文字を入力する」(☞7-19ページ)

2 [•] を押す

プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [0] を押す

2 [◀▶] で表示したいアイコンを選択する

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

- ☎：本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- OFFICE：オフィス番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。
- @：オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。
- @～@：メールアドレスが表示されます。メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。
- ✎：メモが表示されます。[•]（確認）を押すと、メモの全文が表示されます。メモが未登録の場合はアイコンは表示されません。

お知らせ

- 「国際ローミング」が設定されている場合、「電話番号」は「国際ローミング情報」の設定番号が表示され、アイコンの最後に「🕒」（登録日時）が表示されます。「国際ローミング情報」の設定番号が未登録の場合、「🕒」は表示されません。「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」（☞13-91ページ）
- 国際ローミングの電話番号を表示しているとき、[•]（国内）を押すと、国内の電話番号が表示されます。[•](RM)を押すと、国際ローミングの電話番号の表示に戻ります。

USBで充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。
USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

USB充電を設定する

1 待ち受け画面で [MENU] [8] [7] を押す

2 [1] ～ [3] のいずれかを押す

▶ [1]（高速）を押すと

USB充電が高速に設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ [2]（低速）を押すと

USB充電が低速に設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ [3]（OFF）を押すと

USB充電が「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「高速」に設定されています。
- 充電時間は、「高速」の場合約3時間、「低速」の場合約20時間です。
  本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費します。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。「パソコンと接続する」（☞ 10-2ページ）
パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。「データ通信用ソフトをインストールする」（☞ 10-4ページ）

1 本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

「USB充電」が「高速」の場合は「 」が、「低速」の場合は「 」が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると「 」「 」は消えます。

お知らせ

- USB接続後、本電話機とパソコンが相互に認識されると「 」が表示され、「データ通信ON　USB充電は　高速（低速/OFF）です」と表示されます。「 」が表示されない場合でも「 」または「 」が表示されていれば充電は行われています。
- 電池パックを外した状態で本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、画面に「 」または「 」が点灯した後「 」が点灯し、再度「 」または「 」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。

日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは6種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 2 を押す

2 2（日時表示設定）を押す

3 1 ～ 7 のいずれかを押す

▶ **1（大（日本語））を押すと**

日付が日本語表示になり、時刻が大きく表示されます。

▶ **2（大（英語））を押すと**

日付が英語表示になり、時刻が大きく表示されます。

▶ **3（中（日本語））を押すと**

日付が日本語表示になり、時刻が小さく表示されます。

▶ **4（中（英語））を押すと**

日付が英語表示になり、時刻が小さく表示されます。

▶ **5（小（日本語））を押すと**

日付が日本語で表示されます。

▶ **6（小（英語））を押すと**

日付が英語で表示されます。

▶ **7（OFF）を押すと**

日時は表示されません。

選択した画面パターンがプレビュー表示されます。

▶ **プレビュー表示された画面パターンを変更するには**

文字 で前のパターン、A/a で次のパターンが表示されます。

4 ◀▲▼▶ で画面パターンの表示位置を指定する

表示可能な領域内であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置を画面の最下部に移動すると、ガイダンス表示の後ろに表示されます。
◀▲▼▶ 短く押す：2dotずつ移動
◀▲▼▶ 約1秒以上押す：10dotずつ移動

5 WEB（色）で表示色を選択する

表示色は10色用意されています。WEB（色）を押すごとに表示色が変化しますので、お好みの色が選択できます。

▶ **表示位置と色を元に戻すには**

MAIL（リセット）を押します。表示位置は画面中央、色は「白」に戻ります。

6 ● を押す

日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、画面パターンは「大（日本語）」、表示位置は画面中央、色は「白」に設定されています。
- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。
- 表示位置を決定する前に着信などの割り込みが入ると、割り込み終了後、待ち受け画面に戻ります。最初から設定してください。

日時自動補正を設定する

日時自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

1 待ち受け画面で MENU 5 2 を押す

2 3（日時自動補正）を押す

3 1（ON）を押す

日時自動補正が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **日時自動補正を解除するには**

日時自動補正設定時に 2（OFF）を押します。

日時自動補正が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- ネットワーク側と本電話機の時刻に約30秒以上のずれがあると自動補正されます。
- 音声通話やPIAFSによる通信時には自動補正されません。

画面の配色を設定する

ディスプレイの背景色などのパターンを選択できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 を押す

2 2（画面配色）を押す

3 1 ～ 4 のいずれかを押す

画面配色には4つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれの画面配色のパターンを確認できます。

1 ～ 4 のいずれかを押すと画面配色が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「Modern」に設定されています。

カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。「スケジュール機能を利用する」（☞13-19ページ）

1 待ち受け画面で MENU 5 3 を押す

2 3（カレンダー設定）を押す

3 ▲▼でパターンを選択する

カレンダーには10パターンがあり、▲▼または A/a、文字 でパターンを切り替えることができます。

▶ **パターンを一覧表示するには**

WEB（一覧）を押すと、パターンの一覧が表示されます。0 ～ 9 のいずれかを押すと選択したカレンダーのパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。この場合、手順4に進む必要はありません。

4 ● を押す

カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 待ち受け画面に壁紙が設定されているときは、壁紙の上にカレンダーが表示されます。「画像データを壁紙に設定する」（☞13-57ページ）

バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル1」の明るさになります。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 1（明るさ）を押す

3 1 ～ 4 のいずれかを押す

明るさには4つのパターンがあります。▲▼ でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。

1 ～ 4 のいずれかを押すと明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「レベル3」に設定されています。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 2（点灯時間）を押す

3 0 ～ 9 で点灯時間を入力する

5秒～ 59秒までで入力できます。◀▶ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

4 ● を押す

点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 3（消灯時間）を押す

3 1 ～ 3 のいずれかを押して消灯時間を選択する

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「60秒後」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。「ON」に設定すると、通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル1」の明るさで点灯し続けます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 4（通話中点灯）を押す

3 1（ON）を押す

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **通話中点灯を解除するには**

通話中点灯設定時に 2（OFF）を押します。通話中点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

キーライト点灯を設定する

キーライト（ボタンのバックライト）点灯の設定ができます。「ON」に設定すると、本電話機の動作時にキーライトが点灯します。本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 5（キーライト点灯）を押す

3 1（ON）を押す

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **キーライト点灯を解除するには**

キーライト点灯設定時に 2（OFF）を押します。キーライト点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

卓上充電器での充電中の点灯を設定する

卓上充電器で充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。「ON」に設定すると、本電話機を卓上充電器に置いてもバックライトはレベル1の明るさで点灯を続けます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2 6（卓上充電器充電中点灯）を押す

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

卓上充電器での充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- バックライトを消灯した状態で卓上充電器に置いた場合は、点灯しません。

キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」
（☞ 11-13ページ）

1　待ち受け画面で MENU 5 3 4 を押す

2　7（キーロック中点灯）を押す

3　1 ～ 3 のいずれかを押す

キーロック中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **1（全てのキー）を押すと**

キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル１の明るさで点灯します。

▶ **2（電源キーのみ）を押すと**

キーロック中、消灯しているときに 電源 を押すとレベル１の明るさで点灯します。

▶ **3（OFF）を押すと**

キーロック中はどのキーを押しても点灯しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電源キーのみ」に設定されています。

着信ランプを設定する

イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、目覚まし、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション（点滅パターン）を設定できます。

1　待ち受け画面で MENU 5 3 5 を押す

2　1（イルミネーション）を押す

3　1 ～ 5 のいずれかを押す

▶ **1（電話着信）を押すと**

電話着信時のイルミネーションが設定されます。

▶ **2（メール着信）を押すと**

メール着信時のイルミネーションが設定されます。

▶ **3（スケジュール）を押すと**

スケジュールの通知時のイルミネーションが設定されます。

▶ **4（目覚まし）を押すと**

目覚まし鳴動時のイルミネーションが設定されます。

▶ **5（通話中）を押すと**

通話時のイルミネーションが設定されます。

4　1 ～ 4 のいずれかを押す

点滅周期には３つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

5　1 ～ 8 のいずれかを押す

色には8つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。
1 ～ 8 のいずれかを押すとイルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。
  電話着信　　：パターン１、アジュール
  メール着信　：パターン２、ミント
  スケジュール：パターン３、シャンパン
  目覚まし　　：パターン３、カナリア
  通話中　　　：OFF

リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 5 を押す

2 2（リマインダー）を押す

3 1 ～ 3 のいずれかを押す

点滅周期には3つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

4 1 ～ 8 のいずれかを押す

色には8つのパターンがあります。▲▼でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。
1 ～ 8 のいずれかを押すとリマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 点滅中の着信ランプを消すには

ボタンを何か1つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、クリア/マナー を押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、Sダイヤルロック中も着信ランプが消えません。
「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞11-13ページ）
「ダイヤルをロックする（Sダイヤルロック）」（☞11-14ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン1」で「カラフル」に設定されています。

省電力モードを設定する

電池パックの消費を抑えるために画面の消費電力等を節約するように設定できます。

省電力モードを設定する

省電力モードを「ON」に設定すると、消費電力が節約されます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 を押す

2 6（省電力設定）を押す

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

▶ 1（ON）を押すと

省電力モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 2（OFF）を押すと

省電力モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 省電力モードの設定内容は変更できます。「省電力モードの内容を変更する」（☞13-14ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。「バックライトを設定する」（☞13-10ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、画面が消灯時、ポインティング設定を「ON」に設定していても、ポインティング動作はしません。一度、ボタンを何か押すと、画面が点灯してポインティング動作が行えるようになります。「ポインティングに使用するかどうか設定する」（☞13-50ページ）

省電力モードの内容を変更する

省電力モードが「ON」のときの、日時表示、バックライトの明るさ、点灯時間、消灯時間、通話中点灯、キーライト点灯、リマインダーを設定します。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 6 を押す

2 で「ON」を選択する

3 MAIL（編集）を押す

4 1 ～ 7 のいずれかを押し、設定を行う

次の項目が設定できます。

- ▶ **1（日時表示設定）**
  「日時表示を設定する」（☞13-8ページ）
- ▶ **2（明るさ）**
  「明るさを設定する」（☞13-10ページ）
- ▶ **3（点灯時間）**
  「点灯時間を設定する」（☞13-10ページ）
- ▶ **4（消灯時間）**
  「消灯時間を設定する」（☞13-10ページ）
- ▶ **5（通話中点灯）**
  「通話中点灯を設定する」（☞13-11ページ）
- ▶ **6（キーライト点灯）**
  「キーライト点灯を設定する」（☞13-11ページ）
- ▶ **7（リマインダー）**
  「リマインダーを設定する」（☞13-13ページ）

5 必要に応じて手順４を繰り返し、各項目を設定する

6 MAIL（登録）を押す

省電力モードの内容が設定され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「日時表示設定」は「OFF」、「明るさ」は「レベル1」、「点灯時間」は「5秒」、「消灯時間」は「60秒」、「通話中点灯」は「OFF」、「キーライト点灯」は「OFF」、「リマインダー」は「OFF」に設定されています。

イヤホン自動応答を設定する

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクで自動的に電話を受け取ることができるように設定できます。本機能を「ON」に設定すると、着信音が約５秒鳴った後に、イヤホンマイクで自動的に電話を受けることができます。

1 待ち受け画面で MENU 5 6 を押す

2 6（イヤホン自動応答）を押す

3 1（ON）を押す

イヤホン自動応答が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **イヤホン自動応答を解除するには**

イヤホン自動応答設定時に 2（OFF）を押します。イヤホン自動応答が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 「留守録音設定」が0～5秒に設定されている場合は、「留守録音設定」が優先されます。
- 本機能を「ON」に設定していても、着信時にイヤホンマイクを装着した場合は、自動応答しません。
- 本機能を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合、イヤホンマイクによる通話はできません。
- 本機能を「ON」に設定していると、着信時にイヤホンマイクを抜いても自動応答します。
- 着信音はスピーカから聞こえます。イヤホンからは聞こえません。
- スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

サブアドレスを設定する

ISDN回線は、1本の回線に複数の端末を接続できるため、端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルした後、[*]を押してサブアドレスをダイヤルすると、希望する端末だけを呼び出せます。
ISDN端末のサブアドレスにダイヤルする場合、本機能を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [6] を押す

2 [7]（サブアドレス）を押す

3 [1]（ON）を押す

サブアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **サブアドレス設定を解除するには**

サブアドレス設定時に [2]（OFF）を押します。サブアドレス設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定すると、電話番号＋[*]に続く番号をサブアドレス情報として発信します。「OFF」に設定すると、電話番号＋[*]＋番号を電話番号情報として発信します。
- サブアドレスは、「公衆モード」および「オフィスモード」で有効です。「グループモード」および「転送モード」では利用できません。
- 「オフィスモード」時、[☎]のあとに電話番号をダイヤルして電話をかけると、[*]＋サブアドレスを電話番号として発信します。この場合、ご希望の端末に直接電話をかけることはできません。
- 「オフィスモード」時、オフィスシステム（PBX）によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンサーを設定する

電話がかかってきたときに、☎以外のボタンを押しても電話に出られるように設定できます。
本機能を設定すると、文字、クリア、A/a、MENU、0～9、*、#、↳、↲、◂、▸を押しても電話に出られるようになります。

1 待ち受け画面で MENU 5 6 を押す

2 5（エニーキーアンサー）を押す

3 1（ON）を押す

エニーキーアンサーが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ エニーキーアンサー設定を解除するには

エニーキーアンサー設定時に 2（OFF）を押します。エニーキーアンサー設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定しても、MAIL、WEB、▭、☎では電話に出られません。

英語表示にする

各機能の表示を英語表示に設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 5 3 を押す

2 7（言語選択）を押す

3 2（英語－English）を押す

英語表示に設定され、「Set」と表示されます。

▶ 英語表示を解除するには

言語選択設定時に 1（日本語－Japanese）を押します。日本語表示に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本語－Japanese」に設定されています。

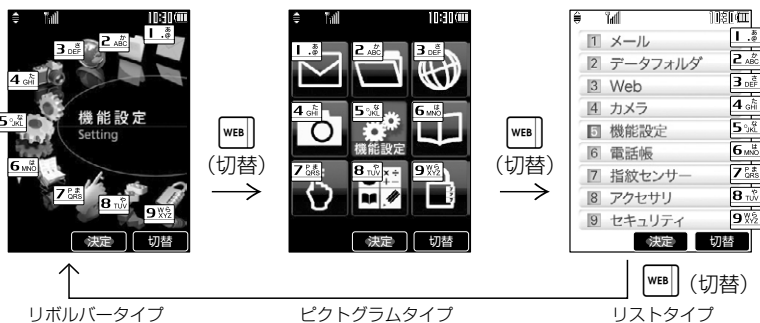
メインメニュー画面を変更する

メインメニュー画面を切り替える

メインメニュー画面の３パターンのデザインを切り替えることができます。

1 待ち受け画面で MENU を押す

2 WEB（切替）を押す

WEB（切替）を押すごとに、メインメニュー画面のデザインが切り替わります。

図で示した 1 ～ 9 の番号に対応する項目は、下記のとおりです。

番号	項目
1	メール
2	データフォルダ
3	Web
4	カメラ
5	機能設定
6	電話帳
7	指紋センサー
8	アクセサリ
9	セキュリティ

お知らせ

- お買い上げ時には、リボルバータイプに設定されています。
- リストタイプの色は、「画面配色」が「Modern」または「Living room」のときは白、「Rose」または「Metal」のときは黒になります。「画面の配色を設定する」（☞13-9ページ）
- メインメニューは MENU または [•] で表示しますが、本書の説明では MENU のみの表記で統一しています。

スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

1 待ち受け画面で［キー］または［MENU］［8］［＊］を押す

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3 件を超える場合でも3個しか表示されません。
カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。

2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

［右］：翌日に移動します。
［左］：前日に移動します。
［キー］：前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。
［キー］：翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。
［文字］：前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。
［A/a］：翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

▶ スケジュールの内容を表示するには

「スケジュールの内容を表示する」（☞13-24ページ）

お知らせ

- カーソルを移動するボタンを約1秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは2000年01月01日から2099年12月31日まで表示されます。
- 祝日データは2000年から2020年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー設定」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入りのカレンダーを表示することができます。「カレンダーを設定する」(☞13-9ページ)

指定した日や今日にジャンプする

カレンダー画面から指定の年月日やその日にカーソルを移動することができます。

1 カレンダー画面で［WEB］（メニュー）を押す

2 サブメニューで［3］（日付ジャンプ）を押す

3 ［0］～［9］で移動先の年月日を入力する

［◀▶］で、入力したい箇所にカーソルを移動できます。

▶ 今日にジャンプするときは

［WEB］（今日）を押します。

4 ［●］を押す

指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。カーソルは、指定した日に移動します。

スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大1,000件までスケジュールを登録できます。カレンダーの日付は2000年01月01日から2099年12月31日まで選択できます。

スケジュールを登録する

1 カレンダー画面で登録したい日にカーソルを移動する

「カレンダーを表示する」(☞13-19ページ)

2 ［MAIL］（新規）を押す

3 ［▲▼］で入力する項目を選択し、［●］を押す

次の項目が入力・設定できます。

▶ 日時を入力する**（☞13-21ページ）**

▶ 場所を入力する**（☞13-21ページ）**

▶ 内容を入力する**（☞13-21ページ）**

▶ 通知設定を入力する**（☞13-21ページ）**

4 必要に応じて手順4を繰り返し、各項目を入力・設定する

5 ［MAIL］（登録）を押す

スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

■日時を入力する

用件の日付、開始時刻、終了時刻を入力することができます。

1 0～9で「日付」を入力する

「日付」には選択した日付がセットされています。必要に応じて変更します。◀▶で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

2 ▲▼でカーソルを「開始時刻」に移動する

3 0～9で「開始時刻」を入力する

00:00から23:59までで入力します。◀▶で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

4 ●を押す

5 0～9で「終了時刻」を入力する

開始時刻と同じか、それ以降の時間を入力します。日をまたがる時刻設定はできません。

▶「終日」に設定するには

WEB（終日）を押します。

6 ●を押す

■場所を入力する

用件の場所を入力することができます。

1 場所を入力する

全角27文字（半角54文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 ●を押す

■内容を入力する

用件の内容を入力することができます。

1 内容を入力する

全角45文字（半角90文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞7-19ページ）

2 ●を押す

■通知設定を入力する

スケジュールを通知するように設定できます。通知するよう設定すると、スケジュールの一覧画面に「🔔」が表示されます。

1 1～3のいずれかを押す

▶ **1（通知する）を押すと**

スケジュールの開始時刻になったら通知します。

▶ **2（事前通知する）を押すと**

「事前通知」画面が表示されるので、事前に通知する時間を5分から99分までの間で1分単位で入力し、●を押します。◀▶で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

▶ **3（通知しない）を押すと**

スケジュール通知は行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」は「通知しない」に設定されています。
- お買い上げ時には、「事前通知」の時間は「5分前」に設定されています。
- 通知時刻になると、該当するスケジュールが画面に表示されます。スケジュール音やバイブレータを設定すると、音やバイブレータでも知ることができます。「スケジュール音を設定する」(☞同じページ内です。)
- スケジュールを登録するには、あらかじめ本電話機の日時を設定しておきます。「日時を設定する」(☞1-22ページ)
- スケジュールが1,000件登録されていると、新規登録はできません。
- スケジュール登録中に、電話着信、目覚まし、およびスケジュールの割り込みがあったときは、各機能終了後、スケジュール登録中の画面に戻ります。引き続き文字入力が行えます。

スケジュール音を設定する

スケジュールを通知するときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりすることができます。

1 カレンダー画面で [WEB]（メニュー）を押す

2 [4]（スケジュール音設定）を押す

「カレンダーを表示する」(☞13-19ページ)

3 [1] ～ [4] で設定したい項目を選択し、入力・設定する

次の項目が入力・設定できます。

- ▶ **[1]（スケジュール音）(☞同じページ内です。)**
- ▶ **[2]（音量）(☞13-23ページ)**
- ▶ **[3]（バイブ）(☞13-23ページ)**
- ▶ **[4]（鳴動時間）(☞13-23ページ)**

■ [1]（スケジュール音）

スケジュールを通知するときのサウンドを設定できます。

1 [1] ～ [3] のいずれかを押す

▶ [1]（固定サウンド）を押すと

固定サウンドの中からスケジュール音を選択します。
[▲▼] でスケジュール音を選択し、[●] を押します。
スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ [2]（データフォルダ）を押すと

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。
「全データ表示」「サウンドデータ」「録音データ」「ユーザデータ」または「その他データ」を選択します。[▲▼] でスケジュール音を選択し、[●] を押します。
スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ [3]（microSD）を押すと

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていなければ、この項目は選択できません。
「サウンドデータ」「録音データ」「PCデータ」「ユーザデータ」「その他データ」または「著作権ありデータ」を選択します。[▲▼] でスケジュール音を選択し、[●] を押します。

「本体へコピーし設定します よろしいですか？」と表示されるので、[▲]で「Yes」を選択して[●]を押します。「コピー中 microSDを抜かないで下さい」と表示されてサウンドデータがデータフォルダにコピーされます。コピー終了後、スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **メロディを聞くには**

[▲▼]でメロディを選択して[MAIL]（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、[A/a MY]で次のメロディ、[文字 IC REC]で前のメロディを再生します。再生を終了するには、[MAIL]（停止）または[クリア マナー]を押します。

▶ **音量を調節するには**

メロディ再生中に、[▲▼]で音量の調節ができます。

■ [2 ABC]（音量）

スケジュールを通知するときの音量を設定できます。

1 [MAIL]（再生）を押す

スケジュール音が再生されます。再生を停止するときは、[MAIL]（停止）を押します。

2 [▲▼]で音量を選択し、[●]を押す

音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

■ [3 DEF]（バイブ）

スケジュールを通知するときのバイブレータのパターンを設定できます。
バイブレータには6つのパターンがあります。

1 [1]～[7 PQRS]のいずれかを押す

パターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **バイブパターンを確認するには**

[▲▼]でパターンを選択すると、そのバイブパターンを確認できます。

■ [4 GHI]（鳴動時間）

スケジュールを通知するときの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。

1 [0]～[9 WXYZ]で鳴動時間を入力する

1秒～60秒までの間で1秒単位で入力できます。[◀▶]で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

2 [●]を押す

鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」の「スケジュール音」は「アラーム1」、「音量」は「Vol.3」、「バイブ」は「OFF」、「鳴動時間」は「30秒」に設定されています。
- 「通知設定」で、「通知する」のときは開始時刻に、「事前通知する」のときは通知設定時刻になると、画面にスケジュールが表示されます。「通知されたスケジュールの内容を確認する」（☞13-25ページ）
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にスケジュールが通知されます。

休日を設定する

スケジュールのカレンダーで任意の日を選択し、休日として設定できます。土日も選択できます。上限はありません。

1 カレンダー画面で、休日を設定する日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[5]（休日設定）を押す

選択した日付が休日に設定され、「設定しました」と表示されます。

休日設定された日付は赤色で表示されます。

▶ 休日設定を解除するには

休日設定された日付にカーソルを合わせて[WEB]（メニュー）を押し、[5]（休日設定解除）を押します。休日設定が解除され、「解除しました」と表示されます。休日設定が解除されると、日付の色は元の色に戻ります。

スケジュールの内容を表示する

スケジュールは、1ヶ月のカレンダー上で表示するだけでなく、1日ごとや1週間ごとの一覧、全スケジュールの一覧を表示することができます。通知されたスケジュールを確認したり、登録件数を確認することもできます。

1日分のスケジュールを表示する

1 カレンダー画面で、スケジュールを表示する日付にカーソルを移動する

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [●]を押す

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

▶ 一日に7件以上のスケジュールがあるときは

[文字]で前ページが、[A/a]で次ページが表示されます。

3 [▲▼]でスケジュールを選択し、[●]（詳細）を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

お知らせ

- スケジュールの一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- スケジュールの一覧画面では、[▶]で翌日の、[◀]で前日のスケジュールが表示されます。

1週間分のスケジュールを表示する

1 カレンダー画面で、スケジュールを表示する週にカーソルを移動する

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[1]（週間スケジュール）を押す

その週（日曜日から土曜日まで）のスケジュール一覧が表示されます。

▶ 一日に7件以上のスケジュールがあるときは

[文字]で前ページが、[A/a]で次ページが表示されます。

3 でスケジュールを選択し、（詳細）を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

お知らせ

- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- 週間スケジュール一覧では、で次の週の、で前の週のスケジュールが表示されます。

全スケジュールを表示する

登録されているスケジュールをすべて表示することができます。

1 カレンダー画面で（メニュー）を押す

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 サブメニューで（スケジュール一覧）を押す

カレンダーのカーソル位置以降で直近のスケジュールを先頭に、スケジュールの一覧が表示されます。

▶ 7件以上のスケジュールがあるときは

で前ページが、で次ページが表示されます。

3 でスケジュールを選択し、（詳細）を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

通知されたスケジュールの内容を確認する

スケジュールの「通知設定」が「通知する」または「事前通知する」の場合、通知の時刻になるとバックライトが点灯し、スケジュールの詳細画面が表示され、設定に応じてスケジュール音やバイブレータが鳴動し、着信ランプのイルミネーションが点灯します。「イルミネーションを設定する」（☞13-12ページ）

1 スケジュールが通知される

音とバイブレータを途中で停止するには、ボタンを何か1つ押します。

2 スケジュールを確認したら、またはを押す

■未確認のスケジュールの内容を表示する

スケジュールが通知されたあとまたはを押さずに約30秒経過した場合などは、待ち受け画面に「スケジュール　○○件」と未確認のスケジュール件数が表示され、画面上部に「」が表示されます。
未確認のスケジュールは次の手順で内容を確認することができます。

1 待ち受け画面でを押す

未確認のスケジュールのうち、一番日付の古いスケジュールの一覧画面が表示され、スケジュールの内容を確認できます。

2 を押す

カレンダーが表示されます。

▶ 未確認スケジュールが複数あるときは

で次の未確認スケジュールの一覧画面が表示されます。

3 [クリア/マナー] を押す

待ち受け画面に戻ります。未確認スケジュールが残っている場合は、「スケジュール　○○件」と「 [アイコン] 」が表示されるので、手順1、2を繰り返して未確認スケジュールを確認してください。

お知らせ

- 通知設定の日時が同じで開始時刻が同じ場合、終了時刻の早いほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 通知設定の日時が同じで開始・終了時刻が同じ場合、後で登録したほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。

登録件数を確認する

1 カレンダー画面で [WEB]（メニュー）を押す

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [6]（登録件数確認）を押す

スケジュール登録件数が表示されます。[クリア/マナー] でカレンダー画面に戻ります。

スケジュールの内容を変更する

登録されたスケジュールの内容を変更できます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たなスケジュールを作成することもできます。

1 カレンダー画面で、変更するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [●] を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 [▲▼] で変更するスケジュールを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [1]（編集）を押す

▶ [2]（コピー＆編集）を押すと

コピーされたスケジュールが表示されるので、必要に応じて各項目を編集して [MAIL]（登録）で登録します。

5 [▲▼] で変更する項目を選択し、[●] を押す

6 内容を編集し、[●] を押す

7 [MAIL]（登録）を押す

スケジュールが変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順3、4の代わりに、[▲▼] で変更するスケジュールを選択して [●] を押し、[MAIL]（編集）を押して変更することもできます。

スケジュールを削除する

登録したスケジュールを削除できます。

1件だけ削除する

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(☞13-19ページ)

2 [−] を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 [▲▼] で削除するスケジュールを選択し、[WEB](メニュー)を押す

4 [3](一件削除)を押す

「削除しますか?」と表示されます。

5 [▲] で「Yes」を選択し、[−] を押す

スケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

スケジュールを選択して削除する

一日のスケジュールから選択したものだけを削除することができます

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(☞13-19ページ)

2 [−] を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 [WEB](メニュー)を押す

4 [4](選択削除)を押す

5 削除するスケジュールを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

[▲▼] で削除するスケジュールを選択し、[−](チェック)を押します。スケジュールの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [−](チェック)を押します。

▶ 全件選択するには

[WEB](メニュー)を押し、サブメニューで [1](全件選択)を押します。すべてのスケジュールの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB](メニュー)を押し、サブメニューで [2](全件解除)を押します。

6 [MAIL](削除)を押す

「選択されたスケジュールを削除しますか?」と表示されます。

7 [▲] で「Yes」を選択し、[−] を押す

選択したスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

当日のスケジュールを全件削除する

当日1日分のスケジュールを削除できます。

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [●]を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[5]（当日全件削除）を押す

「当日のスケジュールを全件削除しますか？」と表示されます。

4 [↕]で「Yes」を選択し、[●]を押す

当日のスケジュール全件が削除され、「削除されました」と表示されます。

お知らせ

- 週間スケジュール一覧の場合は、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[5]（今週全件削除）を押すと、1週間分のスケジュールが全件削除されます。「1週間分のスケジュールを表示する」（☞13-24ページ）

前日までのスケジュールを全件削除する

前日までのスケジュールを全件削除できます。

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[7]（前日まで削除）を押す

「前日までのスケジュールを全件削除しますか？」と表示されます。

3 [↕]で「Yes」を選択し、[●]を押す

前日までのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、前日までのスケジュールを削除することができます。全スケジュール一覧でスケジュールを選択し、[WEB]（メニュー）を押してサブメニューで[5]（前日まで削除）を押します。
- 前日までのスケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞13-24ページ）

スケジュールを全件削除する

登録したスケジュールを全件削除することができます。

1 カレンダー画面で［WEB］（メニュー）を押す

「カレンダーを表示する」（☞13-19ページ）

2 ［8］（全件削除）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

4 ［↓］で「Yes」を選択し、［●］を押す

すべてのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、全件削除ができます。全スケジュール一覧で［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューで［6］（全件削除）を押します。
- スケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞13-24ページ）

目覚ましを利用する

指定した日時に目覚ましを鳴らすことができます。目覚ましが鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。「イルミネーションを設定する」（☞13-12ページ） 目覚ましを止めても約5分後に再び鳴らすスヌーズ機能もあります。目覚ましは3件登録できます。

1 待ち受け画面で MENU 8 2 を押す

2 WEB（ON/OFF）で「 」に切り替えて、● を押す

1 ～ 3 のいずれかで、登録する場所を設定できます。

3 1 ～ 7 のいずれかを押し、設定を行う

どの項目からでも設定できます。
次の項目が設定できます。

- ▶ 1（時刻）（☞同じページ内です。）
- ▶ 2（曜日設定）（☞同じページ内です。）
- ▶ 3（目覚まし音）（☞13-31ページ）
- ▶ 4（音量）（☞13-31ページ）
- ▶ 5（バイブ）（☞13-32ページ）
- ▶ 6（鳴動時間）（☞13-32ページ）
- ▶ 7（スヌーズ）（☞13-32ページ）

4 必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を設定する

5 MAIL（登録）を押す

目覚ましが登録され、「登録しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

▶ 目覚ましが鳴ったときに音を止めるには

いずれかのボタンを何か1つ押します。目覚ましの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

■ 1（時刻）

目覚ましを鳴らす時刻を設定できます。

1 0 ～ 9 で時刻を入力し、● を押す

00:00～23:59までで入力できます。
◀▶ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

■ 2（曜日設定）

目覚ましを鳴らす曜日を設定できます。

1 2（曜日指定）を押す

▶ 一度だけ目覚ましを鳴らすには

1（一度きり）を押します。曜日には関係なく、一度だけ動作する設定になります。ただし、目覚ましを設定した時刻に、本電話機の電源を切っていたときは、目覚ましは鳴りません。再び電源を入れたときには、目覚ましの設定は「ON」になっています。

2 ▲▼ で曜日を選択し、●（選択）を押す

選択した曜日に「☑」が表示されます。

3 MAIL（完了）を押す

■ 3 （目覚まし音）

目覚ましの音を設定できます。

1 1 ～ 3 のいずれかを押す

▶ **1（固定サウンド）を押すと**

固定サウンドの中から目覚まし音を選択します。 で目覚まし音を選択し、 を押します。

▶ **2（データフォルダ）を押すと**

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。「全データ表示」「サウンドデータ」「録音データ」「ユーザデータ」または「その他データ」を選択します。 で目覚まし音を選択し、 を押します。

▶ **3（microSD）を押すと**

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていなければ、この項目は選択できません。
「サウンドデータ」「録音データ」「PCデータ」「ユーザデータ」「その他データ」または「著作権ありデータ」を選択します。 で目覚まし音を選択し、 を押します。
「本体へコピーし設定します よろしいですか？」と表示されるので、 で「Yes」を選択し、 を押します。「コピー中　microSDを抜かないで下さい」と表示されてサウンドデータがデータフォルダにコピーされます。

▶ **メロディを聞くには**

 でメロディを選択して （再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、 で次のメロディ、 で前のメロディを再生します。再生を終了するには、 （停止）または を押します。

▶ **音量を調節するには**

メロディ再生中に、 で音量の調節ができます。

■ 4 （音量）

目覚ましの音量を設定できます。

1 で音量のレベルを選択する

：音量レベルが上がります。
：音量レベルが下がります。
STEP ▲：音量レベルが「Vol.1」から「Vol.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「Vol.5」の音量が継続されます。
STEP ▼：音量レベルが「Vol.5」から「Vol.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「Vol.1」の音量が継続されます。

▶ **音量を確認するには**

（再生）を押すと、設定したメロディが選択中の音量で再生されます。再生を停止するには、 （停止）を押します。

2 を押す

■ 5（バイブ）

目覚ましのバイブレータのパターンを設定できます。バイブレータには6つのパターンがあります。

1 1 ～ 7 のいずれかを押す

でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

▶ 6（バイブ後サウンド鳴動）を押すと

目覚ましの設定時刻にバイブレータが動作し、約10秒後に目覚まし音も鳴ります。

▶ バイブレータの設定を解除するには

バイブレータ設定時に、7（OFF）を押します。

■ 6（鳴動時間）

目覚ましの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。

1 0 ～ 9 で鳴動時間を入力し、 を押す

1秒～60秒まででで入力できます。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。鳴動時間が設定されます。

■ 7（スヌーズ）

設定した時間に目覚ましが鳴ったあと、約5分間隔で5回まで目覚ましを鳴らすことができます。

1 1（ON）を押す

▶ スヌーズの設定を解除するには

スヌーズ設定時に、2（OFF）を押します。

▶ 目覚ましが鳴ったあとに音や振動を止めるには

スヌーズ中の目覚まし音や振動は、いずれかのボタンを何か1つ押すと一時的に止められます。 または を押すと、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押すと、スヌーズが解除され、目覚まし音の繰り返しが停止します。

お知らせ

- お買い上げ時には､「時刻」は「0:00」､「曜日設定」は「一度きり」､「目覚まし音」は「アラーム2」､「音量」は「Vol.3」、「バイブ」は「パターン3」、「鳴動時間」は「30秒」、「スヌーズ」は「OFF」に設定されています。
- マナーモードやオートサイレントモードを設定しているときは、それらのモードが有効になります。
- 目覚ましを2件以上設定していて、設定時刻が重なるときは、設定時刻の遅いほうが優先されます。先に鳴っていた目覚ましは、次の目覚ましが鳴った時点で、スヌーズも含めて停止します。3件の目覚ましの設定時刻が同時のときは、「目覚まし1」が優先されます。
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後に目覚まし音が作動します。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 1 を押す

2 各ボタンで計算式を入力する

各ボタンの機能は次のとおりです。

0 ～ 9 ： 0～9（数字）
↑ ： ＋（足し算）
↓ ： －（引き算）
◀ ： ×（掛け算）
▶ ： ÷（割り算）
● ： ＝（合計）
MAIL ： 戻る（電卓を終了して元の画面に戻ります。数字入力中はボタンは「AC」（オールクリア）になります。）
WEB ： ・（小数点）
文字 ： 1/X（逆数切り替え）
A/a ： +/-（＋／－切り替え）
クリア ： CLR（クリア）

3 ●（＝）を押す

計算結果が表示されます。

お知らせ

- WEB（・）を押したあと、小数点以下を入力する前に、◀↑↓▶を操作したときは、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が11桁以上になったときは、「ERROR」と表示され、計算できません。
- 計算中に、メールを受信したときや、スケジュールのアラーム時刻になったときなどは、それぞれの動作が優先され、計算は中止されます。

ICレコーダを利用する

音声の録音や再生ができます。また、録音した音声データをEメールに添付できます。

音声を録音する

音声データの保存先は、本電話機のデータフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。

1 待ち受け画面で [MENU] [8] [3] または [文字/IC REC] を押す

2 [1] または [2] を押す

▶ **[1]（録音　本体保存）を押すと**

音声データを本電話機のデータフォルダに保存します。

▶ **[2]（録音　microSD保存）を押すと**

音声データをmicroSDカードに保存します。microSDカードを装着していないと、この項目は選択できません。microSDカード挿入時に画面に「SD」が表示されます。

3 [●]（[●]）を押す

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。画面には、録音時間と録音可能時間が「時間：分：秒」の形式で表示されます。

▶ **録音を中止するには**

[クリア/マナー] または [☎] を押すと、「録音を中止しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して [●] を押します。

4 [●]（[■]）を押す

録音停止音が鳴り、録音が停止します。保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、音声データが保存されます。

お知らせ

- オートサイレントモードまたはマナーモードのときは、録音開始音、録音停止音は鳴りません。
- 音声データの名前は、録音時の年月日時分となります。例えば、2007年1月23日4時56分の録音であれば、データ名は「0701230456」になります。
- 保存先をmicroSDカードに設定しているとき、音声を録音している途中でmicroSDカードを抜くと、途中までの音声データがmicroSDカードに保存されます。
- 「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順2のあとに「録音機能に入ると圏外状態となります　開始しますか？」と表示されるので、[▲▼] で「Yes」を選択し、[●] を押してください。
- 合計1000件まで保存することができます。

保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音可能容量が足りなくなった場合、待ち受け画面に「FULL」が表示されます。この状態で音声データを録音しようとすると「空き容量が足りません　整理しますか？」と表示されます。不要なデータを整理する場合、「Yes」を選択して [●] を押します。データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。「留守録音を設定する」（☞7-74ページ）

録音優先モードを設定する

録音を電話着信、目覚まし、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字 を押す

2 4（録音優先モード設定）を押す

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

▶ **1（ON）を押すと**

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。目覚ましやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

▶ **2（OFF）を押すと**

録音前や録音中でも、電話の着信、目覚まし、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

音声を再生する

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字 を押す

2 3（プレイリスト）を押す

プレイリスト画面が表示されます。

：未再生のデータです。

：再生済みのデータです。

▶ **microSDカード内のデータを表示させるには**

MAIL（microSD）を押すと、microSDカード内の保存データが表示されます。

▶ **音声データを編集、削除するには**

WEB（メニュー）を押すと、サブメニューが表示されます。タイトル名編集、Eメール添付、詳細情報、ソート、一件削除、選択削除、および全件削除の設定ができます。「音声データを編集する」（☞13-36ページ）

3 で音声データを選択し、（再生）を押す

選択した音声データの録音日時、データ名、録音時間が表示されます。

4 （ ）を押す

再生が開始されます。

▶ **停止をするには**

クリア（ ）を押すと、停止します。もう一度クリア（ ）を押すと、手順2のプレイリスト画面に戻ります。

▶ **一時停止をするには**

（ ）を押すと、一時停止します。再度、（ ）を押すと、続きから再生します。

▶ **早送りをするには**

（ ）で10倍のスピードで早送りをします。再度、（ ）で30倍のスピードになります。再度、（ ）で360倍のスピードになります。もう一度、（ ）で10倍のスピードに戻ります。早送り中に（ ）を押すと、続きから再生します。

▶ **巻き戻しをするには**

[◂]（[⏪]）で10倍のスピードで巻き戻しをします。再度、[◂]（[⏪]）で30倍のスピードになります。再度、[◂]（[⏪]）で360倍のスピードになります。もう一度、[◂]（[⏪]）で10倍のスピードに戻ります。巻き戻し中に[●]（[▶]）を押すと、続きから再生します。

▶ **レシーバから音を聞くには**

再生中に[MAIL]（[🎧]）を押します。スピーカに切り替えるには[MAIL]（[🔊]）を押します。

▶ **音量を調節するには**

再生中に、[▲]（[＋]）または[▼]（[－]）で音量を調節します。

お知らせ

- 手順3の画面（再生前画面）や手順4の画面（再生中画面）では、[文字]で前の音声データ、[A/a]で次の音声データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音内容を再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して[●]を押すと、再生前の確認画面が表示されます。
- 早送り中や巻き戻し中は、音声は聞こえません。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

音声データを編集する

タイトル名を編集する

音声データの名前は、録音時の日時をもとに自動的に設定されますが、変更することもできます。

1 **待ち受け画面で[MENU][8][3]または[文字]を押す**

2 **[3]（プレイリスト）を押す**

3 **[▲▼]で編集する音声データを選択し、[WEB]（メニュー）を押す**

4 **[1]（タイトル名編集）を押す**

5 **タイトルを編集し、[●]を押す**

Eメールに音声データを添付する

1 **待ち受け画面で[MENU][8][3]または[文字]を押す**

2 **[3]（プレイリスト）を押す**

3 **[▲▼]で添付する音声データを選択し、[WEB]（メニュー）を押す**

4 **[2]（Eメール添付）を押す**

手順3で選択した音声データがEメールに添付されます。

5 **Eメールを作成し、[●]を押す**

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）、「ファイルを添付する」（☞8-10ページ）

詳細情報を表示する

音声データのファイル名、データサイズ、作成日時など詳細情報を表示することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字/IC REC を押す

2 3（プレイリスト）を押す

3 ▲▼で詳細情報を表示させる音声データを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 3（詳細情報）を押す

詳細情報が表示されます。「データの詳細情報を表示する」（☞13-79ページ）

音声データを並べ替える

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字/IC REC を押す

2 3（プレイリスト）を押す

3 WEB（メニュー）を押す

4 4（ソート）を押す

5 1 ～ 9 のいずれかを押す

選択した順で音声データが並べ替えられます。

音声データを削除する

一件だけ削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字/IC REC を押す

2 3（プレイリスト）を押す

3 ▲▼で削除する音声データを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 5（一件削除）を押す

5 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

「削除中」と表示されたあと、選択した音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 3 または 文字/IC REC を押す

2 3（プレイリスト）を押す

3 WEB（メニュー）を押す

4 6（選択削除）を押す

5 **削除する音声データを選択する**

▶ **1件ずつ選択するには**

[上下キー]で削除する音声データを選択し、[センターキー]（チェック）を押します。音声データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度[センターキー]（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[1]（全件選択）を押します。すべての音声データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[2]（全件解除）を押します。

6 **[MAIL]（削除）を押す**

「選択されたファイルを削除しますか？」と表示されます。

7 **[上キー]で「Yes」を選択し、[センターキー]を押す**

「削除中」と表示されたあと、選択した音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 **待ち受け画面で[MENU][8][3]または[文字/IC REC]を押す**

2 **[3]（プレイリスト）を押す**

3 **[WEB]（メニュー）を押す**

4 **[7]（全件削除）を押す**

5 **指紋認証または暗証番号認証を行う**

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

6 **[上キー]で「Yes」を選択し、[センターキー]を押す**

プレイリストのすべての音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」と表示されているときに[☎]を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の音声データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して[センターキー]を押すと、設定データも含め選択したすべての音声データが削除されます。

メモ帳を利用する

メモ帳には、1件あたり全角5000文字までのメモを登録することができます。

メモを入力する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

メモ一覧が表示されます。

2 MAIL（新規）を押す

3 文字を入力し、● を押す

全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞7-19ページ）

4 ファイル名を編集し、● を押す

ファイル名には、メモの内容の先頭部分が自動的に表示されます。先頭部分が空行の場合は年月日時分がファイル名として表示されます。必要に応じてファイル名を編集してください。全角30文字（半角60文字）まで入力できます。メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

● 保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、保存方法の選択画面が表示され、保存先を変更したり不要なデータを削除したりできます。

メモの保存先を設定する

メモの保存先は、データフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。

1 メモ一覧画面で WEB（メニュー）を押す

2 1（microSD）を押す

microSDカードが選択されている場合は 1（本体）を押します。
選択した保存先のメモ一覧が表示されます。

お知らせ

● データフォルダとmicroSDカードのどちらを選択した場合でも、保存フォルダは「その他データ」フォルダになります。

メモを表示する

登録したメモの内容を表示します。

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 でメモを選択し、 を押す

メモの内容が表示されます。

お知らせ

- データフォルダで、「その他データ」フォルダに保存されているメモを表示することもできます（編集することはできません）。「テキストデータを開く」（☞13-67ページ）

メモを編集する

メモの内容やファイル名を編集します。

メモの内容を編集する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 で編集するメモを選択し、 WEB（メニュー）を押す

3 2（編集）を押す

メモの内容を編集できる状態になります。

4 メモの内容を編集し、 を押す

メモのファイル名を編集する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 で編集するメモを選択し、 WEB（メニュー）を押す

3 3（ファイル名編集）を押す

メモのファイル名を編集できる状態になります。

4 ファイル名を編集し、 を押す

ファイル名が変更されます

Eメールにメモを添付する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 でEメールに添付するメモを選択し、 WEB（メニュー）を押す

3 4（Eメール添付）を押す

メモがEメールに添付されます。

4 Eメールを作成し、 を押す

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ、「ファイルを添付する」（☞8-10ページ）

お知らせ

- 通話中はEメール添付は行えません。

メモを並べ替える

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 5（ソート）を押す

3 1 ～ 9 のいずれかを押す

選択した順でメモが並べ替えられます。

メモを削除する

登録されているメモの削除ができます。

一件だけ削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 ▲▼で削除するメモを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 6（一件削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

4 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

手順2で選択したメモだけが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

選択したメモだけを削除することができます。

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 7（選択削除）を押す

3 削除するメモを選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

▲▼で削除するメモを選択し、●（チェック）を押します。メモの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ●（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべてのメモの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

4 MAIL（削除）を押す

「選択されたファイルを削除しますか？」と表示されます。

5 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

選択したメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面で MENU 8 4 を押す

2 WEB（メニュー）を押す

3 8（全件削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

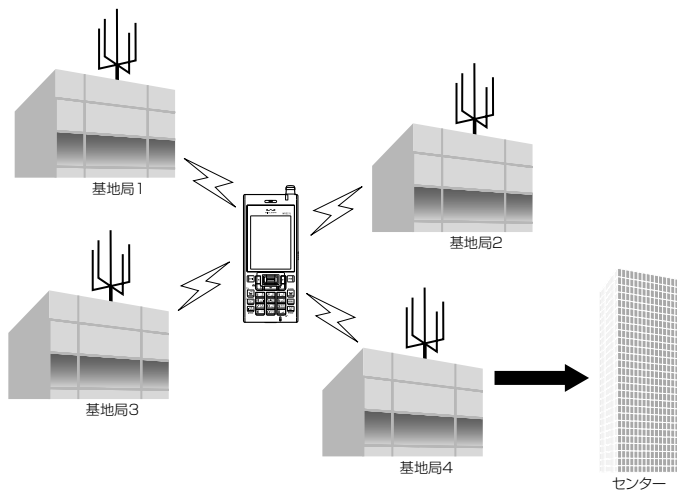
認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

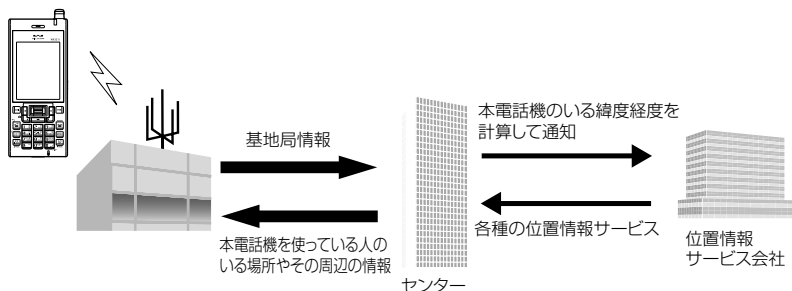
メモ帳に登録されているすべての項目が削除され、「削除しました」と表示されます。

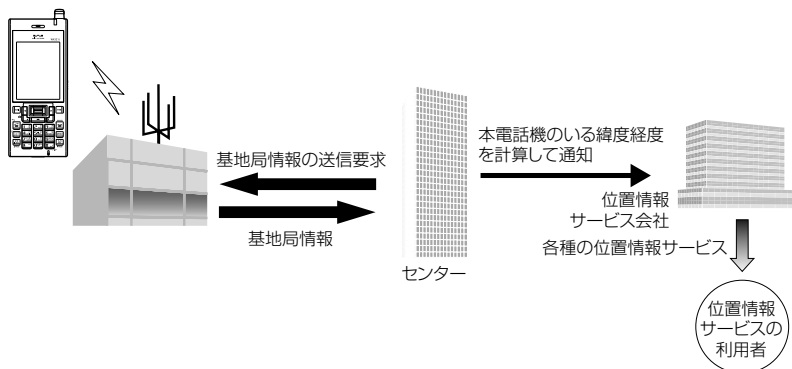
位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、「発信型」と「着信型」があります。

基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。
ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

■発信型機能

本電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。
センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のいる場所を算出し、位置情報サービス会社に通知します。この情報をもとに、位置情報サービス会社は各種情報サービスを提供します。

■着信型機能

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。

発信型機能を利用する

発信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。

位置情報通知LIを設定する

1 待ち受け画面で MENU 5 5 3 を押す

2 1（ON）を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。
設定されますと、「自動位置情報送出設定」を設定する画面が表示されます。

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

▶ **1（ON）を押すと**

着信型機能をご利用になれます。「着信型機能を利用する」（☞13-46ページ）の手順3の画面が表示されますので手順4以降へ進んでください。

▶ **2（OFF）を押すと**

発信型機能のみをご利用になれます。位置情報を通知する準備は終了です。

お知らせ

● お買い上げ時には、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送出設定」は「OFF」に設定されています。

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の２種類の通知方法があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で ☎ を約１秒以上押す

入力画面に「♥」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力する

◀▶ で発信履歴、着信履歴、および番号メモを使用できます。また、WEB（メニュー）を押すと、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。
「記録された電話番号にかける」（☞2-5ページ）
「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）
「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞7-42ページ）
「ポーズを利用する」（☞7-8ページ）

3 ☎ または ━（発信）を押す

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の2種類があります。

● 位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で [＊] を約1秒以上押す

[WEB]（メニュー）を押すと、料金分計が使用できます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）

2 [発信] または [－]（発信）を押す

● ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、あらかじめサービス会社「位置情報通知機能の概要」（☞13-43ページ）にお問い合わせください。
センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で [＊][1][0][＊] を押す

▶ [WEB]（メニュー）を押すと

ライトメール作成、184、186、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。
「ライトメールを作成して送信する」（☞8-41ページ）
「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞11-2ページ）
「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）
「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞7-42ページ）
「ポーズを利用する」（☞7-8ページ）

▶ [MAIL]（登録）を押すと

番号を電話帳へ登録できます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

2 [発信] または [－]（発信）を押す

着信型機能を利用する

着信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定し、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。

自動位置情報送出設定をする

通知許可番号、着信音設定、および自動送出機能の設定ができます。センターからの位置情報送出の問い合わせ（着信）に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で [MENU][5][5][3] を押す

2 [1]（ON）を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。

3 [1]（ON）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、自動位置情報送出設定画面が表示されます。

5 [1]（通知許可番号）を押す

センターから位置情報送出の問い合わせ（着信）があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出しないようにするには、手順10と11を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「自動送出機能」は選択できません。

6 [0]～[9]で通知許可番号を入力し、[●]を押す

20桁まで入力できます。

▶ 通知許可番号を入力しなおすには

手順7で通知許可パスワードを何も入力していない状態であれば、[クリア]を押すと手順4の自動位置情報送出設定画面に戻ります。また、手順7で通知許可パスワードを入力しても[●]を押す前であれば、[MAIL]（戻る）を押すと、手順4の自動位置情報送出設定画面に戻ります。手順5の操作から始めてください。

7 [0]～[9]で通知許可パスワードを入力し、[●]を押す

8桁まで入力できます。全桁0で設定することはできません。自動位置情報送出設定が「ON」になり、通知許可番号が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

引き続き「着信音設定」や「自動送出機能」の設定をするときは、手順8へ進んでください。終了するときは、[終話]を押します。

▶ 通知許可パスワードを修正するには

許可パスワードを入力しても、[●]を押す前に[クリア]を押すと、入力した数字がすべて消えます。

8 [2]（着信音設定）を押す

9 [1]（ON）を押す

「設定しました」と表示され、着信音が設定されます。

▶ 着信音を鳴らさなくするには

[2]（OFF）を押します。着信音の設定が解除され、「解除しました」と表示されます。

10 [3]（自動送出機能）を押す

11 [1]（ON）を押す

手順6で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出の問い合わせ（着信）があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送出します。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

▶ 自動的に送出しないようにするには

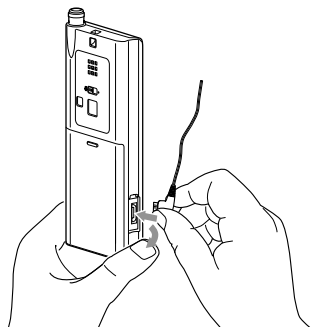
[2]（OFF）を押します。「解除しました」と表示され、待ち受け画面の「 」が消えます。自動送出機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は削除されません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「着信音設定」は「ON」、「自動送出機能」は「ON」に設定されています。

イヤホンマイクをつなぐ

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで再生されます。

イヤホン装着時に電話を受ける

イヤホンマイクが完全に接続されているのを確認してください。

1 着信音が鳴る

▶ **着信時にイヤホンマイクを接続したときには**

イヤホン自動応答が「ON」でも、イヤホンマイクで電話を受けることができません。本電話機のマイクとレシーバで通話してください。

「イヤホン自動応答を設定する」（☞ 13-14ページ）

▶ **本電話機で通話中にイヤホンマイクを装着したときには**

イヤホンマイクで通話を継続できます。

▶ **通話中にイヤホンマイクを抜いたときには**

本電話機のマイクとレシーバで通話してください。

イヤホンマイクを接続して通話中に、「ハンズフリー通話」または「スピーカ受話」を設定したときは、イヤホンマイクを抜いても設定した通話モードで通話を継続できます。「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞ 7-16ページ）

2 アンテナを伸ばす

3 [通話] を押して通話する

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を受けることができます。

4 通話が終わったら [通話] を押す

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信時にイヤホンマイクを抜いたときは、イヤホン自動応答が「ON」であれば自動応答します。
- 着信時にイヤホンマイクが接続されていないときには、イヤホン自動応答が「ON」でもイヤホンマイクで電話を受けることができません。「イヤホン自動応答を設定する」（☞13-14ページ）
- 安全運転モードに設定されているときは、イヤホンマイクを接続していても通話できません。「安全運転モードを設定する」（☞7-69ページ）
- スイッチ付イヤホンマイク使用時に [クリア/メモ] で通話を保留にしているときには、イヤホンマイクのスイッチを押すと通話が切れます。

指紋センサーの動作を設定する

ここでは指紋センサーによるカーソル移動、決定、長押し、ブラウザ使用時のカーソル移動の設定について説明します。なお、指紋登録については「指紋を登録する」（☞11-8ページ）、管理者指紋登録については「管理者指紋を登録する」（☞11-24ページ）を参照してください。

ポインティング動作を設定する

ポインティングに使用するかどうか設定する

指紋センサーをポインティング（カーソル移動）に使用するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で MENU 7 2 を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 1（ポインティング設定）を押す

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

ポインティング動作が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **1（ON）を押すと**

指紋センサーでポインティングが行えます。移動方向については「ポインティング方向／決定／長押しの動作を設定する」（☞同じページ内です。）を参照してください。

▶ **2（OFF）を押すと**

指紋センサーでポインティングは行えません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

ポインティング方向／決定／長押しの動作を設定する

指紋センサーによるポインティング動作（上下左右の移動、決定、長押し）を設定します。
ポインティング動作を行うには、「ポインティング設定」を「ON」にする必要があります。「ポインティングに使用するかどうか設定する」（☞同じページ内です。）

1 待ち受け画面で MENU 7 2 を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 1（ポインティング設定）を押す

3 MAIL（編集）を押す

4 1 ～ 4 のいずれかを押す

▶ **1（上下）を押すと**

指紋センサーで上下のポインティングを行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、上下のポインティングが行えます。

▶ **2（左右）を押すと**

指紋センサーで左右のポインティングを行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、左右のポインティングが行えます。

▶ **3（決定）を押すと**

指紋センサーで決定操作を行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、[●] の代わりに指紋センサーを使用することができます。「指紋センサーの使いかた」（☞1-15ページ）

▶ 4（長押し）を押すと

指紋センサーでスクロールを行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、上下左右のポインティングを行ったとき指を当てたままにしておくと、その方向にスクロールが行われます。

5 MAIL（登録）を押す

ポインティング動作が設定され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「上下」は「ON」、「左右」は「ON」、「決定」は「OFF」、「長押し」は「OFF」に設定されています。
- 手順5で MAIL（登録）を押すには、手順4の 1 ～ 3 のうち最低でも1つは「ON」に設定しておく必要があります。

ポインティング速度を設定する

指紋センサーによるポインティング動作の速度（カーソル移動の速度）を10段階で設定することができます。

1 待ち受け画面で MENU 7 2 を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 2（ポインティング速度設定）を押す

3 ▲▼ で目盛りの矢印を移動する

4 ● を押す

ポインティング速度が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、下から6番目の目盛りに設定されています。

マウスカーソル動作を設定する

マウスカーソル操作に使用するかどうか設定する

Webを表示しているときに、指紋センサーでマウスカーソルを操作するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で MENU 7 3 を押す

マウスカーソル動作設定画面が表示されます。

2 1（マウスカーソル設定）を押す

3 1（ON）または 2（OFF）を押す

マウスカーソル動作が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 1（ON）を押すと

指紋センサーでマウスカーソル操作が行えます。

▶ 2（OFF）を押すと

指紋センサーでマウスカーソル操作は行えません。

お知らせ

- ● お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- ● 画像保存の画像選択時には、マウスカーソル操作を使用することができません。「画像を選択して保存する（画像保存）」（☞9-23ページ）
- ● 表示モードが「ケータイモード」に設定されている場合は、マウスカーソル設定を「ON」に設定していてもマウスカーソル操作を使用することができません。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞9-33ページ）

マウスカーソル速度を設定する

指紋センサーによるマウスカーソル動作の速度を10段階で設定することができます。

1 待ち受け画面で MENU 7 3 を押す

マウスカーソル動作設定画面が表示されます。

2 2（マウスカーソル速度設定）を押す

3 ▲▼ で目盛りの矢印を移動する

4 ● を押す

マウスカーソル速度が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- ● お買い上げ時には、下から6番目の目盛りに設定されています。

データフォルダを活用する

データフォルダについて

インターネットやメールで入手した画像データ、録音した音声データ、パソコンから移動したデータなど、本電話機上のデータは「データフォルダ」と呼ばれる保管場所に置かれます。画像データを壁紙に設定したり録音データを再生したりといった、データに関する各種の操作はデータフォルダ上で行います。

フォルダ構成

データフォルダは、電話機の本体とmicroSDカードにあり、切り替えて使用することができます。データフォルダのフォルダ構成は次の表のとおりです。データの種類によりどのフォルダに保存されるかが決まっています。なお、一部のフォルダは、さらにサブフォルダに分かれています。

フォルダ名／サブフォルダ名		内容	本体（本電話機）	microSDカード
全データ表示		本体の全データを表示します。	○	×
デジカメデータ	100JRC01	本電話機の内蔵カメラで撮影した画像データ（VGA サイズ／ SXGA サイズのみ）	×	○
カメラデータ		本電話機の内蔵カメラで撮影した画像データ（microSD カードの場合は壁紙サイズ／ケータイサイズのみ）	○	○
画像データ		画像データ	○	○
サウンドデータ		録音データ以外の音データ	○	○
録音データ	全データ表示	「録音データ」フォルダ内の全データを表示します。	○	×
	IC レコーダ	IC レコーダのデータ	○	○
	留守録音	留守録音のデータ		
	通話録音	通話録音のデータ		
その他データ		メモ帳のデータなど専用フォルダのないデータ	○	○
2 次元コードログ		2 次元コードのログデータ「2 次元コードスキャナーとして使用する」（☞ 12-18 ページ）	○	○
バックアップデータ	メール BOX バックアップ	メール BOX のバックアップデータ	×	○
	電話帳バックアップ	電話帳のバックアップデータ		
	スケジュールバックアップ	スケジュールのバックアップデータ		
	ブックマークバックアップ	ブックマークのバックアップデータ		
シークレットデータ		データを暗号化し保存するフォルダ	○	○
著作権ありデータ		コピーガード付きデータ用のフォルダ	×	○
PC データ		パソコンとのやり取り用のフォルダ	×	○

フォルダ名／ サブフォルダ名		内容	本体 (本電話機)	microSD カード
ユーザデータ	全データ表示	「ユーザデータ」フォルダ内の全データを表示します。	○	×
	フォルダ 1 ～フォルダ 10	自由に使用できるフォルダ。お買い上げ時は 10 個のサブフォルダが用意されています。「フォルダを管理する」(☞ 13-86 ページ)	○	○

○：有り

×：無し

お知らせ

- 本体（本電話機）にはデータとフォルダを合計 1000 件まで保存することができます。保存できる容量は、データフォルダ、Javaアプリケーションと Web 関連との合計で 2048K バイトまでです。
- microSD カードに保存できるデータの件数は、１フォルダあたり 1000 件です。サブフォルダの場合も 1000 件までデータを保存することができます。
- 「デジカメデータ」フォルダは、サブフォルダ内のデータ数が上限に達するごとに「101JRC01」「102JRC01」…と新しいサブフォルダが生成されます。
- microSD カードの次のデータフォルダ内のデータは、そのデータを保存したときの電話機以外や電話番号の入っていない電話機では使用できません。
  ･「シークレットデータ」フォルダ
  ･「著作権ありデータ」フォルダ
- バックアップデータを編集しないでください。バックアップデータを編集した場合、正しく復元できないばかりでなく、本電話機内のデータが破損する恐れがあります。

■コピーガードについて

著作権のあるデータの不正コピーを防ぐための仕組みがコピーガードです。コピーガードされたデータは、データフォルダに保存されます。コピーガードされたデータは、移動や削除はできますが、コピーすることはできません。
microSD カードに移動した場合は、「著作権ありデータ」フォルダに移動されます。

データのアイコン

データフォルダのデータのアイコンは、データの種類や状態を表します。画面上は表示されませんが、データ名の後ろには拡張子と呼ばれる３文字または４文字の文字列が付いており、これに基づいてデータの種類が判別され、表示するアイコンが決められます。

アイコン	データの種類（拡張子）
bmp	ビットマップ画像データ（.bmp）
JPG	JPEG 画像データ（.jpeg、.jpg）
png	PNG 画像データ（.png）
gif	GIF 画像データ（.gif）
feel	フィールサウンドデータ（.dxm）
midi	MIDI データ（.midi、.mid）

アイコン	データの種類（拡張子）
IC	未再生のＩＣレコーダデータ（.3g2）
IC	再生済みのＩＣレコーダデータ（.3g2）
VOICE	未再生の留守録音データ（.3g2）
VOICE	再生済みの留守録音データ（.3g2）
TALK	未再生の通話録音データ（.3g2）
TALK	再生済みの通話録音データ（.3g2）

アイコン	データの種類（拡張子）
	その他の録音データ（.3g2）
	スケジュールバックアップデータ（.shbu）
	電話帳のバックアップデータ（.pbbu）
	メールBOXバックアップデータ（.mbbu）
	ブックマークバックアップデータ（.bmbu）
	テキストデータ（.txt）
	Microsoft Word データ（.doc）
	Microsoft Excel データ（.xls）
	Microsoft PowerPoint データ（.ppt）

アイコン	データの種類（拡張子）
	PDF データ（.pdf）
	LZH 形式圧縮データ（.lzh）
	ZIP 形式圧縮データ（.zip）
	Java アプリケーション（.jar）
	Java アプリケーション（.jad）
	Java アプリケーション（.url）
	2 次元コードログデータ（.code）
	HTML データ（.htm、.html）
	本電話機で使用できないデータ

データフォルダを表示する

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

本体のデータフォルダが表示されます。各フォルダの右側には、そのフォルダ内のデータ件数が表示されます。また、画面の下端には、現在表示しているデータフォルダ（本体／microSDカード）の空き容量が表示されます。

▶ **microSDカードのデータフォルダを表示するには**

MAIL（microSD）を押すと、microSDカードのデータフォルダ表示に切り替わります。MAIL（本体）を押すと、本体のデータフォルダ表示に戻ります。

2 でフォルダを選択し、 を押す

フォルダ内のデータ一覧が表示されます。データは で選択することができ、選択しているデータのサイズが画面の上端に表示されます。

▶ **サブフォルダの中を表示するには**

フォルダ内にサブフォルダがある場合は、手順2によりサブフォルダの一覧が表示されます。 でサブフォルダを選択して を押すと、サブフォルダの内容が表示されます。

▶ **「シークレットデータ」フォルダを表示するには**

microSDカードにある「シークレットデータ」フォルダを表示するには、指紋認証または暗証番号認証が必要です。「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞ 11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞ 11-12ページ）

フォルダ内の表示形式について

データ一覧の表示形式には、データ名が表示される「一覧表示」と、データがタイル状に配置される「サムネイル表示」とがあります。サムネイル表示では、画像データは画像の内容が表示されるので、データを開かずに内容を確認することができます。

表示形式	一覧表示	サムネイル表示
カーソルの移動	[上下キー]	[上下左右キー]
お買い上げ時のフォルダの表示形式	右記以外のフォルダ	「デジカメデータ」フォルダ 「カメラデータ」フォルダ 「画像データ」フォルダ

表示を切り替えるには、サブメニューから「表示切替」を選択します。「表示切替」のメニュー番号は選択中のデータの種類によって異なります。画像データを選択している場合の手順は次のようになります。

1 **データ一覧の画面で [WEB]（メニュー）を押す**

2 **[WEB]（次頁）を押す**

3 **サブメニューの [2]（表示切替）を押す**

画像データを活用する

画像データ（.bmp、.gif、.jpg、.jpeg、.png）の内容を確認したり画像データを壁紙に登録したりできます。画像データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

[bmp]：ビットマップ画像データ（.bmp）
[JPG]：JPEG画像データ（.jpeg、jpg）
[png]：PNG画像データ（.png）
[gif]：GIF画像データ（.gif）

画像データは、次のフォルダに保存されています。

・「デジカメデータ」フォルダ
・「カメラデータ」フォルダ
・「画像データ」フォルダ

画像データを表示する

1 **待ち受け画面で [MENU] [2] を押す**

2 **[上下キー] で画像データのあるフォルダを選択し、[決定] を押す**

3 **[上下左右キー] で表示する画像データを選択する**

4 **[決定]（表示）を押す**

画像データが表示されます。幅が240dotを超えるか、高さが320dotを超える場合は、画面内に収まるよう画像データは縮小して表示されます。

▶ **前後の画像データを表示するには**

[文字] を押すと前の画像データ、[A/a] を押すと次の画像データが表示されます。

▶ **表示を拡大／縮小するには**

[MAIL]（ズーム）を押すとズームモードになり、表示倍率が [上] を押すごとに拡大、[下] を押すごとに縮小されます。表示倍率の範囲は50%～200%です。[MAIL]（戻る）を押すと、通常の表示に戻ります。

▶ **等倍で表示するには**

[決定]（等倍）を押すと、倍率100%で画面中央に画像データが表示されます。ただし、高さまたは幅が640dotを超える画像データは、等倍では表示できません。

▶ **表示位置を移動するには**

[上下左右キー] で画像データが上下左右に2dot移動します。そのまま約1秒以上押し続けると10dot移動します。さらに [上下左右キー] を押したままにしておくと、連続して画像データが移動します。

お知らせ

- 表示できる画像データのサイズは、縦1280dot、横960dotまでです。それを超えるサイズの画像データを表示しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

画像データを壁紙に設定する

データフォルダにあるお好みの画像データを壁紙（画面の背景）として設定することができます。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 [▲▼] で画像データのあるフォルダを選択し、[●] を押す

3 [▲▼] で壁紙にする画像データを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [1]（壁紙設定）を押す

microSDカード上の画像データを選択した場合は、本体へコピーするかどうか確認するメッセージが表示されるので、「Yes」を選択してください。

▶ **壁紙を解除するには**

「壁紙を解除する」（☞13-58ページ）を参照してください。

お知らせ

- 画像データを表示した状態で [WEB]（メニュー）を押し、[1]（壁紙設定）を押して壁紙に設定することもできます。
- 次の手順で壁紙を設定することもできます。
  ① [MENU] [5] [3] [1] を押す
  ② [2]（データフォルダ）または [3]（microSD）を押す
  ③ [▲▼] で「画像データ」を選択し、[●] を押す
  ④ [◀][▲▼][▶] で画像データを選択し、[●] を押す
- microSDカードの画像データを壁紙に設定した場合は、本体の「画像データ」フォルダにデータがコピーされ、そのデータが壁紙に設定されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- microSDカードの「デジカメデータ」または「カメラデータ」フォルダの画像データを壁紙に設定した場合は、本体の「カメラデータ」にデータがコピーされ、そのデータが壁紙に設定されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。

固定画像を壁紙に設定する

本電話機にあらかじめ用意されている固定画像を壁紙として設定します。

1 [MENU] [5] [3] [1] を押す

2 [1]（固定画像）を押す

固定画像の一覧が表示されます。固定画像が壁紙に設定されている場合は、その画像データにカーソルが表示されます。

▶ **固定画像を名前の一覧に切り替えるには**

[WEB]（一覧）を押すと、名前の一覧に切り替わります。[WEB]（サムネイル）を押すと、サムネイル表示に戻ります。

▶ **画像を画面いっぱいに表示して確認するには**

[MAIL]（表示）を押すと、固定画像が画面いっぱいに表示されます。その状態から [▲▼] で前後の画像に切り替えることもできます。

3 [←↑↓→]で固定画像を選択し、[●]を押す

壁紙が設定され､｢設定しました｣と表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時には、「Keyhole-Black」に設定されています。

壁紙を解除する

設定されている壁紙を解除し、壁紙のない状態にします。

1 [MENU][5][3][1]を押す

2 [4]（壁紙なし）を押す

画像データを編集する

■画像編集の概要

画像データに対して、フレーム（枠）を付けたりスタンプを貼り付けたりといったさまざまな編集を行うことができます。編集したデータは、元の画像とは別の画像データとして保存されます。
画像編集には次の機能があります。

▶ **フレーム**

画像データにフレーム（枠）を付けます。「画像データにフレームを付ける」（☞ 13-59ページ）

▶ **スタンプ貼付け**

画像データに文字や記号のスタンプを貼り付けます。「画像データにスタンプを貼り付ける」（☞ 13-60ページ）

▶ **文字入力**

画像データに文字を入力します。「画像データに文字を入力する」（☞ 13-61ページ）

▶ **フォトアレンジ**

画像データをセピア調やモノクロに変換したり、縮小してタイル状に並べたりします。「画像データをアレンジする」（☞ 13-61ページ）

▶ **切り取り**

画像データを電話帳用のサイズなどに切り取ります。「画像データを切り取る」（☞ 13-62ページ）

▶ **回転**

画像データを回転します。「画像データを回転する」（☞ 13-63ページ）

▶ **拡大／縮小**

画像データを拡大または縮小します。「画像データを拡大／縮小する」（☞ 13-63ページ）」

画像データのサイズによっては使用できない編集機能もあります。編集機能と画像データの対応は次の表のとおりです。

サイズ（幅×高さ）／機能	120×120以下	ケータイサイズ（120×160）	ケータイサイズ（160×120）	壁紙サイズ（240×320）	壁紙サイズ（320×240）	320×320以下	VGA（480×640）	VGA（640×480）	640×640以下	SXGA（960×1280）	SXGA（1280×960）
フレーム	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
スタンプ貼付け	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
文字入力	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
フォトアレンジ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
切り取り（QQVGA）	×	×	○	○	○	○*1	○	○	○	×	×
切り取り（QVGA）	×	×	×	×	○	○*2	○	○	○	×	×
切り取り（電話帳画像）	○*2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
回転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大／縮小	○*3	○	○	○	○	○	○	○	○*4	○*4	○*4

○：使用可
×：使用不可
*1：幅120dot以下で高さ160dot以下の画像データでは使用できません。
*2：電話帳画像（170×83）を超えるサイズの場合のみ使用できます。
*3：0.5倍への縮小は行えません。
*4：画像が大きいほど、拡大の最大倍率は小さくなります。

■画像データにフレームを付ける

画像の周囲にフレームを付けます。フレームを付けることができる画像データは、ケータイサイズ（120×160）と壁紙サイズ（240×320）だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューの[4]（画像編集）を押す

3 [1]（フレーム）を押す

4 [1]～[3]のいずれかを押す

▶ [1]（固定フレーム）を押すと

本電話機に用意されているフレームが表示されます。[WEB]を押すごとに、サムネイル表示と名前一覧とが切り替わります。[◀][▲▼][▶]でフレームを選択し、[●]を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

▶ [2]（データフォルダ）を押すと

データフォルダが表示されるので、フレームのあるフォルダを表示し、[▲▼]でフレームを選択して[●]を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

▶ [3]（microSD）を押すと

microSDカードのフォルダが表示されるので、フレームのあるフォルダを表示し、[▲▼]でフレームを選択して[●]を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

5 選択したフレームでよければ[●]を押す

▶ 他のフレームを表示するには

[MAIL]（前候補）、[WEB]（次候補）を押し、前後のフレームに切り替えることができます。

6 ［•］（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ **他の画像編集機能を使用するには**

［WEB］（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、［•］を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- フレームとして使用できる画像データは、PNG形式でサイズがケータイサイズ（120×160）のものです。透過色（フレームの透過部分の色）は#FFFFFFです。

■画像データにスタンプを貼り付ける

画像データに、丸付き数字、矢印、「ご案内」「回覧」「報告」などのスタンプを貼り付けることができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

2 ［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューの［4］（画像編集）を押す

3 ［2］（スタンプ貼付け）を押す

4 ［1］～［3］のいずれかを押す

▶ **［1］（固定スタンプ）を押すと**

本電話機に用意されているスタンプの一覧が表示されます。［WEB］を押すごとに、サムネイル表示と名前一覧とが切り替わります。［◀▲▼▶］でスタンプを選択し、［•］を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

▶ **［2］（データフォルダ）を押すと**

データフォルダが表示されるので、スタンプのあるフォルダを表示し、［▲▼］でスタンプを選択して［•］を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

▶ **［3］（microSD）を押すと**

microSDカードのフォルダが表示されるので、スタンプのあるフォルダを表示し、［▲▼］でスタンプを選択して［•］を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

5 ［◀▲▼▶］でスタンプの位置を調整する

▶ **スタンプを移動するには**

［◀▲▼▶］で2dotずつスタンプの位置を移動することができます。［◀▲▼▶］を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

▶ **他のスタンプを表示するには**

［MAIL］（前候補）、［WEB］（次候補）を押し、前後のスタンプに切り替えることができます。

6 選択したフレームでよければ［•］を押す

7 ［•］（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ **他の画像編集機能を使用するには**

［WEB］（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

8 画像データの新しいファイル名を入力し、［•］を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- スタンプとして使用できる画像データは、PNG形式でサイズが20×20または30×30のものです。透過色（スタンプの透過部分の色）は#FFFFFFです。

■画像データに文字を入力する

画像データに重ねて文字を入力することができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞ 13-56ページ）

2 WEB（メニュー）を押し、サブメニューの 4（画像編集）を押す

3 3（文字入力）を押す

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

全角32文字（半角64文字）まで入力することができます。

5 ［・］を押す

画像データに重ねて文字が表示されます。

6 ◀▲▼▶ で文字の位置を調整する

◀▲▼▶ で2dotずつ文字の位置を移動することができます。◀▲▼▶ を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

▶ 文字の色を変更するには

文字の色は7種類から選択できます。WEB（文字色）を押すごとに色が変わります。

7 ［・］を押す

8 ［・］（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

WEB（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

9 画像データの新しいファイル名を入力し、［・］を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

■画像データをアレンジする

画像データの色を変換したり、タイル状に並べたりすることができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞ 13-56ページ）

2 WEB（メニュー）を押し、サブメニューの 4（画像編集）を押す

3 4（フォトアレンジ）を押す

4 1 ～ 5 のいずれかを押す

▶ 1（セピア）を押すと

画像データがセピア色に変換されます。

▶ 2（モノクロ）を押すと

画像データがモノクロに変換されます。

▶ 3（タイル4分割）を押すと

縮小した画像データをタイル状に4枚並べた画像に変換されます。

▶ 4（タイル9分割）を押すと

縮小した画像データをタイル状に9枚並べた画像に変換されます。

▶ 5（タイル16分割）を押すと

縮小した画像データをタイル状に16枚並べた画像に変換されます。

5 ［・］を押す

▶ 他のアレンジを表示するには

MAIL（前候補）、WEB（次候補）を押し、前後のアレンジに切り替えることができます。

6 ［・］（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ **他の画像編集機能を使用するには**

［WEB］（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、［・］を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

■画像データを切り取る

画像データを電話帳用のサイズなどに切り取ります。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが640dot以下で、切り取りサイズを超えるサイズの場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

2 ［WEB］（メニュー）を押し、サブメニューの［4］（画像編集）を押す

3 ［5］（切り取り）を押す

4 ［1］～［3］のいずれかを押す

切り取り範囲を表す赤色の点線が表示されます。画像データのサイズが切り取りサイズ以下の場合は選択できません。

▶ **［1］（QQVGA（120×160））を押すと**

画像データからQQVGA（120×160）のサイズを切り取ります。

▶ **［2］（QVGA（240×320））を押すと**

画像データからQVGA（240×320）のサイズを切り取ります。

▶ **［3］（電話帳画像（170×83））を押すと**

画像データから電話帳画像（170×83）のサイズを切り取ります。

5 ［◀▲▼▶］で切り取り位置を調整する

［◀▲▼▶］で2dotずつ切り取り位置を移動することができます。［◀▲▼▶］を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

6 ［・］を押す

切り取ったイメージが表示されます。

7 ［・］（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ **他の画像編集機能を使用するには**

［WEB］（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

8 画像データの新しいファイル名を入力し、［・］を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- 電話帳画像のサイズに切り取った画像は、電話帳に登録することができます。登録した画像は、その相手から電話がかかってきたときに画面に表示されます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）

■画像データを回転する

画像データを90度単位で回転します。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューの[4]（画像編集）を押す

3 [6]（回転）を押す

4 [MAIL]（左回転）または[WEB]（右回転）を押す

▶ [MAIL]（左回転）を押すと

押すたびに画像データが90度左回転します

▶ [WEB]（右回転）を押すと

押すたびに画像データが90度右回転します。

5 [・]を押す

6 [・]（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

[WEB]（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、[・]を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

■画像データを拡大／縮小する

画像データを0.5～2.0倍の範囲で拡大または縮小します。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」（☞13-56ページ）

2 [WEB]（メニュー）を押し、サブメニューの[4]（画像編集）を押す

3 [7]（拡大／縮小）を押す

4 [0]～[9]のいずれかを押して倍率を選択する

選択した倍率で画像データが表示されます。

5 [・]を押す

6 [・]（保存）を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

[WEB]（編集）を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、[・]を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- 120×120dot以下のサイズの画像データに対しては、0.5倍の縮小は行えません。
- 拡大の最大倍率は2.0倍ですが、VGAを越えるサイズの画像データに対しては、最大倍率は1.4～0.5倍になります。

サウンドデータを活用する

サウンドデータ（.dxm、.mid、.midi）を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。
サウンドデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：フィールサウンドデータ（.dxm）
：MIDIデータ（.midi、.mid）

サウンドデータを聴く

データフォルダ内のサウンドデータを再生します。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 ▲▼ でサウンドデータを選択し、● （再生）を押す

再生画面が表示されます。

3 ● （再生）を押す

サウンドデータが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

▶ **停止するには**

クリア（■）を押します。

▶ **一時停止するには**

●（ ）を押します。再度、●（ ）を押すと、続きから再生されます。

▶ **レシーバから音を聞くには**

再生中に MAIL（レシーバ）を押します。スピーカに切り替えるには MAIL（スピーカ）を押します。

▶ **音量を調節するには**

再生は音量３で開始されますが、再生中に ▲▼ で０～５の範囲で調節することができます。
▲：再生音量レベルが上がります。
▼：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 再生中に、文字 で前の、A/a で次のサウンドデータを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」（☞13-35ページ）
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、サウンドデータを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して ● を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- .dxm形式のサウンドデータは64和音feelsoundのものだけが再生できます。他のfeelsoundは再生できません。
- 再生できるサウンドデータのサイズは350Kバイトまでです。

サウンドデータを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内のサウンドデータを、各種機能に設定できます。サウンドデータは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 ▲▼ で「サウンドデータ」を選択し、● を押す

3 ▲▼ でサウンドデータを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 1（音設定）を押す

5 1 ～ 9、0、＊ のいずれかを押す

選択した機能に対してサウンドデータが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- microSDカードのサウンドデータを各種機能に設定した場合は、本体の「サウンドデータ」フォルダにデータがコピーされ、そのデータが使用されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- サウンドデータの再生画面で WEB（メニュー）を押し、1（音設定）を選択して機能を設定することもできます。

録音データを活用する

録音データ(.3g2)を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。「録音データ」フォルダは、「ICレコーダ」フォルダ、「留守録音」フォルダ、「通話録音」フォルダの３つに分かれていますが、保存されているデータの形式はどのフォルダも同じで、再生や着信音などへの設定も同じ操作で行うことができます。

録音データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

：未再生のＩＣレコーダデータ（.3g2）
：再生済みのＩＣレコーダデータ（.3g2）
：未再生の留守録音データ（.3g2）
：再生済みの留守録音データ（.3g2）
：未再生の通話録音データ（.3g2）
：再生済みの通話録音データ（.3g2）
：その他の録音データ（.3g2）

お知らせ

- 「シークレットデータ」、「著作権ありデータ」フォルダ内にある録音データを再生した場合は、再生済みのファイル名およびアイコンにはなりません。
- 「その他の録音データ」として再生できるのは、出力サンプリングレートが8kHzで、モノラルでAACエンコーディングされた3GPデータ（拡張子.3g2）です。

録音データを聴く

「その他の録音データ」の再生方法を説明します。
「ICレコーダ」フォルダの録音データについては、「ICレコーダを利用する」（☞13-34ページ）を参照してください。
「留守録音」フォルダの録音データについては、「留守録音を設定する」（☞7-74ページ）を参照してください。
「通話録音」フォルダの録音データについては、「通話を録音する（通話録音）」（☞7-12ページ）を参照してください。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 データフォルダで再生する録音データを選択し、（再生）を押す

再生画面が表示されます。

3 （再生）を押す

録音データが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

▶ **停止するには**

クリア（■）を押します。

▶ **一時停止するには**

（ ）を押します。再度、（ ）を押すと、続きから再生されます。

▶ **スピーカから音を聞くには**

再生中に MAIL（スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには MAIL（レシーバ）を押します。

▶ **再生中の録音データを削除するには**

・ICレコーダの場合：再生中に WEB（メニュー）を押し、5（一件削除）を押します。
・留守録音、通話録音の場合：再生中に WEB（削除）を押します。

「削除しますか？」と表示されるので で「Yes」を選択して を押します。フォルダ内に録音データがある場合は、次の録音データが再生されます。録音データが1件もない場合には、元の画面に戻ります。

▶ **音量を調節するには**

再生は音量3で開始されますが、再生中に で0～5の範囲で調節することができます。
：再生音量レベルが上がります。
：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 再生中に、文字 で前の、マナー で次の録音データを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」（☞13-35ページ）
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音データを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

録音データを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内の録音データを、各種機能に設定できます。録音データは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 ▲▼ で「録音データ」を選択し、● を押す

3 ▲▼ で「ICレコーダ」、「留守録音」、「通話録音」のいずれかを選択し、● を押す

4 ▲▼ で録音データを選択し、WEB（メニュー）を押す

5 1（音設定）を押す

6 1 ～ 9、0、* のいずれかを押す

選択した機能に対して録音データが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- microSDカードの録音データを各種機能に設定した場合は、本体のフォルダにデータがコピーされ、そのデータが使用されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 録音データの再生画面で WEB（メニュー）を押し、1（音設定）を選択して機能を設定することもできます。

テキストデータを開く

テキストデータ（.txt）の内容を表示することができます。テキストデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

：テキストデータ（.txt）

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 開きたいテキストデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 ▲▼ でテキストデータを選択し、● を押す

テキストデータの内容が表示されます。

▶ テキストに電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは

テキストデータ中の電話番号、メールアドレス、URLは、▲▼ で順に選択していくことができます。これらを選択した状態で ● を押すと、以下の機能を行うことができます。
電話番号：選択されている電話番号に電話をかけることができます。
メールアドレス：選択されているメールアドレスあてにEメールを作成して送信することができます。
URL：選択されているURLのWebページに接続します。

▶ 前後のページを表示するには

文字 で前のページ、A/a で次のページが表示されます。

パソコンの文書データを開く

パソコンなどで作成した各種の文書データを開いて内容を確認することができます。開くことのできる文書データは、次のとおりです。

：Microsoft Word97/2000/2002/2003データ（.doc）
：Microsoft Excel97/2000/2002/2003データ（.xls）
：Microsoft PowerPoint97/2000/2002/2003データ（.ppt）
：PDFデータ（バージョン1.5）（.pdf）

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 開きたい文書データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 で文書データを選択し、 を押す

ドキュメントビューア（表示用プログラム）が起動し、データの内容が表示されます。

▶ **スクロールするには**

で上下左右にスクロールできます。

4 MAIL（終了）を押す

終了するか確認の画面が表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

ドキュメントビューアが終了します。

Wordデータを閲覧する

Wordデータを表示している場合、WEB（メニュー）から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	指定のページへ移動画面が表示されます。 （編集）を押してページ番号を入力し、WEB（移動）を押すと、指定したページが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ページが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ページが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ページ全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。 （編集）を押して 10%～ 400%の範囲で表示倍率を入力し、WEB（決定）を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		検索画面が表示されます。 （編集）を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、（検索）を押すと、指定した文字列が検索されます。 次の条件が設定できます。設定するには、で項目を選択してを押します。 大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。 単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。 下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。 上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します（ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能）。「データフォルダを活用する」（☞ 13-53 ページ）
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

● 一部正常に表示できないものがあります。

Excel データを閲覧する

Excel データを表示している場合、（メニュー）から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	指定のページへ移動画面が表示されます。 （編集）を押してページ番号を入力し、（移動）を押すと、指定したページが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ワークシートが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ワークシートが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ワークシート全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。 （編集）を押して 10%～ 400%の範囲で表示倍率を入力し、（決定）を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		検索画面が表示されます。 [キー]（編集）を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、[WEB]（検索）を押すと、指定した文字列が検索されます。 次の条件が設定できます。設定するには、[キー]で項目を選択して[キー]を押します。 大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。 行：横方向に検索します。 列：下方向に検索します。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します（ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能）。「データフォルダを活用する」（☞ 13-53 ページ）
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。

PowerPointデータを閲覧する

PowerPointデータを表示している場合、[WEB]（メニュー）から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
スライドショーの実行		スライドショーが実行されます。
スライド移動	最初のスライドへ移動	最初のスライドが表示されます。
	最後のスライドへ移動	最後のスライドが表示されます。
	次のスライドへ移動	次のスライドが表示されます。
	前のスライドへ移動	前のスライドが表示されます。
	指定のスライドへ移動	指定のスライドへ移動画面が表示されます。 [キー]（編集）を押してスライド番号を入力し、[WEB]（移動）を押すと、指定したスライドが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	スライドが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	スライドが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	スライド全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。 [キー]（編集）を押して 10%〜 400%の範囲で表示倍率を入力し、[WEB]（決定）を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		検索画面が表示されます。 ［・］（編集）を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、［WEB］（検索）を押すと、指定した文字列が検索されます。 次の条件が設定できます。設定するには、［▲▼］で項目を選択して［・］を押します。 大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。 単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。 下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。 上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します（ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能)。「データフォルダを活用する」（☞ 13-53 ページ）
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

● 一部正常に表示できないものがあります。

PDFデータを閲覧する

PDFデータを表示している場合、［WEB］（メニュー）から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	指定のページへ移動画面が表示されます。 ［・］（編集）を押してページ番号を入力し、［WEB］（移動）を押すと、指定したページが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ページが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ページが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ページが画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。 ［・］（編集）を押して 10%～ 400%の範囲で表示倍率を入力し、［WEB］（決定）を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
検索		検索画面が表示されます。 （編集）を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、（検索）を押すと、指定した文字列が検索されます。 次の条件が設定できます。設定するには、で項目を選択してを押します。 大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。 単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。 下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。 上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。
しおり一覧		しおり一覧画面が表示されます。 でしおりを選択し、を押すと、指定したしおりのページが表示されます。
レイアウト設定	単一ページ	1 ページ単位で表示されます。表示中のページの下端までスクロールすると、自動的に次のページが表示されます。
	連続ページ	連続ページで表示されます。表示中のページの下端までスクロールすると、自動的に次のページが表示されます。
	見開きページ	2 ページ単位で表示されます。
	回転	表示が右に 90 度回転します。
ファイル情報		PDF のタイトル、作成者、作成日時などの情報が表示されます。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します（ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能)。「データフォルダを活用する」(☞ 13-53 ページ)
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。
- ファイル保存は、ネットワーク上のPDFファイルを開いているときのみ可能です。

圧縮データを開く

LZH形式またはZIP形式で圧縮されたデータを展開し、圧縮前の状態に戻して別のデータとして保存します。圧縮されたデータも削除されずに残ります。
展開することができる圧縮データは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。
：LZH形式圧縮データ（.lzh）
：ZIP形式圧縮データ（.zip）

1 **待ち受け画面で MENU 2 を押す**

2 **開きたい圧縮データのあるフォルダを表示する**

「データフォルダを表示する」（☞ 13-55ページ）

3 **で圧縮データを選択し、を押す**

「圧縮ファイルを展開しますか？」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、を押す

展開が完了すると、「展開しました」と表示されます。展開されたデータは元データと同じフォルダに保存されます。

お知らせ

- 圧縮データの展開によって空き容量が不足する場合は、展開が中止されます。
- パスワードの設定された圧縮データは展開できません。
- コピーガードされた圧縮データは展開できません。

HTMLデータを開く

HTMLデータ（.htm、.html）の内容を表示することができます。HTMLデータは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。

：HTMLデータ（.htm、.html）

1 待ち受け画面で を押す

2 開きたいHTMLデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 でHTMLデータを選択し、を押す

ブラウザが起動し、HTMLデータの内容が表示されます。

お知らせ

- ブラウザの使用方法については、「ブラウザの各種機能を設定する」（☞9-31ページ）を参照してください。

Javaアプリケーションを活用する

Javaアプリケーションをインストールする

データフォルダにダウンロードしたJavaアプリケーションをインストールします。
Javaアプリケーションは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。インストールするときは を開いてください。

：Javaアプリケーション（.jar）
：Javaアプリケーション（.jad）
：Javaアプリケーション（.url）

1 待ち受け画面で を押す

2 開きたいJavaアプリケーションのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 でJavaアプリケーション（ ）を選択し、を押す

「Java™アプリをインストールしますか？」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、を押す

インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されます。

5 を押す

お知らせ

- Javaアプリケーションをインストールするには、Javaアプリケーションデータ（ と ）がmicroSDカードの「PCデータ」フォルダにある必要があります。他のフォルダにある場合は、「PCデータ」フォルダに移動してからインストールしてください。
- インストールしたJavaアプリケーションを実行する方法については、「Javaアプリケーションを実行する」（☞同じページ内です。）を参照してください。
- インストールしたJavaアプリケーションは、本電話機の電源を切っても消えません。
- Javaアプリケーションのインストール時にはjvinstall.txtというファイルが生成され、インストール終了後に自動的に削除されます。インストールが失敗した場合にはjvinstall.txtが残ることがありますが、削除してもかまいません。
- ブラウザでWebサーバ上のJavaアプリケーション（.jad）をインストールすることもできます。Javaアプリケーションへのリンクを選択して [•] を押すと、「インストールしますか？」と表示されるので、「Yes」を選択して [•] を押します。これによりJavaアプリケーションがインストールされます。

Javaアプリケーションを実行する

インストールされているJavaアプリケーションを実行します。

1　待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面に、インストールされているアプリケーションとフォルダが表示されます。

：フォルダ
：Javaアプリケーション（アプリケーション独自のアイコンで表示されるものもあります）

▶ フォルダを開くには

[▲▼] でフォルダを選択し、[•] を押すと、フォルダが開いて内容が表示されます。

2　[▲▼] で実行するJavaアプリケーションを選択し、[•] を押す

Javaアプリケーションを管理する

■フォルダを作成する

新しくフォルダを作成します。

1　待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面が表示されます。

2　[WEB]（メニュー）を押し、[1]（新規フォルダ作成）を押す

フォルダ名入力画面が表示されます。

3　フォルダ名を入力し、[•] を押す

フォルダが作成され、「作成しました」と表示されます。

お知らせ

- Java管理画面に表示されるフォルダは、Javaの動作環境内だけで使用する仮想的なフォルダです。データフォルダに表示されるフォルダとは異なります。
- 作成したフォルダ内にさらにフォルダを作成することはできません。
- microSDカードを取り付けた場合は、「EX_CARD」というフォルダが自動的に表示されます。

■フォルダ名を変更する

Java管理画面のフォルダ名を変更します。

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼でフォルダを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 3（フォルダ名編集）を押す

フォルダ名編集画面が表示されます。

4 フォルダ名を編集し、● を押す

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを移動する

Javaアプリケーションを別のフォルダに移動します。

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼で移動するJavaアプリケーションを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 2（移動）を押す

フォルダ選択画面が表示されます。

4 ▲▼で移動先フォルダを選択し、● を押す

Javaアプリケーションが移動し､「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションをmicro SDカードに保管したい場合は、「EX_CARD」フォルダにJavaアプリケーションを移動してください。

■Javaアプリケーションを更新する

インストールされているJavaアプリケーションをインターネット上の最新のバージョンに更新します。

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼で更新するJavaアプリケーションを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 3（アップデート）を押す

「アップデートしますか？」と表示されます。

4 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

インターネット上の最新バージョンが確認され、インストールを確認するメッセージが表示されます。

5 ▲で「Yes」を選択し、● を押す

更新が完了すると､「アップデートを完了しました。アプリケーションを起動しますか？」と表示されます。

6 ● を押す

■Javaアプリケーションを一件削除する

インストールされているJavaアプリケーションを削除します。

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼ で削除するJavaアプリケーションを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 4（削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

4 ▲ で「Yes」を選択し、● を押す

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順４の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ ▲▼ で「Yes」を選択し、● を押して処理を続行してください。

■フォルダを一件削除する

Java管理画面に表示されるフォルダを一件削除します。フォルダ内にJavaアプリケーションがある場合は削除できないので、あらかじめそのフォルダ内のJavaアプリケーションを削除しておいてください。
「Javaアプリケーションを一件削除する」（☞同じページ内です。）

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼ で削除するフォルダを選択し、WEB（メニュー）を押す

3 2（フォルダ削除）を押す

「削除しますか？」と表示されます。

4 ▲ で「Yes」を選択し、● を押す

フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションとフォルダを全件削除する

本電話機にインストールされているJavaアプリケーションとJava管理画面に表示されるフォルダをすべて削除します。ただし、microSDカードを取り付けたときに表示される「EX_CARD」フォルダと、「EX_CARD」フォルダに移動したJavaアプリケーションは削除されません。

1 待ち受け画面で MENU 8 0 を押す

Java管理画面が表示されます。

2 ▲▼ で WEB（メニュー）を押す

3 Javaアプリケーションを選択しているときは 5（全削除）を、フォルダを選択しているときは 4（全削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「全て削除しますか？」と表示されます。

5 ▲ で「Yes」を選択し、● を押す

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順4の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ [▲▼] で「Yes」を選択し、[●] を押して処理を続行してください。

■Javaアプリケーションを並べ替える

現在表示しているフォルダ内のJavaアプリケーションやフォルダの表示順序を変更します。

1　待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面が表示されます。

2　[▲▼] でいずれかのJavaアプリケーションを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

3　[6]（ソート）を押す

並べ替え方法の一覧が表示されます。

4　[▲▼] で並べ替え方法を選択し、[●] を押す

お知らせ

- フォルダの順序が変わるのは、「名前-昇順」と「名前-降順」だけです。他の項目を選択した場合は、フォルダは常にJavaフォルダより上に表示されます。

■Javaアプリケーションの詳細情報を表示する

Javaアプリケーションのバージョンやサイズなどの情報を表示します。

1　待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面が表示されます。

2　[▲▼] でJavaアプリケーションを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

3　[7]（詳細情報）を押す

詳細情報画面にJavaアプリケーションの情報が表示されます。

■Javaアプリケーションのネットワーク接続について設定する

Javaアプリケーションからのネットワーク接続に対する許可のしかたを設定します。

1　待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面が表示されます。

2　[▲▼] で設定するJavaアプリケーションを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

3　[8]（許可設定）を押し、[●] を押す

ネットワーク接続画面が表示されます。Javaアプリケーションからのネットワーク接続の許可をいつ確認するかを選択します。
1度だけ確認：最初の起動時に一度だけ確認します。
起動ごとに確認：起動するごとに確認します。
使用ごとに確認：使用するごとに確認します。
許可しない：ネットワーク接続を許可しません。

4　[▲▼] で許可方法を選択し、[●] を押す

5　[WEB]（完了）を押す

ネットワーク接続の許可が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、ネットワーク接続の設定ができない場合もあります。

■システム情報を表示する

Javaシステムの使用しているメモリ容量とメモリの空き容量を表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [8] [0] を押す

Java管理画面が表示されます。

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 Javaアプリケーションを選択しているときは [9]（システム情報）を、フォルダを選択しているときは [3]（システム情報）を押す

システム情報画面に、使用中のメモリ容量（XXXX Byte使用）とメモリの空き容量（XXXX Byte フリー）が表示されます。

データを管理する

データを並べ替える

フォルダ内のデータの順序を、作成日時順、更新日時順、ファイルサイズ順、ファイル名順、ファイル種別順で並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 データを並べ替えるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 [WEB]（メニュー）を押す

4 サブメニューで「ソート」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5 [1] ～ [9] のいずれかを押す

選択した順でデータが並べ替えられます。
この設定の結果は他のフォルダにも反映されます。
各設定の意味は次のとおりです。

作成日時順（新→古）：作成日時の新しい順
作成日時順（古→新）：作成日時の古い順
更新日時順（新→古）：更新日時の新しい順
更新日時順（古→新）：更新日時の古い順
ファイルサイズ順（小→大）：サイズの小さい順
ファイルサイズ順（大→小）：サイズの大きい順
ファイル名順（昇順）：ファイル名の文字コードの小さい順
ファイル名順（降順）：ファイル名の文字コードの大きい順
ファイル種別順：ファイルの種別順

お知らせ

- お買い上げ時には、「作成日時順（新→古）」に設定されています。

データの詳細情報を表示する

データについての詳しい情報を表示します。
表示されるのは次の情報です。

情報	説明	データの種類		
		画像データ	サウンドデータ	その他のデータ
ファイル名	ファイル名（拡張子含む）	○	○	○
タイトル名	サウンドデータのタイトル	×	○	×
画像サイズ	画像の幅×画像の高さ	○	×	×
ファイルサイズ	データのサイズ（KB）。表示できる最大のサイズは 999999KByte で、それを超える場合も 999999KByte と表示されます。	○	○	○
作成日時	データの作成された日時	○	○	○
更新日時	データに変更が加えられた日時	○	○	○
コピーガード	コピーガードの有無	○	○	○
設定	壁紙や着信音などの設定先。どの機能にも設定されていないときは「設定なし」と表示されます。	○	○	○
場所	データが実際にある場所	○	○	○

○：表示あり
×：表示なし

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 詳細情報を表示するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞ 13-55ページ）

3 ▲▼ で詳細情報を表示するデータを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 サブメニューで「詳細情報」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。
データの詳細情報が表示されます。

▶ 詳細情報の続きを表示するには

▶ で詳細情報の続きが表示され、◀ で前に戻ります。

お知らせ

- ICレコーダ、留守録音、通話録音のデータには、ファイル名の前にも次の拡張子がつきます。

  ICレコーダのデータ　：`IU_ または `IA_
  留守録音のデータ　　：`MU_ または `MA_
  通話録音のデータ　　：`PU_ または `PA_

  「U」は未再生状態、「A」は再生済みであることを示します。

データを移動／コピーする

■本体から本体へ／ microSDカードからmicroSDカードへ移動する

データを本体のフォルダ間で、またはmicroSDカードのフォルダ間で移動します。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 移動元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 [▲▼] で移動するデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [1]（移動）または [2]（移動）を押す

カーソルが画像データ、サウンドデータ、録音データにあるときは [2] が、それ以外のときは [1] が「移動」になります。

5 [1] ～ [3] のいずれかを押す

１件だけ移動する場合は [1]（一件移動）、複数のデータを選択して移動する場合は [2]（選択移動）、フォルダ内の全データを移動する場合は [3]（全件移動）を押します。
移動先として選択できるフォルダの一覧が表示されます。

▶ 選択移動でデータを選択するには

[2]（選択移動）を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、[▲▼] で移動するデータを選択し、[●]（チェック）を押します。
データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [●]（チェック）を押します。[WEB]（メニュー）を押し、[1]（全件選択）や [2]（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。
移動するデータを選択し終えたら [MAIL]（移動）を押します。

6 [▲▼] で移動先のフォルダを選択し、[●] を押す

データが移動し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- 移動先に同じ名前のデータがある場合は、移動するデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 本体から本体、microSDカードからmicroSDカードへデータを移動する場合は、移動が可能なフォルダしか選択できません。
- 移動先に「シークレットデータ」フォルダを選択した場合は、指紋認証または暗証番号認証が必要です。「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

■本体からmicroSDカードへ／ microSDカードから本体へコピーする

本体にあるデータをmicroSDカードへコピーします。microSDカードにあるデータを本体へコピーする場合も同じ操作となります（ただし、手順４で選択する項目が「本体へコピー」になります）。
コピー先は、コピーするデータの種類によって自動的に選択されます。

<本体からmicroSDカードへのコピーの場合>

データの種類	コピー先フォルダ
「カメラデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
IC レコーダの録音データ	「IC レコーダ」フォルダ

データの種類	コピー先フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
メール BOX バックアップデータ	「メール BOX バックアップ」フォルダ
電話帳バックアップデータ	「電話帳バックアップ」フォルダ
スケジュールバックアップデータ	「スケジュールバックアップ」フォルダ
ブックマークバックアップデータ	「ブックマークバックアップ」フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

＜microSDカードから本体へのコピーの場合＞

データの種類	コピー先フォルダ
「カメラデータ」、「デジカメデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
IC レコーダの録音データ	「IC レコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
2 次元コードログ	「2 次元コードログ」フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

1　待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2　コピー元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞ 13-55ページ）

3　[▲▼] でコピーするデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4　サブメニューで「microSDへコピー」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5　[1] ～ [3] のいずれかを押す

1件だけコピーする場合は [1]（一件コピー）、複数のデータを選択してコピーする場合は [2]（選択コピー）、フォルダ内の全データをコピーする場合は [3]（全件コピー）を押します。

▶ 選択コピーでデータを選択するには

[2]（選択コピー）を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、[▲▼] でコピーするデータを選択し、[●]（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [●]（チェック）を押します。[WEB]（メニュー）を押し、[1]（全件選択）や [2]（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。
コピーするデータを選択し終えたら [MAIL]（コピー）を押します。

お知らせ

- コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーするデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 本体から本体、microSDカードからmicroSDカードへのコピーはできません。
- コピーガードされたデータはコピーできません。
- 本体とmicroSDカード間でのコピーでは、コピー先のフォルダを設定することはできません。コピーするデータの種類別に固定設定されているフォルダへコピーされます。

■本体からmicroSDカードへ／microSDカードから本体へ移動する

本体にあるデータをmicroSDカードへ移動します。microSDカードにあるデータを本体へ移動する場合も同じ操作となります（ただし、手順4で選択する項目が「本体へ移動」になります）。
移動先は、移動するデータの種類によって自動的に選択されます。

＜本体からmicroSDカードへの移動の場合＞

データの種類	移動先フォルダ
「カメラデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
IC レコーダの録音データ	「IC レコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
メール BOX バックアップデータ	「メール BOX バックアップ」フォルダ
電話帳バックアップデータ	「電話帳バックアップ」フォルダ
スケジュールバックアップデータ	「スケジュールバックアップ」フォルダ
ブックマークバックアップデータ	「ブックマークバックアップ」フォルダ
コピーガードされたデータ	「著作権ありデータ」フォルダ（コピーガードされたデータは、データの種類に関わらず「著作権ありデータ」フォルダに移動されます。ただし、コピーガードされたフィールサウンドデータは移動できません。）
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

＜microSDカードから本体への移動の場合＞

データの種類	移動先フォルダ
「カメラデータ」、「デジカメデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
IC レコーダの録音データ	「IC レコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
2 次元コードログ	「2 次元コードログ」フォルダ

データの種類	移動先フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 移動元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 [▲▼] で移動するデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 サブメニューで「microSDへ移動」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5 [1] ～ [3] のいずれかを押す

1件だけ移動する場合は [1]（一件移動）、複数のデータを選択して移動する場合は [2]（選択移動）、フォルダ内の全データを移動する場合は [3]（全件移動）を押します。

▶ **選択移動でデータを選択するには**

[2]（選択移動）を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、[▲▼] で移動するデータを選択し、[●]（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 [●]（チェック）を押します。[WEB]（メニュー）を押し、[1]（全件選択）や [2]（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。移動するデータを選択し終えたら [MAIL]（移動）を押します。

お知らせ

- 移動先に同じ名前のデータがある場合は、移動するデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 壁紙や着信音など、各種機能に設定されているデータを本体からmicroSDカードへ移動する場合、移動するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択して移動を実行すると、そのデータを使用した機能設定は解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 本体とmicroSDカード間での移動では、移動先のフォルダを設定することはできません。移動するデータの種類別に固定設定されているフォルダへ移動されます。

データを削除する

データフォルダ内のデータを削除します。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 削除するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 [▲▼] で削除するデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 [WEB]（次頁）を押す

5 サブメニューで「一件削除」「選択削除」「全件削除」のいずれかを選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。
削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

▶ **選択削除でデータを選択するには**

「選択削除」の場合は、データ選択の画面が表示されるので、[上下キー]で削除するデータを選択し、[センターキー]（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度[センターキー]（チェック）を押します。[WEB]（メニュー）を押し、[1]（全件選択）や[2]（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり選択解除したりできます。
削除するデータを選択し終えたら[MAIL]（削除）を押します。

6 [上キー]で「Yes」を選択し、[センターキー]を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 壁紙や着信音など、各種機能に設定されているデータを削除する場合、削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択して削除を実行すると、そのデータを使用した機能設定は解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。

データ名を変更する

データの名前を変更します。データの名前は、録音データの場合は「タイトル名」で、他のデータの場合は「ファイル名」と呼びますが、変更の手順は同じです。

1 待ち受け画面で[MENU][2]を押す

2 名前を変更するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 [上下キー]で名前を変更するデータを選択し、[WEB]（メニュー）を押す

4 サブメニューで「ファイル名編集」（「タイトル名編集」）を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。
ファイル名（タイトル名）編集の画面が表示されます。

5 ファイル名（タイトル名）を編集する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

6 [センターキー]を押す

ファイル名が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- ファイル名（タイトル名）の先頭に「`」と「$」を使用することはできません。
- ファイル名（タイトル名）の中に「；，￥/：＊？"<>｜」を使用することはできません。
- ファイル名の長さは半角60文字（全角30文字）までです。
- 留守録音データと通話録音データは、ファイル名を編集することはできません。
- バックアップデータを編集しないでください。バックアップデータを編集した場合、正しく復元できないばかりでなく、本電話機内のデータが破損する恐れがあります。

拡張子を変更する

データの拡張子を変更します。拡張子が変更できるのは、「その他データ」フォルダのデータだけです。

1 待ち受け画面で[MENU][2]を押す

2 「その他データ」フォルダを開く

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 で名前を変更するデータを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 サブメニューで「拡張子編集」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類により異なります。
拡張子編集の画面が表示されます。

5 拡張子を編集する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

6 を押す

「ファイルが開けなくなる可能性があります　拡張子を変更しますか？」と表示されます。

7 で「Yes」を選択し、を押す

拡張子が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- 入力できる文字数は、半角１～４文字までです。
- 拡張子に使用できるのは、半角英字（小文字）、半角数字、半角記号です。
- 拡張子に「；，￥／：＊？"<>｜。「」、・゛゜」および半角スペースを使用することはできません。

データをＥメールに添付する

データをＥメールに添付して送信します。添付できるデータのサイズは最大350Kバイトです。JPEG画像データについては添付できるサイズに自動的に縮小することもできます。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 添付するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 で添付するデータを選択し、WEB（メニュー）を押す

4 サブメニューで「Ｅメール添付」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。
選択したファイルが添付された状態でＥメール作成画面が表示されます。

▶ **JPEG画像データの場合は**

SXGA（1280 × 960）、VGA（640 × 480）、QVGA（320×240）のJPEG画像データの場合は、縮小サイズ指定のメニューが表示されます。
1（サイズ変更なし）を押すと、データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、1（サイズ変更なし）は選択できません。
2（VGAに縮小）を押すと、データはVGA（640×480）サイズに縮小されます。
3（QVGAに縮小）を押すと、データはQVGA（320×240）サイズに縮小されます。
4（QQVGAに縮小）を押すと、データはQQVGA（160×120）サイズに縮小されます。
縮小されるのは添付用のコピーで、元の画像データは縮小されません。

5 各項目を入力してＥメールを送信する

「Ｅメールを新規に作成して送信する」（☞8-8ページ）

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです　縮小保存し添付しますか？」と表示されます。で「Yes」を選択して を押し、～ で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

データ保存時にデータを整理する

ダウンロードによる画像データを保存する際などに「空き容量が足りません　整理しますか？」と表示されることがあります。この場合は、不要なデータを削除して必要な空き容量を確保することによって操作を続けることができます。

1 「空き容量が足りません　整理しますか？」と表示される

2 で「Yes」を選択し、 を押す

本体またはmicroSDカード（現在の操作でデータを保存しようとしているデータフォルダ）のフォルダ一覧が表示されます。

3 でフォルダを選択し、 を押す

データ一覧の画面が表示されます。

4 で削除するデータを選択し、 を押す

「削除しますか？」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。必要な空き容量が確保されれば、元の操作の続きに戻ります。まだ空き容量が不足している場合は、手順3のデータ一覧の画面に戻るので、空き容量が確保できるまで手順4、5を続けます。

フォルダを管理する

フォルダを作成する

「ユーザデータ」フォルダの中に新しくフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で を押す

2 「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」（☞13-55ページ）

3 （メニュー）を押し、（新規フォルダ作成）を押す

フォルダ名入力画面が表示されます。

4 フォルダ名を入力する

「文字を入力する」（☞7-19ページ）

5 を押す

フォルダ一覧の最後に新しいフォルダが追加されます。

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「`」と「$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「；，￥／：＊？"<>｜」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字（全角16文字）までです。
- 「ユーザデータ」フォルダの中に合計100個までフォルダを作成することができます。

フォルダを削除する

「ユーザデータ」フォルダに作成したフォルダを削除します。フォルダを削除すると、そのフォルダ内のフォルダやデータもすべて削除されます。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(☞13-55ページ)

3 ▲▼ で削除するフォルダを選択し、WEB(メニュー)を押す

4 4(フォルダ削除)を押す

5 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(☞11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(☞11-12ページ)

「フォルダを削除しますか？」と表示されます。

6 ▲ で「Yes」を選択し、● を押す

フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「ユーザデータ」フォルダのフォルダ数が10件しか残っていない場合は、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。
- 「ユーザデータ」フォルダ以外のフォルダに上記の操作を行うと、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。

フォルダ名を変更する

「ユーザデータ」フォルダにあるフォルダの名前を変更します。それ以外のフォルダの名前は変更できません。

1 待ち受け画面で MENU 2 を押す

2 「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(☞13-55ページ)

3 ▲▼ で名前を変更するフォルダを選択し、WEB(メニュー)を押す

4 1(フォルダ名編集)を押す

フォルダ名編集の画面が表示されます。

5 フォルダ名を編集する

「文字を入力する」(☞7-19ページ)

6 ● を押す

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「`」と「$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「；, ￥ / : ＊ ? " < > ｜」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字(全角16文字)までです。

メモリの使用状況を見る

本体やmicroSDカードのメモリの使用状況を帯グラフで表示します。

1 待ち受け画面で [MENU] [9] [3] を押す

2 [1]（共有メモリ使用状況）を押す

本体メモリの使用状況がKバイト単位で表示されます。
データフォルダ：データフォルダで使用している容量です。
Java™アプリ：Javaが使用している容量です。
Web：ブラウザのページメモで使用している容量です。
空き容量：使用されていない容量です。

▶ 本体とmicroSDカードを切り替えるには

microSDカードのメモリ使用状況は、[MAIL]（microSD）を押すと表示されます。microSDカードの場合は、容量のパーセンテージで使用状況が表されます。[MAIL]（本体）を押すと、本体のメモリ使用状況の表示に戻ります。

お知らせ

- データフォルダを表示した状態で [WEB]（メニュー）を押し、[1]（メモリ使用状況）を押してメモリ使用状況を表示することもできます。ただし、この場合は、「全削除」ボタンは表示されません。
- メールBOXの使用状況については、「メールBOXの使用状況を見る」（☞8-31ページ）を参照してください。

メモリの内容をすべて削除する（全削除）

メモリの全削除を行うと、データフォルダ内のデータはすべて削除され、フォルダ構成もお買い上げ時の状態に戻ります。Javaとページメモのデータも削除されます。

1 待ち受け画面で [MENU] [9] [3] [1] を押す

メモリ使用状況が表示されます。

2 本体とmicroSDカードのうち、データを削除したいほうを表示する

▶ 本体とmicroSDカードを切り替えるには

microSDカードのメモリ使用状況は、[MAIL]（microSD）を押すと表示されます。[MAIL]（本体）を押すと、本体のメモリ使用状況の表示に戻ります。

3 [WEB]（全削除）を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）
認証されると、「本体共有メモリ内を全削除しますか？」または「microSDメモリ内を全削除しますか？」と表示されます。

5 [↕] で「Yes」を選択し、[●] を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

microSDカードを初期化する

microSDカード内のデータをすべて消去し、本電話機用のデータフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 [WEB]（メニュー）を押し、[2]（microSD初期化）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、「microSD内のデータは全て消去されます　初期化しますか？」と表示されます。

4 [▲▼] で「Yes」を選択し、[●] を押す

microSDカードは初期化され、「初期化しました」と表示されます。

お知らせ

- microSDカードを初めて使用する場合は、初期化を行ってください。
- microSDカードを初期化するとmicroSDカード内のデータはすべて消去され、元に戻すことができませんのでご注意ください。

データをバックアップする

本電話機のデータをmicroSDカードの「バックアップデータ」フォルダに退避させることができます。この操作を「バックアップ」と呼びます。microSDカードにデータをバックアップしておけば、何らかの原因で本電話機のデータが失われた場合でも、microSDカードからデータを復元することができます。バックアップできるデータの種類は次のとおりです。

データ	バックアップの内容
メール BOX	受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX の全データを1ファイルにまとめてバックアップします。
電話帳	電話帳の全データを1ファイルにまとめてバックアップします。
スケジュール	スケジュールの全データを1ファイルにまとめてバックアップします。
ブックマーク	ブックマークの全データを1ファイルにまとめてバックアップします。

■バックアップを行う

メールBOX、電話帳、スケジュール、ブックマークの各データをmicroSDカードの「バックアップ」フォルダにバックアップします。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 [WEB]（メニュー）を押し、[3]（バックアップメニュー）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、バックアップメニューが表示されます。

4 [1]（バックアップ）を押す

5 バックアップ対象を選択する

[▲▼] で項目を選択し、[●]（チェック）を押します。データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度、[●]（チェック）を押します。[WEB]（メニュー）を押し、[1]（全件選択）や [2]（全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり選択解除したりできます。
項目を選択し終えたら [MAIL]（完了）を押します。ファイル暗証番号入力画面が表示されます。

6 バックアップファイル用の暗証番号を入力する

半角英数字、半角記号で４～８文字の範囲で入力します。この暗証番号は、バックアップファイルを復元するときに必要になります。

7 [-] を押す

「バックアップしますか？」と表示されます。

8 [↓] で「Yes」を選択し、[-] を押す

バックアップ終了後、「完了しました」と表示されます。

お知らせ

- バックアップを行うには、本電話機にmicroSDカードが取り付けられている必要があります。
- バックアップデータは、microSDカードの「バックアップデータ」フォルダの「メールBOXバックアップ」、「電話帳バックアップ」、「スケジュールバックアップ」、「ブックマークバックアップ」のうち該当するフォルダに保存されます。
- バックアップデータの名前は、バックアップ開始時点の年月日時分が使用されます。
- 電話帳のバックアップでは、シークレットが「ON」で登録されているデータもバックアップされます。

■データを復元する

microSDカードにバックアップしたデータを読み込み、本体の元の場所に取り込みます。復元を行うと、該当するフォルダのデータは削除され、バックアップデータによって上書きされます。

1 待ち受け画面で [MENU] [2] を押す

2 [WEB]（メニュー）を押し、[3]（バックアップメニュー）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、バックアップメニューが表示されます。

4 [2]（復元）を押す

5 [1] ～ [4] のいずれかを押して復元対象を選択する

6 [↑↓] で復元するバックアップデータを選択し、[-] を押す

ファイル暗証番号入力画面が表示されます。

7 バックアップ時に入力した暗証番号を入力し、[-] を押す

「～を復元しますか？」と表示されます。

8 [↓] で「Yes」を選択し、[-] を押す

データが復元され、「完了しました」と表示されます。

ご注意

- 復元を行うと、該当するフォルダのデータは削除され、バックアップデータによって上書きされます。例えば、メールBOXの復元を行うと、受信BOX、未送信BOX、送信BOXの内容はすべてバックアップ時点の状態に戻ることになります。
- 電話帳の復元を行うと、画像、指定電話着信音、指定Eメール着信音、指定ライトメール着信音、指定電話着信イルミネーション、指定Eメール着信イルミネーション、指定ライトメール着信イルミネーションはお買い上げ時の設定に戻ります。
- スケジュールの復元を行うと、スケジュール音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- WX310Jのバックアップデータについては、メールBOX以外は本電話機で復元することができます。この場合は、ファイル暗証番号は不要です。
- 本電話機のバックアップデータをWX310Jで復元することはできません。

国際ローミングを利用する（国際ローミング）

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナムでも利用できるようになります。
サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

▶ 台湾で使用するには

- ●本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）
- ●ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」（☞13-92ページ）

▶ タイまたはベトナムで使用するには

- ●ローミング情報を登録します。「タイ／ベトナムのローミング情報を登録する」（☞13-92ページ）
- ●本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）

ローミングモードに切り替える

台湾、タイまたはベトナムで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。
タイまたはベトナムに切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ／ベトナムのローミング情報を登録する」（☞13-92ページ）

1 **待ち受け画面で MENU 5 5 を押す**

2 **7（国際ローミング）を押す**

3 **1（国・地域／事業者選択）を押す**

4 **2（台湾/大衆電信（FITEL））、3（タイ/（TRUE））、4（ベトナム/（VNPT））のいずれかを押す**

「接続先を切り替えますか？」と表示されます。

▶ 日本へ切り替えるには

1（日本/（WILLCOM））を押します。

5 **で「Yes」を選択して、　を押す**

ローミングモードに切り替わり、「設定しました」と表示されます。
ローミングモードでは、待ち受け画面に「Rm」が点灯します。

お知らせ

- ● ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
  - ・ 位置情報機能
  - ・ 安全運転モード（ネットワーク応答、ネットワーク応答＋留守電）
  - ・ 発信者番号付加機能（184、186）
  - ・ 非通知ガード
  - ・ 分計発信
  - ・ ライトメール
  - ・ 完全消去＋初期化
- ● ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切り替えの際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんぱんに切り替えを行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、待ち受け画面で MENU 0 を押すと示されます。「プロフィールを表示する」（☞13-5ページ）
ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。台湾またはタイで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

1 **待ち受け画面で MENU 5 5 を押す**

2 **7（国際ローミング）を押す**

3 **2（ローミング情報登録）を押す**

4 **1（台湾）を押す**

5 **ローミング電話番号を入力する**

▶ **すでに登録済みのローミング電話番号を修正するには**

クリア を押して登録されている電話番号を削除し、再度入力します。

6 **● を押す**

ローミング電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際に、ウィルコムよりご案内いたします。

タイ／ベトナムのローミング情報を登録する

タイまたはベトナムで使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

●登録日時
●ローミング先PS-ID
●PS番号
●ローミング電話番号
●暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイまたはベトナムでのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送信されます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。
ローミング登録用ライトメールは、自動的に保護設定になります。「メールを保護する」（☞8-28ページ）
海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- ローミング情報登録画面で、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 7（国際ローミング）を押す

3 2（ローミング情報登録）を押す

4 2（タイ）または 3（ベトナム）を押す

5 2（ローミング先PS-ID）を押し、ローミング先PS-IDを入力する

6 [•] を押す

7 3（PS番号）を押し、PS番号を入力する

8 [•] を押す

9 4（ローミング電話番号）を押し、ローミング電話番号を入力する

10 [•] を押す

11 5（暗証番号）を押し、暗証番号を入力する

12 [•] を押す

13 タイのローミング情報登録画面で、MAIL（登録）を押す

ローミング情報が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内いたします。
- ローミング電話番号は、待ち受け画面で MENU 0 を押して確認することができます。「プロフィールを表示する」（☞13-5ページ）
- ローミング情報を消去した場合は、タイ／ベトナムでのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。
ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で ＊ ＊ を押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2 「81」（日本の国番号）を入力する

3 相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力する

例えば、相手の番号が「070-1234 -XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

4 [発信] を押す

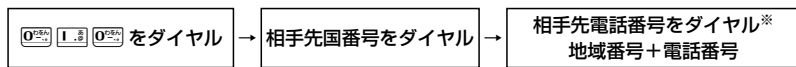
お知らせ

- 待ち受け画面で、相手の国番号と電話番号（先頭の0を除く）を入力してから、先頭に国際プリフィックス番号を付けることもできます。電話番号の入力後、WEB（メニュー）を押して、1（国際プリフィックス）を押します。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。

0 1 0 をダイヤル	→	相手先国番号をダイヤル	→	相手先電話番号をダイヤル※ 地域番号＋電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は､「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例）ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話であることを示す番号		アメリカの国番号		ニューヨークの地域番号		相手の電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムのサービスを利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を２箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめ契約が必要です。
料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 14-3ページ）
なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1 相手の電話番号を入力する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [4]（料金分計）を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

4 [−]（発信）または[発信]を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

お知らせ

- 先に[発信]を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆＋オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは、分計発信ではなく通常の発信になります。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度手順２～４の操作を行ってください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」を付けて、分計発信することもできます。「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（☞ 11-2ページ）

発信履歴／着信履歴／メモから料金分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面から、[◀▶]で発信履歴画面または着信履歴画面を表示する

2 必要に応じて、[◀▶]で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

3 [▲▼]でかけたい電話番号を選択し、[−]を押す

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 7-5ページ）

4 [WEB]（メニュー）を押す

5 4（料金分計）を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

6 （発信）または を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で MENU 6 1 を押す

電話帳の一覧画面が表示されます。 でも、同じ操作ができます。

2 電話をかける相手を選択する

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

3 WEB（メニュー）を押す

4 5（料金分計）を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

5 （発信）または を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

留守番電話サービスを利用する（有料）

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「 」と留守録がある旨と表示されます。
リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「着信ランプを設定する」（☞13-12ページ）

お知らせ

- 留守番電話サービスはライトメールなどの文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にはご利用になれません。「着信転送サービスを使う」（☞13-97ページ）

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

1 待ち受け画面で MENU 5 4 を押す

2 7（留守番電話（NW））を押す

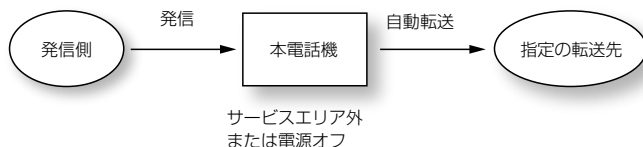
3 1（留守再生）を押す

留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると、待ち受け画面の「 」の表示が消えます。

お知らせ

- メッセージが保存されているときに [キー] を押すか、または「＊9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- プッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。

着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-10ページ）

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

14 モードの活用

利用するモードを選ぶ

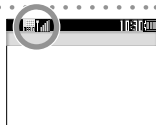
本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

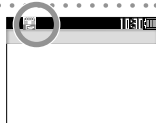
待受モードについて

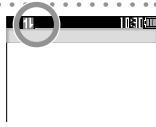
▶ **公衆モード**

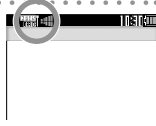
ウィルコムの公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。

▶ **オフィスモード**

事業所用コードレスシステムの子機として使います。

▶ **グループモード**

グループモード対応電話機どうしで、トランシーバとして使います。

▶ **転送モード**

グループモード対応電話機どうしで、電話帳データやブックマークを送受信します。

▶ **公衆/オフィスモード（デュアルモード）**

公衆モードとオフィスモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
は上側が公衆、下側がオフィスの状態を表示します。

▶ **公衆/グループモード（デュアルモード）**

公衆モードとグループモードの２つのモードで同時に待ち受けます。

現在設定されている待受モードは、画面の左上端に表示されています。

オフィスモード、および公衆/オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。
グループモード、および公衆/グループのデュアルモードでグループ通話や電話帳/ブックマーク転送を行うには、本電話機１台に加えて、グループモードに対応した端末１台以上が必要です。

待受モードを切り替える（待受モード設定）

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 1（待受モード設定）を押す

待受モード設定画面が表示されます。

3 1 ～ 6 のいずれかを押す

お知らせ

- 以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
  - ・オフィスモード、公衆/オフィスモード「オフィスモードで使う」（☞14-4ページ）
  - ・グループモード、公衆/グループモード、転送モード「グループモードで使う」（☞14-9ページ）
- 通話中は、待受モードの変更はできません。
- 待ち受け画面で MENU ☎ を押しても、待受モード設定画面が表示されます。

オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。
また、「ダイヤルアップ設定」で、接続先として事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどを設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ設定）」（☞9-41ページ）

- 事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけかたなど操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
- 対応するPBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

■モードを切り替える

オフィスシステム（PBX）の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆/オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞14-3ページ）

電話をかける

オフィスシステム（PBX）の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞14-6ページ）

- 市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
- 国際電話がご利用いただけます。

1 内線の場合、相手の電話番号を入力する
外線の場合、外線発信番号を付けて相手の電話番号を入力する

内線、外線ともにアンテナをのばしてご利用ください。
入力した電話番号が表示されます。

▶ 電話帳から電話番号を検索するには

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

▶ 発信履歴などから電話番号を検索するには

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞7-5ページ）

▶ 電話番号を修正するには

[◀▶]で修正したい箇所にカーソルを移動し、[クリア]で消去してから、[0]～[9]で正しい番号を入力します。

▶ あらかじめ外線発信番号を登録しておくと

外線発信番号なしで電話番号を入力したあとや、電話帳などからの発信時に[メモ]を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号が付けられます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞14-5ページ）

2 [☎]または[　]（発信）を押す

相手が出ると通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら[☎]を押す

お知らせ

- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。
- 国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- 表示される通話時間は目安です。
- [発信]を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。
- [発信]を２回押すと、前回かけた電話番号にリダイヤルされます。
- オフィスモードでは「分計発信」はご利用になれませんが、公衆/オフィスモード（デュアルモード）であれば「分計発信」がご利用になれます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞13-95ページ）

電話を受ける

1 着信音またはバイブレータが動作する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）

2 アンテナをのばし、[発信]を押す

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら[終話]を押す

お知らせ

- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」（☞7-46ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、[発信]以外に[文字]、[クリア]、[A/a]、[MENU]、[0]～[9]、[＊]、[＃]、[◀][▲][▼][▶]を押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞13-16ページ）

電話を転送する

一度受けた電話を、他の電話機に転送することができます。

1 通話中に[クリア]を押す

通話が保留になります。

2 転送先の電話番号を入力する

3 転送先につながったら、取り次ぐことを伝えて[終話]を押す

転送先につながる前に[終話]を押しても、電話は転送されます。転送先では、電話を受けるとすぐに相手とつながります。

外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、発信履歴、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに[A/a]を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的に付けることができます。もう一度[A/a]を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で[MENU][5][6]を押す

2 [9]（外線発信番号）を押す

3 0～9を押す

オフィスモードの番号が複数登録されている場合、外線発信番号を登録するオフィスモードの番号に対応したダイヤル番号を押します。

4 0～9で外線発信番号を入力する

外線発信番号は6桁まで入力できます。

5 [•]を押す

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 入力した番号を修正する場合は、[クリア]を押します。入力した数字が右端から消えます。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆/オフィス」または「公衆/グループ」に設定しているときに、どちらのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1 待ち受け画面で[MENU] 5 6を押す

2 8（優先発信切替）を押す

3 1または2を押す

優先発信モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 1（公衆優先）を押すと

公衆モード優先に設定され、待ち受け画面に「[PHS OFFICE]」または「[PHS OFFICE]」が表示されます。

▶ 2（オフィス,グループ優先）を押すと

オフィスモードまたはグループモード優先に設定され、待ち受け画面に「[PHS OFFICE]」または「[PHS Gr]」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には､｢オフィス,グループ優先｣に設定されています。
- 待ち受け画面で[MENU]を約1秒以上押すことでも、優先発信するモードを変更できます。
- 優先発信を設定しているモードが圏外のときは、一定時間が経過すると、優先発信に設定されていない方のモードに自動的に切り替わります。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆/オフィス」または「公衆/グループ」に設定しているとき、一時的にモードを切り替えて発信することができます。どちらかのモードが圏外のときは、切り替えることができません。

1 相手の電話番号を入力する

入力した電話番号が表示されます。

2 [MENU]を押す

優先発信モードが切り替わります。

3 [発信]または[•]（発信）を押す

相手が出ると通話できます。

お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切り替えを次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞同じページ内です。）

オフィス番号を選択する（オフィス番号選択）

オフィスモードの番号が複数登録されているときに、使用するオフィス番号を選択します。

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 8 （オフィス番号選択）を押す

3 選択するオフィス番号に対応したダイヤルボタンを押す

オフィス番号が選択され、「設定しました」と表示されます。

▶ **オフィスモードの番号を確認するには**

でオフィス番号の選択を切り替えると、それぞれの登録番号が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、オフィスモードの番号が登録されていないため、オフィス番号の選択はできません。

オフィスＥメールを送受信する

公衆モードでのＥメール送受信と同様に、オフィスモードでＥメールを送受信することができます。

■オフィスモード時の接続モードを設定する

オフィスＥメールを送受信するには、あらかじめオフィスモード時の接続モード（接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントなど）を設定しておく必要があります。「オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード）」（☞9-48ページ）

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

▶ **プッシュ信号の送信**

通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

▶ **内線番号表示**

本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」（☞13-5ページ）

▶ **通話中保留**

通話中に クリア/マナー を押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度 クリア/マナー を押します。

▶ **内線／外線への転送**

保留状態で転送先の電話番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら 通話 を押します。

▶ **キャッチホン**

通話中に「プップ‥プップ‥」という音（キャッチホン）が鳴ったときに、 通話 を押して通話相手を切り替えます。

▶ 外線／内線／専用線の着信音鳴り分け

外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）

お知らせ

● 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。「着信メロディを設定する」（☞7-62ページ）

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞14-13ページ）、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕」（☞14-14ページ）、および「グループ内で電話帳やブックマークを転送する（電話帳／ブックマーク転送）」（☞14-14ページ）を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは３つまで登録できます。
送信側１台と受信側１台以上の間で双方向に、または受信側どうしで、トランシーバ通話および電話帳／ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞14-3ページ）
電話帳／ブックマーク転送をするには、待受モードを「転送」に切り替えます。

グループを登録する

電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側１台と受信側１台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。
グループは３つまで登録できます。グループごとに、あらかじめ同一の４桁の暗証番号を決めておく必要があります。

受信側の操作

登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

1 **待ち受け画面で MENU 5 5 を押す**

2 **2（グループ/転送）を押す**

3 **1（グループ登録）を押す**

グループ登録画面が表示されます。

4 **#（受信（子機））を押す**

5 **1 ～ 3 のいずれかを押す**

▶ **登録済みのグループを選択したとき**

「グループリストは削除されます　上書きしますか？」と表示されます。□で「Yes」または□で「No」を選択して、□を押します。

6 **0 ～ 9 でトランシーバ番号を入力する**

0001 ～ 8000の間で、任意の番号を入力します。0001は「1」、0123は「123」というように、上位桁の「0」は省略して入力することができます。

7 **# を押す**

8 **0 ～ 9 で、4桁のグループ暗証番号を入力する**

「送信側の操作」の手順6（☞14-10ページ）で入力する暗証番号を入力します。

9 [#↵] を押す

「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」の手順7（☞同じページ内です。）のときに、送受信が開始されます。
送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

▶ **登録できなかったとき**

エラー音が鳴り、受信失敗となります。[☎] を押すと、手順3のグループ登録画面に戻ります。

お知らせ

- 受信側は約30秒間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。
- トランシーバ番号やグループ暗証番号を修正する場合は、[クリア] を押します。入力した数字が右端から消えます。

送信側の操作

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [5] を押す

2 [2]（グループ/転送）を押す

3 [1]（グループ登録）を押す

グループ登録画面が表示されます。

4 [✱]（送信（親機））を押す

5 [1] ～ [3] のいずれかを押す

6 [0] ～ [9] で、4桁のグループ暗証番号を入力する

「受信側の操作」の手順8（☞14-9ページ）で入力した暗証番号を入力します。

7 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認し、[#↵] を押す

送信が成功すると「送信終了」と表示され、送信側が登録されます。

▶ **送信が失敗したときは**

エラー音が鳴り、「送信失敗」と表示されます。[☎] を押すと、手順3のグループ登録画面に戻ります。

お知らせ

- 送信側のトランシーバ番号は、自動的に「0」に設定されます。
- グループ暗証番号を修正する場合は、[クリア] を押します。入力した数字が右端から消えます。

グループリストを登録する

グループごとに、通信する相手先の名前とトランシーバ番号をリストとして登録しておくことができます。通信相手は1グループにつき100件まで登録することができます。

1 待ち受け画面で [MENU] [5] [5] を押す

2 [2]（グループ/転送）を押す

3 [3]（グループリスト）を押す

4 [1] ～ [3] のいずれかを押す

選択したグループのリストが表示されます。相手先が1件も登録されていないときは、手順6に進みます。

5 [MAIL]（新規）を押す

6 ▲▼で「名」を選択し、[•]を押す

7「名前」と「フリガナ」を入力する

「名前とフリガナを入力する」（☞7-47ページ）

8 ▲▼で「☎」を選択し、[•]を押す

9 トランシーバ番号を入力する

10 [•]を押す

11 [MAIL]（登録）を押す

相手先がグループリストに登録され、「登録しました」と表示されます。

グループリストを編集する

1 グループリストの一覧で、編集する相手先を選択する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [1]（編集）を押す

4 各項目を編集し、[MAIL]（登録）を押す

編集結果が登録され、手順1のグループリストの一覧画面に戻ります。
続けて他の相手先を編集するときは、手順1～4を繰り返します。

グループリストを削除する

グループリストに登録されている相手先を削除します。

■1件だけ削除する

1 グループリストの一覧で、削除する相手先を選択する

2 [WEB]（メニュー）を押す

3 [2]（一件削除）を押す

4 ▲で「Yes」を選択し、[•]を押す

相手先が削除され、手順1のグループリストの一覧画面に戻ります。
続けて他の相手先を削除するときは、手順1～4を繰り返します。

お知らせ

- グループリストから相手先の情報を削除しても、その相手先のグループ登録は削除されません。

■選択して削除する

1 グループリスト一覧の表示中に、[WEB]（メニュー）を押す

2 [3]（選択削除）を押す

3 削除する相手先を選択する

▶ 1件ずつ選択するには

[◀][▲][▼][▶]で削除する相手先を選択し、[●]（チェック）を押します。相手先の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度[●]（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[1]（全件選択）を押します。すべての相手先の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、[WEB]（メニュー）を押し、サブメニューで[2]（全件解除）を押します。

4 [MAIL]（削除）を押す

5 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

相手先が削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

1 グループリスト一覧の表示中に、[WEB]（メニュー）を押す

2 [4]（全件削除）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

4 [▲]で「Yes」を選択し、[●]を押す

グループリストの相手先がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

グループ名を編集する

1 待ち受け画面で[MENU][5][5]を押す

2 [2]（グループ/転送）を押す

3 [1]（グループ登録）を押す

4 [＊]（送信（親機））を押す

5 [▲][▼]で名前を編集するグループを選択し、[MAIL]（編集）を押す

6 新しいグループ名を入力する

7 [●]を押す

グループ名が変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 登録されているグループ名を変更すると、グループリストのグループ名も変更されます。ただしリストの内容は変更されません。
- 親機側のグループ名を変更しても、子機側のグループ名は変更されません。

グループ登録を削除する

グループ登録の内容をすべて削除します。グループリストも削除されます。

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 2（グループ/転送）を押す

3 2（グループ削除）を押す

▶ グループが登録されていないとき

2（グループ削除）は選択できません。

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（☞11-12ページ）

認証されると、グループの一覧が表示されます。

5 1 ～ 3 のいずれかを押す

「グループリストは削除されます　削除しますか？」と表示されます。

6 で「Yes」を選択し、 を押す

グループ登録が削除され、「グループ登録を削除しました」と表示されます。

相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞14-3ページ）

1 待ち受け画面でグループ番号 1 ～ 3 を押す

グループ番号がわからない場合は、クリア/マナー を押してグループ一覧を表示させることもできます。
自分の電話機のトランシーバ番号が表示されます。

2 相手のトランシーバ番号を入力する

入力したトランシーバ番号が表示されます。
トランシーバ番号を修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

▶ グループリストからトランシーバ番号を入力するには

WEB（リスト）を押すと、グループリストが表示されます。 を押して相手先を選択します。

3 または （発信）を押す

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら、 を押す

お知らせ

- グループ登録を行った電話機間で、トランシーバ通話ができます。
- グループ登録時の受信側、送信側のどちらからでも発信できます。また、受信側どうしでも発着信ができます。
- 次のときには通話が終了することがあります。
  - ・距離が離れすぎたとき
  - ・電池パックの電圧が低下したとき
  - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき
    （このときには「ツーツーツー」という切断音が聞こえます）
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、自動的にもう一度つながります。
- 電話帳、リダイヤル、番号メモ、着信履歴からの発信はできません。
- 手順2で相手のトランシーバ番号を入力後、約5秒たつと自動的に発信します。

相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

グループの電話機からの着信を受けるには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞14-3ページ）

1　着信音またはバイブレータが動作する

2　アンテナをのばし、[☎]を押す

着信ランプが点灯し、相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

3　通話が終わったら[☎]を押す

お知らせ

- 呼び出しを受けてから約30秒たっても[☎]を押さないときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、[MAIL]または[☎]を押して着信音やバイブレータの動作を止めることができます。
- 着信したトランシーバ番号は着信履歴に残りません。

グループ内で電話帳やブックマークを転送する（電話帳/ブックマーク転送）

電話帳転送機能対応機どうしで、電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

▶ **電話帳データ**

名前	全角16文字（半角32文字）まで
読み	半角16文字まで
電話番号	3件、各32桁まで
番号種別	電話番号、携帯電話、PHS、自宅、会社、FAX、ショップ、レストラン、病院、属性なし
メールアドレス	3件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで
メモ	全角50文字（半角100文字）まで

▶ **ブックマーク**

タイトル	全角16文字（半角32文字）まで
URL	半角200文字まで

転送モードに設定する（待受モード設定）

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録されており、待受モードを「転送」モードに切り替えておく必要があります。「グループを登録する」（☞14-9ページ）

1　待ち受け画面で[MENU][5][5]を押す

2　[1]（待受モード設定）を押す

3　[6]（転送）を押す

待ち受けモードが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 「転送」モードでは音声通話はできません。

電話帳を転送する

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 2（グループ/転送）を押す

3 4（電話帳/ブックマーク転送）を押す

4 1（電話帳）を押す

5 1（指定転送）を押す

電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-52ページ）

▶ **電話帳を全件まとめて転送するには**

2（全件転送）を押して、手順8へ進みます。

6 転送するデータを選択する

▶ **1件ずつ選択するには**

で転送する電話帳データを選択し、（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度（チェック）を押します。

▶ **全件選択するには**

WEB（メニュー）を押し、サブメニューで1（全件選択）を押します。すべての電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、WEB（メニュー）を押し、サブメニューで2（全件解除）を押します。

7 MAIL（完了）を押す

8 1 ～ 3 のいずれかを押す

9 転送先のトランシーバ番号を入力する

▶ **グループリストからトランシーバ番号を入力するには**

WEB（リスト）を押すと、グループリストが表示されます。で転送先を選択します。

10 （転送）または を押す

転送が開始されます。

▶ **転送が成功すると**

完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。

▶ **転送に失敗すると**

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されます。

▶ **転送が中断したときは**

転送途中にエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。1（再接続）を押すと、転送が再開されます。2（転送中止）を押すと、エラーの発生前に転送された電話帳データは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■受信側の表示

転送された電話帳の登録内容が、電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

お知らせ

● 電話帳ロックを設定しているときは、手順4の操作のあと、指紋認証画面が表示されます。認証を行うと、手順5に進みます。

ブックマークを転送する

1 待ち受け画面で MENU 5 5 を押す

2 2（グループ/転送）を押す

3 4（電話帳/ブックマーク転送）を押す

4 2（ブックマーク）を押す

5 1（指定転送）を押す

▶ **ブックマークを全件まとめて転送するには**

2（全件転送）を押して、手順8へ進みます。

6 転送するデータを選択し、▭（チェック）を押す

▶ **1件ずつ選択するには**

上下キーで転送するブックマークを選択し、▭（チェック）を押します。ブックマークの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度▭（チェック）を押します。

7 WEB（完了）を押す

8 1 ～ 3 のいずれかを押す

9 転送先のトランシーバ番号を入力する

▶ **グループリストからトランシーバ番号を入力するには**

WEB（リスト）を押すと、グループリストが表示されます。十字キーで転送先を選択します。

10 ▭（転送）または 通話キー を押す

転送が開始されます。

▶ **転送が成功すると**

完了音が鳴り、「転送終了」と表示されます。

▶ **転送に失敗すると**

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示されます。

▶ **転送が中断したときは**

転送途中にエラーが発生し、転送が中断すると、サブメニューが表示されます。1（再接続）を押すと、転送が再開されます。2（転送中止）を押すと、エラーの発生前に転送されたブックマークは受信側に登録されますが、残りは登録されません。

■受信側の表示

転送されたブックマークの登録内容が、ブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

15
困ったときは

故障かな？ちょっと確認してください

症状	確認点	対処方法
電源が入らない	を約２秒以上押しましたか？	を約２秒以上押してください。「電源を入れる」（☞ 1-7 ページ）
	電池パックが正しく取り付けられていますか？	電池パックを正しく取り付けてください。「電池パックを取り付ける」（☞ 1-3 ページ）
	電池の残量は十分ですか？	卓上充電器で充電してください。「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
電話が利用できない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。「電話をかける」（☞ 7-2 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 14-2 ページ）
	＜グループモード＞ グループ登録をしましたか？	グループ登録を行ってください。「グループモードで使う」（☞ 14-9 ページ）
電話がかけられない	が点灯していませんか？	ダイヤルロックを解除してください。「ダイヤルをロックする（S ダイヤルロック）」（☞ 11-14 ページ）「無操作が続いたときにダイヤルロックする（オートダイヤルロック）」（☞ 11-15 ページ）
	「キーロック」と表示されていませんか？	キーロックスイッチを下げて、キーロックを解除してください。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 11-13 ページ）
	＜公衆モード＞ 市外局番なしでダイヤルしていませんか？	市外局番からダイヤルしてかけ直してください。「電話をかける」（☞ 7-2 ページ）
	＜オフィスモード＞ PBX に登録していますか？	PBX に登録してください。「オフィスモードで使う」（☞ 14-4 ページ）
	＜グループモード＞ かけたトランシーバ番号は合っていますか？	番号を確認してかけ直してください。「グループモードで使う」（☞ 14-9 ページ）

症状	確認点	対処方法
電話がかかってこない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 7-2 ページ）
	が点灯していませんか？	「オートサイレント」を解除してください。 「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 7-68 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。 「利用するモードを選ぶ」（☞ 14-2 ページ）
	着信音量を「OFF」に設定していませんか？	着信音量を「OFF」以外に設定してください。 「着信音量を設定する」（☞ 7-64 ページ）
	相手の電話番号を着信拒否に登録していませんか？	着信拒否の登録を消去してください。 「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（☞ 11-4 ページ）
	番号非通知の電話を受けない設定になっていませんか？	「非通知ガード」を解除してください。 「番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）」（☞ 11-3 ページ）
通話しているときに、雑音が聞こえる、聞き取りにくい、途切れる	アンテナマークが、 や になっていませんか？	アンテナマークの表示が、 や になる場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 7-2 ページ）
	高いビルに囲まれたような場所で使われていませんか？	見通しのよい場所に移動してください。
	アンテナをきちんと伸ばしていますか？	カチッと音がするまでアンテナを伸ばしてください。 「アンテナの使いかた」（☞ 1-10 ページ）
充電してもすぐに電池がなくなる	本電話機を正しく卓上充電器に置きましたか？	正しく置いて充電してください。 「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
	卓上充電器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	卓上充電器の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでから充電してください。 「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
	本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子が汚れていませんか？	端子を清掃してください。 「お手入れ」（☞ A-2 ページ）
	電池パックが消耗していませんか？	新しい電池パックと交換してください。 「電池パックを交換するときは」（☞ 1-4 ページ）

お知らせ

- 上記の対処方法をしても改善されない場合は、使用を中止してウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ一覧

	表示	原因	対処方法	分類
記号・アルファベット（A〜Z）	＊は複数設定できません	着信拒否番号で＊を複数の箇所に設定しました。	＊は番号の最後に 1 つだけ使用してください。「着信拒否番号を登録する」（☞ 11-4 ページ）	セキュリティ
	＊以降には設定できません	着信拒否番号で＊以降に番号を設定しました。	＊は番号の最後に使用してください。「着信拒否番号を登録する」（☞ 11-4 ページ）	セキュリティ
	DNS の参照でエラーが発生しました	DNS の設定が正しくないか、URL が正しくありません。	DNS サーバの設定を確認してください。または、URL を確認してください。「ダイヤルアップの詳細情報を設定する」（☞ 9-44 ページ）	インターネット
	E メール制限設定中です	管理者ロックにより E メールが制限されているにもかかわらず、E メール機能を使用しようとしました。	E メール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 11-26 ページ）	セキュリティ
	jvinstall.txt を削除して下さい	「PC データ」フォルダの中に、すでに jvinstall.txt がありました。	「PC データ」フォルダにある jvinstall.txt を削除してから、インストールしてください。「Java アプリケーションを活用する」（☞ 13-73 ページ）	データフォルダ
	microSD/PC データで実行して下さい	Javaアプリケーションデータ（ と ）が microSD カードの「PC データ」フォルダ以外にありました。	Java アプリケーションデータ（ と ）を microSD カードの「PC データ」フォルダに移動してからインストールしてください。「Java アプリケーションを活用する」（☞ 13-73 ページ	データフォルダ
	microSD にエラーが発生しました	microSD カードにエラーが発生し、データを保存できませんでした。	本電話機の電源を入れ直してからもう一度操作してください。それでもエラーが発生する場合は、必要なデータを本体データフォルダまたはパソコンに移動してから microSD カードの全削除または初期化を行ってください。「メモリの内容をすべて削除する（全削除）」（☞ 13-88 ページ）、「microSD カードを初期化する」（☞ 13-89 ページ）	データフォルダ
	microSD の空き容量が足りません	microSD カード内のデータ容量に空きがありませんでした。	不要なデータを削除するか、空き容量のある microSD カードと取り換えてください。「データを削除する」（☞ 13-83 ページ）「microSD カードを取り付ける／取り外す」（☞ 1-24 ページ）	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
記号・アルファベット（A〜Z）	microSD を初期化して下さい	microSD カードのデータが読み取れませんでした。	microSD カードを初期化してください。「microSD カードを初期化する」（☞ 13-89 ページ）	データフォルダ
	SYNC に失敗しました	Intellisync 機能でパソコンとの接続が確立したあと、パソコン側からのレスポンスがありません。	接続を正しく行ってください。解決しない場合は、パソコンを再起動し、操作をやり直してください。「パソコンと接続する」（☞ 10-2 ページ）	Intellisync 機能
	URL に誤りがあります	2 次元コードから読み取った URL に誤りがあります。	誤りを訂正して入力してください。「読み取った情報を使用する」（☞ 12-18 ページ）	カメラ
	USB ケーブルを接続して下さい	Intellisync 機能を使用する際に、パソコンと本電話機とを USB ケーブルで接続していませんでした。	パソコンと本電話機とを USB ケーブルで接続してください。	Intellisync 機能
	Web 制限設定中です	管理者ロックにより Web が制限されているにもかかわらず、Web 機能を使用しようとしました。	Web 制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 11-26 ページ）	セキュリティ
ア行	新しい暗証番号が正しくありません	新しい暗証番号の、1 回目と 2 回目の入力が一致していませんでした。	新しい暗証番号を入力し直してください。「暗証番号を設定する」（☞ 11-11 ページ）	認証
	新しい管理者パスワードが正しくありません	新しい管理者パスワードの、1 回目と 2 回目の入力が一致していませんでした。	新しい管理者パスワードを入力し直してください。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」（☞ 11-24 ページ）	セキュリティ
	アドレスが不正です	Web ページのアドレスが正しくありません。	正しいアドレスを入力してください。	インターネット
	アプリケーションが保存されているため削除できません	フォルダ内にアプリケーションが保存されていました。	フォルダ内のアプリケーションを削除してからフォルダを削除してください。「Java アプリケーションを管理する」（☞ 13-74 ページ）	データフォルダ
	暗証番号が違います	登録されていない番号が入力されました。	正しい番号を入力してください。「指紋や暗証番号で認証を行う」（☞ 11-11 ページ）	認証
	移動失敗しました	メールの移動に失敗しました。	フォルダを確認してください。「受信 BOX のフォルダを活用する」（☞ 8-18 ページ）	メール
	移動してから実行して下さい	「シークレットデータ」フォルダや「著作権ありデータ」フォルダ内で開けないデータです。	他のフォルダに移動して実行してください。「データを移動／コピーする」（☞ 13-80 ページ）	データフォルダ
	エラーが発生しました	コンテンツの内部でエラーが発生しました。	もう一度操作し直してください。	インターネット

	表示	原因	対処方法	分類
ア行	オートサイレント起動中です	オートサイレントが起動しているのでマナーモードのON/OFFができませんでした。	オートサイレントを解除してからマナーモードを設定してください。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 7-68 ページ）	電話機能
	おかけなおしください	相手にかかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能
カ行	該当データがありません	電話帳に検索条件に該当するデータが登録されていませんでした。または、そのデータには使用しようとしている項目が登録されていませんでした。	検索条件を変更して、検索し直してください。 「電話帳を利用する」（☞ 7-45 ページ）	電話帳
	拡張子を入力して下さい	拡張子が入力されませんでした。	適切な拡張子を入力してください。「拡張子を変更する」（☞ 13-84 ページ）	データフォルダ
	加入者なし	存在しない電話番号に発信しようとしました。	—	電話機能
	管理者パスワードが初期値のままです	管理者パスワードが初期値のまま暗証番号が登録されました。	安全のため、管理者パスワードも変更することをお勧めします。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 11-24 ページ）	セキュリティ
	管理者パスワードが違います	登録されていない管理者パスワードが入力されました。	正しい管理者パスワードを入力してください。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 11-24 ページ）	セキュリティ
	起動時にエラーが発生しました 本体の電源を入れ直して下さい	カメラの起動時にエラーが発生しました。	本体の電源を入れ直してください。	カメラ
	国・地域名が違います	ライトメールからコピーした情報が正しくありません。	もう一度コピーし直すか、ローミング情報をご自分で入力してください。「手動でローミング情報を登録する」（☞ 13-93 ページ）	国際ローミング
	グループx 登録がありません	未登録のグループ番号を押しました。	登録されているグループ番号を押してください。「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞ 14-13 ページ）	グループモード
	グループ番号を押して下さい	グループ番号を選択する際に、無効なキーを押しました。	登録されているグループ番号を押してください。「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞ 14-13 ページ）	グループモード
	検索処理中にエラーが発生しました	文字列の検索中にエラーが発生しました。	もう一度検索し直してください。「PDF データを閲覧する」（☞ 13-71 ページ）	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
カ行	検索に失敗しました	文字列の検索中にエラーが発生しました。	もう一度検索し直してください。「パソコンの文書データを開く」(☞ 13-68 ページ)	データフォルダ
	件数オーバーです 整理して下さい	データを移動またはコピーする際に、データの件数が保存先の制限をオーバーしました。	不要なデータを削除してください。「データを削除する」(☞ 13-83 ページ)	データフォルダ
	コピーした RM 情報に誤りがあります 登録ライトメール情報のすべてをコピーしてください	ライトメールからコピーした情報が正しくありません。	もう一度コピーし直すか、ローミング情報をご自分で入力してください。「手動でローミング情報を登録する」(☞ 13-93 ページ)	国際ローミング
サ行	サイズオーバーです	ファイルのサイズが、最大サイズを超えました。	最大サイズを超えるファイルは表示／再生できません。「データフォルダを活用する」(☞ 13-53 ページ)	データフォルダ
	再生できません	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	−	データフォルダ
	最大サイズを超えるため受信できないメールがあります	受信しようとするメールのサイズが、最大サイズを超えました。	−	メール
	削除に失敗したメールがあります	microSD カード内のデータを削除できませんでした。	microSD カードを取り付け、もう一度操作してください。	データフォルダ
	サーバが見つかりません	指定されている DNS サーバが見つかりませんでした。	DNS サーバの設定を正しく行ってください。「ダイヤルアップの詳細情報を設定する」(☞ 9-44 ページ)	インターネット
	サポートされていない暗号化です	サポートされていない暗号方式で保護された PDF を開きました。	このタイプの PDF は本電話機では表示することができません。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	サポートしていないフォーマットです	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	−	データフォルダ
	しおり一覧の取得ができませんでした	しおり情報の取得に失敗しました。	しおり情報に異常があるため、しおりは表示することができません。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	しおりに含まれる URL には未対応です	URL が指定されているしおりを選択しました。	しおりに指定されている URL を表示することができません。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	シークレットデータが登録されています	電話帳を登録する際、すでに登録されているメモリ No. に登録しようとした場合に、そのメモリ No. がシークレットデータとして登録されているため、上書きできませんでした。	別のメモリ No. で登録してください。「電話帳を利用する」（☞ 7-45 ページ）	電話帳
	しばらくしておかけなおしください	相手にかかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能
	指紋の読み取りに失敗しました	同一の指紋として 3 回認識することができませんでした。	指紋登録の操作を、最初からやり直してください。 「指紋を登録する」(☞ 11-8 ページ)	認証
	充電して下さい	電池残量が足りませんでした。	充電してください。「充電する」（☞ 1-3 ページ）	電池パック
	受信失敗	電話帳またはブックマークの受信に失敗しました。	もう一度、やり直してください。「グループ内で電話帳やブックマークを転送する(電話帳 / ブックマーク転送)」(☞ 14-14 ページ)	グループモード
	受信失敗 ☎ を押してください	グループ登録する際に、受信側の登録操作を失敗しました。	☎ を押して、もう一度やり直してください。「受信側の操作」（☞ 14-9 ページ）	グループモード
	受信失敗しました	メールの受信に失敗しました。	メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38 ページ）	メール
	上下、左右、決定の設定が全て OFF です	「上下」、「左右」、「決定」の設定がすべて「OFF」のままポインティング設定を「ON」にしようとしました。	「上下」、「左右」、「決定」のいずれか 1 つは「ON」に設定してください。「ポインティング動作を設定する」（☞ 13-50 ページ）	指紋センサー
	スケジュールロック中です	スケジュールがロックされている状態で、スケジュールの機能を使用しようとしました。	スケジュールのロックを解除してください。「ユーザの情報をロックする（ロック設定）」（☞ 11-22 ページ）	セキュリティ
	既に登録されています	着信拒否の電話番号を登録する際に、すでに登録されている電話番号を登録しようとしました。	「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（☞ 11-4 ページ）	セキュリティ
	接続できません	接続に失敗しました。	電波状態のよい場所に移動して、もう一度操作し直してください。	インターネット
	接続できませんでした	USB ケーブルが接続されていません。	USB ケーブルを正しく接続してください。「パソコンから microSD カード内のデータを管理する (USB データストレージ)」（☞ 10-36 ページ）	USB データストレージ

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	接続に失敗しました	Intellisync 機能でデータの送受信を行う際に、パソコン側からのレスポンスがないか、USB ケーブルの接続に失敗しました。	接続を正しく行ってください。「パソコンと接続する」(☞ 10-2 ページ)	Intellisync 機能
		サーバへの接続に失敗しました。	しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」(☞ 8-38 ページ)	メール
	設定を確認してください	Intellisync 機能でパソコンとの接続ができません。	接続を正しく行ってください。「パソコンと接続する」(☞ 10-2 ページ)	Intellisync 機能
	前機種のメールデータです 復元できません	前機種のメールのバックアップデータを復元しようとしました。	前機種のメールのバックアップデータは復元することができません。	データフォルダ
	全桁0は無効です もう一度入力して下さい	通知許可パスワードとして、全桁 0 を入力しました。	正しいパスワードを入力してください。「発信型機能を利用する」(☞ 13-45 ページ)	位置情報
	センサーの中央でスライドさせて下さい	正しくないセンサーの位置で、指をスライドさせました。	再度、指をスライドさせてください。	認証
	センターに E メールがあります E メール	管理者ロックによる E メール制限中に自動受信を行おうとして受信できませんでした。	E メール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 11-26 ページ)	セキュリティ
	先頭一致発信許可設定中です	管理者ロックによって先頭一致発信許可設定中に、許可されていない番号へ発信しようとしました。	発信許可されている番号に発信するか、先頭一致発信許可設定を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 11-26 ページ)	セキュリティ
	先頭に $ は使えません	フォルダ名またはファイル名を編集する際に、先頭に $ を入力しました。	フォルダ名またはファイル名の先頭には $ を使用しないでください。「フォルダを作成する」(☞ 13-86 ページ)「データ名を変更する」(☞ 13-84 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 13-87 ページ)	データフォルダ
	先頭に ` は使えません	フォルダ名またはファイル名を編集する際に、先頭に ` を入力しました。	フォルダ名またはファイル名の先頭には ` を使用しないでください。「フォルダを作成する」(☞ 13-86 ページ)「データ名を変更する」(☞ 13-84 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 13-87 ページ)	データフォルダ
	先頭に * は設定できません	着信拒否番号の先頭に * を設定しました。	先頭に * は使用しないでください。「着信拒否番号を登録する」(☞ 11-4 ページ)	セキュリティ

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	操作が遅すぎます 指を速くスライドさせて下さい	指紋認証の際に、指のスライドが遅すぎました。	指を速くスライドしてください。	認証
	送信に失敗しました 再送信しますか?	相手にかかりませんでした。	しばらくしてから送信してください。「ライトメールを作成して送信する」(☞ 8-41 ページ)	ライトメール
	送信メールはありません	送信履歴が 0 件でした。	–	メール
	送信履歴がありません	送信履歴が 0 件でした。	–	メール
タ行	タイムアウトしました 接続できません	HTTP リクエストの送信でタイムアウトしました。	もう一度操作し直してください。	インターネット
	ダイヤルアップ制限設定中です	管理者ロックによりダイヤルアップが制限されているにもかかわらず、ダイヤルアップを行おうとしました。	ダイヤルアップ制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 11-26 ページ)	セキュリティ
	ダウンロードに失敗しました	PDF を保存する際、ダウンロードに失敗しました。	しばらくしてからもう一度PDFの保存を行ってください。「PDFデータを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	短縮設定番号は入力できません	電話帳を登録する際に、000 ~ 009 のメモリ No. に登録しようとしました。	000 ~ 009 以外のメモリ No. に登録してください。	電話帳
	短縮番号しか空きがありません 短縮設定して下さい	電話帳データのメモリ No. を登録する際に、短縮番号しか空きがありませんでした。	電話帳データに短縮番号を設定してください。「短縮番号を設定する」(☞ 7-49 ページ)	電話帳
	データはありません	発信履歴、着信履歴、番号メモのデータがありませんでした。	–	電話機能
	データフォルダにエラーが発生しました	データフォルダにエラーが発生し、データを保存できませんでした。	本電話機の電源を入れ直してからもう一度操作してください。それでもエラーが発生する場合は、必要なデータを microSD カードに移動してからメモリの全削除を行ってください。「メモリの内容をすべて削除する(全削除)」(☞ 13-88 ページ)	データフォルダ
	データフォルダの空き容量が足りません	データフォルダ内のデータ容量に空きがありませんでした。	不要なデータを削除してください。「データを削除する」(☞ 13-83 ページ)	データフォルダ

	表示	原因	対処方法	分類
タ行	展開に失敗しました	圧縮データを開くことができませんでした。	圧縮データにパスワードが設定されているか、データが破損している可能性があります。データを再入手するか入手元に問い合わせください。「圧縮データを開く」(☞ 13-72 ページ)	データフォルダ
	転送失敗	① 電話帳またはブックマークの転送接続に失敗しました。 ② 相手側が受信待ち受け設定をしていないため、電話帳またはブックマークの転送に失敗しました。	① もう一度やり直してください。 ② 相手が受信待ち受け設定をしていることを確かめてから、もう一度やり直してください。 「グループ内で電話帳やブックマークを転送する(電話帳 / ブックマーク転送)」(☞ 14-14 ページ)	グループモード
	電話帳データがありません	電話帳にデータが登録されていませんでした。	電話帳にデータを登録してください。「電話帳を利用する」(☞ 7-45 ページ)	電話帳
	電話帳の起動に失敗しました	電話帳を開くことができませんでした。	もう一度操作し直してください。	メール
	電話帳ロック中です	電話帳がロックされている状態で、電話帳の機能を使用しようとしました。	電話帳のロックを解除してください。「電話帳をロックする(電話帳ロック)」(☞ 7-59 ページ)	電話帳
	電話帳ロック スケジュール ロック中です	電話帳とスケジュールがロックされている状態で、電話帳とスケジュールの機能を使用しようとしました。	電話帳とスケジュールのロックを解除してください。「ユーザの情報をロックする(ロック設定)」(☞ 11-22 ページ)	セキュリティ
	同名のファイルが既にあります	ファイル名を編集する際に、すでに存在するファイル名を入力しました。	別のファイル名を入力してください。「フォルダを作成する」(☞ 13-86 ページ)「データ名を変更する」(☞ 13-84 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 13-87 ページ)	データフォルダ
	同名のフォルダが既にあります	フォルダ名を編集する際に、すでに存在するフォルダ名を入力しました。	別のフォルダ名を入力してください。「フォルダを作成する」(☞ 13-86 ページ)「データ名を変更する」(☞ 13-84 ページ)「フォルダ名を変更する」(☞ 13-87 ページ)	データフォルダ
		すでに登録されているフォルダ名を入力しました。	フォルダ名を確認し、正しいフォルダ名を入力してください。「Java アプリケーションを管理する」(☞ 13-74 ページ)	データフォルダ
	登録された管理者指紋と一致しません	読み取った指紋と、登録されている管理者指紋が一致しませんでした。	指紋が登録されている指を再度スライドさせるか、管理者パスワードによる認証を行ってください。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」(☞ 11-24 ページ)	セキュリティ

	表示	原因	対処方法	分類
タ行	登録された指紋と一致しません	読み取った指紋と、登録されている指紋が一致しませんでした。	指紋が登録されている指を再度スライドさせるか、暗証番号による認証を行ってください。 「指紋や暗証番号で認証を行う」(☞ 11-11 ページ)	認証
	登録できません	①同一の指紋として 3 回認識することができませんでした。 ②指をスライドさせる操作をしませんでした。	指紋登録の操作を、最初からやり直してください。「指紋を登録する」(☞ 11-8 ページ)	認証
ナ行	入力情報に誤りがあります	入力した ID や番号に誤りがあります。	正しい情報を入力してください。「国際ローミングを利用する(国際ローミング)」(☞ 13-91 ページ)	国際ローミング
	入力できない文字が含まれています	引用または貼り付けするデータ内に一部入力不可な文字がありました。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー/貼り付けする」(☞ 7-41 ページ) 「電話帳/ブックマーク/プロフィール/メモ帳から引用する」(☞ 7-42 ページ)	文字入力
	入力できない文字が含まれています 引用できません	引用データがすべて入力不可な文字でした。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「電話帳/プロフィール/メモ帳から引用する」(☞ 7-42 ページ)	文字入力
	入力できない文字が含まれています ペーストできません	貼り付けするデータがすべて入力不可な文字でした。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー/貼り付けする」(☞ 7-41 ページ)	文字入力
	入力できない文字は削除しました	2 次元コードで読み取った情報のうち、入力できない文字が削除されました。	入力可能な文字に置き換えて入力してください。「読み取った情報を使用する」(☞ 12-18 ページ)	カメラ
	認証に失敗しました	認証に失敗しました。	しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」(☞8-38ページ)	メール
ハ行	発信制限設定中です	管理者ロックにより発信が制限されているにもかかわらず、発信を行おうとしました。	発信制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞ 11-26 ページ)	セキュリティ
	発信できません	電波が届いていない場所で発信しようとしました。	圏外 が消灯し、📶 や 📶 が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」(☞ 2-2 ページ)	電話機能
	話し中	相手が通話中のため、かかりませんでした。	しばらくしてからおかけください。	電話機能

	表示	原因	対処方法	分類
ハ行	必要なファイルが足りません	JAD ファイルと同じ名前の JAR ファイルがありませんでした。	JAD ファイルと同じ名前の JAR ファイルを保存してから、インストールしてください。「Java アプリケーションを活用する」(☞ 13-73 ページ)	データフォルダ
	表示 / 再生できません	表示できないファイルを選択しました。	選択したファイルは本電話機では表示／再生できません。「添付されているファイルを開く」(☞ 8-17 ページ)	メール
	ファイル暗証番号が違います	バックアップデータのファイル暗証番号が違います。	正しいファイル暗証番号を入力してください。「データをバックアップする」(☞ 13-89 ページ)	データフォルダ
	ファイルサイズがオーバーしました。添付できません	添付ファイルによって、メールの最大サイズを超えました。	添付ファイルが複数ある場合は添付ファイルの数を減らしてください。メールの本文が長い場合は、本文を短くすることで添付できることもあります。「ファイルを添付する」(☞ 8-10 ページ)	メール
	ファイル情報の取得ができませんでした	ファイル情報の取得に失敗しました。	ファイル情報に異常があるため、ファイル情報は表示することはできません。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	ファイル読み込みエラーが発生しました	ファイルの読み込みに失敗しました。	何度か試してみて読み込めない場合は、ファイルが壊れている可能性があります。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	ファイル名を入力して下さい	ファイル名が入力されていませんでした。	適切なファイル名を入力してください。「画像データを編集する」(☞ 13-58 ページ)	データフォルダ
	フォルダ名を入力して下さい	新たにフォルダを作成する際に、フォルダ名を入力しませんでした。	フォルダ名を入力してください。「フォルダを作成する」(☞ 13-86 ページ)	データフォルダ
	不正な PDF ファイルです	不正な PDF を開きました。	PDF に問題があるため表示することができません。「PDF データを閲覧する」(☞ 13-71 ページ)	データフォルダ
	不正なデータです	本電話機で対応していない拡張子のファイルまたは、壊れたファイルを再生しようとしました。	–	データフォルダ
	ブックマークがありません	ブックマークが登録されていません。	ブックマークを登録してください。「ブックマークを登録する」(☞ 9-13 ページ)	インターネット

	表示	原因	対処方法	分類
ハ行	保護のため削除できません	ページメモが保護されています。	ページメモを確認し、必要なら保護設定を解除してください。「ページメモを保護／保護解除する」（☞ 9-21 ページ）	インターネット
	保存失敗しました	メールの保存、または添付ファイルの保存に失敗しました。	メール、または添付ファイルを確認してください。「作成中の E メールを保存する」（☞ 8-12 ページ）「作成中のライトメールを下書きとして保存する」（☞ 8-44 ページ）「添付されているファイルを開く」（☞ 8-17 ページ）	メール
	保存に失敗したメールがあります	受信後、メールの保存に失敗しました。	–	メール
マ行	メモリがいっぱいです　オフィスのサーバに E メールが残っています E メール	本電話機のメモリに空き容量がないため、E メールが受信できませんでした。	不要なデータを削除して、空き容量を増やしてから E メールを受信してください。「メールを削除する」（☞ 8-25 ページ）	メール
	メモリ不足です	本電話機の容量を超えたサイズの PDF を開きました。	最大サイズを超える PDF は表示することができません。「PDF データを閲覧する」（☞ 13-71 ページ）	データフォルダ
	メール受信中 受信完了後に実行して下さい	メールのバックグランド受信中に、受信と並行して実行できない機能を使用しようとしました。	受信完了後に実行してください。	メール
	メールの読込みに失敗しました	メールの読み込みに失敗しました。	–	メール
	目的のデータがありません	データフォルダから通話録音データが削除され、再生するデータがありません。	削除された録音データは再生できません。	電話機能
	文字数オーバーです　新規として作成します	メモ帳で編集しようとしたデータの文字数が全角 5000 文字（半角 10000 文字）を超えているため、編集可能な文字数までの分で新規のデータを作成しました。	–	メモ帳
ヤ行	読み取れませんでした	2 次元コードの読み取りに失敗しました。	正しい手順で読み取ってください。「2 次元コードを読み取る」（☞ 12-18 ページ）	カメラ

	表示	原因	対処方法	分類
ラ行	＜ライトメール＞送信に失敗しました　再送信しますか	ライトメールの送信に失敗しました。	宛先の電話番号が正しいかどうか確認してください。電話番号に間違いがないときは、しばらくしてからもう一度送信してください。「ライトメールを作成して送信する」(☞8-41ページ)	ライトメール
	利用できません	ライトメールの利用できないモードです。	公衆モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」(☞14-2ページ)	ライトメール

付　録

お手入れ

■乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をつけてよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取り、その後乾いた布で乾拭きをしてください。

■ベンジン・シンナー・アルコールなどで拭かないでください

塗装や文字の印刷が変色したり、薄れることなどがあります。

■本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子を時々清掃する

端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や布で時々拭いてください。また、卓上充電器の置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。

定格・仕様

■電話機

無線周波数帯	1900 MHz帯
送信出力	10 mW（平均）
電源	DC 3.7V 700mAh リチウムイオン電池パック
外形寸法	約 51 mm(幅)× 16 mm（奥行き）× 120 mm（高さ）
質量（電池パック含む）	約 108 g
連続待受時間	約 750時間（公衆モード、省電力モード「ON」設定時）
連続通話時間	約 6.5時間（公衆モード）
カメラ有効画素数	130万画素

■卓上充電器（ACアダプタ付き）

外形寸法	
置台部	約 Φ70 mm×32.8 mm
ACアダプタ部	約 48 mm×45 mm×16 mm
質量	約 75g
電源	AC 100V（50/60Hz）
出力	DC 5.4V、700mA

商標・登録商標

● Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● Intellisyncは、米国Intellisync Corporationの商標または登録商標です。
● microSDは、SD Card Associationの商標です。
● Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● Wordは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● Advanced Wnnは、オムロンソフトウェア株式会社の商標です。
● Wnnは、オムロン株式会社の登録商標です。
● ACCESS、NetFront、JV-Lite、AVE-TCPは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

ACCESS™ NetFront®

● Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

● Javaおよび全てのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
JavaScriptは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
● QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・ その他、本取扱説明書に記載されている会社名・システム名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

数字

アルファベット

A

B

C

E

F

G

H

I

J

M

P

S

U

W

かな

あ

か

付録／索引

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

お問い合わせ窓口

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容（加入・変更・引越等）
- 基本料金・通話料等
- オプションサービス
- サービスエリア
- 本電話機の修理
- 本電話機の紛失
- その他、通信サービスについて

■ウィルコムサービスセンター

受付時間（日・祝日を除く）：9:00 ～ 19:00

▶ 本電話機から

局番なしの116（無料）

▶ 一般加入電話・公衆電話から

0120-921-156（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます）

■ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ窓口

受付時間(日・祝日も受付)：9:00 ～ 19:00

▶ 本電話機から

局番なしの157（無料）

▶ 一般加入電話・公衆電話から

0120-921-157（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます）

本電話機に関するご相談

■ご相談窓口（JRC サポートセンター）

受付時間：平日のみ 9:00 ～ 17:00

▶ **本電話機・携帯電話から**

03-3345-5563

▶ **一般加入電話・公衆電話から**

0570-003899（ナビダイヤル）

▶ **サポートWebサイト**

http://www.jrcphs.jp/

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

ご相談窓口でお受けした個人情報は、本電話機に関するご相談、お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

■保証書

保証書は本取扱説明書の裏表紙についています。
お買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より１年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがあります。保証書の記載内容をご確認ください。

■修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かな？ちょっと確認してください」（☞ 15-2ページ）をお読みのうえご確認ください。
それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、ウィルコムサービスセンターにご相談ください。

◎保証期間中の修理は

ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。保証書の記載内容により、無料修理いたします。

◎保証期間を過ぎているとき

修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

◎連絡していただきたいこと

- 製品名、お買い上げ年月日
- 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
- お客様のご氏名、ご住所、お電話番号

■補修用性能部品の最低保有年数について

当社では、本製品の性能を維持するために必要な補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後７年保有しています。

ご注意

- この電話機は、容易に開けられない構造となっております。むやみに中を開けて改造すると電波法に触れます。また、改造されますと修理をお引き受けできませんのでご注意ください。
- 修理内容により、電話帳の内容、受信メール、送信メール、録音データ、サイトからダウンロードした画像やメロディなどのお客様が登録・保存されたデータが消失する場合があります。大切な情報はあらかじめメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを保管してください。
- 商品の故障・誤動作・電池の消耗、または停電などの外部要因で本電話機が使用できなかったことによる、通話および通話料金などの間接的損害または付随的補償については、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

JRC 保証書　　持込修理

型番	WX321J
★お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より1年間
★お客様	お名前 ご住所　〒 電話番号（　　　）　　－
★販売店	店名･住所･電話番号

★印のついた欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書や本体、卓上充電器の警告表示などの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。修理の際には、本書をご用意いただき、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理とさせていただきます。
   イ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下、水濡れなどによる故障や損傷
   ハ. 公害や火災、地震、雷、風水害、その他の天災地変など、あるいは異常電圧、指定外の電源（電圧、周波数）使用等による故障や損傷
   ニ. 本製品に接続した当社指定以外の機器および消耗品（電池パック等）に起因する故障や損傷
   ホ. 本書のご提示がない場合
   ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   ト. 消耗部品（電池パック等）などが消耗し取り替えを要する場合
   チ. 電池パック等の液漏れによる故障、損傷
3. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

日本無線株式会社
〒160-8328　東京都新宿区西新宿6丁目10番1号　日土地西新宿ビル
電話（JRCサポートセンター）：0570-003899　（一般加入電話･公衆電話から）
03-3345-5563　（本電話機･携帯電話から）

製造元: JRC 日本無線株式會社
〒160-8328　東京都新宿区西新宿6丁目10番1号　日土地西新宿ビル
ホームページアドレス:http://www.jrc.co.jp/

本取扱説明書の内容は2007年2月現在のものです。

この「取扱説明書」は環境にやさしい大豆油インキを使用しております

7ZPAN0150A
2008.02　第1.1版